教育要覧

平成２５年版

名古屋市教育委員会

教　育　要　覧

平 成 25 年 版

（下志段味小学校）

名 古 屋 市 教 育 委 員 会

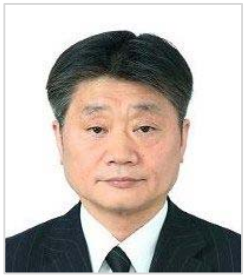
教育委員会委員

野　田　委　員

古　川　委　員　長

服　部　委　員

梶　田　委　員



下田委員（教育長）

福　谷　委　員

（平成25年７月１日現在）

ま え が き

近年における、少子・高齢化や国際化、あるいは情報化の急速な進展は、子どもたちを取り巻く環境に、大きな影響を与えています。その状況の下、子どもたちの学力低下や家庭・地域の教育力の低下、子どもたちの安全確保の問題等の、教育分野における新たな課題が浮上しています。

本市教育委員会では、平成19年３月に策定した、初めての中期計画となる「なごやっ子教育推進計画」の後継計画として、平成23年３月に「名古屋市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画を通して、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子」の育成を目指し、本市教育行政を取り巻く複雑・多様な現状に対して適切に対応していくために、名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階における教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策に取り組んでいます。

この「教育要覧（平成25年版）」では、最新の統計資料とともに、平成24年度の教育のあゆみを集録し、名古屋市の教育の現状を広く紹介しています。

本書を通じて、本市の教育をご理解いただき、より一層のご支援とご協力をいただければ幸いです。

平成25年９月

名古屋市教育委員会

目　　次

ま え が き

第１部　教　育　行　財　政

第１章　教　育　行　政 …… 1
1　平成24年度本市教育行政のあらまし …… 1
2　教 育 委 員 会 …… 3
3　条例規則等の制定改廃 …… 4
4　附属機関その他の機関 …… 7
5　教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等 …… 15
6　教育委員会所管施設一覧 …… 26
7　広報広聴調査活動 …… 26
8　企 画 調 整 事 務 …… 29
9　争　訟　事　務 …… 30
第２章　教　育　財　政 …… 33
1　平成25年度教育関係予算の概要 …… 33
2　新規・拡充事業及び重点施策 …… 36
3　小・中学校標準運営費 …… 38
4　マイスクールプラン …… 39
第３章　計　画　の　推　進 …… 40
1　名古屋市教育振興基本計画 …… 40
2　名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針 …… 41
3　小規模校対策に関する実施計画 …… 42
4　名古屋市立小・中学校における日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する具体的な施策 …… 43
5　名古屋市子ども読書活動推進計画 …… 44
6　なごやマイ・スポーツ推進プラン …… 45
7　名古屋市不登校対策基本構想 …… 45
8　魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画 …… 46
9　第２次名古屋市子ども読書活動推進計画 …… 47
10　名古屋市スポーツ推進計画 …… 48

第２部　学校施設、設備、管理

第１章　校（園）地及び校(園)舎の実態 …… 50
1　学校施設の整備 …… 50

２　学校施設の現況…… 52
３　学校の設置及び通学区域の変更…… 71
４　小規模校対策…… 71
第２章　学校設備の充実状況…… 73
第３章　学校施設の管理…… 74
１　学校施設の機械警備…… 74
２　学校（園）近隣協力員…… 74

第３部　幼児、児童、生徒、教職員

第１章　幼児、児童、生徒…… 75
１　幼児、児童、生徒数…… 75
２　児童・生徒表彰件数…… 78
３　進　路　状　況…… 79
４　児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況…… 81
第２章　教　職　員…… 85
１　教職員構成状況…… 85
２　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数…… 86
３　教員の採用と異動状況…… 87
４　教職員表彰件数…… 88
５　教職員の福利厚生…… 88
６　平成24年度教員免許状取得状況…… 89
７　教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）…… 89
８　学校事務支援センター…… 89
９　学校問題解決支援チーム…… 90

第４部　学　校　教　育

第１章　教　育　指　導…… 91
１　平成24年度学校教育の努力目標…… 91
２　教育課程の概況…… 91
３　指　導　方　針…… 92
４　個に応じた指導…… 93
５　総合的な学習の時間…… 94
６　生　徒　指　導…… 94
７　不登校児童生徒対策…… 95
８　進　路　指　導…… 96
９　特　別　活　動…… 96
10　道　徳　教　育…… 96

11　安　全　教　育…… 97
12　学校図書館教育…… 98
13　職　業　教　育…… 98
14　野　外　教　育…… 98
15　国　際　理　解…… 99
16　情　報　教　育…… 101
17　定 時 制 教 育…… 102
18　特別支援教育…… 102
19　幼　児　教　育…… 111
20　学 校 諸 行 事…… 112
21　開かれた学校づくり…… 114
22　エコ・フレンドシップ事業…… 114
23　海外演奏家等による音楽鑑賞の推進…… 114
第２章　教科用図書採択…… 115
1　教科用図書の採択…… 115
2　教科用図書の展示会…… 115
3　平成25年度使用教科用図書…… 115
第３章　高等学校入学者選抜…… 116
1　概　　要…… 116
2　平成24年度募集人数と志願者数等…… 116
第４章　教職員研修と教育研究…… 118
1　名古屋市教育センター…… 118
2　教職員研修の実施…… 119
3　教員免許状更新講習…… 123
4　なごや教師養成塾…… 123
5　研 究 調 査 等…… 124
6　教育研究資料の利用…… 124
7　情報教育ネットワーク…… 124
8　教　育　相　談…… 125
9　学力向上サポート事業…… 126
10　指導体験記録の募集…… 126
第５章　就　学…… 127
1　就　学　援　助…… 127
2　就　学　奨　励…… 128
3　私　学　助　成…… 129
4　越境通学防止…… 131

第５部　学校保健、給食、体育

第１章　学　校　保　健…… 133
1　児童・生徒・幼児の保健管理…… 133
2　就学時健康診断…… 137
3　教職員の保健管理…… 138
4　学校環境衛生管理…… 140
5　学校における安全対策…… 140
6　日本スポーツ振興センター…… 141
7　名古屋市学校保健会…… 141
第２章　学　校　給　食…… 142
1　学　校　給　食…… 142
2　運　営　組　織…… 145
3　普　及　活　動…… 146
第３章　学　校　体　育…… 147
1　学校体育の概要…… 147
2　各 種 講 習 会…… 148
3　元気いっぱいなごやっ子の育成…… 148
4　体力・運動能力調査…… 149
5　各種体育大会…… 150
6　名古屋市小中学校体育連盟…… 150
7　名古屋市学校体育センター…… 151

第６部　生涯学習・社会教育

第１章　生涯学習の推進…… 152
1　生涯学習社会を目指して…… 152
2　生涯学習が必要とされる社会的背景…… 152
3　基　本　方　針…… 152
4　平成24年度重点事業…… 153
第２章　成　人　教　育…… 154
1　成人教育の概況…… 154
2　女　性　教　育…… 158
3　視 聴 覚 教 育…… 159
第３章　青少年教育…… 161
1　青少年教育の概況…… 161
2　青少年の教育…… 161
第４章　文化財の保護…… 164
1　概　　要…… 164

２　文化財の保護…… 164
第５章　市民スポーツ…… 166
１　市民スポーツの概況…… 166
２　活動状況（平成24年度主要事業実績）…… 169
第６章　社会教育施設…… 170
１　社会教育施設の概況…… 170
２　図　　書　　館…… 170
３　名古屋市博物館…… 185
４　名古屋市見晴台考古資料館…… 191
５　名古屋市美術館…… 195
６　名古屋市科学館…… 197
７　生涯学習センター、生涯学習推進センター、女性会館…… 202
８　スポーツ施設…… 211
第７章　学　校　開　放…… 226
１　学校開放の概況…… 226
２　学　校　開　放…… 226

第７部　人権教育

第１章　人権教育の推進体制…… 240
１　基本的な考え方…… 240
第２章　学　校　教　育…… 241
１　人権教育の研究推進…… 241
２　人権教育研修会…… 242
３　資 料 の 整 備…… 242
第３章　社　会　教　育…… 243
１　文化センター等における教育委員会主催事業…… 243
２　市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育…… 243

付　　録

１　事務参考資料（出版物等一覧）…… 245
２　教　育　年　表…… 249
３　中学校区一覧…… 251

第１部　教 育 行 財 政

第１章　教　育　行　政

１　平成24年度本市教育行政のあらまし

（１）教育委員会では、平成23年3月に平成26年度までを計画期間とする「名古屋市教育振興基本計画」を策定し、教育を取り巻く環境の変化に対応しながら、学校教育をはじめとした教育施策を推進することにより、夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成に取り組んだ。

（２）学校教育では、平成24年度の努力目標を定め、社会の変化に主体的に対応できるたくましい青少年の育成を目指して、一人一人のよさや可能性を伸ばし、よりよい自己実現を促す教育の実践に努めた。

ア　学校施設の整備については、教室の増改築、大規模改造、新設校の建設等を実施した。

イ　教育指導面では、教育課程の参考及び指導指針を示すとともに、集団生活への適応を図るため、小学校１年生・２年生での30人学級を実施した。

各教科の基盤となる読解力を高めるため、小学校４～６年生を対象とした「なごやっ子漢字アッププリント」を小学校に配布・配信するとともに、小学校生向けの「なごやっ子読書ノート」を全児童に、中学生向けの「なごやっ子読書カード」を全中学校に配布し、「国語力推進事業」に取り組んだ。また、英語が話せるなごやっ子の育成をめざして、外国人英語指導助手とのティームティーチングによる生きた英語指導と英語活動・外国語活動アシスタントとのティームティーチングによる小学校英語活動・外国語活動の実施、日本語指導が必要な外国人児童・生徒の相談等に対応する日本語教育相談センターの運営、母語学習協力員の配置等、学習指導の充実に努めた。一方、生徒指導対策については、関係諸機関との連絡協議会の開催、学校における児童・生徒指導活動推進事業の実施、進路指導体制の確立、小・中学校で特設講座（基礎・発展）の開設、心理的な理由による不登校児に対する教育相談や適応指導を進める子ども適応相談センターの運営、中・高生による「夢・チャレンジ」支援事業の実施など、その充実を図った。また、「なごやＩＮＧキャンペーン」を実施し、いじめのない学校づくりに努めた。

さらに、特色ある教育活動や学校づくりを行うマイスクールプランの実施、人権教育、国際理解教育、情報教育等、教育内容の充実を図ったほか、「愛・地球博」を契機とし、「COP10」を通じて充実した環境教育を継続・発展させるとともに環境問題に対する一層の意識高揚を促し、環境首都なごやを担っていく人材の育成を図るため「エコ・フレンドシップ事業」を実施した。

ウ　児童・生徒の健康管理の面では、入学及び市外から転入した者を対象とした心臓検診や、全小学校でのアレルギー性疾患に関する検診、また、小学校において歯科疾患特別健診を実

施するなど、児童・生徒の疾患対策の一層の充実を図った。

学校給食では、子どもたちの心身の健全な発達に資することを目的として地産地消の取り組みを始め内容の充実に努めた。また、複数メニュー、弁当併用、ランチルームでの喫食等の方式での中学校スクールランチを109校で実施した。

学校体育においては、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践し、健康な生活を営むための能力や態度の基礎の育成に努めるとともに、体育学習や部活動における指導者の資質向上に役立てるため、体育実技等の講習会を実施した。

エ　教育奨励事業としては、要・準要保護児童生徒の就学援助等を実施した。

（3）社会教育行政については、市民が教養を高め、生涯の各時期に応じて、多様で、かつ、自主的な学習ができるよう、条件整備に努めた。

ア　成人教育の面では、社会教育施設における各種講座や講演会等を充実させて開設した。更に、家庭教育の振興を図るための事業として、家庭教育セミナー、あい・あい・あいさつ活動、地域ふれあい実践講座、ファミリーデーなごやを実施するとともに、インターネットを活用した講座を開設した。

また、女性教育の内容充実を図るとともに、関係団体の指導者育成や活動助成を行った。

イ　青少年教育については、平成18年度から青少年に関する諸施策の総合的な企画等、市長の権限に属する事務の補助執行が解かれ子ども青少年局の所管事業になるとともに、青少年教育に関する権限を子ども青少年局長の補助執行とした。

ウ　スポーツ振興の面では、市民スポーツ祭をはじめ各種事業の充実を図るとともに、なごやマイ・スポーツフェスティバルやマラソンフェスティバル　ナゴヤ・愛知を実施したほか、スポーツ功労者表彰を実施した。また、子どものスポーツ振興のため、子どもスポーツフェスタを開催したほか、地域ジュニアスポーツクラブの育成・支援を行った。

エ　文化財保護の面では、文化財保護事業への助成、歴史的町並み保存事業の促進、遺跡発掘調査等各種調査を実施したほか、文化財の公開事業、史跡散策路の活用等、保護事業を推進した。また、「歴史の里」の整備に向けて、予定区域内の埋蔵文化財の発掘調査を実施した。

オ　トワイライトスクール（放課後学級・施設開放）については、平成21年度から、放課後学級を「トワイライトスクール」として、それに関する権限を子ども青少年局長が補助執行し実施した。また、施設開放については、「生涯学習開放」として引き続き教育委員会において実施した。

（4）ふれあい交流事業については、昭和61年に名古屋市、中津川市及び稲武町（現豊田市）の３者間で結ばれた「ふれあい協定」に基づき、教育・スポーツ・文化等の交流を通して市民の友好親善と相互理解を深めた。

2 教 育 委 員 会

（1）教育委員会の組織と活動

ア 教育委員会の組織

教育委員会は、合議制の執行機関で６人の委員で構成され、委員は市議会の同意を得て、市長が任命する。任期は４年で、教育行政の安定を図るため、毎年１人又は２人ずつ改任（又は再任）される。

教育委員会の職務権限は、教育に関する事務を管理執行することであり、市長の権限に属するもの（大学・私立学校及び教育財産の取得・処分に関する事務のほか、教育委員会の所掌に係る事項に関する契約の締結及び予算の執行）を除き、教育事務の大部分に及ぶ。

また、教育委員会は、その権限に属する事務に関し、教育委員会規則を定める権限を有している。

なお、委員の中から教育長が選任され、教育委員会の指揮監督のもとに、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどることとされている。

また、教育委員会の権限に属する事務を処理するため、教育委員会に事務局が置かれ、教育長は事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督している。

教育委員会の委員　（平成25年７月１日現在）

職　　名	氏　　名	年齢	職　　業	就任年月日
委　　員　　長	古　川　　隆	64	会 社 役 員	22. 3.24
委　　員 （委員長職務代理者）	野　田　敦　敬	55	大 学 教 授	22.10. 1
委　　員 （委員長職務代理者）	服　部　はつ代	68	団 体 役 員	23.10. 1
委　　員	梶　田　　知	56	会 社 役 員	24.10. 8
委　　員	福　谷　朋　子	42	弁　護　士	24.10. 8
委　　員 （　教　育　長　）	下　田　一　幸	58		25. 4. 1

イ 教育委員会の会議

教育委員会の意思は、教育委員会の会議において決定される。会議は、委員長が招集し、委員長及び在任委員の過半数が出席して開かれ、その議事は出席委員の過半数で決し、可否

同数のときは委員長の決するところによる。

平成24年度は、定例会12回、臨時会６回の会議を開き、重要案件の審議を行った。

なお、教育委員会の権限に属するすべての事務を教育委員会の会議の審議を経て決定することは実際上不可能であり、合理的とは言えないため、重要な事項を除き、平常事務的な事項の決定は教育長専決規則（昭和31年名古屋市教育委員会規則第13号）の定めるところにより教育長が専決している。

平成24年度において教育委員会に提出された議案は次のとおりである。

教育委員会議案一覧表

内　　容	件　数	内　　容	件　数
事務局人事に関するもの	2　件	社会教育委員等の委嘱等に関するもの	14　件
教職員人事に関するもの	3　件	教科書の採択に関するもの	3　件
条例の改正等に関するもの	10　件	そ　の　他	26　件
教育委員会規則に関するもの	17　件		
予算に関するもの	5　件		
表彰に関するもの	6　件		

３　条例規則等の制定改廃（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（１）条　　例

条例番号	名　　称	概　　要
24年68	名古屋市野外スポーツ・レクリエーションセンター条例の一部を改正する条例 ［平成24.12.21公布、平成25.4.1施行他］	志段味スポーツランドに少年野球場を設置することに伴い、規定を整理した。
25年1	名古屋市生涯学習センター条例の一部を改正する条例 ［平成25.3.13公布、平成26.4.1施行他］	中村生涯学習センター等の管理を指定管理者に行わせる等のため、規定を整理した。
25年2	名古屋市体育館条例の一部を改正する条例 ［平成25.3.13公布、平成26.4.1施行他］	枇杷島スポーツセンター等の利用料金を指定管理者の収入として収受させるため、規定を整理した。
25年3	名古屋市野外スポーツ・レクリエーションセンター条例の一部を改正する条例 ［平成25.3.13公布、平成26.4.1施行他］	志段味スポーツランドの利用料金を指定管理者の収入として収受させるため、規定を整理した。

条例番号	名　　称	概　　要
25年19	名古屋市立学校設置条例の一部を改正する条例 ［平成25.3.29公布、同年4.1施行他］	川原小学校分校等を設置するため、規定を整理した。
25年20	名古屋市野外教育センター条例の一部を改正する条例 ［平成25.3.29公布、同年4.1施行］	野外学習センターの管理運営を民間に委託するため、規定を整理した。
25年21	名古屋市瑞穂運動場条例の一部を改正する条例 ［平成25.3.29公布、平成26.4.1施行他］	瑞穂運動場の利用料金を指定管理者の収入として収受させる等のため、規定を整理した。
25年22	名古屋市女性会館条例の一部を改正する条例 ［平成25.3.29公布、平成26.4.1施行他］	女性会館の管理を指定管理者に行わせる等のため、規定を整理した。

（２）教育委員会規則

規則番号	名　　称	概　　要
24年14	名古屋市図書館館則の一部を改正する規則 ［平成24.4.20公布・施行］	志段味図書館の管理を指定管理者に行わせることに伴い、指定管理者の指定の手続等について、規定を整理した。
24年15	名古屋市総合体育館条例施行規則等の一部を改正する規則 ［平成24.4.20公布・施行］	体育施設における指定管理者選定委員会の構成員を変更するため、規定を整理した。
24年16	名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則 ［平成24.5.24公布・施行］	市立幼稚園の授業料の減額の要件を変更するため、規定を整理した。
24年17	名古屋市教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則 ［平成24.6.13公布・施行］	傍聴者の定員を変更するため、規定を整理した。
24年18	名古屋市学校施設開放に関する規則の一部を改正する規則 ［平成24.8.24公布・施行］	千種台中学校の運動場の開放月日を変更するため、規定を整理した。
24年19	名古屋市学校施設開放に関する規則の一部を改正する規則 ［平成24.11.12公布、同年12.1施行他］	天神山中学校の格技場をスポーツ開放の使用に供するため、規定を整理した。
25年1	名古屋市野外教育センター処務規則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、同年4.1施行］	野外学習センターの管理運営を民間に委託することに伴い、職員の配置について規定を整理した。
25年2	名古屋市女性会館処務規則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、同年4.1施行］	女性会館に主幹（施設の移設に係る調整）及び主査（施設の移設に係る調整）を設置するため、規定を整理した。

規則番号	名　　称	概　　要
25年3	名古屋市図書館処務規則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、同年4.1施行他］	鶴舞中央図書館庶務係の分掌事務を変更する等のため、規定を整理した。
25年4	名古屋市立高等学校学則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、同年4.1施行］	桜台高等学校等の生徒定員を変更するため、規定を整理した。
25年5	名古屋市立特別支援学校学則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、同年4.1施行］	西養護学校等の生徒定員を変更するため、規定を整理した。
25年6	名古屋市立幼稚園園則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、同年4.1施行］	第二幼稚園の園児定員及び学級数を変更する等のため、規定を整理した。
25年7	名古屋市野外教育センター条例施行規則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、同年4.1施行］	野外学習センターの分館化等に伴い、規定を整理した。
25年8	名古屋市図書館館則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、同年4.1施行］	視聴覚資料の貸出しについて、必要な事項を定める等のため、規定を整理した。
25年9	名古屋市体育館条例施行規則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、平成26.4.1施行他］	枇杷島スポーツセンター等の利用料金について必要な事項を定めるため、規定を整理した。
25年10	名古屋市瑞穂運動場条例施行規則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、平成26.4.1施行他］	瑞穂運動場の利用料金について必要な事項を定める等のため、規定を整理した。
25年11	名古屋市野外スポーツ・レクリエーションセンター条例施行規則の一部を改正する規則 ［平成25.3.26公布、平成26.4.1施行他］	志段味スポーツランドの利用料金について必要な事項を定めるため、規定を整理した。

（3）市　規　則

規則番号	名　　称	概　　要
24年125	名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例施行細則の一部を改正する規則 ［平成24.11.8公布・施行］	私立高等学校の授業料補助対象者を区分する所得割額を改める等のため、規定を整理した。

（４）訓　　令

訓令番号	名　　称	概　　要
25名教委訓令1	名古屋市立学校文書管理規程の一部を改正する規程 ［平成25.3.22公布、同年4.1施行］	学校における文書収受・発送事務の簡素化を図るため、規定を整理した。
25名教委教訓令1	教育次長以下代決規程の一部を改正する規程 ［平成25.3.29公布、同年4.1施行］	野外学習センターの管理運営を民間に委託する等に伴い、規定を整理した。
25名教委教訓令2	名古屋市教育委員会事務局係設置並びに分掌事務規程の一部を改正する規程 ［平成25.3.29公布、同年4.1施行］	総務部総務課に主査（持続発展教育に関するユネスコ世界会議に係る連絡調整）を設置する等のため、規定を整理した。

４　附属機関その他の機関

（１）名古屋市産業教育審議会

産業教育振興法（昭和26年法律第228号）第11条、名古屋市産業教育審議会委員定数条例（昭和27年名古屋市条例第４号）及び名古屋市産業教育審議会規則（昭和27年名古屋市教育委員会規則第３号）に基づき、昭和27年７月に発足し、教育委員会の諮問に応じて、産業教育に関して調査審議し、教育委員会に対して答申又は建議を行っている。

（２）名古屋市社会教育委員協議会

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条及び名古屋市社会教育委員条例（昭和24年名古屋市条例第58号）に基づき、教育委員会が委嘱した10人の社会教育委員によって構成される協議会である。名古屋市社会教育委員協議会規則（昭和24年名古屋市教育委員会規則第６号）に基づき、会議を開催し、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べている。任期は２年で、平成24年２月１日に第32期社会教育委員を委嘱した。

平成24年度は、７回開催し、補助金交付などについて審議した。

委　　員　　（平成25年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立高蔵小学校長	辻　　正人
社会教育関係者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会会長 名古屋市地域女性団体連絡協議会会長 日本ボーイスカウト愛知連盟理事	寺本　　充 加藤玲子 東頭信夫
家庭教育の向上に資する活動を行う者	臨床心理士	後藤かをり

種　　別	役　　職	氏　　名
学識経験者	名城大学大学院教授	伊藤康児
	金城学院大学教授	原　　史子
	中日新聞社編集局整理部記者	野村由美子
	愛知大学教授	加藤鉦治
	弁護士	長谷川龍伸

（3）名古屋市文化財調査委員会

名古屋市文化財保護条例（昭和47年名古屋市条例第４号）に基づき、教育委員会の諮問に応じて市指定文化財の指定などに関して意見を述べるとともに、文化財の保存、活用に関する専門的事項を調査審議している。

平成24年度は、2回開催し、文化財保護行政上の課題などについて審議・報告した。

委　　員　　（平成25年７月１日現在）

所属・職名	氏　　名	担当部会
愛知学院大学非常勤講師	赤羽一郎	考古埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物
名古屋造形大学教授	池田洋子	美術工芸
東海学院大学教授	岡本真理子	建造物・町並み
名古屋工業大学大学院教授	河田克博	建造物・町並み
名古屋芸術大学教授	岸野俊彦	文書典籍
中京大学非常勤講師	鬼頭秀明	無形文化財・民俗文化財
愛知県立芸術大学教授	熊田由美子	美術工芸
南山大学教授	黒沢　　浩	考古埋蔵文化財・史跡名勝天然記念物
愛知学院大学教授	白石浩之	考古埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物
日本福祉大学教授	髙部淑子	文書典籍
中部大学教授	永田典子	無形文化財・民俗文化財
名古屋大学大学院准教授	西澤泰彦	建造物・町並み
名古屋大学博物館准教授	西田佐知子	史跡名勝天然記念物

所属・職名	氏　　名	担　当　部　会
愛知県立旭丘高等学校教諭	服部　誠	無形文化財・民俗文化財
岐阜聖徳学園大学教授	安田徳子	文書典籍
豊田市美術館館長	吉田俊英	美術工芸

（４）名古屋市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条及び名古屋市スポーツ推進審議会条例（昭和57年名古屋市条例第16号）に基づき、教育委員会が任命した15人以内によって構成される審議会である。

平成24年度は、３回開催し、「名古屋市の新スポーツ推進計画について」の答申、「名古屋市スポーツ功労者表彰」などについて審議した。

委　　員　　（平成25年７月１日現在）

役　　職	氏　　名
名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会会長	磯田芳美
名古屋市会教育子ども委員会委員長	日比健太郎
名古屋市教育スポーツ協会理事（名古屋市体育協会運営審議員）	後藤泰之
中日ドラゴンズ取締役管理担当	佐藤良平
あいち健康の森健康科学総合センターセンター長	津下一代
三重大学教授	鶴原清志
東海学園大学講師	中田有紀
公募委員	藤田琢爾
愛知淑徳大学教授	松田秀子
北京五輪日本代表（シンクロナイズドスイミング）	松村亜矢子
名古屋グランパスエイト取締役事業本部長	山本秀樹
名古屋大学教授	山本裕二
名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会評議員	淀川悦子

（５）名古屋市図書館協議会

図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び名古屋市図書館協議会条例（昭和44年名古屋市条例第７号）に基づき、鶴舞中央図書館に置かれ、図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館奉仕について館長に対して意見を述べることができる。

平成24年度は、６回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア　「名古屋市図書館中期計画」の進捗状況について

イ　「平成24年度名古屋市図書館サービス計画における重点事項（目標）」について

ウ　第２次名古屋市子ども読書活動推進計画について

エ　図書館資料の収集について

オ　図書館ホームページと情報提供について

委　　員　　（平成25年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立名城小学校長	鈴木博志
社会教育関係者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	橋本りゑ子
	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	吉井紀子
家庭教育の向上に資する活動を行う者	臨床心理士	後藤かをり
学識経験者	名城大学人間学部教授	神谷俊次
	愛知県弁護士会図書委員会委員	小林和正
	南山大学人文学部准教授	林　雅代
	同朋大学社会福祉学部講師	木本有香
	中日新聞社編集局資料部部長	橋本敦子
	公募委員	田中勢都

（６）名古屋市児童図書選定協議会

児童図書選定協議会規程（昭和33年名教訓第３号）に基づき、次の事項を審議している。

ア　本市小中学校向図書を選定すること。

イ　選定図書の普及に関すること。

現在当会は、委員37人と特別委員２人で組織されており、平成24年度は10回開催された。

（７）名古屋市生涯学習推進センター協議会

名古屋市生涯学習センター条例（平成12年名古屋市条例第38号）に基づき、教育委員会の附属機関として、教育委員会の諮問に応じ、生涯学習推進センターの事業の実施について調査審議している。なお、協議会の委員は教育委員会が委嘱し、会長・副会長は委員の互選による。

平成24年度は、２回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア　大学連携講座・名古屋市民大学講座及び調査研究事業について

イ　事業実施状況及び平成25年度事業計画について

委　　員　　（平成25年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立名城小学校長	鈴木博志
社会教育関係者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会副会長	佐藤泰久
	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	遠藤恒子
	日本ボーイスカウト愛知連盟名古屋地区協議会連合会委員	三井信之
	特定非営利活動法人生涯学習ネットワーク中部事務局長	清水浩子
	名古屋市北生涯学習センター協議会委員	小川雄二
学識経験者	心理カウンセラー	山本道子
	愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授	鵜殿悦子
	放送大学愛知学習センター所長	服部重昭
	弁護士	江本真理

（８）名古屋市博物館協議会

博物館法（昭和26年法律第285号）第20条及び名古屋市博物館条例（昭和52年名古屋市条例第８号）に基づき、博物館に置かれ、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成24年度は、２回開催し、次のような事項について審議した。

ア　平成23年度事業報告・決算について

イ　平成24年度事業中間報告について

ウ　平成24年度中間事業報告について

エ　平成25年度事業計画（案）について

委　　員　　（平成25年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立船方小学校長	藤本初美
	学校法人菊武学園理事長	高木弘恵
	名古屋市立向陽高等学校長	津金倫明
社会教育関係者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	遠藤恒子
	徳川美術館長	徳川義崇
	熱田神宮宝物館長	宮田理博
家庭教育関係者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	森　千恵子

種　　別	役　　職	氏　　名
学識経験者	日本放送協会名古屋放送局長	佐藤幹夫
	中日新聞社名古屋本社事業局長	山口宏昭
	名古屋造形大学教授	池田洋子
	名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝　茂夫
	愛知淑徳大学教授	柴垣勇夫
	岐阜聖徳学園大学教授	安田徳子
	東朋テクノロジー株式会社取締役社長	富田英之
	名古屋市博物館資料委員	羽賀祥二

（９）名古屋市美術館協議会

博物館法第20条及び名古屋市美術館条例（昭和63年名古屋市条例第７号）に基づき、美術館に置かれ、美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成24年度は、２回開催し、次のような事項について審議した。

ア　平成23年度事業実施結果について

イ　平成24年度事業実施状況について

ウ　平成25年度事業計画案及び予算案について

委　　員　　（平成25年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立幅下小学校長	佐藤佳子
	愛知県私学協会副会長	大谷　恩
	愛知県立旭丘高等学校長	川村則夫
	名古屋市立向陽高等学校長	津金倫明
社会教育関係者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団副理事長	田賀泰孝
	名古屋市社会教育委員	野村由美子
	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	遠藤恒子
家庭教育関係者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	宗形礼子
	公募委員	陶山朋子
学識経験者	愛知県立芸術大学准教授	小西信之
	名古屋商工会議所文化・観光委員会委員長	滝　茂夫
	愛知県美術館長	村田眞宏
	名古屋造形大学教授	江本菜穂子
	名古屋大学文学研究科准教授	加藤靖恵

(10) 名古屋市科学館協議会

博物館法第20条及び名古屋市科学館条例（昭和37年名古屋市条例第27号）に基づき、科学館に置かれ、科学館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。

平成24年度は、２回開催し、次のような事項について審議した。

ア　平成23年度事業報告について

イ　平成23年度決算見込について

ウ　平成25年度事業計画案について

委　　員　　（平成25年７月１日現在）

種　　別	役　　職	氏　　名
学校教育関係者	名古屋市立前津中学校長	本田修三
	名古屋市立菊里高等学校長	今村眞志
	名古屋市立植田幼稚園長	加藤智子
	愛知県私学協会副会長	大谷　恩
社会教育関係者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	田畠多津子
家庭教育の向上に資する活動を行う者	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	宇野直子
学識経験者	金城学院大学教授	小林身哉
	情報・システム研究機構理事	郷　通子
	国立病院機構名古屋医療センター院長	直江知樹
	名古屋大学大学院生命農学研究科教授	束村博子
	日本ガイシ株式会社顧問	纐纈　満
	日本放送協会名古屋放送局長	佐藤幹夫
	公益財団法人中部科学技術センター専務理事	神崎修三
	名古屋商工会議所文化・観光委員会委員長	須田　寛
	中日新聞社常務取締役事業担当	高坂　毅

(11) 名古屋市女性会館運営審議会

名古屋市女性会館条例（昭和53年名古屋市条例第22号）に基づき、教育委員会の諮問に応じ、女性会館における各種の事業の運営について審議している。審議会の委員は教育委員会が委嘱し、その定数は12人以内とし、会長、副会長は委員の互選による。

平成24年度は、４回開催し、主に次のような事項について審議した。また、平成24年度は公募による委員を１人追加した。

ア　平成24年度後期主催講座、行政評価

イ　平成25年度事業計画

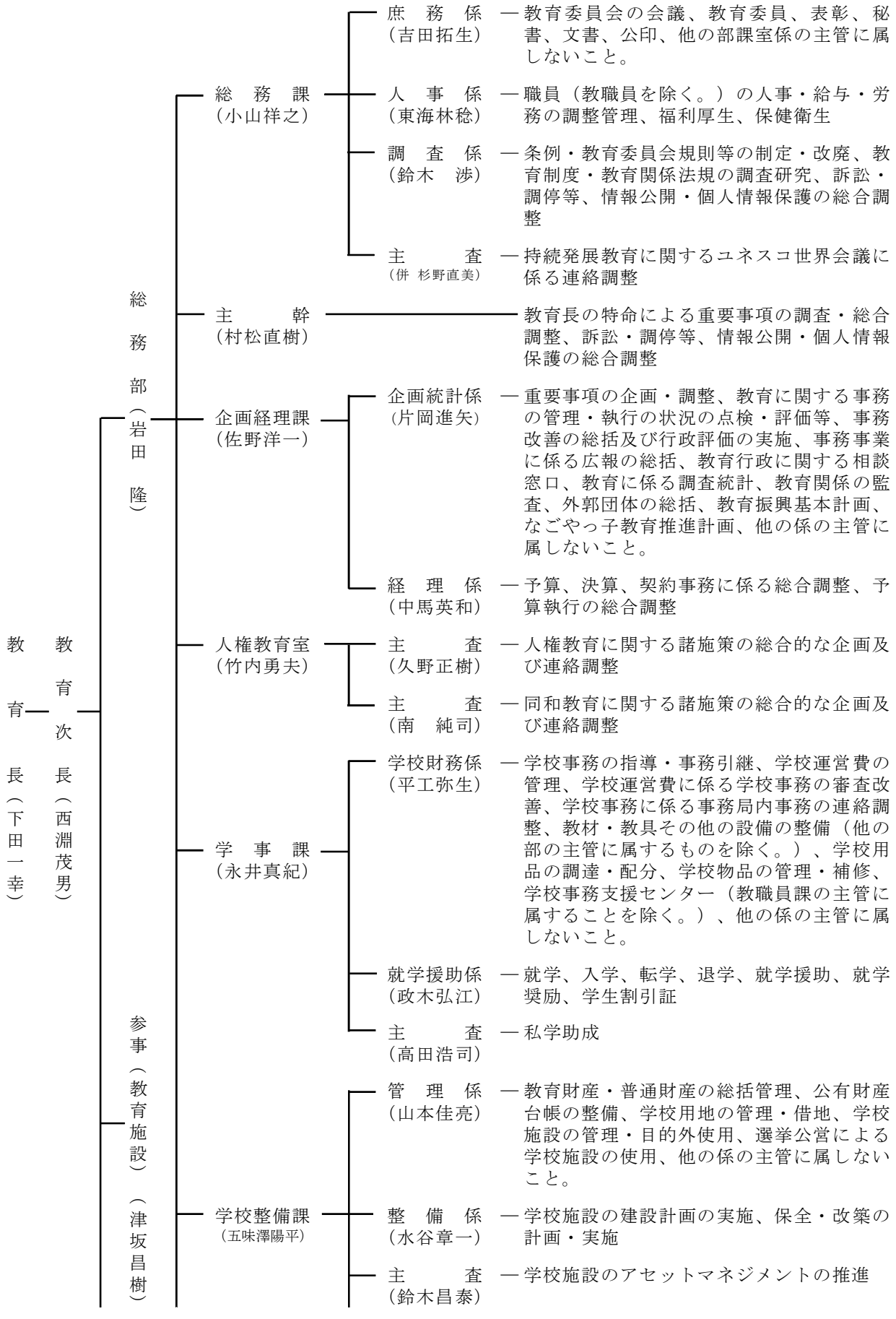
ウ　平成25年度前期主催講座

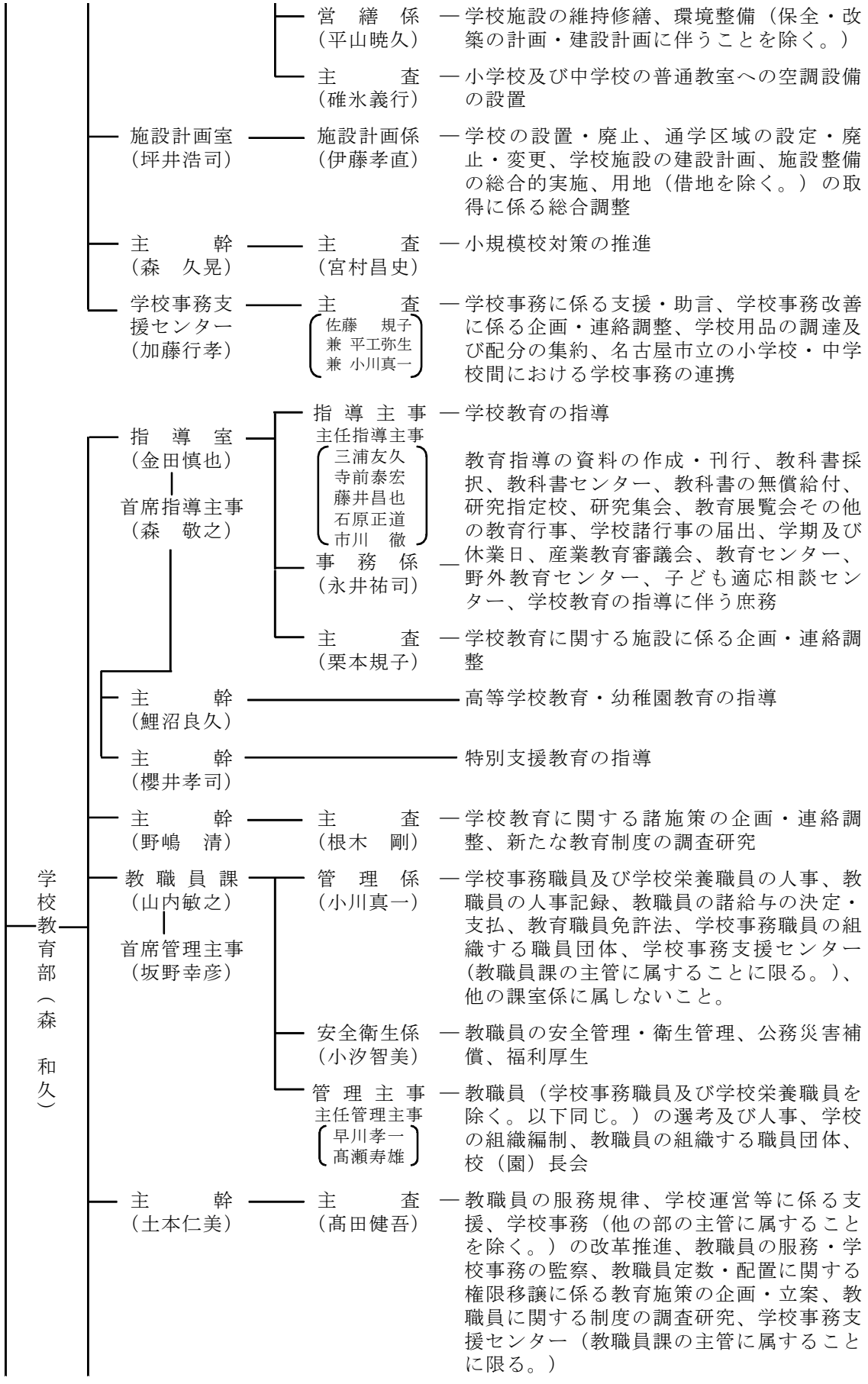
委　員　　（平成25年７月１日現在）

種　別	役　職	氏　名
社会教育関係団体代表	名古屋市港区女性団体連絡協議会役員	谷本雅子
	名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会副会長	中野　桂
	託児の会「たんぽぽ」元会長	桜井真弓
	情報ネットワーク協会会長	山﨑すみ子
学識経験者	名古屋大学大学院教育発達科学研究科長・教育学部長	松田武雄
	南山大学教授	石田裕久
	椙山女学園大学教授	東　珠実
	中日新聞社編集局生活部記者	境田未緒
	公募委員	川久保圭子
行政機関	愛知県県民生活部社会活動推進課男女共同参画室長	伊藤康子
	名古屋法務局人権擁護部第一課長	片野靖江

５　教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等

（１）機構及び事務分掌　　（平成25年7月1日現在）




学校教育部（森　和久）
施設計画室（坪井浩司）
営繕係（平山暁久）
―学校施設の維持修繕、環境整備（保全・改築の計画・建設計画に伴うことを除く。）
主査（碓氷義行）
―小学校及び中学校の普通教室への空調設備の設置
施設計画係（伊藤孝直）
―学校の設置・廃止、通学区域の設定・廃止・変更、学校施設の建設計画、施設整備の総合的実施、用地（借地を除く。）の取得に係る総合調整
主幹（森　久晃）
主査（宮村昌史）
―小規模校対策の推進
学校事務支援センター（加藤行孝）
主査（佐藤　規子 兼 平工弥生 兼 小川真一）
―学校事務に係る支援・助言、学校事務改善に係る企画・連絡調整、学校用品の調達及び配分の集約、名古屋市立の小学校・中学校間における学校事務の連携
指導室（金田慎也）
首席指導主事（森　敬之）
指導主事 主任指導主事（三浦友久 寺前泰宏 藤井昌也 石原正道 市川　徹）
―学校教育の指導
事務係（永井祐司）
―教育指導の資料の作成・刊行、教科書採択、教科書センター、教科書の無償給付、研究指定校、研究集会、教育展覧会その他の教育行事、学校諸行事の届出、学期及び休業日、産業教育審議会、教育センター、野外教育センター、子ども適応相談センター、学校教育の指導に伴う庶務
主査（栗本規子）
―学校教育に関する施設に係る企画・連絡調整
主幹（鯉沼良久）
―高等学校教育・幼稚園教育の指導
主幹（櫻井孝司）
―特別支援教育の指導
主幹（野嶋　清）
主査（根木　剛）
―学校教育に関する諸施策の企画・連絡調整、新たな教育制度の調査研究
教職員課（山内敏之）
首席管理主事（坂野幸彦）
管理係（小川真一）
―学校事務職員及び学校栄養職員の人事、教職員の人事記録、教職員の諸給与の決定・支払、教育職員免許法、学校事務職員の組織する職員団体、学校事務支援センター（教職員課の主管に属することに限る。）、他の課室係に属しないこと。
安全衛生係（小汐智美）
―教職員の安全管理・衛生管理、公務災害補償、福利厚生
管理主事 主任管理主事（早川孝一 高瀬寿雄）
―教職員（学校事務職員及び学校栄養職員を除く。以下同じ。）の選考及び人事、学校の組織編制、教職員の組織する職員団体、校（園）長会
主幹（土本仁美）
主査（髙田健吾）
―教職員の服務規律、学校運営等に係る支援、学校事務（他の部の主管に属することを除く。）の改革推進、教職員の服務・学校事務の監察、教職員定数・配置に関する権限移譲に係る教育施策の企画・立案、教職員に関する制度の調査研究、学校事務支援センター（教職員課の主管に属することに限る。）

- 学校保健課（森川孝次）
  - 保健体育係（谷　茂明）― 学校の保健・安全に関する計画及び環境衛生、児童生徒及び幼児の健康診断及び健康管理、就学時の健康診断、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付事業、保健関係団体、学校体育の指導・奨励並びに学校体育行事の計画及び実施（いずれも他の部の主管に属することを除く。）、学校体育施設及び用具、他の係の主管に属しないこと。
  - 小学校給食係（鈴村良規）主任指導主事（本部鉄男）― 学校給食(中学校スクールランチを除く。)の運営及び同物資の管理、学校給食の衛生管理、学校給食に係る調理及び栄養の指導、学校給食設備の整備、給食関係団体
  - 中学校給食係（遠島春菜）― 中学校スクールランチの運営及び同物資の管理、中学校スクールランチの衛生管理、中学校スクールランチに係る調理及び栄養の指導、中学校スクールランチの設備の整備
- 稲武野外教育センター（木村和良）
  - 副所長（小林由弘）― 野外教育の施設としてセンターを使用させること、野外教育に関する指導・助言・調査研究・図書その他の資料の収集等
- 中津川野外教育センター（角谷京一）
  - 副所長（半谷　徹）― 〃
- 子ども適応相談センター（鬼頭昌也）
  - 教育相談部（古田多佳子）― 不登校児の教育相談･心理療法による治療･相談に関する調査研究、他の部の主管に属しないこと。
  - 適応指導部（伊勢村和生）― 不登校児の学習指導及び生活指導、不登校児の指導に関する調査研究
- 生涯学習課（百合草和善）
  - 企　画　係（坂手重樹）― 生涯学習の推進に関する諸施設の企画・調査及び研究、社会教育委員、生涯学習推進センター・女性会館・図書館(他の係の主管に属することを除く。)、生涯学習センターの総合調整、小学校施設の生涯学習開放、高等学校施設の学習開放、他の課室係の主管に属しないこと。
  - 主　　査（櫻井景子）― 生涯学習センターその他の社会教育施設の管理等に関する合理化、小学校施設の生涯学習開放、生涯学習に関する事業の連絡調整
  - 社会教育主事 主任社会教育主事（髙岸宏幸）― 社会教育に関する事業の企画及び実施に係る専門的事項
  - 社会教育係（事務取扱　髙岸宏幸）― 社会教育に関する諸施策の企画・調査及び研究、成人教育、家庭教育の振興、女性教育、生涯学習推進センター・女性会館の事業、生涯学習センターにおける教育に関する事業の企画及び実施に係る専門的事項、ＰＴＡ、女性教育関係団体、視聴覚教育、学校における部活動（他の課の主管に属することを除く。）
  - 主　　査（平尾隆明）― 女性教育、女性教育関係団体、女性会館

生涯学習部（岩間　千晃）

主幹（併）（16）――主査（併）（1）― 地域の生涯学習の振興

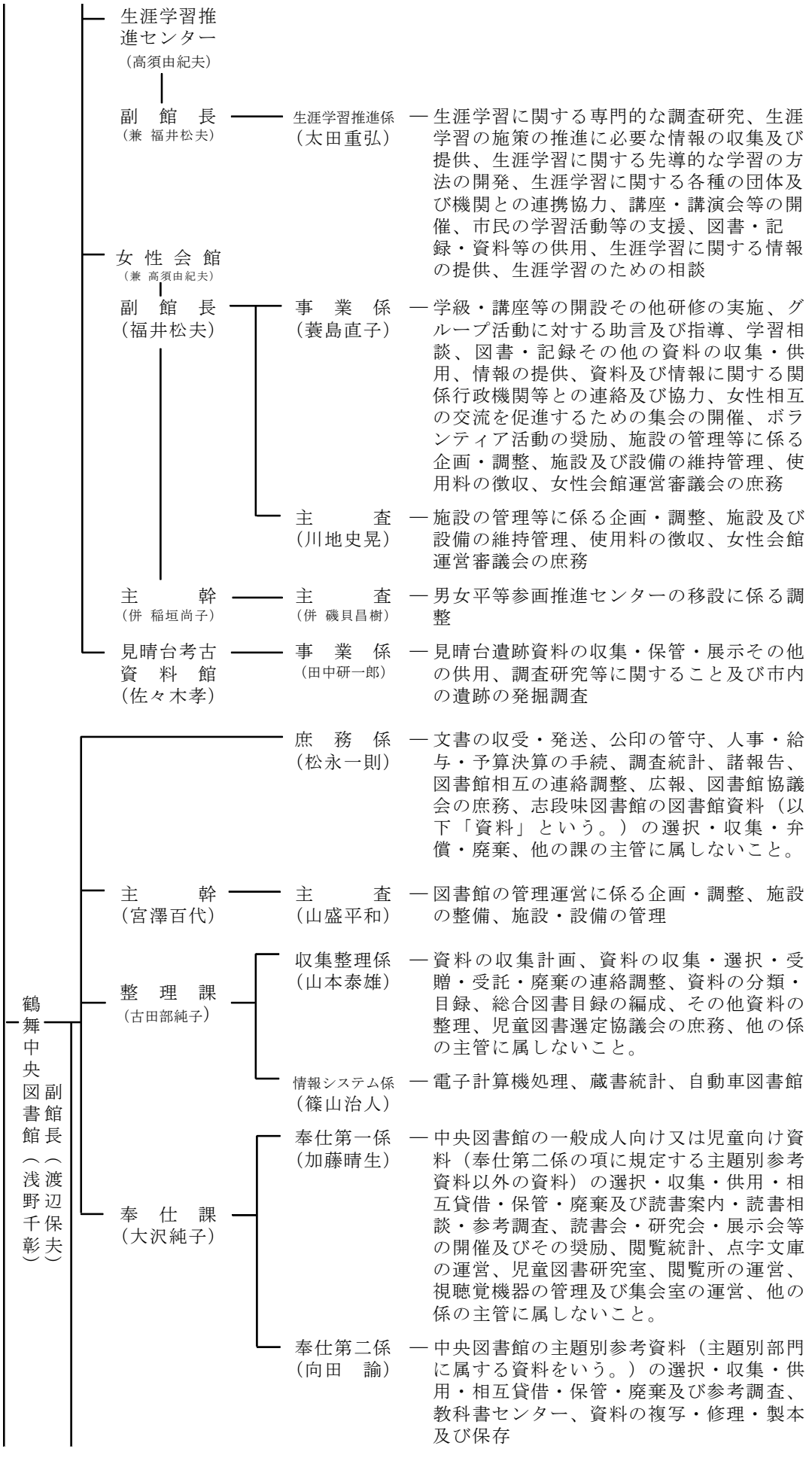
※（併）生涯学習センター館長	
(千種)井上　徹	(熱田)鈴木　竜也
(東)橋本　浩	(中川)小島　浩美
(北)和田　和男	(港)仕明　弘来
(西)牧野　喜市	(南)黒宮　孝二
(中村)堀　淳	(守山)塚本　静夫
(中)古谷伸比固	(緑)杉浦　修二
(昭和)南谷　憲治	(名東)船橋　勝彦
(瑞穂)今井　信行	(天白)加納　繁雄

※（併）生涯学習センター主査（緑）山内　富士男

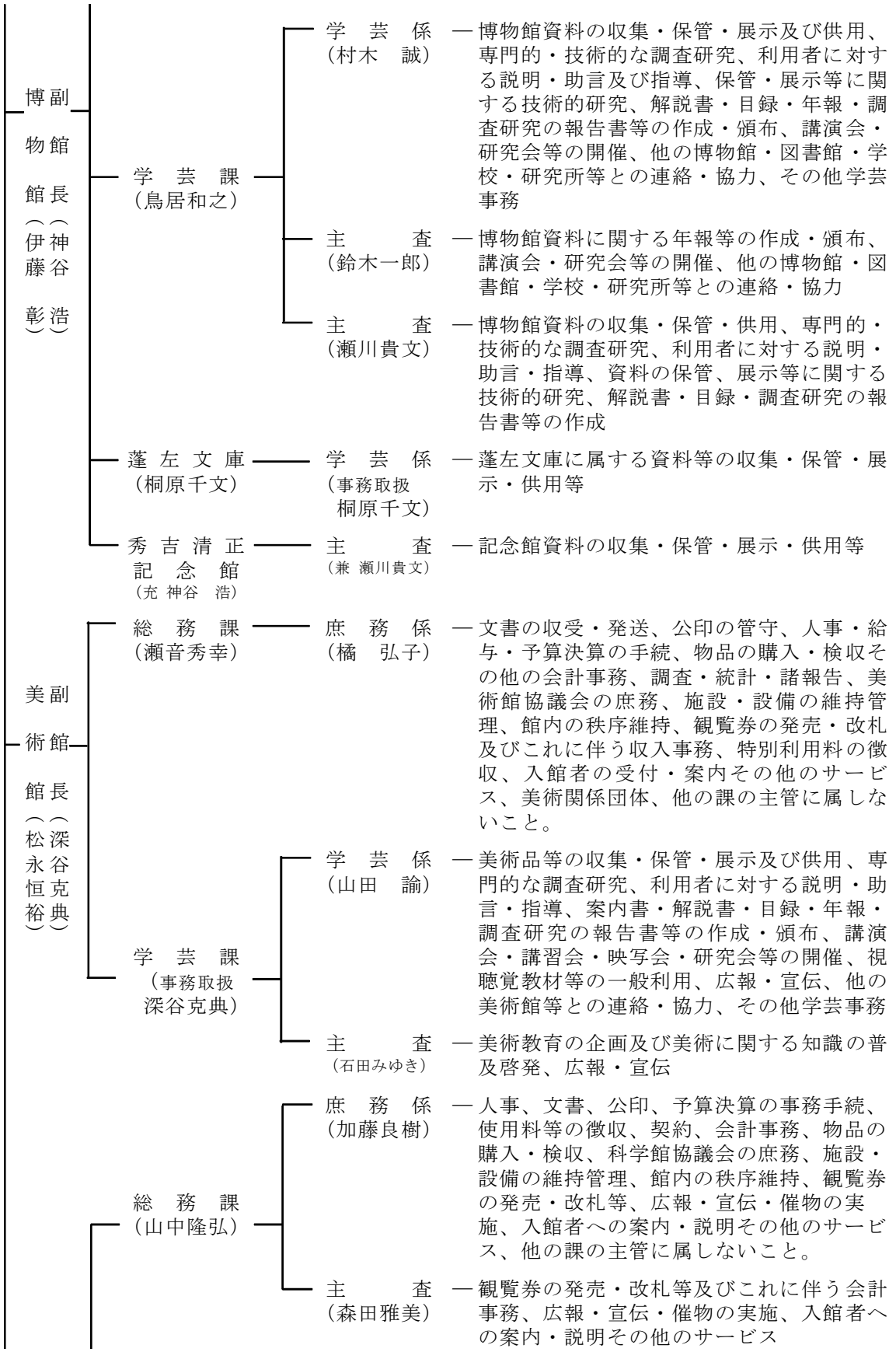
スポーツ振興課（嶌村直樹）
- 市民スポーツ係（佐藤竹里）― スポーツの普及・振興並びに市民スポーツ及びレクリエーションの指導・奨励（いずれも他の係の主管に属することを除く。）、スポーツ推進審議会、体育関係団体及びレクリエーション関係団体（他の係の主管に属することを除く。）、スポーツ推進委員、教育スポーツ協会、他の係の主管に属しないこと。
- 少年スポーツ係（中川　淳）― 少年のスポーツの普及・振興、学校における部活動（体育に係るものに限る。以下「運動部活動」という。）、運動部活動関係団体、運動部活動に関する行事の計画・実施
- 施設係（古賀　望）― 総合体育館、体育館、瑞穂運動場、港サッカー場、プール、名城庭球場、スポーツトレーニングセンター、野外スポーツ・レクリエーションセンター、スポーツ施設の調査・整備計画とその実施、スポーツ施設の管理等に関する合理化、中学校施設のスポーツ開放、瑞穂公園の管理

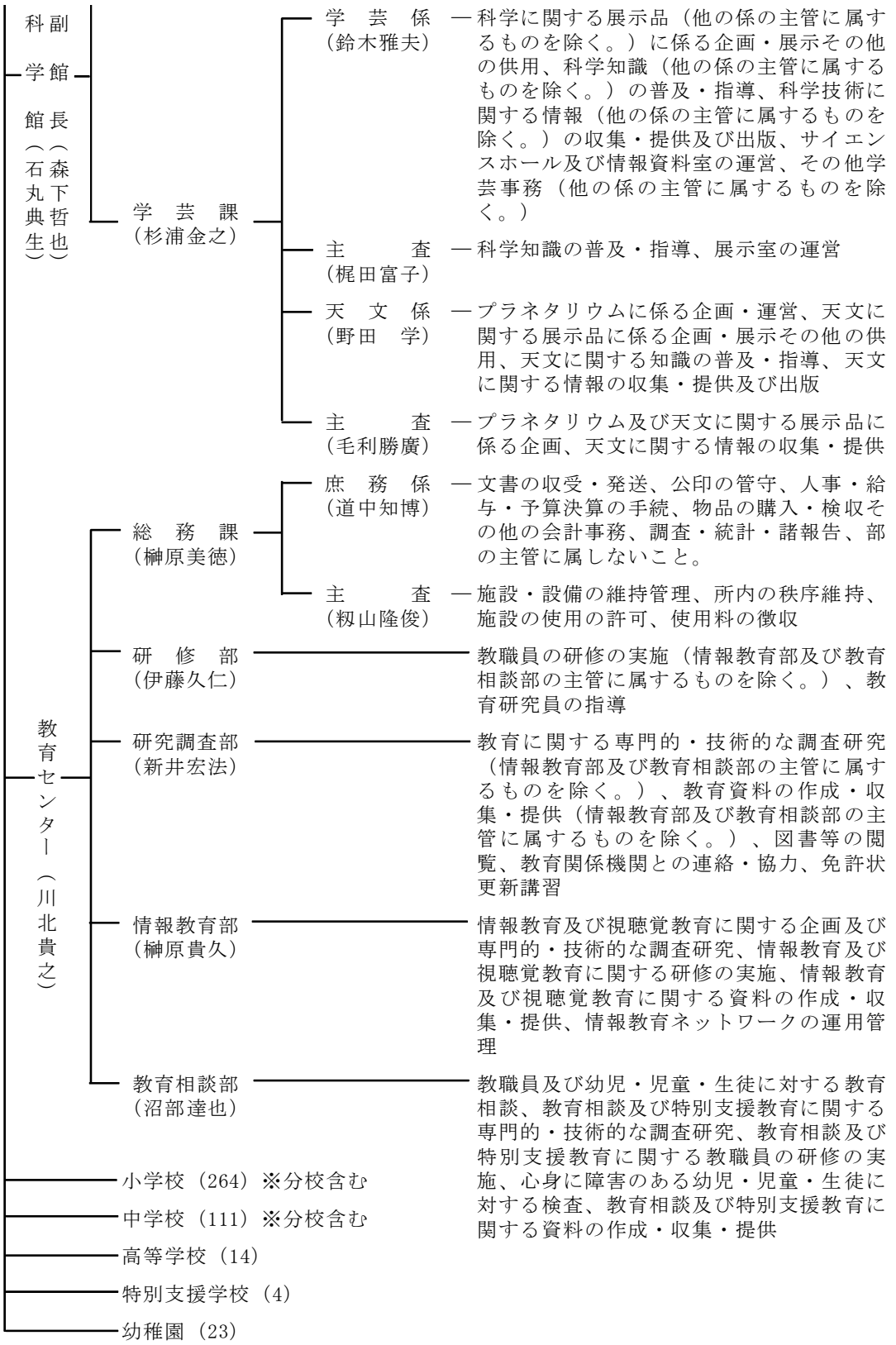
主幹（大坪眞人）
- 総合体育館、体育館、瑞穂運動場、港サッカー場、プール、名城庭球場、スポーツトレーニングセンター、野外スポーツ・レクリエーションセンター、スポーツ施設の調査・整備計画とその実施、スポーツ施設の管理等に関する合理化、中学校施設のスポーツ開放、瑞穂公園の管理
- 主査（勝田将生）― スポーツ施設の調査・整備計画とその実施
- 主査（水野隼人）― スポーツ施設の管理等に関する合理化

文化財保護室（桜井信寿）
- 文化財係（池俣賢二郎）― 文化財の保存活用、埋蔵文化財の保護、文化財調査委員会、文化財関係団体、名古屋市美術品等取得基金の管理、見晴台考古資料館・博物館・美術館・科学館、ユネスコ活動、芸術文化事業の奨励
- 主査（中野　毅）― 歴史の里の整備


鶴舞中央図書館（浅野千彰）
副館長（渡辺保夫）
生涯学習推進センター
（高須由紀夫）
副館長
（兼 福井松夫）
生涯学習推進係
（太田重弘）
生涯学習に関する専門的な調査研究、生涯学習の施策の推進に必要な情報の収集及び提供、生涯学習に関する先導的な学習の方法の開発、生涯学習に関する各種の団体及び機関との連携協力、講座・講演会等の開催、市民の学習活動等の支援、図書・記録・資料等の供用、生涯学習に関する情報の提供、生涯学習のための相談
女性会館
（兼 高須由紀夫）
副館長
（福井松夫）
事業係
（蓑島直子）
学級・講座等の開設その他研修の実施、グループ活動に対する助言及び指導、学習相談、図書・記録その他の資料の収集・供用、情報の提供、資料及び情報に関する関係行政機関等との連絡及び協力、女性相互の交流を促進するための集会の開催、ボランティア活動の奨励、施設の管理等に係る企画・調整、施設及び設備の維持管理、使用料の徴収、女性会館運営審議会の庶務
主査
（川地史晃）
施設の管理等に係る企画・調整、施設及び設備の維持管理、使用料の徴収、女性会館運営審議会の庶務
主幹
（併 稲垣尚子）
主査
（併 磯貝昌樹）
男女平等参画推進センターの移設に係る調整
見晴台考古資料館
（佐々木孝）
事業係
（田中研一郎）
見晴台遺跡資料の収集・保管・展示その他の供用、調査研究等に関すること及び市内の遺跡の発掘調査
庶務係
（松永一則）
文書の収受・発送、公印の管守、人事・給与・予算決算の手続、調査統計、諸報告、図書館相互の連絡調整、広報、図書館協議会の庶務、志段味図書館の図書館資料（以下「資料」という。）の選択・収集・弁償・廃棄、他の課の主管に属しないこと。
主幹
（宮澤百代）
主査
（山盛平和）
図書館の管理運営に係る企画・調整、施設の整備、施設・設備の管理
整理課
（古田部純子）
収集整理係
（山本泰雄）
資料の収集計画、資料の収集・選択・受贈・受託・廃棄の連絡調整、資料の分類・目録、総合図書目録の編成、その他資料の整理、児童図書選定協議会の庶務、他の係の主管に属しないこと。
情報システム係
（篠山治人）
電子計算機処理、蔵書統計、自動車図書館
奉仕課
（大沢純子）
奉仕第一係
（加藤晴生）
中央図書館の一般成人向け又は児童向け資料（奉仕第二係の項に規定する主題別参考資料以外の資料）の選択・収集・供用・相互貸借・保管・廃棄及び読書案内・読書相談・参考調査、読書会・研究会・展示会等の開催及びその奨励、閲覧統計、点字文庫の運営、児童図書研究室、閲覧所の運営、視聴覚機器の管理及び集会室の運営、他の係の主管に属しないこと。
奉仕第二係
（向田 諭）
中央図書館の主題別参考資料（主題別部門に属する資料をいう。）の選択・収集・供用・相互貸借・保管・廃棄及び参考調査、教科書センター、資料の複写・修理・製本及び保存

千種図書館（森園茂樹）	奉仕係（河合和美）	資料の収集・整理・保存・館内供用・個人貸出し・団体貸出し・相互貸借、読書案内・読書相談、読書会等の開催、他の図書館等との協力等
東図書館（服部隆宏）	奉仕係（勅使河原了）	〃
北図書館（山下博文）	奉仕係（山田靖子）	〃
楠図書館（兼 山下博文）	奉仕係（岡部なぎさ）	〃
西図書館（山本和良）	奉仕係（山中隆敏）	〃
山田図書館（兼 山本和良）	奉仕係（天野和彦）	〃
中村図書館（田中文男）	奉仕係（澤木勇司）	〃
瑞穂図書館（田中敦司）	奉仕係（森田和光）	〃
熱田図書館（大島早苗）	奉仕係（岩田孝司）	〃
中川図書館（加藤敏生）	奉仕係（高木聖史）	〃
富田図書館（兼 加藤敏生）	奉仕係（塩沢宏之）	〃
港図書館（安立満裕）	奉仕係（村瀬和正）	〃
南陽図書館（兼 安立満裕）	奉仕係（西　隆子）	〃
南図書館（西村正博）	奉仕係（中村繁夫）	〃
守山図書館（尾田　功）	奉仕係（河口尊洋）	〃
緑図書館（坂東　彰）	奉仕係（中村　剛）	〃
徳重図書館（兼 坂東　彰）	奉仕係（阪口泰子）	〃
名東図書館（岩口りつ子）	奉仕係（大崎　誠）	〃
天白図書館（森　弘美）	奉仕係（細川稔之）	〃
総務課（阪野吉雄）	庶務係（蘆澤耕二）	文書の収受・発送、公印の管守、人事・給与・予算決算の手続、物品の購入・検収その他の会計事務、調査・統計・諸報告、博物館協議会の庶務、観覧券の発売・改札及びこれに伴う収入事務、特別利用料・使用料の徴収、他の課の主管に属しないこと。
	主査（細江智裕）	施設・設備の維持管理、館内の秩序維持、施設の使用の許可、入館者の受付・案内その他のサービス、分館


博物館副館長（伊藤彰浩）（神谷浩）
学芸課（鳥居和之）
学芸係（村木誠）
博物館資料の収集・保管・展示及び供用、専門的・技術的な調査研究、利用者に対する説明・助言及び指導、保管・展示等に関する技術的研究、解説書・目録・年報・調査研究の報告書等の作成・頒布、講演会・研究会等の開催、他の博物館・図書館・学校・研究所等との連絡・協力、その他学芸事務
主査（鈴木一郎）
博物館資料に関する年報等の作成・頒布、講演会・研究会等の開催、他の博物館・図書館・学校・研究所等との連絡・協力
主査（瀬川貴文）
博物館資料の収集・保管・供用、専門的・技術的な調査研究、利用者に対する説明・助言・指導、資料の保管、展示等に関する技術的研究、解説書・目録・調査研究の報告書等の作成
蓬左文庫（桐原千文）
学芸係（事務取扱 桐原千文）
蓬左文庫に属する資料等の収集・保管・展示・供用等
秀吉清正記念館（充 神谷 浩）
主査（兼 瀬川貴文）
記念館資料の収集・保管・展示・供用等
美術館副館長（松永恒裕）（深谷克典）
総務課（瀬音秀幸）
庶務係（橘 弘子）
文書の収受・発送、公印の管守、人事・給与・予算決算の手続、物品の購入・検収その他の会計事務、調査・統計・諸報告、美術館協議会の庶務、施設・設備の維持管理、館内の秩序維持、観覧券の発売・改札及びこれに伴う収入事務、特別利用料の徴収、入館者の受付・案内その他のサービス、美術関係団体、他の課の主管に属しないこと。
学芸課（事務取扱 深谷克典）
学芸係（山田 諭）
美術品等の収集・保管・展示及び供用、専門的な調査研究、利用者に対する説明・助言・指導、案内書・解説書・目録・年報・調査研究の報告書等の作成・頒布、講演会・講習会・映写会・研究会等の開催、視聴覚教材等の一般利用、広報・宣伝、他の美術館等との連絡・協力、その他学芸事務
主査（石田みゆき）
美術教育の企画及び美術に関する知識の普及啓発、広報・宣伝
総務課（山中隆弘）
庶務係（加藤良樹）
人事、文書、公印、予算決算の事務手続、使用料等の徴収、契約、会計事務、物品の購入・検収、科学館協議会の庶務、施設・設備の維持管理、館内の秩序維持、観覧券の発売・改札等、広報・宣伝・催物の実施、入館者への案内・説明その他のサービス、他の課の主管に属しないこと。
主査（森田雅美）
観覧券の発売・改札等及びこれに伴う会計事務、広報・宣伝・催物の実施、入館者への案内・説明その他のサービス



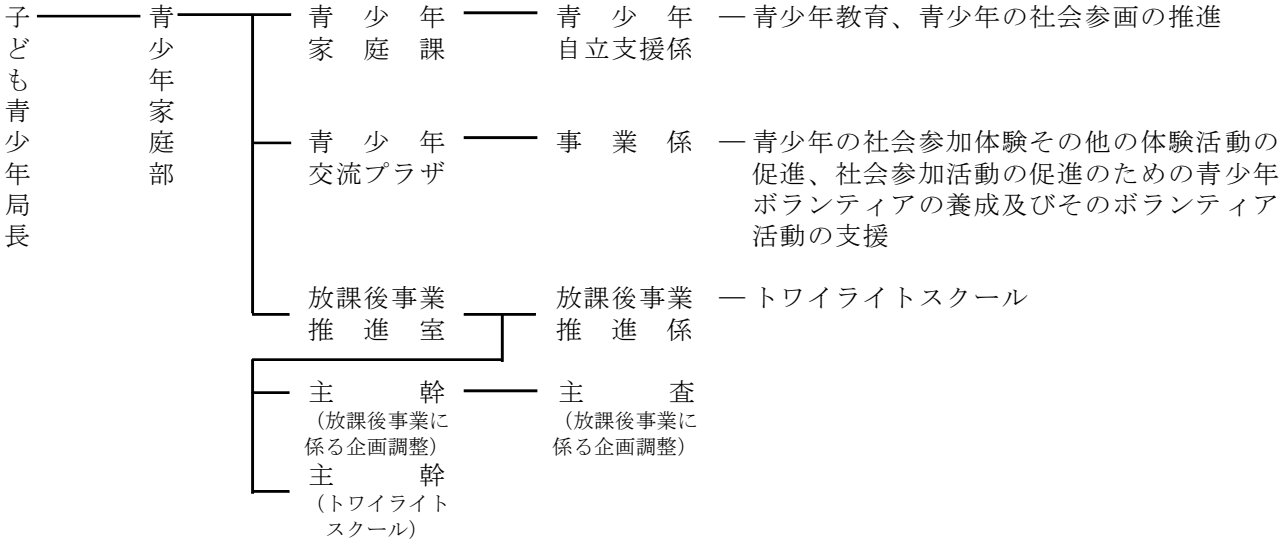
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ派遣

局付理事		局付主査	
〈事務局長〉	平林　幸伸	〈総務課庶務係長〉	川口　義宏
局付主幹		〈総務課経理係長〉	足立　精一
〈総務課長〉	太田　之夫		
〈学校開放課長〉	山田　博文		
〈学校給食課長〉	長谷川新樹		

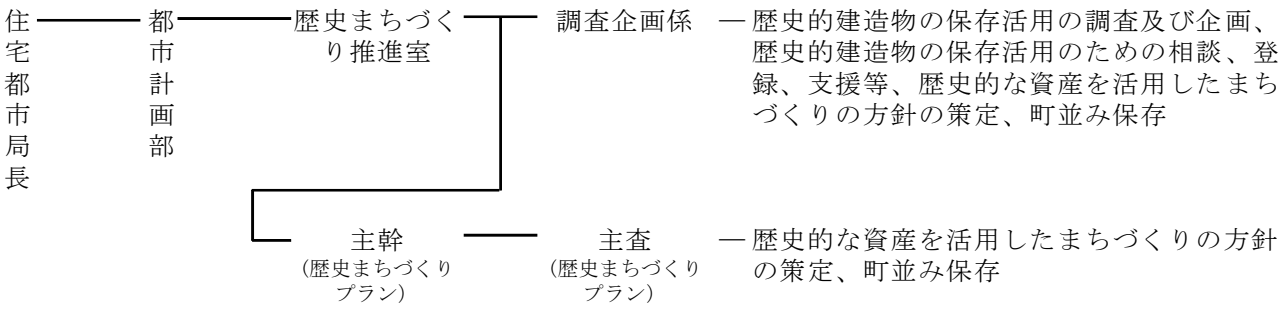
陸前高田市へ派遣

局付主査	畑中恵巳子

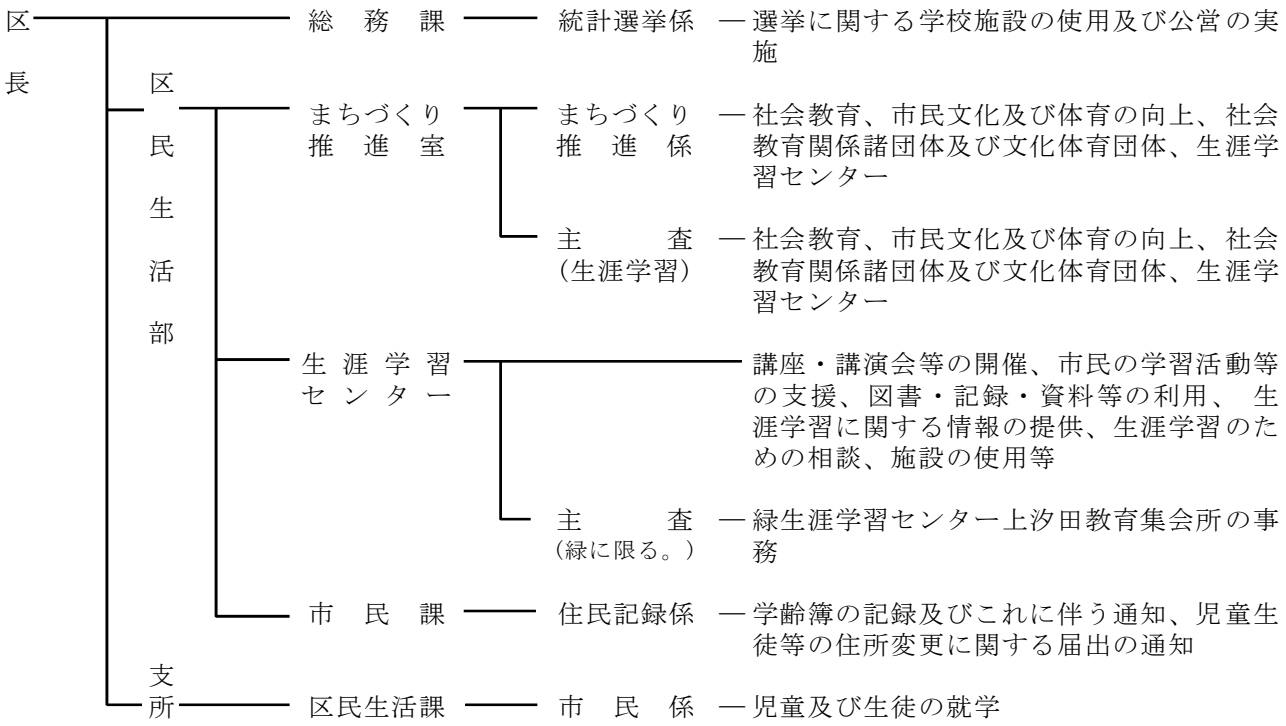
（2）子ども青少年局における教育関係事務



（3）住宅都市局における教育関係事務



（4）区役所（16区）における教育関係事務



組織機構＼職種別	合計	指導主事	社会教育主事	事務職員			技術職員			
				主事等	司書	学芸員	技師等	保健師	管理栄養士	業務士
総計	628	93	33	320	109	45	13	2	5	8
小計（事務局）	288	53	28	191	—	2	5	2	5	2
総務部	104	1	2	99	—	—	1	—	—	1
総務課	27	—	—	26	—	—	—	—	—	1
企画経理課	19	—	—	19	—	—	—	—	—	—
人権教育室	3	—	2	1	—	—	—	—	—	—
学事課	22	—	—	22	—	—	—	—	—	—
学校整備課	24	—	—	23	—	—	1	—	—	—
施設計画室	9	1	—	8	—	—	—	—	—	—
学校教育部	108	51	—	48	—	—	1	2	5	1
指導室	47	30	—	16	—	—	—	—	—	1
教職員課	39	17	—	20	—	—	—	2	—	—
学校保健課	22	4	—	12	—	—	1	—	5	—
生涯学習部	76	1	26	44	—	2	3	—	—	—
生涯学習課	40	—	25	15	—	—	—	—	—	—
スポーツ振興課	26	1	1	23	—	—	1	—	—	—
文化財保護室	10	—	—	6	—	2	2	—	—	—
小計（公所）	340	40	5	129	109	43	8	—	—	6
学校事務支援センター	3	—	—	3	—	—	—	—	—	—
稲武野外教育センター	6	1	—	2	—	—	—	—	—	3
中津川野外教育センター	5	1	—	2	—	—	—	—	—	2
子ども適応相談センター	9	6	—	3	—	—	—	—	—	—
生涯学習推進センター	4	—	2	2	—	—	—	—	—	—
女性会館	8	—	1	7	—	—	—	—	—	—
見晴台考古資料館	12	—	—	3	—	9	—	—	—	—

鶴舞中央図書館	53	—	—	16	36	—	—	—	—	1
千種図書館	8	—	—	2	6	—	—	—	—	—
東図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
北図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
楠図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
西図書館	8	—	—	2	6	—	—	—	—	—
山田図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
中村図書館	8	—	—	2	6	—	—	—	—	—
瑞穂図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
熱田図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
中川図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
富田図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
港図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
南陽図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
南図書館	8	—	—	2	6	—	—	—	—	—
守山図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
緑図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
徳重図書館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
名東図書館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
天白図書館	8	—	—	2	6	—	—	—	—	—
博物館	32	—	—	15	—	14	3	—	—	—
蓬左文庫	4	—	—	2	1	1	—	—	—	—
秀吉清正記念館	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—
美術館	16	—	—	9	—	6	1	—	—	—
科学館	33	—	2	16	—	12	3	—	—	—
教育センター	48	32	—	15	—	—	1	—	—	—

（注）１　教育長を除く。
　　２　事務職員の役職者は主事等に、技術職員の役職者は技師等に含む。
　　３　休職、休業に係る定数外指定の職員を含む。

６　教育委員会所管施設一覧

学校教育施設	幼稚園	23	社会教育施設	生涯学習推進センター	1
	小学校（分校含む）	264		生涯学習センター（分館含む）	17
	中学校（分校含む）	111		女性会館	1
	高等学校	14		総合体育館	1
	特別支援学校	4		体育館	14
	野外教育センター（分館含む）	3		名城庭球場	1
	子ども適応相談センター	1		プール	13
	小計	420		野外スポーツ・レクリエーション施設	2
その他の施設	学校事務支援センター	1		スポーツトレーニングセンター	2
	教育センター（分館含む）	2		瑞穂運動場	1
	小計	3		港サッカー場	1
				図書館（分館含む）	21
				博物館（分館含む）	3
				見晴台考古資料館	1
				美術館	1
				科学館	1
				小計	81
				合計	504

７　広報広聴調査活動

（１）広　報

教育委員会の重点施策や事業は、市の広報紙「広報なごや」あるいはテレビ･ラジオ等を通して幅広く市民に知らせるとともに、市政記者クラブを通じて報道機関へ関係資料を提供した。

ア　きょういくなごや

名古屋市の教育の現状を、写真とグラフなどを使ってわかりやすく表したリーフレット。

イ　教育要覧　平成24年版

平成23年度中における市の教育事業等を集録した。

（２）広　聴

市民の教育に対する「声」を行政に反映させることを目的として市民経済局が行う次のような広聴活動に協力した。

ア　個　別　広　聴（市民の声）

市民からの教育に関する苦情、要望・意見、相談・問合せは、市民経済局広聴課および区役所まちづくり推進室を通じて「市民の声」として寄せられた。平成24年度の総数は544件で、その主な内訳は次のとおりである。

声　の　種　類	件　数	声　の　種　類	件　数
1　学　校　教　育	180	2　生　涯　学　習	285
⑴　入学・転校	10	⑴　成人教育	48
⑵　通学区域	14	⑵　社会教育施設	136
⑶　学校施設	34	⑶　博物館施設	26
⑷　教職員	45	⑷　文化財保護	10
⑸　教育指導・教育相談	63	⑸　スポーツ・レクリエーション	65
⑹　就学支援	2		
⑺　学校給食	12	3　そ　の　他	79

イ　集　会　広　聴

（ア）地域懇談会

地域住民の声を広く聴き、これを行政に反映させるために、区内の各種団体や、小学校の通学区域を単位とする学区民の代表者と、区長をはじめ区内官公所（署）の長や各局関係課長等が懇談する「地域懇談会」を開催している。

平成24年度は、52回開催され、「教育」に関しての事項は33件であった。

（イ）団体広聴

さまざまな団体から、その活動の一つとして、市政に対する要望や意見が提出される。このため、団体への文書回答のほか、団体から要請のある場合は、関係局担当職員との話し合いの場を設け、団体とのコミュニケーションに努めている。

平成24年度は、18団体の要望等が団体広聴として処理されたが、そのうち教育に関する要望等が含まれていたのは、9団体であった。

（３）調査統計

平成24年度に実施した調査統計は次のとおり13件で、このうち文部科学省主管によるものが３件、県教育委員会主管によるものが３件、市教育委員会が独自に実施したものが７件であった。

＜平成24年度実施の調査統計一覧＞

調査件名	調査実施月	対象と方法	調査事項	主管
学校基本調査	24年５月			文　部科学省
学校調査		市立学校（悉皆）	学校、在学者、学級数等	
卒業後の状況調査		中・高（悉皆）	卒業者数、進学者数等	
不就学学齢児童生徒調査		市教委・区役所（悉皆）	理由別不就学者数	
学校保健統計調査	24年４月	市立学校（標本）	発育・健康状態	〃
地方教育費調査	24年６月	市立学校・市教委（悉皆）	学校教育費、社会教育費及び教育行政費の使途別、財源別支出状況等	〃
中学校卒業者の進学状況調査	24年５月	中学校（悉皆）	高等学校進学者等	県教委
高等学校入学状況調査	24年５月	高等学校（悉皆）	志願者・入学者数	〃
中学校卒業見込者の進路希望状況調査	24年９月 12月	中学校（悉皆）	高等学校への進学希望者数	〃
幼児児童生徒数、学級数、教職員数調査	24年４月	市立学校（悉皆）	在学者数、学級数、教職員数	市教委
小学校卒業者の進学状況調査	24年４月	小学校（悉皆）	設置者別中学校入学状況	〃
高等学校卒業者の進路状況調査	24年４月	高等学校（悉皆）	進学者、就職者数等	〃
学校保健調査	24年４月	市立学校（悉皆）	発育状況、健康状態	〃
長期欠席児童生徒数調査	24年４月	小・中（悉皆）	欠席日数、欠席理由、欠席中の状態等	〃
幼児人口実態調査	24年４月	区役所（悉皆）	学区別幼児（0～5歳）数	〃
義務教育人口の推計	24年５月	市教委、小･中学校（悉皆）	学校別児童生徒数、学級数、教職員数	〃

８　企画調整事務

企画調整事務は、教育委員会内の重要事項の企画調整並びに他の局等に関わり合いをもつ事務事業についての連絡調整である。各種計画の教育委員会における対応をはじめ、教育委員会内の全般の事務事業について総合的・有機的な執行のための潤滑油的な役割を担っている。

（１）教育委員会内の重要事項の総合調整

教育委員会の重要事業計画及び教育委員会内重要事項の事前・事後調整

（２）複数の局室区にわたる重要事項の連絡調整

総合調整会議にかかる議案の事前調整、その決定事項の事後調整、進行管理

（３）教育長・教育次長の特命による事務事業

教育委員会内各課間における分掌事項の間隙部分に対する対応措置の立案

（４）規程に基づく事務

ア　計画主任の事務（計画主任設置規程）

イ　広報幹事の事務（名古屋市広報広聴事務取扱規程）など

○　本市の計画

計　画　の　名　称	教育委員会関係部分	備　　考
名古屋市基本構想	Ⅳ－３　市民の教育と文化	昭和52年12月20日 市議会で議決
名古屋市中期戦略ビジョン	施策　6, 7, 8, 9, 11, 12, 14, 22, 28, 29, 32, 38の該当部分	平成22年９月28日 市議会で議決 （～平成24年度まで）

９　争　訟　事　務

（１）教職員に係る勤務条件に関する措置要求

平成24年度中に市人事委員会の判定又は決定があった勤務条件に関する措置要求は、２件である。

ア　平成24年４月10日提出の件（平成24年人委（措）第１号）　要求者　中学校教諭

勤務時間内に終了できなかった業務について、持ち帰り残業を強要しないこと及び持ち帰り残業を強要する発言を撤回すること等

（平成24年６月20日名古屋市人事委員会判定「要求棄却・要求却下」）

イ　平成24年４月24日提出の件（平成24年人委（措）第２号）　要求者　中学校教諭

登校指導については、勤務時間外に行わざるを得ず、違法な時間外勤務が生じていることから、勤務時間内に登校指導が行えるように、生徒の登校完了時刻を遅らせること等

（平成24年８月29日名古屋市人事委員会判定「要求棄却」）

（２）教職員に係る不利益処分についての不服申立て

ア　平成22年７月23日提出の件（平成22年人委（不）第１号）不服申立人　元中学校事務職員

平成22年５月28日付で処分庁のなした懲戒免職処分は、処分の前提となる事実認定に誤りがあるなど違法・無効であるので取り消されるべきである。

（現在名古屋市人事委員会において審理中である。）

（３）学校事故に係る訴訟事件

ア　損害賠償請求事件（平成24年（ワ）第4219号）

原告　元中学校の生徒及びその保護者

被告　名古屋市

平成21年度に、当時中学２年生の生徒であった原告が、授業中に左腕を骨折したことについて、怪我への対応及び調査が適切にされなかったとして、慰謝料 144万円の支払いを請求して、平成24年９月13日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

（４）その他の訴訟事件

ア　損害賠償請求事件（平成18年（ワ）第5419号等）

原告　元中学校生徒の保護者

被告　名古屋市

平成15年５月に、当時中学３年生の生徒が自殺を図ったことに対して、原告はいじめを苦にした自殺を疑い、学校に対して原因の調査を要望したが、学校はいじめの事実や原因について十分に調査・説明する義務があるにもかかわらず、学校の対応は不誠実であり、精神的苦痛を受けたとして、慰謝料等 550万円の支払いを請求して、平成18年12月26日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成22年３月30日に、請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として平成22年４月12日名古屋高等裁判所に控訴したが、平成23年１月27日に、控訴

棄却の判決があった。控訴人は平成23年２月８日上告及び上告受理の申立てをしたが、平成25年１月31日に、上告棄却及び上告受理申立不受理の決定があった。

イ　慰謝料等請求事件（平成22年（ワ）第6642号等）

原告　元小学校児童及びその保護者

被告　名古屋市

平成19年度に、当時小学６年生の児童であった原告が、同級生児童からのいじめを受けたことに対して、担任を始めとする小学校教員らはいじめ等を認識していたにもかかわらず、適切な指導監督処置を怠ったことにより不登校に追い込まれたとして、精神的苦痛を受けた慰謝料等 330万円の支払いを請求して、平成22年９月24日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成25年１月31日に請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として同年２月18日名古屋高等裁判所に控訴し、現在係属中である。

ウ　建物収去土地明渡請求事件（平成24年（ワ）第1460号）

原告　名古屋市

被告　原告所有土地を占有する市民ほか１名

名古屋市が旧国民学校用地として取得した土地について、売買後も占有を継続している者に対し、建物収去及び土地明渡し等を請求して、平成24年３月30日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

エ　通勤手当請求事件（平成24年（行ウ）第92号等）

原告　小学校学校用務業務員

被告　名古屋市

学校用務業務員として小学校に勤務する原告が、通勤費用（運賃等相当額）の費用弁償として通学定期券価額が支払われたのは違法であるとして、通勤定期券価額での支払いを請求して、平成24年８月21日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成25年１月15日に請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として同月29日名古屋高等裁判所に控訴し、現在係属中である。

オ　地位確認請求事件（平成24年（行ウ）第95号）

原告　高等学校教諭

被告　名古屋市

高等学校の元教頭である原告が、教頭辞退願を提出し教諭へ降任されたが、当該意思表示は錯誤無効であるとして、教頭職たる地位にあることの確認を求めて、平成24年８月23日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

カ　国家賠償等請求事件（平成24年（ワ）第4962号等）

原告　中学校教諭

被告　名古屋市

中学校の教諭である原告が、養母の法要のため特別休暇を申請したことについて、校長が確認のため自宅に電話をかけたことはパワーハラスメントであるとして、慰謝料20万円の支払いを請求して、平成24年８月31日名古屋簡易裁判所に提訴したものである。被告名古屋市はこれに対し名古屋地方裁判所への移送を申立て、同年10月15日に名古屋簡易裁判所が移送

を決定した。現在係属中である。

キ　違法確認請求事件（住民訴訟）（平成24年（行ウ）第 110号）

原告　中学校教諭

被告　名古屋市

中学校の教諭である原告が､学校で購入した図書と新聞が校長に私物化されているとして、図書の購入に係る公金支出と財産（図書・新聞）の管理について、違法の確認を求め、平成24年10月５日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

ク　損害賠償請求事件（平成25年（ワ）第 745号）

原告　元中学校の生徒及びその保護者

被告　名古屋市

平成24年４月から５月上旬に、当時中学生であった原告が、同級生生徒らからのいじめを受けたことに対して、いじめを防止できなかったこと及び事案把握後の学校側の対応に対する慰謝料等として、 1,760万円の支払いを請求して、平成25年２月25日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

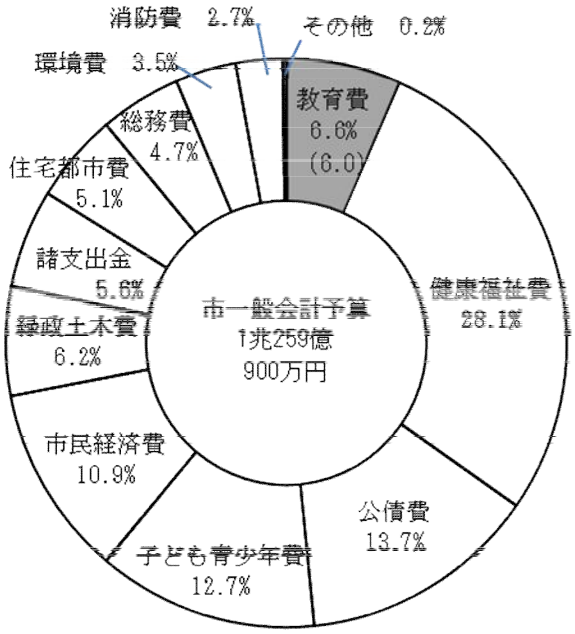
第２章　教　育　財　政

１　平成25年度教育関係予算の概要

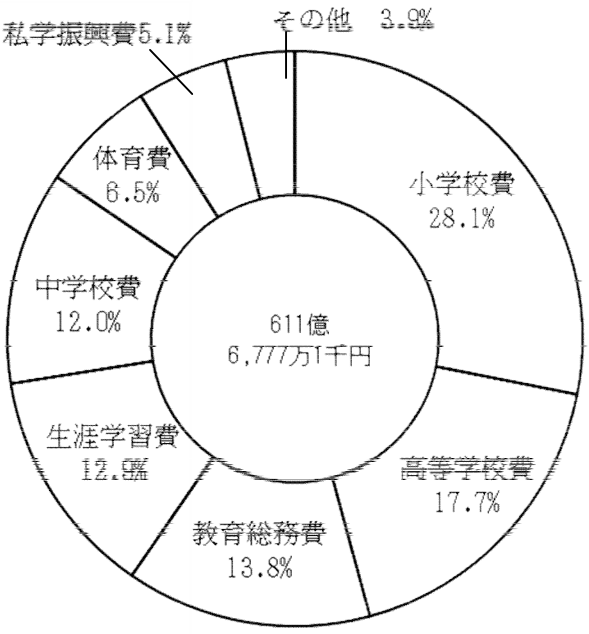
（１）平成25年度当初予算

教育委員会所管予算額は、611億6,777万1千円で、一般会計の総額1兆259億900万円のうち6.0%を占めている。

一般会計予算内訳（単位%）



教育委員会所管予算科目別内訳（単位%）



教育費（　）は、教育委員会所管分

当初予算の科目別内訳

科　　目	25年度 予算額	24年度 予算額	増△減	主　な　内　容
	千円	千円	千円	
教育総務費	8,417,411	8,451,650	△34,239	
教育委員会費	10,919	8,700	2,219	委員会の運営費
事務局費	2,945,398	2,937,702	7,696	教職員の人事管理費、職員の人件費始め事務局運営費
教育指導費	1,804,558	1,733,045	71,513	学校教育の指導・支援費及び子ども適応相談センターの運営費
学校保健体育費	1,129,524	1,108,557	20,967	学校医等の報酬、学校保健衛生対策費及び学校体育振興費

科　　目	25年度 予算額	24年度 予算額	増△減	主　な　内　容
	千円	千円	千円	
教育奨励費	1,786,369	1,894,737	△108,368	要・準要保護児童生徒及び定時制高校生の就学奨励事業費
教育センター費	469,095	508,477	△39,382	教育センターの運営費
野外教育センター費	271,548	260,432	11,116	稲武・中津川野外教育センター、野外学習センターの運営費
小学校費	17,168,219	17,616,550	△448,331	
学校管理費	15,467,162	15,792,437	△325,275	小学校264校の運営費
学校整備費	1,701,057	1,824,113	△123,056	改築（１校）の工事費、増築（１校）の工事費
中学校費	7,331,288	7,164,142	167,146	
学校管理費	6,406,811	6,541,877	△135,066	中学校111校の運営費
学校整備費	924,477	622,265	302,212	新築（１校）の工事費、増築（１校）の工事費
高等学校費	10,806,819	11,028,139	△221,320	
学校管理費	10,806,819	11,028,139	△221,320	全日制13校、定時制２校の運営費
幼稚園費	1,786,393	1,687,225	99,168	
幼稚園費	1,786,393	1,687,225	99,168	幼稚園23園の運営費
特別支援学校費	650,449	625,379	25,070	
学校管理費	650,449	625,379	25,070	特別支援学校４校の運営費
私学振興費	3,136,170	3,083,904	52,266	
私学振興費	3,136,170	3,083,904	52,266	私立高校生、私立幼稚園児の授業料補助など各種助成
生涯学習費	7,889,119	7,716,397	172,722	
生涯学習推進費	4,375,143	4,378,589	△3,446	生涯学習の推進、学校開放事業の実施、部活動の振興、成人・女性教育の振興、文化財の保護及び職員の人件費
生涯学習施設費	633,543	633,483	60	生涯学習センター（16館）、生涯学習推進センター、女性会館、見晴台考古資料館等生涯学習施設の運営費

科　　目	25年度 予算額	24年度 予算額	増△減	主　な　内　容
	千円	千円	千円	
図　書　館　費	1,053,352	1,009,894	43,458	図書館（21館）の運営費
博　物　館　費	371,832	376,798	△4,966	博物館の運営費
科　学　館　費	662,051	667,309	△5,258	科学館の運営費
美　術　館　費	208,178	208,466	△288	美術館の運営費
生　涯　学　習 施　設　整　備　費	585,020	441,858	143,162	瑞穂図書館移転改築
体　　育　　費	3,981,903	4,341,103	△359,200	
体　育　振　興　費	3,981,903	4,341,103	△359,200	市民スポーツの振興費及び総合体育館、スポーツセンター（13館）、市営プール（13か所）、瑞穂運動場、志段味スポーツランド等市民体育施設の運営費
計	61,167,771	61,714,489	△546,718	

（２）当初予算の推移（教育委員会所管分）

年　度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
（百万円） 教 育 費	74,391	75,885	73,103	72,834	69,943	70,327	78,204	66,829	61,715	61,168
（%） 対前年 度伸率	△0.9	2.0	△3.7	△0.4	△4.0	0.5	11.2	△14.5	△7.7	△0.9

２　新規・拡充事業及び重点施策

◆学校教育＜４９２億９７百万円＞

事項	主な内容
中学校（守山区）の新設	●志段味中学校から分離
特別支援学校分校整備の設計	●児童・生徒数の増加による教室不足を解消するために、小学校の余裕教室を活用し、南養護学校の分校を設置
いじめ防止教育プログラムの作成・実施	●いじめ防止に係る教育プログラムを作成し、児童・生徒に対していじめの具体的対処に関するスキルトレーニング等を実施
インターネット上におけるいじめ対策	●インターネット上における児童・生徒に関する誹謗中傷等問題のある書き込みについて、検索・監視・削除依頼等を行うとともに学校からの相談を受付
学校における仲間づくり推進事業	●児童・生徒が互いに思いやる心を身につけ、友情を深め合うための自主的ないじめ防止活動を推進
いじめ対策検討会議の設置	●いじめに関する施策や取組状況について、外部有識者等による幅広い視点からの点検を定期的に実施
子ども適応相談センターサテライトスクールの整備	●子ども適応相談センターの通所者数の増加への対応及び市内南部方面の不登校児童・生徒の学校復帰への取組を促進するため、サテライトスクールを南区に整備
肢体不自由学級設置校へのエレベーター整備の設計	●中学校の肢体不自由学級設置校におけるエレベーター整備の設計
魅力ある高等学校づくり	●市立高等学校の魅力と特色づくりを推進するため、理数・英語教育の充実及び企業・大学との連携等を実施するとともに、高校生が名古屋の歴史や文化について学べる英語版副教材を作成
スクールカウンセラーの配置	●いじめ問題等の悩みを抱える児童・生徒や保護者等へのカウンセリング体制の充実
学習支援講師の配置	●基礎学習、発展学習、日本語教育の指導、不登校児童・生徒や発達障害児童・生徒への対応のため非常勤講師を配置
幼稚園における預かり保育の実施	●子育て支援の一環として、在園児に対して預かり保育を実施
発達障害対応支援員の配置	●発達障害のある幼児・児童・生徒の介助等を行うための支援員を配置
海外演奏家等による音楽鑑賞の推進	●海外の演奏家等による生の演奏会を実施
日本語指導が必要な児童・生徒の支援	●日本語指導が必要な児童・生徒の日本語習得と学校生活への適応を図る施策を実施

精神科学校医の配置	●生徒のメンタルヘルス対策として中学校に精神科の学校医を配置
高等学校入学準備金の貸与	●経済的理由により修学困難な生徒に対し、入学準備金を貸与
中学生による陸前高田市との交流	●本市及び陸前高田市教育委員会で締結した絆協定に基づき、交流事業として中学生の派遣、受入を実施
小・中学校の耐震改修	●建物強度確認調査の結果、耐震性が不十分と判断された校舎について、耐震改修を実施
小学校１・２年生での30人学級の実施	●集団生活への適応を図るため、小学校１・２年生における 30 人学級を全校で実施
名古屋港スタディーツアー	●郷土に対する理解を深めるため、小学校４年生を対象として海上からの名古屋港見学を実施
小学校校舎の改築	●志段味東小学校
校舎等の大規模改造の設計	●昭和 55 年以前に建設された校舎等の内装・外壁・屋上防水等工事の設計
学校のリニューアル改修の設計	●築 40 年程度の学校施設を対象に、内外装の改修、設備機器の更新等を行うリニューアル改修を、試行的に実施するための設計
学校現場における外部人材の活用	●学校の活性化を図り、児童・生徒の育成を支援するため、人生経験豊富な人材を配置

◆生涯学習等＜１１８億７１百万円＞

事項	主な内容
瑞穂図書館の移転改築	●文化小劇場と合築
子どもの読書活動の推進	●読書環境を整え、読書が好きな子どもを増やすことを目標に、第２次名古屋市子ども読書活動推進計画に基づいた事業を実施
緑図書館のリニューアル改修調査	●バリアフリー対策や耐震対策が未実施である緑図書館について、内外装の改修、設備機器の更新等を行うリニューアル改修を実施
スポーツ推進計画の推進	●スポーツ推進計画の着実な進捗を図るため、民間活力を活かしたイベント等を実施
歴史の里基本計画の策定	●貴重な歴史的資産である守山区上志段味地区古墳群等を活用し、歴史を身近に感じ、体験・学習できるエリアに整備するため基本計画を策定
女性会館の改修	●男女平等参画推進センターの女性会館への移転に伴う改修を実施

瑞穂公園陸上競技場の改修	●第１種公認競技場として継続認定を受けるためのフィールド整備等
芸術と科学の杜	●白川公園一帯のまちの賑わいを創出するため、美術館、科学館及び周辺施設が連携した事業を実施

３　小・中学校標準運営費

標準運営費とは、各教科等教育活動に要する経費及び学校の維持管理等に要する経費（人件費、光熱水費等を除く。）の標準を算定したものである。

（１）標準運営費の推移

区分／年度	小学校				中学校			
	校数	予算額	１校平均	児童１人平均	校数	予算額	１校平均	生徒１人平均
	校	千円	千円	円	校	千円	千円	円
16	260	3,430,490	13,194	28,741	110	1,998,374	18,167	37,892
17	260	3,087,441	11,875	25,871	110	1,798,542	16,350	34,365
18	260	2,886,757	11,103	24,014	110	1,681,637	15,288	31,856
19	261	2,800,154	10,729	23,354	110	1,631,188	14,829	30,513
20	262	2,800,154	10,688	23,404	110	1,631,188	14,829	30,631
21	263	2,800,154	10,647	23,548	110	1,631,188	14,829	30,594
22	262	2,800,154	10,688	23,813	110	1,631,188	14,829	30,718
23	262	2,800,154	10,688	24,356	110	1,631,188	14,829	30,421
24	263	2,810,842	10,688	24,694	110	1,631,188	14,829	30,337
25	264	2,809,284	10,641	24,980	111	1,632,660	14,709	30,590

（注）事務局等で一括支払又は一括購入する経費を含む。

（２）平成25年度１校当たり標準運営費

科目＼区分	小学校			中学校		
	25予算	24予算	対前年比較	25予算	24予算	対前年比較
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
報償費	69	70	△1	103	105	△2
交際費	6	6	0	6	6	0
需用費	5,241	5,265	△24	7,050	7,103	△53
（消耗品費）	(4,707)	(4,726)	(△19)	(5,868)	(5,919)	(△51)
（燃料費）	(4)	(4)	(0)	(6)	(6)	(0)
（食糧費）	(18)	(18)	(0)	(17)	(17)	(0)
（印刷製本費）	(286)	(289)	(△3)	(931)	(932)	(△1)
（修繕料）	(178)	(179)	(△1)	(178)	(178)	(0)
（賄材料費）	(48)	(49)	(△1)	(50)	(51)	(△1)
役務費	304	305	△1	471	475	△4
（通信料）	(257)	(258)	(△1)	(396)	(400)	(△4)
（手数料）	(47)	(47)	(0)	(75)	(75)	(0)
委託料	347	348	△1	405	408	△3
使用料及び賃借料	21	22	△1	65	66	△1
工事請負費	1,797	1,804	△7	2,061	2,079	△18

原　材　料　費	47	47	0	59	60	△1
備　品　購　入　費	2,799	2,811	△12	4,474	4,512	△38
（庁用備品費）	(849)	(852)	(△3)	(797)	(803)	(△6)
（事業用備品費）	(1,022)	(1,027)	(△9)	(1,952)	(1,968)	(△32)
（図書費）	(928)	(932)		(1,725)	(1,741)	
負担金補助及び交付金	10	10	0	15	15	0
合　　計	10,641	10,688	△47	14,709	14,829	△120

４　マイスクールプラン

小・中・高等学校、特別支援学校では、様々な体験活動や既存の教科の枠を超えた学習を行う等、多彩な特色ある教育活動や学校づくりを「マイスクールプラン」として実施している。

第３章　計　画　の　推　進

１　名古屋市教育振興基本計画

（１）計画の概要

名古屋市教育振興基本計画は、平成19年度から平成22年度までの中期計画として、平成19年３月に策定されたなごやっ子教育推進計画の後継計画として平成23年３月に策定された。

この計画では、現在の本市教育を取り巻く環境を踏まえた施策展開を効果的に進めていくため、計画の対象範囲を、名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階などにおける教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策としている。

ア　基本理念

この計画では、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を計画の基本理念とし、以下に掲げる資質を持った「なごやっ子」像をめざしている。

（ア）なごや（郷土）が大好きで、なごや（郷土）をもっとよくしたいと望んでいる
（イ）豊かな感性と創造力を備える
（ウ）社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
（エ）人生をたくましく生きる力を備える
（オ）未来への夢を抱き、学び成長し続ける

イ　計画期間

平成 23 年度～平成 26 年度（４年間）

（２）課題としてみられること

ア　名古屋における教育
イ　学校づくり、教育的ニーズへの対応
ウ　親子のふれあい、地域のつながり
エ　名古屋の教育制度
オ　生涯学習

（３）施策の基本的方向

ア　「なごやっ子」としての資質を育む“学び”の提供
イ　教育環境の整備と、教員の意欲・資質の向上
ウ　学校・家庭・地域の連携
エ　教育関連制度の改革・改善
オ　生涯を通じた学びの支援

２　名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針

平成21年９月に名古屋市学校教育研究協議会から、名古屋市における小・中学校の適正規模、学校規模適正化の対象などの検討結果が報告された。

この協議会からの報告を踏まえ、平成 22 年３月に「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」を策定した。

＜基本方針の概要＞

（１）学校規模の基準

望ましい学校規模は、小・中学校ともに、少なくとも各学年でクラス替えができる規模とする。

ア　望ましい学校規模（適正規模）

（ア）小学校　12 学級から 24 学級

（イ）中学校　６学級以上は必要（９学級から 18 学級が望ましい）

イ　学校規模適正化の対象

（ア）小学校　11 学級以下

（イ）中学校　５学級以下

ウ　学校規模適正化の方法

（ア）学校の統合

（イ）通学区域の変更

エ　通学距離

徒歩通学を基本とし、小学校で概ね２ｋｍ、中学校で概ね３ｋｍ

（２）学校規模適正化の進め方

・教育的課題が大きい小学校を優先して学校規模適正化に取り組む。

・中学校については、現段階では対象とせず、小学校の進捗状況等を勘案して改めて検討する。

ア　対象校選定の考え方

平成 22 年５月１日現在の学級数を基に、幼児人口により把握した将来の学級数による。

イ　対象校の優先順位

対象となるすべての学校を一斉に実施することはできないため、グループ分けを行い、クラス替えができない第１グループから段階的に順次取り組む。

（ア）第１グループ

平成 22 年５月１日現在、６学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

（イ）第２グループ

・　平成 22 年５月１日現在、６学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内に６学級でなくなる見込みの学校（７学級から 11 学級になる見込みの学校）

・　平成 22 年５月１日現在、７学級から 11 学級の学校で、実施計画期間内に６学級になる見込みの学校

（ウ）第３グループ

平成 22 年５月１日現在、７学級から 11 学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

ウ　実施計画の策定

（ア）実施計画を平成 22 年度に定め、幼児人口が把握できる６年ごとに見直す。

（イ）学校の組合せは、中学校ブロック内の小学校同士で 12 学級から 24 学級となる組合せとする。

（ウ）通学距離が２ｋｍを大幅に超える場合は、通学区域の変更での対応を検討する。

（エ）組合せを検討する際には、学校の沿革や歴史、地域の特性、校地・校舎の状況などの諸条件を勘案する。

（３）取り組みの際の留意点

保護者や地域の皆様の十分な理解を得ながら、次の事項に留意して進める。

ア　児童への配慮（スクールカウンセラーの派遣、統合前の学校の教員のバランスよい配置など）

イ　通学の安全（関係行政機関との連携、家庭・地域との協力）

ウ　保護者、地域との連携・協力（各種情報の共有化）

エ　統合後の校舎・校地の活用（可能な限り既存校舎を活用し、必要に応じて整備の検討。校舎や校地は、全市的な視点での有効活用などの検討）

３　小規模校対策に関する実施計画

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」に基づき、小規模校対策の対象となる学校の選定、学校ごとの方策、今後の取り組みの進め方などをまとめた「小規模校対策に関する実施計画」を平成22年９月に策定・公表した。

＜実施計画の概要＞

（１）実施計画期間

平成23年度から平成28年度まで

（２）対象校

平成22年５月１日現在の学級数及び０歳から５歳までの幼児人口により、小規模校対策の対象校（小学校44校）を選定し、優先順位をつけ第１から第３までのグループに分類した。

ア　第１グループ（９校）

幅下小・南押切小・江西小・那古野小・豊臣小・御園小・白金小・大生小・高坂小

イ　第２グループ（18校）

内山小・千種小・六郷小・六郷北小・榎小・浮野小・中村小・栄小・平和小・千早小・大須小・広見小・正色小・中川小・西築地小・浦里小・梅森坂小・相生小

ウ　第３グループ（17校）

東桜小・明倫小・大杉小・杉村小・栄生小・米野小・諏訪小・松原小・鶴舞小
井戸田小・西福田小・白水小・柴田小・千鳥小・本地丘小・西城小・牧の原小

（３）学校ごとの方策と具体的な進め方

ア　第１グループ

統合相手校など小規模校対策の具体的な学校ごとの方策を定め、実施計画期間内の開校を目指す。

- 幅下小・江西小・那古野小の３校を統合
- 南押切小・榎小（第２グループ）・栄生小（第３グループ）の３校を統合
- 豊臣小：諏訪小（第３グループ）と統合
- 御園小：名城小と統合
- 白金小：村雲小と統合
- 大生小：宝小と統合
- 高坂小：相生小（第２グループ）と統合

イ　第２グループ

保護者・地域説明会を開催し、児童数の推移や地域の状況等を把握しながら、第１グループに準じて進める。

ウ　第３グループ

保護者・地域説明会を開催し、その後、学校から児童数の推移等の情報収集を行う。

４　名古屋市立小・中学校における日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する具体的な施策

（１）　計画の概要

急増する日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るため、日本語指導を含めた学校生活の支援について具体的な施策を定めた「名古屋市立小・中学校における日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する具体的な施策」を平成 22 年３月に策定した。

ア　基本理念

多文化共生社会において子どもたちが異なる文化や生活習慣を理解し、互いの良さを認めあい仲間として共に成長していくことを目指す。

イ　計画期間

平成 22 年度～平成 25 年度（４年間）

（２）　平成 24 年度の主な実績

ア　日本語教育相談センターにおいて、就学や学校生活への適応に関する相談 267 件、学校への通訳派遣 103 件、翻訳派遣 2,054 件を実施した。

イ　初期日本語集中教室２教室で、日本語を全く理解できない児童生徒49人に対して、初歩的な日本語や基本的な日本の学校生活習慣についての学習を実施した。

ウ　日本語通級指導教室３教室で、日常会話をすることはできるが授業で使う言葉が分からない児童生徒24人に対して学習言語の指導を実施した。

エ　児童生徒・保護者の母語を使ってコミュニケーションを行うことができる母語学習協力員を11人から14人に増員し学校に配置した。

オ　英語版の生徒用会話集を作成し、名古屋市公式ウェブサイトによる配信を開始した。

（３）　平成25年度の主な事業予定

ア　日本語教育相談センターにおける相談事業及び通訳・翻訳派遣を引き続き実施する。

イ　初期日本語集中教室２教室を引き続き実施する。

ウ　日本語通級指導教室を３教室から16教室に増級し実施する。

エ　母語学習協力員を14人から17人に増員し学校に配置する。

オ　日本語指導が必要な児童生徒への支援に関するホームページを開設し、各施策の周知及び利用促進を図る。

５　名古屋市子ども読書活動推進計画

（１）計画の概要

子どもの読書活動を推進していくため、平成19年度に策定した「名古屋市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・図書館・学校や関係機関がそれぞれ連携・協力し、さまざまな読書の機会や場の提供、読書に取り組みやすい環境や仕組みづくりに取り組んでいる。

ア　基本理念

読書は、新しい知識や情報を与えてくれるだけでなく、生涯にわたって人生を豊かにするとともに、子どもが生きる力を育むための大切な手段である。すべての子どもが、読書に親しみ、生きる力を身につけ、その可能性・夢を広げていくため、「読書でふくらむ子どもの夢」をキャッチフレーズに、子どもの読書活動を推進していく。

（２）平成24年度の主な実績

ア　11月４日に、名古屋市公会堂（４階ホール）及び鶴舞中央図書館にて「読書フェスティバル」を開催。諏訪哲史氏による講演会や藤真知子氏によるトークショー、子ども図書館大使による「夢の図書館」発表等を実施し、約2,200人の市民が参加

イ　市内小学生106名を子ども図書館大使に任命し、図書館の裏側探検や、大使によるおはなし会の開催等、仕事体験プログラムを実施。修了後、各学校の実情に合わせて報告

ウ　保健所の乳幼児健診時に、絵本の紹介冊子の配布や絵本の読み聞かせを実施

エ　図書館と学校図書館との連携を強化するため、鶴舞中央図書館に学校との連携窓口を設置

６　なごやマイ・スポーツ推進プラン

（１）計画の概要

21世紀初頭の市民スポーツをさらに振興していくために、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指す基本計画として、平成14年３月に「なごやマイ・スポーツ推進プラン」を策定した。

ア　基本理念

子どもから高齢者まで誰もが、そのライフステージごとにそれぞれに適したスポーツ・レクリエーション活動に親しんで、体力の向上や健康の保持増進を図っていけるよう、市民の豊かなスポーツライフを実現する。また、これらの活動を通じて健全な心を育て、家族・地域とのふれあいや絆を深めることができる、明るく健康で活力に満ちた生涯スポーツ社会を築く。

イ　到達目標

成人のスポーツ実施率（週１回以上の習慣性のあるもの）を50％まで高める。

※平成23年12月調査の実施率：58.4％

（２）基本方針

市民一人ひとりが自分に適した、自分のしたいスポーツ・レクリエーションを見つけ、行い、自分自身のスポーツライフの創造をめざす「マイ・スポーツ」をキーワードに施策を展開する。

（３）平成24年度の主な実績

ア　９月17日から10月31日まで、「なごやマイ・スポーツフェスティバル」を開催し、21,997人の市民が参加した。

イ　地域ジュニアスポーツクラブの育成について、３クラブの新規設立及び６クラブの種目追加の支援を行った。

ウ　９月８日と１月19日に、「子どもスポーツフェスタ夏・冬」を開催し、3,639人の小学生が参加した。

エ　各区において「なごやかウォーク」を実施し、10,087人の市民が参加した。

オ　スポーツイベント・ボランティア活動に、19事業、延べ237人の市民が参加した。

７　名古屋市不登校対策基本構想

（１）構想の概要

不登校の未然防止及び不登校児童生徒の学校復帰の促進を目指し、不登校対策として取り組むべき施策の方向性を定めた「名古屋市不登校対策基本構想」を平成25年２月に策定した。

ア　５つの視点

不登校の子ども及びその保護者に対する支援の一層の充実を図るため、下記の５つの視点に基づき取り組みを実施する。

（ア）子どもが安心できる環境づくり
（イ）学習への興味・関心・意欲の喚起
（ウ）子どもの心に寄り添う体制づくり
（エ）適応段階に応じた支援
（オ）保護者への情報提供や保護者の不安軽減

イ　計画期間

平成25年度～平成29年度（５年間）

（２）25年度の主な事業予定

ア　子ども適応相談センターにおける過大な通所者数の解消、南部方面からの通所の促進及び発達障害への対応や適応段階に応じた指導を行うための施設の機能強化を含めた、新たな不登校対応施設の整備検討を実施する。

イ　子ども適応相談センターにおける過大な通所者数の緩和及び南部方面からの通所促進を図るため、サテライトスクールの設置に向けた整備を実施する。

ウ　相談環境の充実のため、小学校60校のスクールカウンセラー配置時間を30時間から140時間に拡大する。

エ　発達障害のある児童生徒の学校生活への適応を図るため、発達障害対応支援員の配置校数を32校から48校へ拡充する

オ　担任教員が不登校児童生徒等に接する時間を増やし学校復帰の促進を図るため、不登校対応支援講師の配置校数を35校から40校へ拡充する。

カ　児童生徒・保護者が本市の不登校施策等の情報を得やすい環境を整えるため、ウェブサイトの開設や保護者向けパンフレットの作成・配付等を実施する。

８　魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画

（１）計画の概要

魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画は、名古屋市教育振興基本計画の「特色ある市立高等学校づくり」を受け、全ての市立高校で目指す特色づくりを明確にし、平成25年度より５年間にわたって推進する計画として、平成25年２月に策定された。

ア　基本理念

(ア)名古屋市立高校は、社会の変化や生徒・保護者のニーズに対応しながら、次に掲げる資質をもった生徒を育成する。

①人生をたくましく生きる力を備える
②未来への夢を抱き、学び成長し続ける
③社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
④豊かな感性と創造力を備える

(イ)名古屋市立高校は、社会の発展に努め、地域社会に貢献できる人材を育成する。

(ウ)名古屋市立高校に、義務教育と高等教育や産業界とを結ぶ役割をもたせ、学校間連携や校種を超えた連携による教育活動を推進し、名古屋市の教育活動を活性化させる。

イ　計画期間

平成 25 年度～平成 29 年度

（２）計画の主な内容

ア　向陽高等学校

世界で活躍できる科学技術系人材を育てる理数教育の推進するために、平成 27 年度に国際科学科を新設する。

イ　北高等学校

国際的な教養を身につけさせる国際理解教育を推進するために、平成 27 年度に国際理解コースを新設する。

ウ　名古屋商業高等学校

国際ビジネス社会で活躍できる人材を育てる商業教育を推進するために、平成 29 年度に国際経済科をグローバルビジネス科へ学科変更する。

エ　若宮商業高等学校

商業デザインや地域経済の活性化、観光まちづくりを中心とした商業教育を推進するために平成 29 年度に地域・観光を学ぶコース設置する。

オ　工業高等学校

先端的な技能を習得し、熟練した技能者の育成を目指すために、デュアルシステムを導入する。

カ　工芸高等学校

平成 28 年度に専攻科を設置し、先端的な技術を習得した技術者を育成する工業教育を目指す。

コ　中央高等学校

個の特色を生かしながら、自分の道を切り拓いていく定時制教育を推進する。

９　第２次名古屋市子ども読書活動推進計画

（１）計画の概要

子どもの読書活動を推進していくため、平成19年４月に策定した1次計画を引き継ぎ、平成24年度に「第２次名古屋市子ども読書活動推進計画」を策定した。この計画に基づき、家庭・地域・図書館・学校や関係機関がそれぞれ連携・協力し、さまざまな読書の機会や場の提供、読書に取り組みやすい環境や仕組みづくりに取り組んでいる。

ア　理念

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、乳幼児期から読書に親しむとともに、発達段階に応じた読書活動を総合的に推進する。

（２）平成25年度の主な事業予定

ア　秋の読書週間（10月27日から11月９日まで）にあわせ、11月４日「読書フェスティバル」を開催

イ　市内全区で小学生を子ども図書館大使に任命し、図書館の裏側探検や、大使によるおはなし会の開催等を実施。プログラム修了後、学校等で報告の機会を設定

ウ　市内全保健所の乳幼児健診時に絵本紹介冊子を配布。絵本の読み聞かせを実施

エ　市立小学校、中学校及び特別支援学校に「なごやっ子読書ノート」、「なごやっ子読書カード」を配布し、日常生活における読書意欲と表現力を喚起

10　名古屋市スポーツ推進計画

（１）計画の概要

「なごやマイ・スポーツ推進プラン」（平成14年３月策定）を継承・発展させるスポーツ基本法第10条に基づく「地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」として平成25年３月に策定した。

この計画では、平成25年度から概ね10年間を計画期間とし、スポーツを実施することによる多様な意義の啓発、運動・スポーツの実施機会の提供により運動・スポーツの実施率の向上を図っていく。

ア　基本理念

「やろまい　運動・スポーツ」でナゴヤ・元気UP！～スポーツを通じた交流・個から社会へ～を基本理念とし、「いつでも、どこでも（地域において、職場において、通勤途上において）、だれとでも、気軽に、スポーツを楽しむことができる「みんなでやろまい（皆でやりましょう）」という社会環境の醸成を図ることをめざしている。

イ　目標

（ア）基本目標

・スポーツの楽しさ・意義への気づきを促進

・いつでも、どこでも、だれとでも、気軽にスポーツを楽しむことができるよう機会・場を提供

（イ）数値目標

成人のスポーツ実施率（週に１回以上の頻度で運動・スポーツを実施する者の割合）を65%以上とする。

（２）施策体系

ア【施策１】意識啓発・スポーツ実施機会の提供

・スポーティブ・ライフ月間の実施

・健康・スポーツのまる八デー（仮称）の設定

・大会・イベントの誘致・開催、交流の推進

・他の施策と連携したスポーツの推進

イ【施策２】支援体制の充実

・市民スポーツの推進体制の整備

・インセンティブ制度の拡充

ウ【施策３】活動の場の充実

・スポーツ総合推進拠点施設等の充実

・市有施設の維持管理・有効活用

第２部　学校施設、設備、管理

第１章　校（園）地及び校（園）舎の実態

１　学校施設の整備

（１）校（園）舎の建設

ますます多種・多様化する学校施設へのニーズの中で、よりよい教育環境をめざして、既存の施設を有効に活用しつつ、学校施設の改善・向上を図っている。平成24年度の主な整備内容は次のとおりである。

ア　校舎の改築、改修

小・中学校においては、昨年度から行ってきた志段味東小学校の改築を進め、校舎の老朽化対策として小学校22校、中学校13校について、大規模改造を行う等既存施設の改善に努めている。

イ　新設校の建設

過大規模となる見込みである志段味中学校の分離新設校として「吉根中学校」の設計に着手した。

ウ　事業費

平成24年度の事業費（委託料を含む）は、小学校5,718,075千円、中学校7,807,923千円。高等学校413,579千円、幼稚園124,700千円である。

（２）学校施設の維持修繕

平成24年度に実施した維持修繕は以下のとおりである。

（千円）

種別／項目	小学校費	中学校費	高等学校費	幼稚園費	特別支援学校費
指　定　修　繕　費	647,825	345,031	62,782	16,294	13,178
（校舎雨漏り補修）	125,480	71,728	4,137	5,660	476
（校舎・教室補修）	91,431	64,722	13,961	1,684	5,560
（障害児用施設改修）	60,223	26,665	0	0	0
（トイレ補修）	43,045	13,588	3,018	4,422	0
（給食調理所補修）	10,249	0	0	0	0
（給排水補修）	46,572	30,091	4,762	357	0
（電気・ガス補修）	43,946	33,988	7,410	2,307	3,203
（空調機器補修）	43,404	14,950	7,436	0	597
（プール補修）	57,026	16,306	2,836	389	0
（運動場補修）	32,143	8,353	3,528	0	0
（体育館補修）	45,248	25,024	12,291	0	431
（門・塀補修）	26,666	12,730	3,403	1,475	1,742
（防球ネット補修）	7,661	19,592	0	0	0
（その他）	14,731	7,294	0	0	1,169
常　時　修　繕　費	459,165	259,722	27,071	14,042	6,934
合　　計	1,106,990	604,753	89,853	30,336	20,112

２　学校施設の現況

（１）幼稚園　23園

（平成25年５月１日現在）

区分 / 園名	幼児数 人	学級数	園地面積 ㎡	園舎	
				建物延面積 ㎡	保育室数
総　計	**2,136**	**97**	**42,440**	**18,402**	**132**
第二	119	6	1,529	1,031	8
第一	105	6	2,653	1,162	6
大幸	101	4	2,216	989	8
報徳	58	3	1,682	1,115	7
楠西	58	3	2,117	626	4
おりべ	62	3	2,221	794	6
第三	105	6	3,767	1,881	10
比良西	75	3	1,859	570	4
吹上	70	3	2,376	763	6
高田	57	3	860	565	4
常磐	55	3	―	―	4
荒子	33	2	―	598	4
春田	61	3	2,585	572	4
はとり	76	3	1,590	572	4
二城	128	6	1,998	750	6
鳴子	132	6	2,365	1,024	6
桶狭間	118	6	1,820	734	6
大高	83	3	2,594	826	6
神の倉	100	4	1,652	656	5
西山台	171	6	1,988	848	6
猪高	147	6	2,916	1,013	8
梅森坂	69	3	1,652	571	4
植田	153	6	―	742	6

（注）　園地面積、園舎の―は、併設などの区分不可能なもの。

（２）小学校　264校

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
総　計	**111,105**	**(378) 4,168**	**(12,125) 3,188,887**	**1,561,843**	**5,519**	**1,660**

千　種　区　　15校

計	6,955	258 (20)	(11,521) 172,829	92,785	330	95
内山	115	8 (2)	7,987	5,324	11	6
春岡	269	13 (1)	9,783	4,817	14	6
千種	202	8	11,068	5,437	16	7
高見	457	16 (1)	10,533	7,143	31	7
大和	342	13	8,055	4,780	15	5
田代	922	29 (2)	11,427	9,184	33	8
上野	689	23 (2)	10,116	7,623	32	8
東山	961	32 (1)	10,059	6,820	37	5
自由ケ丘	356	16 (2)	21,299	5,203	12	6
千石	178	7	11,566	4,536	13	6
富士見台	948	30 (2)	13,276	8,600	30	6
星ケ丘	308	14 (2)	9,087	5,066	18	6
宮根	347	15 (2)	10,817	5,933	26	6
千代田橋	423	19 (3)	13,200	6,483	25	7
見付	438	15	14,556	5,836	17	6

東　　区　　９校

計	2,825	109 (7)	(10,215) 91,938	50,662	156	57
旭丘	448	16 (2)	9,951	5,392	20	7
筒井	315	13 (1)	9,578	5,920	16	6
東桜	267	11	9,542	5,294	14	7
矢田	401	16 (2)	11,591	8,145	28	7
山吹	468	15	10,412	5,417	18	6

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
東白壁	287	11	7,404	4,890	14	6
葵	208	8	10,924	4,771	12	5
明倫	216	8	9,336	4,873	12	6
砂田橋	215	11 (2)	13,200	5,960	22	7

北　　区　　19校

計	7,308	277 (24)	(11,372) 216,084	113,478	393	123
飯田	444	17 (2)	8,300	5,527	23	6
大杉	220	9 (1)	12,751	5,414	14	6
清水	442	17 (2)	11,468	7,087	26	6
杉村	185	7	7,775	5,038	12	7
名北	458	17 (2)	12,075	6,880	27	7
金城	421	15 (2)	11,650	6,379	27	7
城北	638	21 (1)	11,646	7,491	27	7
六郷	102	6	6,603	3,556	6	6
楠	770	26 (2)	9,938	7,134	28	6
光城	501	19 (1)	13,731	6,550	18	7
東志賀	378	13	11,235	6,368	25	6
味鋺	717	24 (2)	16,671	7,463	32	6
西味鋺	313	13 (1)	11,115	4,520	14	6
楠西	358	14 (2)	9,809	5,161	17	6
如意	282	12	10,651	5,208	15	7
宮前	364	15 (2)	13,053	6,710	28	7
川中	269	12 (1)	11,420	5,898	18	7
六郷北	151	7 (1)	12,993	4,999	15	6
辻	295	13 (2)	13,200	6,095	21	7

西　　区　　19校

計	6,745	259 (23)	(10,416) 197,910	100,283	353	113

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
榎	205	8	5,771	3,951	11	5
幅下	177	7 (1)	13,659	4,871	11	6
栄生	196	8	9,855	4,162	11	7
上名古屋	371	14 (1)	9,628	5,940	22	6
城西	328	13	10,910	5,199	17	6
児玉	268	12 (1)	10,056	4,859	14	6
枇杷島	313	14 (1)	8,658	5,489	23	6
南押切	146	8 (2)	8,000	3,742	11	5
江西	98	6	7,437	3,980	10	6
那古野	100	6	6,947	4,327	6	5
庄内	639	22 (2)	13,257	7,553	28	7
稲生	546	19 (1)	10,653	7,548	31	4
山田	901	29 (2)	16,411	6,536	32	6
平田	447	16 (2)	10,156	5,479	24	6
比良	293	14 (3)	10,695	4,679	18	6
大野木	579	21 (2)	11,103	5,712	22	6
浮野	147	7 (1)	11,690	5,100	20	8
比良西	350	14 (2)	11,617	5,169	17	6
中小田井	641	21 (2)	11,407	5,987	25	6

中　村　区　　15校

計	4,933	201 (23)	(11,109) 166,649	93,122	276	101
中村	194	10 (3)	8,886	5,840	20	6
牧野	296	14 (2)	9,063	5,549	15	7
米野	213	8	8,971	3,938	13	6
日比津	371	14 (2)	10,565	6,101	18	6
柳	336	14 (2)	9,017	4,511	18	6
稲葉地	595	21 (2)	13,971	7,415	29	7
日吉	302	13 (1)	13,679	5,584	16	7
岩塚	451	17 (2)	15,149	6,313	23	7

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
豊臣	134	6	8,648	4,358	11	5
千成	383	14	12,679	6,373	25	7
諏訪	298	13（1）	13,464	4,460	13	5
稲西	291	14（2）	10,244	5,247	21	8
八社	490	18（2）	12,853	5,865	20	7
ほのか	449	17（2）	10,382	7,962	20	6
笹島（※）	130	8（2）	9,078	13,606	14	11

（※）校地面積、建物延面積、特別教室数には笹島中学校分含む

中　　区　　11校

計	2,037	95（10）	(9,530) 104,835	51,111	134	60
名城	252	12（1）	10,914	6,127	20	5
栄	154	7（1）	10,052	5,117	13	6
新栄	169	7（1）	9,219	5,047	12	6
松原	215	9（1）	11,430	4,285	12	5
橘	307	14（2）	6,823	5,114	15	6
平和	153	7（1）	11,817	4,309	9	5
老松	171	8（2）	10,341	5,299	16	6
大須	170	7	7,418	5,042	13	6
正木	290	12（1）	8,134	4,001	11	5
千早	102	6	9,074	3,389	7	5
御園	54	6	9,613	3,381	6	5

昭　和　区　　12校

計	4,355	167（19）	(10,263) 112,898	58,261	211	68
鶴舞	190	7（1）	8,167	4,337	11	6
吹上	325	14（2）	7,946	5,437	23	7
村雲	298	14（2）	13,035	5,086	17	6
松栄	767	28（2）	9,302	6,808	28	6

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
御器所	484	17	9,738	5,430	21	5
広路	382	15 (2)	10,601	5,537	22	7
八事	370	14 (2)	7,265	4,070	16	5
白金	169	6	9,604	4,146	9	6
川原	408	16 (2)	13,297	5,868	17	6
川原（分）	22	3 (3)	—	—	—	—
滝川	679	23 (3)	12,927	6,298	29	7
伊勝	261	10	11,016	5,244	18	7

瑞　穂　区　　11校

計	5,006	187 (16)	(11,714) 128,862	68,776	234	71
弥富	663	23 (2)	14,134	7,619	25	5
御劔	265	10	11,666	6,866	12	7
堀田	257	13 (2)	14,766	6,054	23	7
汐路	625	23 (2)	12,473	7,246	27	7
高田	351	13 (1)	7,929	5,442	18	6
瑞穂	428	18 (3)	10,969	5,885	25	6
井戸田	295	11	9,748	5,276	16	7
穂波	418	16 (2)	11,158	5,510	17	7
豊岡	350	13	9,996	6,112	17	6
陽明	822	27 (2)	13,405	7,216	30	7
中根	532	20 (2)	12,618	5,550	24	6

熱　田　区　　7校

計	2,618	103 (10)	(10,704) 74,928	39,163	134	43
高蔵	310	13 (1)	10,615	5,093	16	7
旗屋	329	14 (2)	7,738	4,902	16	6
千年	283	12 (1)	9,714	4,765	16	6
船方	654	21	16,648	6,766	27	7

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
白鳥	337	14（2）	7,834	6,040	22	6
野立	347	15（2）	11,414	6,156	22	6
大宝	358	14（2）	10,965	5,441	15	5

中　川　区　　24校

計	11,375	422（34）	(11,807) 283,371	137,651	514	152
広見	109	6	11,390	3,794	6	6
露橋	316	13（1）	14,148	4,604	14	5
愛知	278	13（1）	13,200	5,485	18	6
八熊	315	14（2）	10,878	5,214	19	7
昭和橋	500	18（1）	8,726	5,432	20	7
常磐	834	29（3）	13,492	7,318	31	6
八幡	612	22（2）	9,186	6,907	29	7
荒子	1,010	32（2）	13,424	8,596	38	6
正色	128	6	11,642	5,281	17	7
篠原	581	21（2）	10,768	6,275	22	8
戸田	588	22（2）	11,278	6,286	27	7
豊治	624	22（2）	12,174	5,554	25	5
千音寺	805	28（2）	14,608	6,662	27	6
長須賀	428	16（1）	8,137	4,140	14	6
万場	438	17（2）	14,409	6,547	25	6
野田	507	17	10,912	5,239	19	6
明正	316	14（2）	12,293	5,911	23	6
中島	498	19（2）	11,572	6,239	27	9
玉川	320	13（1）	10,063	4,427	15	5
西中島	375	14（1）	12,072	5,236	19	6
五反田	485	17	11,609	5,475	20	7
春田	442	17（2）	12,758	6,418	22	6
赤星	589	20（2）	12,030	5,954	22	7
西前田	277	12（1）	12,602	4,657	15	5

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室

港　　区　20校

計	7,915	305 (29)	(11,467) 229,354	117,839	414	120
東築地	617	22 (2)	14,982	8,129	30	7
中川	209	8	7,284	5,479	12	7
大手	534	20 (2)	12,250	6,355	25	6
港西	501	18	9,279	5,614	25	6
小碓	487	19 (2)	13,986	7,983	30	5
西築地	202	9 (1)	9,810	4,919	12	6
高木	495	18 (2)	9,281	6,195	23	6
南陽	439	17 (2)	13,342	7,191	28	6
港楽	346	16 (3)	9,284	5,465	22	5
成章	259	10	10,131	5,153	15	6
明徳	441	16 (2)	9,927	5,361	22	6
稲永	463	18 (2)	12,830	6,844	25	6
東海	223	11 (2)	10,537	4,666	13	6
野跡	273	12 (1)	12,288	4,228	13	4
当知	517	18 (2)	10,654	6,296	23	7
正保	370	14 (1)	12,649	5,209	18	7
神宮寺	272	14 (2)	11,924	5,143	18	6
西福田	213	7	12,602	5,099	15	6
福田	652	22 (1)	13,497	6,222	27	5
福春	402	16 (2)	12,817	6,288	18	7

南　　区　18校

計	6,061	239 (27)	(13,087) 235,577	114,765	393	121
豊田	525	20 (2)	12,287	6,429	22	6
明治	411	15 (2)	14,411	8,072	33	8
呼続	337	16 (2)	11,740	6,570	26	6

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
白水	221	8 (1)	13,012	5,469	19	7
桜	263	13 (2)	10,727	5,304	18	7
道徳	376	15 (2)	16,302	8,563	29	8
笠寺	419	16 (2)	21,316	6,939	32	7
大生	154	8 (2)	13,728	5,636	15	7
大磯	237	8 (1)	9,413	4,544	14	6
千鳥	235	10 (2)	12,413	6,007	19	7
菊住	407	17 (3)	10,802	5,757	19	7
宝	309	13	14,705	10,138	31	7
柴田	165	7 (1)	11,492	5,788	12	5
伝馬	431	15 (1)	16,794	7,381	18	7
星崎	332	12	11,906	5,476	21	7
春日野	377	15 (2)	10,623	4,597	18	6
笠東	421	15 (1)	10,034	4,724	19	6
宝南	441	16 (1)	13,872	7,371	28	7

守　山　区　　20校

計	10,014	364 (35)	(14,227) 284,548	124,927	467	130
大森	398	15 (2)	13,140	6,350	24	6
小幡	669	21 (1)	26,804	8,834	39	6
守山	517	19 (2)	18,482	7,561	25	8
廿軒家	706	24 (3)	17,676	6,564	25	7
鳥羽見	359	15 (2)	16,568	6,160	19	6
瀬古	847	29 (3)	18,008	7,609	30	7
志段味東	570	22 (3)	13,802	5,313	21	6
志段味西	640	21	14,166	5,571	29	6
白沢	535	20 (2)	11,967	5,819	23	6
本地丘	163	8 (2)	15,920	5,643	27	6
苗代	843	28 (3)	9,089	5,989	27	7
天子田	323	13 (1)	11,706	6,480	26	7

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
二城	547	18	10,276	5,207	21	6
森孝東	240	10 (2)	13,320	4,950	14	6
森孝西	348	14 (2)	15,006	5,463	22	7
西城	242	9	13,637	5,685	13	6
大森北	358	13	7,690	5,587	15	7
小幡北	449	18 (3)	10,014	5,402	18	6
吉根	794	27 (2)	13,800	7,813	27	7
下志段味	466	20 (2)	13,477	6,927	22	7

緑　　区　　28校

計	15,203	546 (50)	(15,090) 422,529	176,548	663	177
鳴海	585	21 (2)	29,580	8,359	26	7
平子	447	15 (1)	14,987	4,954	19	5
鳴海東部	725	25 (2)	16,970	6,866	25	6
東丘	609	22 (2)	18,144	5,558	20	7
鳴子	315	15 (2)	13,547	5,771	18	6
有松	742	26 (2)	12,931	7,037	27	7
大高	601	22 (2)	31,322	7,411	28	7
緑	336	14 (2)	9,915	4,882	17	5
片平	550	20 (2)	13,515	6,128	22	6
戸笠	396	15 (1)	11,640	5,358	21	7
太子	429	15 (1)	13,222	5,175	19	6
旭出	644	22 (1)	13,317	6,367	24	7
浦里	189	8 (2)	14,598	6,287	22	7
黒石	264	11 (1)	10,363	4,854	16	6
神の倉	782	26 (2)	12,388	6,418	28	6
長根台	486	19 (2)	14,450	6,373	28	6
桶狭間	953	30 (2)	14,508	6,442	32	8
相原	437	16 (2)	11,588	5,721	21	7
桃山	567	19 (1)	12,874	6,462	25	7

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
南陵	397	16 (2)	14,817	5,914	24	7
大高北	310	13	17,190	4,850	14	5
大高南	414	17 (3)	21,170	5,916	19	6
徳重	426	16 (2)	13,888	6,268	25	6
滝ノ水	563	20 (2)	13,221	7,559	33	6
大清水	1,012	32 (2)	12,999	6,640	32	5
常安	302	12 (1)	13,001	5,995	15	6
小坂	695	25 (3)	12,725	8,010	28	7
熊の前	1,027	34 (3)	13,659	8,973	35	6

名　東　区　　19校

計	9,370	332 (25)	(12,824) 243,664	114,935	450	122
猪高	554	20 (1)	20,945	8,788	35	7
藤が丘	538	19 (2)	10,931	6,493	30	6
香流	613	20 (2)	10,159	5,892	25	7
猪子石	410	14	10,811	5,181	19	7
高針	408	16 (2)	16,499	5,965	22	7
西山	1,278	37	15,213	7,297	40	7
名東	960	32 (3)	13,511	7,075	32	7
梅森坂	201	8 (1)	11,568	5,264	21	6
蓬来	382	13	10,844	6,501	18	8
本郷	349	14 (2)	9,901	6,013	23	7
貴船	716	24 (2)	13,110	6,493	27	6
上社	597	19	12,898	5,615	24	5
豊が丘	265	11	12,036	4,764	16	6
引山	284	14 (2)	14,771	5,897	22	7
極楽	446	16	10,830	5,711	20	6
平和が丘	293	13 (2)	12,401	5,530	21	5
前山	411	17 (2)	11,567	6,191	23	7
北一社	465	17 (2)	12,470	5,679	20	6

区分 / 校名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
牧の原	200	8（2）	13,199	4,586	12	5

天白区　17校

計	8,385	304（26）	（13,112） 222,911	107,537	397	107
天白	841	28（2）	14,402	7,111	32	6
野並	488	18（1）	10,122	6,298	29	7
高坂	148	8（2）	12,396	5,265	14	7
八事東	558	21（2）	9,934	6,442	26	7
表山	576	20（1）	11,372	5,347	22	6
平針	641	23（2）	15,335	6,849	26	6
平針南	352	13（1）	13,987	6,058	19	7
植田	585	21（2）	20,565	7,237	27	6
しまだ	393	14（2）	16,579	6,371	23	6
山根	543	20（2）	11,566	5,583	22	6
相生	142	6	11,592	5,593	17	6
大坪	415	16（2）	10,502	5,431	18	6
原	720	24	11,536	6,395	28	6
植田南	437	16（2）	12,303	7,053	28	7
平針北	286	12（1）	11,954	5,819	19	6
植田北	486	18（1）	14,066	6,350	19	6
植田東	774	26（3）	14,700	8,335	28	6

（注）　1　学級数欄の（　）内は、特別支援学級数の再掲。

　　2　校地面積欄の（　）内は、１校当たりの平均。ただし、川原小学校分校を除く。

（３）中学校　111校

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
総　計	**52,862**	**1,682（161）**	**(17,615) 1,937,744**	**853,344**	**2,106**	**1,361**

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は、笹島小学校欄に記載

千　種　区　　７校

計	2,870	95（9）	(18,353) 128,473	56,178	118	89
今池	231	9（2）	13,935	6,348	12	11
城山	505	17（2）	17,801	8,470	21	13
振甫	450	15（2）	22,270	9,021	22	13
千種台	585	19（2）	19,836	8,969	16	13
若水	330	11	14,065	7,396	17	13
千種	348	11（1）	17,248	7,469	15	13
東星	421	13	23,318	8,505	15	13

東　　区　　４校

計	1,227	39（4）	(16,354) 65,417	28,644	60	48
あずま	220	8（2）	16,531	7,371	12	12
冨士	369	11	16,151	7,523	18	13
桜丘	315	9	17,071	6,680	12	10
矢田	323	11（2）	15,664	7,070	18	13

北　　区　　７校

計	3,629	115（13）	(18,841) 131,888	58,417	153	89
若葉	310	11（2）	14,565	7,314	15	12
志賀	528	16（2）	20,692	8,126	25	12
大曽根	523	17（2）	24,692	9,054	23	13
八王子	291	12（3）	16,374	7,954	21	13
楠	734	22（2）	17,505	9,207	23	13

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
北陵	623	18	21,521	8,997	27	13
北	620	19（2）	16,539	7,765	19	13

西　　区　　７校

計	3,288	106（10）	(13,793) 96,556	51,564	128	86
浄心	457	14	11,489	7,427	17	11
菊井	180	9（3）	10,532	5,982	12	11
名塚	557	18（2）	17,185	8,759	22	13
天神山	408	13（2）	12,929	7,853	18	13
山田	790	24（2）	14,246	7,979	24	14
山田東	626	18	12,958	6,911	22	11
平田	270	10（1）	17,217	6,653	13	13

中　村　区　　７校

計	2,400	80（9）	(18,205) 109,234	45,192	126	74
豊国	331	12（2）	19,296	7,945	21	13
笹島（※）	76	5（2）	—	—	8	—
笈瀬	231	8（1）	14,796	6,600	15	12
御田	606	17	27,370	7,857	22	13
豊正	582	21（4）	22,239	9,420	28	12
黄金	203	6	13,064	6,584	11	11
日比津	371	11	12,469	6,786	21	13

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は笹島小学校欄に記載

中　　区　　４校

計	820	29（2）	(18,257) 73,031	27,271	51	46
前津	181	6	13,947	7,457	12	12
伊勢山	400	13（2）	23,306	6,774	17	12
白山	103	4	21,784	6,290	10	11

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
丸の内	136	6	13,994	6,750	12	11

昭和区　6校

計	1,795	60（8）	(16,297) 81,489	33,990	78	63
桜山	526	16	14,406	6,828	18	13
北山	222	7（1）	19,920	6,575	11	13
川名	510	15	21,381	8,004	23	12
川名（分）	17	2（2）	—	—	—	—
円上	227	8（2）	13,056	6,397	13	11
駒方	293	12（3）	12,726	6,186	13	14

瑞穂区　5校

計	2,136	70（8）	(18,508) 92,540	38,914	87	64
田光	284	11（2）	13,195	7,160	12	13
瑞穂ケ丘	245	8	26,529	6,774	13	13
萩山	744	22（1）	21,685	8,587	25	13
汐路	540	18（3）	18,112	8,239	22	12
津賀田	323	11（2）	13,019	8,154	15	13

熱田区　4校

計	1,313	44（6）	(15,085) 60,341	27,381	53	44
沢上	306	12（2）	15,156	6,522	12	10
宮	304	11（2）	14,952	8,122	15	13
日比野	464	14（2）	13,599	7,669	18	13
日比野（南）	239	7	16,634	5,068	8	8

中川区　11校

計	5,877	191（20）	(18,081) 198,893	85,868	205	141

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数 普通教室	教室数 特別教室
一色	330	12（2）	13,209	7,331	14	12
長良	879	30（5）	27,196	9,374	28	14
山王	310	12（2）	18,939	7,410	17	13
一柳	776	23（1）	18,676	7,972	25	13
八幡	334	11	13,098	6,496	13	13
昭和橋	365	13（2）	14,287	7,105	14	11
富田	482	16（2）	26,563	7,988	22	13
はとり	938	28（2）	17,985	9,154	26	13
助光	327	10	16,513	6,737	12	13
供米田	636	19（1）	15,980	8,126	17	13
高杉	500	17（3）	16,447	8,175	17	13

港　　区　　８校

計	4,094	126（8）	(18,308) 146,465	65,109	162	103
港南	688	21（1）	16,989	8,740	22	14
港北	480	14	19,834	7,903	19	12
東港	594	19（2）	17,874	8,886	26	13
南陽	682	21（2）	23,897	8,741	25	13
宝神	629	19	16,525	8,192	23	13
当知	469	15（3）	16,500	7,756	18	12
港明	349	11	18,541	7,915	16	13
南陽東	203	6	16,305	6,976	13	13

南　　区　　７校

計	3,187	105（12）	(17,768) 124,381	60,676	142	91
本城	594	18（1）	17,361	8,752	27	13
新郊	262	11（2）	14,022	7,178	15	12
桜田	519	17（2）	21,519	8,441	19	14

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
大江	474	16（2）	16,510	8,255	21	13
名南	326	12（2）	22,245	9,910	19	13
南光	460	14（1）	16,198	10,319	24	14
明豊	552	17（2）	16,526	7,821	17	12

守山区　7校

計	4,630	142（11）	（19,714） 138,003	53,721	159	87
守山	693	20	17,072	8,537	22	13
守山東	731	23（3）	32,033	7,812	21	11
守山西	927	29（4）	18,348	8,554	31	13
志段味	821	26（2）	18,222	6,580	25	13
大森	614	19（2）	17,960	7,997	25	12
守山北	433	13	17,823	7,117	14	12
森孝	411	12	16,545	7,124	21	13

緑　区　12校

計	7,111	221（21）	（17,687） 212,254	99,686	269	151
鳴海	475	15（2）	18,196	8,689	27	13
有松	851	27（3）	18,431	9,146	28	14
大高	588	18（2）	30,579	8,628	21	13
鳴子台	431	14（1）	17,100	8,711	21	12
東陵	474	15（1）	17,844	6,672	15	12
千鳥丘	353	11（1）	16,776	7,821	18	13
神沢	598	17（1）	13,895	7,902	23	13
扇台	690	21（3）	16,536	9,101	29	12
滝ノ水	982	29（2）	16,522	8,473	29	13
左京山	404	13（1）	13,337	7,536	14	13
鎌倉台	394	14（2）	16,539	6,905	16	11
神の倉	871	27（2）	16,499	10,102	28	12

区分 / 校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
名東区　8校						
計	4,456	137（11）	（19,209） 153,679	64,451	173	98
猪高	646	21（2）	37,661	9,227	26	13
神丘	920	27（2）	16,090	8,764	30	13
高針台	784	24（3）	17,264	8,475	26	12
猪子石	399	14（2）	16,203	9,481	26	13
藤森	532	17（2）	13,258	7,585	22	13
牧の池	399	11	18,791	7,139	15	12
上社	288	9	16,621	6,193	10	10
香流	488	14	17,791	7,587	18	12
天白区　7校						
計	4,029	122（9）	（17,871） 125,100	56,282	142	87
天白	701	21（2）	26,405	8,652	22	13
御幸山	687	22（3）	15,975	8,542	23	13
久方	380	11	16,558	8,038	21	12
平針	472	16（2）	16,407	8,134	18	12
南天白	216	7	16,501	6,444	10	12
植田	1,051	30（2）	16,754	8,557	30	12
原	522	15	16,500	7,915	18	13

（注）　1　学級数欄の（　）内は、特別支援学級数の再掲。
　　2　校地面積欄の（　）内は、１校当たりの平均。ただし、川名中学校分校を除く。

（４）高等学校　14校

区分／校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
計	**12,713**	**326**	**(32,425) 453,960**	**205,018**	**362**	**290**
菊里	1,076	27	35,841	13,747	30	41
向陽	1,080	27	26,486	11,970	30	18
桜台	1,078	27	27,679	13,810	30	19
北	950	24	35,180	13,196	28	21
緑	1,036	26	35,588	12,024	30	17
富田	945	24	39,204	11,458	25	25
山田	787	20	29,838	11,614	28	18
名東	1,078	27	35,011	13,054	30	21
西陵	598	15	31,997	14,083	22	17
名古屋商	955	24	29,476	16,814	24	23
若宮商	698	18	32,526	11,786	24	15
工業	704	18	42,554	23,873	24	21
工業(定時制)	121	4	—	—	—	—
工芸	819	21	43,232	25,516	21	21
中央	788	24	9,348	12,073	16	13

（注）　校地面積欄の（　）内は、１校当たりの平均。

（５）特別支援学校　４校

区分／校名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教室数	
					普通教室	特別教室
計	**1,000**	**166**	**40,628**	**32,501**	**134**	**68**
西	248	41	9,065	7,836	32	16
南	318	51	11,603	11,227	39	18
天白	130	26	10,273	4,999	19	13
守山	304	48	9,687	8,439	44	21

３　学校の設置及び通学区域の変更

（１）学校の設置

（平成 25 年４月１日）

校　　名	位　　置
名古屋市立川原小学校分校	昭和区折戸町４丁目 16 番地
名古屋市立川名中学校分校	昭和区折戸町４丁目 16 番地

（２）通学区域の変更

ア　平成 24 年 10 月１日施行

名古屋市立山吹小学校及び名古屋市立東白壁小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立東白壁小学校の通学区域から除き、名古屋市立山吹小学校の通学区域に加える。

名古屋市東区白壁四丁目65番から73番、74番１、74番２の各地番

イ　平成 25 年４月１日施行

（ア）名古屋市立徳重小学校及び名古屋市立熊の前小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立熊の前小学校の通学区域から除き、名古屋市立徳重小学校の通学区域に加える。

名古屋市緑区鳴海町字鏡田13番９、13番 139、13番 140、13番 141、13番 167、13番 202、13番 636、13番 637、69番３、70番15、71番４、71番５、71番６、71番７の各地番

（イ）名古屋市立常磐小学校及び名古屋市立篠原小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立篠原小学校の通学区域から除き、名古屋市立常磐小学校の通学区域に加える。

名古屋市中川区篠原橋通３丁目40番

（ウ）名古屋市立福田小学校及び名古屋市立福春小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立福春小学校の通学区域から除き、名古屋市立福田小学校の通学区域に加える。

名古屋市港区八百島二丁目2101番から2113番の各地番

（エ）名古屋市立宮前小学校及び名古屋市立六郷北小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立宮前小学校の通学区域から除き、名古屋市立六郷北小学校の通学区域に加える。

名古屋市北区山田四丁目 108 番、 109 番の各地番

４　小規模校対策

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」及び「小規模校対策に関する実施計画」に基づき、保護者、地域住民等の理解を得ながら小規模校対策を進めていく。

（１）平成24年度の主な実績

・　幅下小学校・江西小学校・那古野小学校では、統合に向けて設置した、保護者、地域住民

等からなる３校合同の検討組織において、統合場所や統合方法等の協議を進めた。

・　計画の対象校（44校）及び統合の相手校（３校）について、各学校の状況に応じ、25年度入学予定児童の保護者への説明会や、ＰＴＡや地域住民に対する説明等を実施するなど、小規模校対策への理解を得るための取り組みを進めた。

（２）平成25年度の主な取り組み予定

・　幅下小学校・江西小学校・那古野小学校の統合に向け、３校合同の検討組織において合意の形成を図る。合意が得られた後、統合準備会を設置し、円滑な開校に向けた話し合いや準備を進める。

・　計画の対象校及び統合の相手校について、各学校の状況に応じ、26年度入学予定児童の保護者への説明会や、ＰＴＡや地域住民に対する説明等を実施するなど、引き続き小規模校対策　への理解を得るための取り組みを進める。

第２章　学校設備の充実状況

平成24年度に実施した学校設備の充実状況は、次のとおりである。

（千円）

項目＼種別		小学校	中学校	高等学校	幼稚園	特別支援学校	備考
1	主要設備品の更新	60,806	47,818	9,407	—	—	
2	多目的スペース設備品	—	—	—	—	—	
3	増改築設備品	1,225	721	—	—	—	
4	体育館兼講堂設備品	—	—	—	—	—	
5	産業教育設備品	—	—	5,067	—	—	
6	理科教育設備品	42,097	68,862	3,559	—	—	
7	教材教具設備品	271,415	194,063	35,556	35,567	3,728	
8	教室設備品修繕費	14,720	14,421	590	—	—	
9	表簿用紙の購入	4,034	2,520	1,398	181	155	
10	どん帳の整備	2,048	—	—	—	—	
計		396,345	328,405	55,577	35,748	3,883	

第３章　学校施設の管理

１　学校施設の機械警備

（１）概　要

教育委員会が所管する学校における教職員の勤務時間外の学校施設、物品等の保全を図るため、電話回線を利用した送信装置及び受信装置により次の警備を行い、火災、盗難等の災害が発生したときには、時間外学校管理員（嘱託員）が緊急措置を講ずる。

ア　火災警備　自動火災報知設備による火災の警戒
イ　盗難警備　防犯警報装置による重要な行政文書、物品等の盗難、その他の不法行為等の発生の警戒

（２）集中監視センター

教育館内に学校整備課の分室を設け機械警備の受信装置を置いている。教職員の勤務時間外に16人の嘱託員が、交替でその常時監視にあたるとともに、災害発生時には必要に応じて学校に出向く等、緊急措置のために備えている。

２　学校（園）近隣協力員

機械警備の補完として、各校（園）２名（併設園を除く）を学校（園）長の内申に基づき教育委員会が依頼する。学校内の鍵を保管し、学校施設の異常を確認した場合に関係機関へ通報したり、地震・風水害等で避難所となる場合には、その開設について協力する。

第３部　幼児、児童、生徒、教職員

第１章　幼児、児童、生徒

１　幼児、児童、生徒数

（１）市立幼稚園・学校の学校種別学年幼児、児童、生徒数

（平成25年５月１日現在）

区　　分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校		特別支援学校		
					全日制	定時制	小学部	中学部	高等部
	男	308	9,421	9,049	1,657	159	13	49	145
１　年	女	307	9,098	8,394	2,351	136	6	27	87
	計	615	18,519	17,443	4,008	295	19	76	232
	男	402	9,158	9,100	1,609	140	24	39	129
２　年	女	345	8,863	8,402	2,368	107	10	22	82
	計	747	18,021	17,502	3,977	247	34	61	211
	男	399	9,410	9,282	1,600	107	23	40	114
３　年	女	375	9,078	8,635	2,219	96	16	15	61
	計	774	18,488	17,917	3,819	203	39	55	175
	男	—	9,401	—	—	83	14	—	—
４　年	女	—	8,924	—	—	81	4	—	—
	計	—	18,325	—	—	164	18	—	—
	男	—	9,545	—	—	—	34	—	—
５　年	女	—	9,075	—	—	—	15	—	—
	計	—	18,620	—	—	—	49	—	—
	男	—	9,951	—	—	—	20	—	—
６　年	女	—	9,181	—	—	—	11	—	—
	計	—	19,132	—	—	—	31	—	—
	男	1,109	56,886	27,431	4,866	489	128	128	388
計	女	1,027	54,219	25,431	6,938	420	62	64	230
	計	2,136	111,105	52,862	11,804	909	190	192	618

（注）　幼稚園１年欄は３歳児、２年欄は４歳児、３年欄は５歳児。

（２）行政区別幼児、児童、生徒数

（平成25年５月１日現在）

区分		千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田
幼稚園	男	65	96	100	87	―	―	35	25	―
	女	54	110	78	93	―	―	35	32	―
	計	119	206	178	180	―	―	70	57	―
小学校	男	3,595	1,474	3,741	3,497	2,520	1,051	2,231	2,517	1,312
	女	3,360	1,351	3,567	3,248	2,413	986	2,124	2,489	1,306
	計	6,955	2,825	7,308	6,745	4,933	2,037	4,355	5,006	2,618
中学校	男	1,521	623	1,876	1,666	1,261	403	948	1,086	703
	女	1,349	604	1,753	1,622	1,139	417	847	1,050	610
	計	2,870	1,227	3,629	3,288	2,400	820	1,795	2,136	1,313
高等学校 全日制	男	486	459	506	337	―	―	562	―	―
	女	1,545	360	444	1,048	―	―	518	―	―
	計	2,031	819	950	1,385	―	―	1,080	―	―
高等学校 定時制	男	―	―	―	―	―	382	―	―	―
	女	―	―	―	―	―	406	―	―	―
	計	―	―	―	―	―	788	―	―	―
特別支援学校	男	―	―	―	―	―	―	―	―	214
	女	―	―	―	―	―	―	―	―	104
	計	―	―	―	―	―	―	―	―	318

区分		中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
幼稚園	男	106	―	―	65	237	216	77	1,109
	女	119	―	―	63	196	171	76	1,027
	計	225	―	―	128	433	387	153	2,136
小学校	男	5,867	3,988	3,106	5,103	7,784	4,791	4,309	56,886
	女	5,508	3,927	2,955	4,911	7,419	4,579	4,076	54,219
	計	11,375	7,915	6,061	10,014	15,203	9,370	8,385	111,105
中学校	男	3,022	2,169	1,663	2,383	3,682	2,339	2,086	27,431
	女	2,855	1,925	1,524	2,247	3,429	2,117	1,943	25,431
	計	5,877	4,094	3,187	4,630	7,111	4,456	4,029	52,862
高等学校 全日制	男	1,130	―	442	―	477	445	22	4,866
	女	519	―	636	―	559	633	676	6,938
	計	1,649	―	1,078	―	1,036	1,078	698	11,804
高等学校 定時制	男	107	―	―	―	―	―	―	489
	女	14	―	―	―	―	―	―	420
	計	121	―	―	―	―	―	―	909
特別支援学校	男	158	―	―	188	―	―	84	644
	女	90	―	―	116	―	―	46	356
	計	248	―	―	304	―	―	130	1,000

（３）高等学校の課程別・学科別生徒数、学級数

（平成25年５月１日現在）

区分		全日制		定時制		計		学科別比率（%）
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
普通科	男	3,555	193	350	20	3,905	213	65.9
	女	4,117		359		4,476		
	計	7,672		709		8,381		
商業科	男	79	42	32	4	111	46	13.6
	女	1,574		47		1,621		
	計	1,653		79		1,732		
工業科	男	1,118	39	107	4	1,225	43	12.9
	女	405		14		419		
	計	1,523		121		1,644		
家庭科	男	1	3	—	—	1	3	0.9
	女	118		—		118		
	計	119		—		119		
音楽科	男	10	3	—	—	10	3	0.9
	女	110		—		110		
	計	120		—		120		
英語科	男	29	3	—	—	29	3	0.9
	女	90		—		90		
	計	119		—		119		
総合学科	男	74	15	—	—	74	15	4.7
	女	524		—		524		
	計	598		—		598		
合計	男	4,866	298	489	28	5,355	326	100.0
	女	6,938		420		7,358		
	計	11,804		909		12,713		
課程別比率（%）		92.8		7.2		100.0		

（注） 比率は小数点以下第２位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

（４）年度別学校数、学級数、幼児・児童・生徒数、教員数

幼稚園

（各年度５月１日現在）

区分	園数	学級数	幼児数			教員数
			男	女	計	
23年度	23	96	1,098	1,062	2,160	159
24年度	23	98	1,085	1,073	2,158	167
25年度	23	97	1,109	1,027	2,136	170

小　学　校　　（各年度５月１日現在）

区　分	学校数			学級数	児　童　数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
23　年　度	262	0	262	4,188	58,444	55,258	113,702	6,030
24　年　度	263	0	263	4,166	57,439	54,574	112,013	6,063
25　年　度	263	1	264	4,168	56,886	54,219	111,105	6,103

中　学　校　　（各年度５月１日現在）

区　分	学校数			学級数	生　徒　数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
23　年　度	109	1	110	1,683	27,371	25,908	53,279	3,196
24　年　度	109	1	110	1,684	27,482	25,817	53,299	3,219
25　年　度	109	2	111	1,682	27,431	25,431	52,862	3,218

高 等 学 校　　（各年度５月１日現在）

区　分	学校数			学級数		生　徒　数						教員数	
	全日制	定時制	計	全日制	定時制	全　日　制			定　時　制			全日制	定時制
						男	女	計	男	女	計		
23　年　度	13	2	15	298	30	5,051	6,765	11,816	472	481	953	797	83
24　年　度	13	2	15	300	30	4,952	6,939	11,891	493	421	914	794	84
25　年　度	13	2	15	298	28	4,866	6,938	11,804	489	420	909	782	82

特別支援学校　　（各年度５月１日現在）

区　分	学校数	学級数	小　学　部			中　学　部			高　等　部			教員数
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
23　年　度	4	160	144	68	212	120	60	180	343	184	527	381
24　年　度	4	166	145	70	215	120	63	183	378	205	583	404
25　年　度	4	166	128	62	190	128	64	192	388	230	618	413

２　児童・生徒表彰件数

区　分	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総　計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
22　年　度	37	51	37	39	1	0	1	1	76	91	167
23　年　度	39	48	34	47	1	0	0	0	74	95	169
24　年　度	47	49	31	50	0	0	2	0	80	99	179

３　進　路　状　況

（比率は小数点以下第２位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。）

（１）平成25年度入学及び平成24年度卒業児童生徒数

区　分		入学児童生徒数			卒業児童生徒数		
		男	女	計	男	女	計
小学校		9,421	9,098	18,519	9,942	9,365	19,307
中学校		9,049	8,394	17,443	9,062	8,726	17,788
高等学校	全日制	1,657	2,351	4,008	1,699	2,267	3,966
	定時制	159	136	295	100	96	196

（２）平成24年度市立中学校卒業者の進路状況

区　分	卒業者	進学者			就職者その他
		全日制	定時制	通信制等	
男	9,062	8,025	201	593	243
女	8,726	8,037	152	382	155
計	17,788	16,062	353	975	398
比　率　％	100.0	90.3	2.0	5.5	2.2

（３）平成24年度市立高等学校卒業者の進路状況

ア　全日制課程

区　分	卒業者			進学者				就職者		専修学校等入学者		就職をして進学した者		その他	
				国公立		私　立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	1,238	1,367	2,605	277	273	601	790	11	16	321	264	—	—	28	24
商業科	31	496	527	—	1	7	65	14	264	8	124	—	—	2	42
工業科	396	127	523	1	4	57	22	292	58	42	37	—	—	4	6
家庭科	0	40	40	—	—	—	14	—	2	—	21	—	—	—	3
音楽科	4	30	34	1	11	3	9	—	—	—	10	—	—	—	—
英語科	7	32	39	—	7	5	22	—	—	2	2	—	—	—	1
総合科	23	175	198	1	—	16	71	5	47	1	51	—	—	—	6
計	1,699	2,267	3,966	280	296	689	993	322	387	374	509	—	—	34	82
比率％	100.0			56.9				17.9		22.3		0.0		2.9	

イ　定時制課程

区　分	卒業者			進学者				就職者		専修学校等入学者		就職をして進学した者		その他	
				国公立		私　立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	77	81	158	1	2	22	25	10	8	29	26	—	—	15	20
商業科	4	13	17	—	—	—	—	2	2	—	3	—	—	2	8
工業科	19	2	21	—	—	2	—	11	—	2	—	—	—	4	2
計	100	96	196	1	2	24	25	23	10	31	29	—	—	21	30
比率%	100.0			26.5				16.8		30.6		—		26.0	

（注）　専修学校等入学者…専修学校（専門課程）、専修学校（一般課程）、各種学校（予備校、洋裁学校等）、又は公共職業訓練機関等に入学した者

（４）市立中学校、高等学校の進路累年比較

ア　中　学　校

区　分	卒業者		進学者						就職者その他	
			全日制		定時制		通信制等			
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
22　年　度	17,189	100.0	15,545	90.4	339	2.0	847	4.9	458	2.7
23　年　度	17,509	100.0	15,860	90.6	305	1.7	945	5.4	399	2.3
24　年　度	17,788	100.0	16,062	90.3	353	2.0	975	5.5	398	2.2

イ　高等学校（全日制）

区　分	卒業者		進学者		就職進学者		就職者		その他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
22　年　度	3,801	100.0	2,224	58.5	—	—	658	17.3	919	24.2
23　年　度	3,821	100.0	2,227	58.3	—	—	676	17.7	918	24.0
24　年　度	3,966	100.0	2,258	56.9	—	—	709	17.9	999	25.2

ウ　高等学校（定時制）

区　分	卒業者		進学者		就職進学者		就職者		その他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
22　年　度	172	100.0	44	25.6	—	—	18	10.5	110	64.0
23　年　度	181	100.0	51	28.2	—	—	32	17.7	98	54.1
24　年　度	196	100.0	52	26.5	—	—	33	16.8	111	56.6

４　児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況

（比率は小数点以下第３位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。）

（１）平成24年度間長期欠席児童生徒数

ア　長期欠席者総数と長期欠席率

区　分	在　学　者　数			長期欠席者数			長期欠席率（%）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小　学　校	57,439	54,574	112,013	627	541	1,168	1.09	0.99	1.04
中　学　校	27,482	25,817	53,299	1,066	989	2,055	3.88	3.83	3.86
合　　計	84,921	80,391	165,312	1,693	1,530	3,223	1.99	1.90	1.95

（注）　長期欠席者とは、年間を通じて30日以上欠席した者

イ　長期欠席者総数と長期欠席率（欠席理由別）

区　分	長期欠席者数	欠席理由別長期欠席者数			欠席理由別欠席率（%）		
		身体傷病	不登校	家庭によるもの	身体傷病	不登校	家庭によるもの
小　学　校	1,168	393	447	328	33.65	38.27	28.08
中　学　校	2,055	311	1,382	362	15.13	67.25	17.62
合　　計	3,223	704	1,829	690	21.84	56.75	21.41

ウ　長期欠席者の行政区別比較

区分		千種	東	北	西	中村	中	昭和
小学校	在学者	6,910	2,788	7,442	6,871	5,005	2,065	4,328
	長期欠席者	56	40	104	62	45	44	19
	長期欠席率	0.81	1.43	1.40	0.90	0.90	2.13	0.44
中学校	在学者	2,886	1,222	3,654	3,281	2,401	828	1,780
	長期欠席者	78	35	165	125	109	60	45
	長期欠席率	2.70	2.86	4.52	3.81	4.54	7.25	2.53

エ　欠席理由別・欠席日数別長期欠席者数

区分			小学				
			1年	2年	3年	4年	5年
在学者（A）			18,090	18,472	18,361	18,665	19,161
長期欠席者（B）			119	151	158	201	245
学年別長期欠席率（B／A×100）％			0.66	0.82	0.86	1.08	1.28
欠席理由別	本人によるもの	身体傷病	56	57	64	68	80
		不登校	24	39	48	90	107
	家庭によるもの	経済的理由	0	0	0	0	0
		家族の傷病	1	2	4	5	2
		保護者の無理解	22	26	23	22	37
		その他	16	27	19	16	19
欠席日数別	30日～49日		72	73	80	80	101
	50日～99日		27	42	44	66	79
	100日～149日		14	17	21	25	31
	150日以上		4	16	10	27	22
	全欠席		2	3	3	3	12

瑞　穂	熱　田	中　川	港	南	守　山	緑	名　東	天　白	計
4,989	2,687	11,651	8,021	6,166	9,889	15,129	9,551	8,521	112,013
26	20	177	152	89	87	111	84	52	1,168
0.52	0.74	1.52	1.90	1.44	0.88	0.73	0.88	0.61	1.04
2,174	1,268	5,952	4,149	3,311	4,657	7,132	4,487	4,117	53,299
70	31	312	238	157	157	217	125	131	2,055
3.22	2.44	5.24	5.74	4.74	3.37	3.04	2.79	3.18	3.86

校			中　学　校				
6　年	計	比率（%）	1　年	2　年	3　年	計	比率（%）
19,264	112,013		17,574	17,945	17,780	53,299	
294	1,168		494	763	798	2,055	
1.53	1.04	—	2.81	4.25	4.49	3.86	—
68	393	33.65	86	126	99	311	15.13
139	447	38.27	316	502	564	1,382	67.25
0	0	—	0	2	0	2	0.1
5	19	1.63	5	19	13	37	1.80
43	173	14.81	43	52	58	153	7.45
39	136	11.64	44	62	64	170	8.27
130	536	45.89	141	175	132	448	21.80
82	340	29.11	146	213	190	549	26.72
38	146	12.50	116	171	204	491	23.89
35	114	9.76	83	172	217	472	22.97
9	32	2.74	8	32	55	95	4.62

（２）就学免除・猶予児童生徒数

（平成25年５月１日現在）

不就学理由 / 年齢 性別		就学免除者					就学猶予者				
		病弱・発育不全	は少年院にいるため児童自立支援施設又	重国籍のため	その他	計	病弱・発育不全	は少年院にいるため児童自立支援施設又	重国籍のため	その他	計
６歳	男										
	女	1				1					
７歳	男										
	女										
８歳	男										
	女	1				1				1	1
９歳	男										
	女										
10歳	男									1	1
	女									3	3
11歳	男									2	2
	女									1	1
小計（６～11歳）	男									3	3
	女	2				2				5	5
12歳	男									3	3
	女										
13歳	男									2	2
	女									1	1
14歳	男									2	2
	女									1	1
小計（12～14歳）	男									7	7
	女									2	2
合計（６～14歳）	男									10	10
	女	2				2				7	7

第２章　教　職　員

１　教職員構成状況

（１）学校種別職務別教職員数

（平成25年５月１日現在）

区分	校(園)長		教頭		主幹教諭		教諭		養護教諭		栄養教諭		講師		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
幼稚園	2	19					5	119					1	24	8	162	170
小学校	218	44	220	43	3		1,665	3,426		306	1	26	67	84	2,174	3,929	6,103
中学校	98	11	105	6	6	1	1,505	1,279		132		1	37	37	1,751	1,467	3,218
高等学校 全日制	12	1	12	1			462	249		22			15	8	501	281	782
高等学校 定時制	1		3				48	24		4			1	1	53	29	82
特別支援学校	4		7	1			138	229	1	8		2	12	11	162	251	413
小計	335	75	347	51	9	1	3,823	5,326	1	472	1	29	133	165	4,649	6,119	10,768
合計	410		398		10		9,149		473		30		298				

区分	事務職員		実習助手		栄養職員		業務士			
							給食調理員		用務員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
幼稚園									22	22
小学校	114	170			4	86	22	826	286	266
中学校	65	70				2			124	112
高等 全日制	32	9	19	36					14	13
学校 定時制	3	1	2	4					2	1
特別支援学校	6	9		(24)	1	1		14	4	4
小計	220	259	21	(24) 40	5	89	22	840	452	418
合計	479		(24) 61		94		862		870	

（注）　実習助手欄の（　）内は、介助職員で別掲。業務士には、嘱託員を含む。

（２）学校種別年齢段階別教員数（小、中学校）　（平成25年４月１日現在）

区分	小学校						中学校					
	男		女		計		男		女		計	
	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率
２５歳未満	69	1.4	167	3.3	236	4.7	37	1.3	47	1.7	84	3.0
25歳～29歳	320	6.4	574	11.5	894	17.9	266	9.5	249	8.9	515	18.3
30歳～34歳	334	6.7	605	12.1	939	18.8	249	8.9	169	6.0	418	14.9
35歳～39歳	201	4.0	406	8.1	607	12.1	178	6.3	178	6.3	356	12.7
40歳～44歳	162	3.2	343	6.9	505	10.1	160	5.7	161	5.7	321	11.4
45歳～49歳	210	4.2	467	9.3	677	13.5	182	6.5	162	5.8	344	12.2
50歳～54歳	133	2.7	368	7.4	501	10.0	227	8.1	181	6.4	408	14.5
５５歳以上	163	3.3	495	9.9	658	13.2	168	6.0	179	6.4	347	12.3
合計	1,592	31.9	3,425	68.5	5,017	100.4	1,467	52.2	1,326	47.2	2,793	99.4
平均年齢	38歳6月		40歳2月		39歳8月		40歳5月		40歳7月		40歳6月	

（注）　１　臨時講師（１年未満）、非常勤講師は含まない。
　　２　比率は小数点以下第２位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

２　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数

（平成25年５月１日現在）

区別／学校別	学校医	学校医（眼科）	学校医（耳鼻咽喉科）	学校医（精神科）	学校歯科医	学校薬剤師
	人	人	人	人	人	人
小学校　(264)	263	263	—	—	263	263
中学校　(111)	110	110	110	4	110	110
全日制（13）	13	—	—	—	13	13
高等学校　単位制（１）	1	—	—	—	1	1
定時制（２）	2	—	—	—	2	2
幼稚園　(23)	23	—	—	—	23	23
特別支援学校　（４）	4	4	4	4	4	4
計	416	377	114	8	416	416

（注）　（　）内は、学校・園数（分校を含む。）

３　教員の採用と異動状況

（１）教員志願と採用状況

平成24年度実施の教員採用選考により、幼・小・中・高・特別支援学校（小・中学校特別支援学級を含む。）教員、養護教員及び栄養教員合わせて447人を平成25年４月１日付で採用した。

平成24年度実施教員採用選考状況

区　　分	志願者数	受験者数	採用者数	採　　用　　内　　訳				
				幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学　　校
					（特別支援学級含む）			
幼 稚 園 教 員	107	96	7	7	—	—	—	—
小 学 校 教 員	920	850	245	—	245	—	—	—
中 学 校 教 員 高等学校教員	1,219	1,051	153	—	—	126	27	—
特別支援学校教員	65	54	16	—	—	—	—	16
養　護　教　員	170	151	21	—	12	7	2	—
栄　養　教　員	36	27	5	—	5	—	—	—
合　　計	2,517	2,229	447	7	262	133	29	16

（２）平成24年度末教員異動状況

ア　教員異動の大部分は、平成25年４月１日付で実施した。

イ　教員の異動方針は、次のとおりである。

（ア）清新の気を流入し、教育意欲の高揚を図る。

（イ）公正かつ適正な異動を行い、人事の刷新を図る。

（ウ）広く人材を登用し、学校教育の活性化を図る。

（エ）適材を適所に配置し、教職員構成の均衡を図る。

平成24年度末教員異動状況（一般教員）

区　　分	転　　任	退職及び市外転出
幼　　稚　　園	17	5
小　　学　　校	549	178
中　　学　　校	333	80
高　等　学　校	76	25
特 別 支 援 学 校	43	6
合　　計	1,018	294

平成24年度末教員異動状況（校（園）長・教頭）

区　分	新　任		転　任		退職及び市外転出	
	校（園）長	教　頭	校（園）長	教　頭	校（園）長	教　頭
幼　稚　園	4	―	3	―	3	―
小　学　校	51	51	46	21	61	11
中　学　校	16	20	20	6	19	2
高　等　学　校	3	3	2	1	4	2
特別支援学校	0	4	1	0	1	2
合　計	74	78	72	28	88	17

４　教職員表彰件数

区　分	幼稚園	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総　計		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
22　年　度	0	2	5	2	5	3	0	0	0	7	10	17
23　年　度	0	1	6	5	0	1	1	0	0	7	7	14
24　年　度	1	3	7	1	2	1	0	1	0	6	10	16

５　教職員の福利厚生

教職員の福利厚生は、主として公立学校共済組合及び財団法人愛知県教育職員互助会の事業として実施されている。また補完的に市立学校教職員で組織する名古屋市教職員福利厚生会が、レクリエーションを主体とした事業を実施している。

６　平成24年度教員免許状取得状況

名古屋市立学校教員で平成24年度中に新たに免許状を取得した件数は次のとおりで、合計77件である。

免許状種別	件数	計	免許状種別	件数	計
高等学校教諭専修免許状	8	14	幼稚園教諭専修免許状	1	2
高等学校教諭一種免許状	6		幼稚園教諭一種免許状	1	
高等学校助教諭臨時免許状	0		幼稚園教諭二種免許状	0	
			幼稚園助教諭臨時免許状	0	
中学校教諭専修免許状	7	12	養護教諭専修免許状	1	4
中学校教諭一種免許状	3		養護教諭一種免許状	3	
中学校教諭二種免許状	2		養護教諭二種免許状	0	
中学校助教諭臨時免許状	0		養護助教諭臨時免許状	0	
小学校教諭専修免許状	5	32	特別支援学校教諭専修免許状	0	10
小学校教諭一種免許状	13		特別支援学校教諭一種免許状	1	
小学校教諭二種免許状	14		特別支援学校教諭二種免許状	9	
小学校助教諭臨時免許状	0		特別支援学校助教諭臨時免許状	0	
栄養教諭一種免許状	2	3			
栄養教諭二種免許状	1				

７　教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）

学校教育の充実及び円滑な推進を図るため「名古屋市教育人材バンク」を昭和61年７月に教育館内に設置し、臨時講師の発掘、登録及び紹介事務を行っている。平成20年４月より、「名古屋市教育サポートセンター」と名称を変更し、人材を有効に活用するための事業拡大を図る。

平成24年度中の登録者数及び派遣・紹介した講師の人数は次のとおりである。

種別	登録者数（24.４～25.３）	登録者総数（25.３.31現在）	派遣者数（24.４～25.３）
	人	人	人
臨時講師	1,027	4,343	1,947

８　学校事務支援センター

学校事務支援センターでは、学校（幼稚園を含む）事務に係る必要な事務を行うことにより、学校事務の円滑かつ適正な運営を図るため、学校事務の支援及び助言、手引・マニュアルの電子化を行う等の事務改善、学校用品の一括調達・支払、小中学校間における学校事務の連携に関す

ること等を行っている。

９　学校問題解決支援チーム

名古屋市立学校・幼稚園における解決困難な事案について、その早期解決と学校の負担軽減を図るため、平成23年度に学校問題解決支援チームを設置した。教育委員会と各分野の専門家が連携し、学校に対し指導・助言及び支援を行っている。

第４部　学　校　教　育

第１章　教　育　指　導

１　平成24年度学校教育の努力目標

学校は、「夢に向かって人生をきり拓く子どもの育成」を期し、豊かな感性と創造力を備え、心身ともに調和のとれた人間形成を図る役割を担っている。

そのため、各学校では、一人一人の持つよさや可能性を理解し、他者とのかかわりの中でその伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ教育実践が進められている。一方、学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、いじめ・不登校の解消、運動習慣の確立など、家庭や地域と連携して取り組まなければならない課題もある。また、東日本大震災の教訓から、想定を超えた状況下でも、子どもが自ら考え行動できる力を育てるよう、防災教育を充実する必要がある。

そこで、各学校では、子どもの実態と学習指導要領等の趣旨を踏まえ、明確な教育目標に基づく創意ある教育活動を学びの連続性を重視しつつ展開していかなければならない。さらに、学校評価や学校評議員制を活用しつつ、主体的に学校運営や教育活動の改善に取り組む「創造していく学校づくり」に努めていかなければならない。

子どもが、笑顔で学校生活を送り、瞳を輝かせて学ぶことができるよう、平成24年度名古屋市学校教育の努力目標を次のように定める。

広がる笑顔　輝く瞳

１　基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現する力の育成に努める。
２　創り出す喜びや表現する楽しさ、美しいものや自然に感動する心など、豊かな感性の育成に努める。
３　思いやりの心、自律心や公共心、自他の生命や人権を尊重する態度、自分や家族・郷土に対する誇りや愛着など、道徳性の涵養に努める。
４　すすんで運動に親しむとともに、望ましい生活習慣を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送ろうとする態度の育成に努める。

２　教育課程の概況

学習指導要領を基準とし、本市教育課程を参考として、各学校で教育課程を編成し、年間35週の授業時間を確保した。

平成24年度の名古屋市立小中学校の授業時間数の設定は、次のとおりである。

小学校標準授業時数（平成24年度）

区　分		第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
各教科の授業時数	国語	306	315	245	245	175	175
	社会	—	—	70	90	100	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科	—	—	90	105	105	105
	生活	102	105	—	—	—	—
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭	—	—	—	—	60	55
	体育	102	105	105	105	90	90
道徳の授業時数		34	35	35	35	35	35
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		—	—	70	70	70	70
外国語活動		—	—	—	—	35	35
総授業時数		850	910	945	980	980	980

中学校標準授業時数（平成24年度）

区　分		第１学年	第２学年	第３学年
必修教科の授業時数	国語	140	140	105
	社会	105	105	140
	数学	140	105	140
	理科	105	140	140
	音楽	45	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育	105	105	105
	技術・家庭	70	70	35
	外国語	140	140	140
道徳の授業時数		35	35	35
特別活動の授業時数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
総授業時数		1,015	1,015	1,015

３　指　導　方　針

各学校においては、名古屋市学校教育の努力目標を達成するため、一人一人の児童生徒の持つよさや可能性を理解し、その伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ適切な教育活動を行うことによって、自らの力を十分に発揮し、自信と希望をもって学校生活を送ることができるようにする必要がある。そのために、次の事項について具体的に検討し、校内での共通理解を図り、創意と工夫のある指導に努める。

【教育課程編成】

教育課程の編成に当たっては、学習指導要領に基づくとともに、本市教育課程を参考にして、児童生徒一人一人の学習状況や興味・関心を的確に把握し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくみ、自ら課題を解決しようとする力の育成が図られるよう全体として調和のとれた編成に努める。その際、各教科等の関連、学びの連続性を重視するとともに、地域や学校の実態に応じ、創意工夫を生かした教育活動が展開できるように留意する。

【指導と評価】

1　各教科等の指導に当たっては、知的好奇心を喚起する「分かる授業」を展開し、児童生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、次の点に留意する。

・ 言語活動の充実を図り、体験的・問題解決的な学習及び自主的・自発的な学習を重視した指導に努める。指導にあたっては、「コミュニケーション能力育成事例集」等を参考にする。

・ 児童生徒が、学習内容を確実に身に付けることができるように個別指導やグループ別指導、繰り返し指導を取り入れる。また、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習や補充的・発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など、指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実に努める。

・ 学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、運動習慣の確立などについては、家庭と連携して定着を図ることが必要である。

・ 児童生徒が、情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用できるようにする学習活動の充実に努める。

・ 教科書やその他の教材・教具の有効活用や学校図書館、特別教室・施設の計画的な活用に努める。

2　児童生徒の個に応じた指導に配慮して、個性の伸長を図るとともに、豊かな心の育成に努め、相互理解に基づく温かい人間関係を育てる。また、より良い人格の形成や社会性の育成を図るために、すべての教育活動を通して、基本的な生活習慣及び集団や社会のルール・マナーを身に付けさせる指導に努める。

3　健康教育、人権教育、国際理解教育、環境教育、情報教育等については、他の各教科等との関連付けを図るなど、指導計画に適切に位置付けた指導に努める。

4　障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、一人一人の教育的なニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、計画的・組織的に適切な指導及び必要な支援に努める。

5　学習の到達目標を明確にして、学習内容の指導の徹底を図るとともに、評価規準を設定して、指導の過程や成果を絶えず評価し、より効果的な指導が行えるよう指導の改善を図るなど、指導と評価の一体化に努める。

4　個に応じた指導

（1）小学校１年生・２年生の30人学級、中学校１年生の35人学級の全校実施

学校生活の入門期の小学校１、２年生において30人以下の学級を基本として構成し、一人一人を大切にしたきめ細かな指導を展開することにより、学校生活に早く慣れ親しむことを目的としている。平成21年度より、愛知県と同様、「中１ギャップ」に対応するため、中学校１年生での35人学級を実施している。

（２）少人数指導の推進

基本教科を中心とした少人数による指導やティームティーチングを通して、児童生徒の基礎学力の定着を図ることを目的としている。

（３）学習支援講師

基礎学力の補充が必要な児童生徒の個別指導を促進し、各教科における自学自習の機会を広げるために学習指導支援講師を、また、不登校児童生徒や問題行動への対応に取り組む教員をサポートするために不登校対応支援講師を派遣している。さらに、日本語指導を必要とする児童生徒が多く在籍する学校には日本語指導講師を、通常の学級に在籍している発達障害の児童生徒に対してきめ細かな指導が必要である学校には発達障害対応支援講師を派遣し、学習補充や適応指導の充実を図っている。

５　総合的な学習の時間

（１）趣旨

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育成するために、児童生徒の興味・関心などに基づく課題や国際理解、情報、環境、福祉・健康などの課題、地域や学校の特色に応じた課題等に取り組む。小学校３年生から中学校３年生まで実施。

（２）取り組み例

○　藤前干潟の自然や環境を守る取り組みや福祉についての調べ学習
○　地域の人の協力を得た中学生の職場体験学習
○　保護者や地域の方々を学習ボランティアとして招いている。
○　「その道の達人派遣事業」で、その道の達人である大学教授・ものづくりの熟練職人・外国人ボランティア・博物館等の学芸員・図書館司書などが学校に出向き、自らの専門分野を児童生徒にわかりやすく教える授業を展開した。
○　環境教育を推進する一つの方法として、「環境学習ウィーク・トライ＆アクション」において、児童生徒の主体的な環境保全活動の取り組みをした。

６　生　徒　指　導

（１）学校教育全体を通して、共通理解に基づいた生徒指導体制の確立を目指し、望ましい人間関係の育成、一人一人を大切にする個別指導に努めた。
（２）小学校低学年では、基本的生活習慣の育成に重点をおき、中学年以上では、生活場面での具体的指導に努めた。また、中学校では教師と生徒、生徒相互の人間的な心のふれあいを重視し、一人一人の生活実態に即した適切な指導と教育相談の充実に努めた。
（３）家庭・地域・関係諸機関との連携を密にするとともに、「いじめ」を始めとする児童生徒の問題行動については早期発見・早期対応に努めた。

（4）生徒指導対策として、次の事業を実施した。

○　生徒指導担当教員の連絡会の開催……　中学校生徒指導主事連絡会（ブロック・区）

○　関係諸機関との連絡会の開催……　中学校生徒指導連絡協議会（市教委・学校・関係諸機関）

○　児童・生徒指導活動推進……　進路指導、地域別懇談会、緊急家庭訪問、いじめ・問題行動等防止対策連絡会議（中学校ブロック）、学区巡視パトロール、児童・生徒指導校内研修会　等

○　スクールカウンセラーの配置……　中学校110校、高等学校14校に配置

○　中・高生による「夢･チャレンジ」支援事業…　14校で実施

○　特設講座(基礎・発展)の開設（小･中･特別支援学校）…　非常勤講師をのべ161校に配置

○　高校生徒指導活動推進……　要指導生徒家庭訪問、緊急指導対策、生徒指導主事連絡協議会、校外補導等

○　ふれあいフレンド事業……　小学校86校に配置

○　いじめ対策……　いじめ・問題行動等防止対策連絡会議（中学校ブロック）の緊急開催、チラシ「子どもたちをいじめから守ろう」の地域回覧、いじめ防止啓発シール・ポスターの作成・配布、なごやＩＮＧ（いじめのない学校づくり）キャンペーンの実施

7　不登校児童生徒対策

（1）概　　要

ア　「生活指導の手引」等を参考にして不登校児童生徒への援助・指導や教育相談活動の充実に向けての取り組みを進めた。

イ　遊び・非行や無気力などによる不登校児童生徒に対しては、13人の生徒指導相談員が臨床心理士のサポートを受け、家庭・学校などへの訪問相談・指導を行った。

ウ　不登校児童生徒の減少を図るために、不登校対応支援講師を派遣し、児童生徒の実態に合った具体的な不登校対策を推進した。

（2）名古屋市子ども適応相談センター（愛称：なごやフレンドリーナウ）

心理的な理由により登校できない児童生徒に対して、教育相談、適応指導を行いながら早期に学校へ復帰させることを目的として、昭和63年12月に開設した。平成３年９月には改築移転し、施設・事業の拡充を図った。

教育相談部と適応指導部の二部門による相談・適応指導を行う。

平成24年度の実績等は次表のとおりである。

所　在　地	名古屋市西区城西三丁目20番30号
通所申込者数	273人
学校復帰者数	128人（小学生29人・中学生99人）

８　進　路　指　導

（１）中学生に対する進路指導は、主として学級活動の時間に、高校生に対しては、主としてホームルームの時間に行った。

（２）自己の個性の理解、進路への関心の高揚、進路の明確化とその吟味、進路情報の理解と活用、望ましい勤労観・職業観の形成、将来の生活設計、適切な進路選択などの指導に努めた。

（３）中学校全校に配置した進路指導用コンピュータを活用し、事務量の軽減を図るとともに、学校独自の指導資料の作成や、より適切な進路指導が行えるよう配慮した。

（４）中学校全校に整備した進路指導室を活用し、生徒一人一人の実態に即した進路指導の一層の充実を図った。

（５）個々の生徒に対する指導の徹底を図るために、生徒の家庭との連絡を密にし、保護者会、進路相談など計画的に実施した。

（６）よりきめの細かい進路指導の体制を確立するため、非常勤講師あるいは本務教員を配置した。

９　特　別　活　動

教師と児童生徒、児童生徒相互の人間的な触れ合いを基盤に、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図った。また、集団の一員としての自覚を高め、よりよい生活や人間関係を築いていく資質や能力を身に付けていくよう支援した。

（１）児童生徒が児童会・生徒会活動に、自発的・積極的に参加するよう支援した。

（２）学級活動においては、児童生徒が自主的に活動の計画や実践をできるよう支援した。

（３）児童一人一人が個性の伸長を図り、集団の一員として協力できるように、文化的、体育的、生産的又は奉仕的な活動の全般にわたってクラブを設けるようにした。

（４）日常の学習成果を生かし、児童生徒の自主的な活動を助長するような学校行事の実践に努めた。

（５）心豊かな実践力のある児童生徒を育てるために、全小中学校で体験活動や地域との交流活動などを実施した。

10　道　徳　教　育

（１）学校の教育活動の全体を通して行うことを基本とし、特に、各学校の教育目標、地域や児童生徒の実態を踏まえた全体計画を全教師の共通理解のもとに作成し、効果的な指導に努めた。また、家庭や地域社会との連携を図り、指導の効果を一層高めるように努めた。

（２）道徳の時間の指導に当たっては、「生きる力」の育成及び今日的な教育課程に対応した重点指導の内容を明確にし、児童生徒の実態に即した年間指導計画を作成し、その指導実践を通して、よりよく生きるための道徳的実践力を培うように努めた。

（３）毎時間の指導においては、読み物資料・「心のノート」の利用、教育機器の活用、体験活動との関連を図るなどし、一人一人の児童生徒の道徳性の育成を図るように努めた。

11 安 全 教 育

（1）交通安全教育

交通安全指導の手引、名古屋市教育課程（特別活動編）に基づき、地域や学校の実情に即した指導を行った。

交通訓練日の設定や、交通安全行事への積極的な参加により、交通安全の意識の高揚に努めた。

各校の通学路を検討し、登下校の安全確保に努めた。

ア 新入学児童の交通安全対策

新入学児童全員に黄色い帽子を支給し、通学の安全を図った。

新入学児童保護者に対して市長から交通安全メッセージの手紙を送り、交通指導員から「交通安全のお願い」のリーフレットを渡すとともに交通安全講話を行い、交通安全の徹底を図った。

イ 交通安全指導用備品等の配置

小学校及び特別支援学校に自転車用ヘルメットなどの備品を配置し、「自転車安全教室受講証」を配布した。

ウ 通学路安全対策検討会の開催

通学路の交通安全施設に関する要望事項を、各関係機関と協議・判定し、その結果を各学校に説明した。

関係機関から児童・生徒の交通事故防止や区における安全対策について説明した。

エ 学童交通生活安全協力功労者及び団体への感謝状贈呈

各区に選考委員会を設け、区長の推薦により、教育委員会が対象者を決定し、個人16人、団体16団体に対し、感謝状と記念品を贈呈した。

オ 平成24年度における幼児・児童・生徒の交通事故（教育委員会への届出による）

事故程度別 （人）

軽 傷	重 傷	死 亡	計
39	28	0	67

学校種別 （人）

幼	小	中	高	計
1	51	13	2	67

（2）防災教育

授業時、業間など様々な場合を想定した避難訓練を実施し、緊急時の避難方法の習得に努めた。また、児童生徒の防災に対する意識を高め、家庭とも連携した防災教育を図るために、「なごやっ子防災ノート」を作成・配布するとともに、防災教育の指導を徹底するため、地域や学校の実情に即した指導事項や指導例などを盛り込んだ、教員向けの「防災教育の手引

き」を作成・配付した。

12　学校図書館教育

（1）自ら学ぶ学習態度の育成を目指し、教育活動全体を通して、学校図書館の計画的な利用を図った。

（2）豊かな人間性の育成を目指し、図書館利用指導や読書指導を通して、読書の習慣化に努めた。

（3）利用しやすい図書館づくりを目指し、資料整理と施設・設備の改善に努めた。

（4）「学校図書館の指導の手引き」を活用し、子どもたちの健やかな成長を支える読書活動が推進されるよう努めた。

13　職　業　教　育

（1）教育課程の運営に当たって、指導内容及び指導方法の工夫と改善を推進した。

（2）望ましい勤労観・職業観の育成を目指し、インターンシップ（就業体験）を職業に関する専門学科を有する全日制の全ての高校で実施した。

（3）課題解決能力の育成を図るため、職業に関する全ての学科で「課題研究」の推進を図った。

（4）全校をインターネットに接続し、ネットワークを活用した模擬取引等の実施をすすめるなど、その教育利用を推進した。

（5）本市の職業教育の充実・振興を図ることを目的として、商業科・工業科・総合学科の高校生10人を東南アジアに派遣し、現地の産業の視察や体験活動などを行った。

14　野　外　教　育

（1）概　　要

名古屋の児童生徒に対して、自然に親しみ豊かな自然環境の中での学習や集団生活を体験させるため、稲武（昭和41年９月開設）及び中津川（昭和45年12月開設）の野外教育センターを利用し、中学校２年生、小学校５年生全員に２泊３日の野外教育を実施した。また、野外学習センター（平成２年５月開設）は、高校生のオリエンテーション・部活動合宿・その他の研修や中学生の野外教育などの場として利用されている。

（2）施設の概要

施設名	名古屋市稲武 野外教育センター	名古屋市中津川 野外教育センター	名古屋市野外 学習センター
所在地	愛知県豊田市稲武町 井山１番地の19	岐阜県中津川市 苗木4827番地	愛知県豊田市富永町 ヨシガタイラ15番地

施　設	敷地総面積　約315万㎡ 建　物　（延面積） 第一本館　2,950.70㎡ 第二本館　1,553.69㎡ 第三本館　1,376.37㎡ 多目的ホール　1,722.77㎡ 収容人員　600人 第一本館　200人 第二本館　200人 第三本館　200人	敷地総面積　約12万㎡ 建　物　（延面積） 第一本館　4,093.30㎡ 第二本館　2,619.62㎡ 多目的ホール　738.93㎡ 集会室　814.05㎡ 収容人員　700人 第一本館　400人 第二本館　300人	敷地総面積　約123万㎡ 建　物　（延面積） 管理棟　951.29㎡ 食堂棟　1,455.76㎡ 宿泊棟　1,587.10㎡ 体育館　1,332.00㎡ 収容人員　500人

（３）平成24年度施設利用状況

施　設　名	校　数	参加者合計（含引率者）
	校	人
稲武野外教育センター	103	17,827
中津川野外教育センター	267	20,729
野外学習センター	55	6,942

※野外学習センターについては、表中のほか、社会教育団体等（64団体、3,268人）が利用した。

15　国　際　理　解

（１）高校生海外派遣事業

本市では、平成４年から市立商業科・工業科・総合学科に在籍する高校生10人を東南アジアに夏季休業中12日間派遣し、体験学習や現地産業の視察を通して相互理解を深め国際的感覚の向上に努めている。また、平成７年より普通科を設置する市立高校８校より16人をシドニー市の現地高校へ18日間派遣するとともに、シドニー市からの高校生16人を14日間市立高校８校で受け入れてきた。平成21年度より本市からの派遣のみとなり、夏季休業中16日間派遣し、現地校での英語学習、授業体験、交流活動などにより、国際的視野をもった人間の育成を図っている。

（２）姉妹友好都市児童生徒書画展

本市の姉妹友好都市へ小中学生の作品を送るとともに、姉妹友好都市からも作品を送ってもらい、作品交換を通して国際親善に努めた。これらの作品については、名古屋市博物館において、本市児童生徒の作品とともに11月下旬に展示され、小中学生はもちろん、多数の市民の観覧を受け、国際親善に役立った。なお、名古屋国際学園の絵画作品と、「ふれあい協定」による中津川市・豊田市稲武地区の小中学生の作品も展示した。

（３）国際理解教育

本市では、昭和55年度より中高等学校の生徒に外国人英語指導助手の指導による学習を体験させ、英語学習に対する意欲を高めるとともに、生徒との直接的な交流による国際理解教育の実践を図っている。平成24年度は、助手95人を中学校全校、高等学校10校へ派遣した。

また、商業高校３校（中央高校含む）と総合学科高校１校には高等学校非常勤外国人講師を７人配置し、１校当たり全学年で年間500時間程度生きた英語による学習を体得した。さらに、名東高校にはロサンゼルス市より現職教員２人を配置するとともに、英語に慣れ親しむために小・特別支援学校266校へ英語活動アシスタントを、小学校260校に外国語活動アシスタントを派遣した。

（４）日本語教育が必要な児童生徒の受け入れ

ア　趣　　旨

急増する外国人児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るとともに、外国人児童生徒との直接的な交流体験を通して日本人児童生徒の国際理解を促進するために本市では以下のような取り組みを行っている。

イ　学校生活への適応指導

日本語教育相談センターに教育経験豊かな日本語学習支援コーディネーターと、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピノ語及びハングルが理解できるコンサルタントを配置して、電話等による相談や翻訳・通訳派遣要請に応じた。また、上記言語の会話集及びガイドブック「ようこそなごやへ」を活用して、日本語指導の充実を図っている。

ウ　日本語指導講師の配置

日本語指導が必要な児童生徒が多く在籍する小中学校には、日本語教育適応学級担当教員を配置するとともに、日本語指導講師を派遣し、日本語習得のための個別指導等を行った。

エ　母語学習協力員の配置

中区、港区、南区、緑区に、フィリピノ語、ポルトガル語、中国語が話せる母語学習協力員を配置し、拠点校を中心に日本語指導や適応指導の補助を行った。

（５）帰国児童生徒教育

ア　趣　　旨

近年、海外から帰国したり、海外へ出国したりする保護者の増加に伴い、同伴する児童生徒の就学・進路や学校への適応にかかわる教育相談が多くなった。そこで本市としては、教育相談機関と帰国児童生徒教育の研究校の充実を図るとともに、高等学校への帰国生徒の受け入れを実施している。また、中国からの帰国者が増加し、それに伴う児童生徒の教育の重要性が問われるようになってきた。

イ　教育相談機関

名古屋市教育センター等で、次のような事項について相談に応じた。

相談内容　１　出国に伴う教育上の問題
　　２　帰国に伴う進路・就職や学校への適応の問題
相 談 員　名古屋市教育センター担当指導主事

ウ　帰国児童生徒教育研究協議会における研究

最近、海外勤務経験者児童生徒とあいまって中国帰国児童生徒が増加しており、その教育上の問題も複雑化してきた。

（ア）　海外勤務経験者児童生徒数　田代小29人、東山小25人、城山中39人、笹島小31人、笹島中18人

（イ）中国帰国児童生徒数　浦里小29人、千鳥丘中11人　（平成24年度調査実績）

そこで、これらの問題に対応するために海外日本人学校の教職経験者や、帰国児童生徒教育研究協力校（上記７校）の教員で組織する帰国児童生徒教育研究協議会において、学校生活への早期適応指導、国際理解教育等に関する研究を進めている。指導方法としては学齢相当学年に入級させ、一般児童生徒とともに学習させること、特別時間割を設けて特定時間に帰国児童生徒を個別指導することで対応した。

エ　帰国児童生徒教育推進校

帰国児童生徒教育研究協力校のうち、笹島小学校と笹島中学校では、特に日本語教育が必要な海外勤務経験者児童生徒への個別指導などを行い、学校生活への適応を図った。また、ＡＥＴや外国人ボランティアの協力を得て、児童生徒が海外で身に付けた言語や国際的な感覚の保持・伸長を図った。

オ　海外帰国生徒にかかる入学者選抜

海外帰国生徒の高等学校への受け入れ特別措置として、名東高校英語科において、所定の資格を有する者に特別選抜を実施している。

16　情　報　教　育

（１）学習用コンピュータの設置及びネットワークの整備

学習用コンピュータは、平成10年度には特別支援学校に各８台のマルチメディア対応のコンピュータの設置、平成11年度からは、小学校22台、中学校42台のコンピュータにサーバを加え、ネットワーク化に対応させ、その後、機器の更新と拡充を図っている。

平成18年度からは、電子黒板とノートパソコンを組み合わせて配備し、教室での活用を進めている。

ネットワークについては､すべての学校で平成22年度末までに校内ＬＡＮを整備している。現在、名古屋市立の全幼稚園、小・中・特別支援・高等学校412校が一つのネットワークで結ばれ、名古屋市教育センターを通してインターネットにつながっており、安全かつ安心してインターネットが使える環境が整っている。

（２）情報教育の推進

「郷土学習なごや」などの教育用デジタルコンテンツ、学習リンク集などをネットワーク環境のもとで提供しており、電子黒板を使って、「分かる授業の実現」に取り組んでいる。

また、情報モラルに関して「情報モラルコンテンツ」をパッケージ化して提供し、情報モ

ラル教育を推進している。

（３）視聴覚教材

名古屋市教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーでは､16ミリ映画教材､ビデオ教材､ＤＶＤ教材などを、学校や社会教育関係団体等へ貸し出している。

17 定 時 制 教 育

（１）定時制教育の概況

生涯学習社会の中で、定時制高校には、勤労青年だけでなく、さまざまな学習歴をもった生徒が学習の場を求めて入学を希望するようになった。昨今では志望者数も増加傾向に転じている。これに応えて各校では、多様な教育課程の編成や、個別指導、少人数指導、個人面談や家庭訪問等、指導内容・指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。

さらには平成11年度には、学年の区分を設けず、多様な選択科目から生徒が自分のペースに合わせて学習計画をたて、修得した単位を積み上げて卒業するという、新しいタイプの課程として、中央高校に本市としては初めて、単位制による課程を設置した。

定時制生徒のための教育条件の整備・充実は、関係方面の協力を得てその実績をあげている。条件に合致した生徒への教科書の無償給付、給食（割子弁当・牛乳）の補助などがその主なものである。

また、魅力ある定時制教育のあり方を求めて、指導内容・指導方法についての実践研究を重ね、修学の喜びを体験させるよう工夫をこらしている。

（２）平成24年度定時制教育充実のための経費

設　備　費	教　科　書 無償給与費	給　食　費	修学指導 事　業　費	計
円 331,000	円 882,000	円 1,036,000	円 426,000	円 2,675,000

（３）主な定時制教育振興事業

ア　定時制教育に精励する生徒への激励及び表彰

イ　部活動等での活躍が顕著である生徒への激励及び表彰

ウ　「名古屋市立高等学校定時制入学案内」（平成24年度生徒募集用パンフレット）「単位制による定時制課程（昼間）普通科」（紹介リーフレット）の作成・配布及び「広報なごや」に生徒募集要項を掲載（１回）

エ　「定時制の生徒調査と研究紀要」（平成23年度版）の作成・発行

オ　定時制教育に関する各種調査・研究

18 特 別 支 援 教 育

（１）概　　況

障害のある児童生徒に対して、障害の種類及び程度に応じたきめ細かい教育を行うため、

知的障害、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由及び病弱（病院内）の特別支援学級と、難聴、言語障害、発達障害の通級指導教室を設けると共に、知的障害の程度が比較的重い児童生徒のために特別支援学校を設置した。また、知的障害に加えて心身の障害が重いため学校へ通って学習することの困難な児童生徒に対しては、教師が家庭へ出向いて指導する訪問教育を行っている。さらに、軽度の知的障害の生徒のための職業教育を充実するため、平成23年度に守山養護学校高等部に産業科を設置した。小中学校及び幼稚園に在籍する障害のある幼児児童生徒に年間を通して付き添っている保護者等の負担を軽減するために、学校生活介助アシスタントを配置している。また、学級や教科担任との連携を図りながら、発達障害のある幼児児童生徒に対する学校（園）生活全般での介助などを行う発達障害対応支援員を配置している。

（２）就学指導

特別支援学級や通級指導教室、特別支援教育諸学校への入級・入室や入学については、適切な就学をすすめるため医師・学識経験者等の意見聴取者及び教育職員・関係行政職員等の委員からなる就学指導委員会を設けている。

ア　学校別就学指導委員会

市内の各小学校及び中学校に置かれる就学指導委員会で、当該学校の通学区域内に居住する障害のある児童生徒の保護者への就学上の指導及び相談を行う。

イ　区別就学指導委員会

行政区内等に居住する障害のある児童生徒の就学に関する調整並びに、学校別就学指導委員会への指導及び助言をする。

ウ　障害別専門部会

弱視・難聴等の障害種別や、特別支援学校に関する専門部会を開催し、入級・入室及び入学対象者の就学指導を行う。

エ　市就学指導委員会

障害のある児童生徒の障害の程度に応じた特別支援教育諸学校及び特別支援学級への就学について、調査し審議するとともに、学校別就学指導委員会の依頼に応じて指導及び助言を行う。

（３）特別支援教育の現状

ア　特別支援学級

特別支援学級の種別と入級対象者

種　　別	入　　級　　対　　象　　者
知的障害学級	知的発達に遅滞がみられ、 他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、 社会生活への適応が困難な者

種　　別	入　級　対　象　者
弱 視 学 級	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、 図形等の視覚による認識が困難な者
難 聴 学 級	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが困難な者
自 閉 症 ・ 情緒障害学級	自閉症又はそれに類する者等、及び心理的な要因でかん黙等がみられる者
肢体不自由学級	補装具によっても歩行や筆記等日常生活における基本的な動作に軽度の困難がある者
病 弱 学 級 （病 院 内）	慢性の呼吸疾患その他の疾患等の状態が持続的又は間欠的に医療又は生活の管理を必要とする者
言語障害学級	構音障害、吃音等のある者又は言語機能の基礎的事項に発達の遅れがある者

・特別支援学級設置状況一覧表（設置年度は最初の年度を記載）

知的障害学級

（平成25年５月１日現在）

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
千種	内山	30	1	2
	春岡	H13	1	2
	高見	H17	1	2
	田代	58	1	3
	自由ヶ丘	H17	1	3
	上野	59	1	4
	富士見台	56	1	6
	星ケ丘	H7	1	4
	宮根	H18	1	3
	千代田橋	H20	1	3
東	旭丘	41	1	6
	筒井	H15	1	3
	矢田	62	1	5
	砂田橋	H11	1	2
北	飯田	30	1	2
	大杉	38	1	2
	清水	H14	1	6
	名北	58	1	5
	金城	60	1	3
	城北	36	1	3
	光城	H12	1	3
	楠	52	1	2
	味鋺	H13	1	4
	西味鋺	H18	1	3
	楠西	H12	1	1
	宮前	H14	1	4
	辻	61	1	4
西	幅下	29	1	2
	上名古屋	36	1	1
	枇杷島	H22	1	1
	南押切	38	1	3
	庄内	H22	1	4
	山田	59	1	3
	平田	51	1	4
	比良	56	1	1
	大野木	H23	1	4
	浮野	H25	1	3
	比良西	H17	1	2
	中小田井	H20	1	5
中村	中村	40	1	1
	ほのか	H14	1	5
	牧野	H21	1	3
	日比津	H20	1	6
	柳	H12	1	3
	稲葉地	H24	1	4
	日吉	36	1	6
	岩塚	59	1	1
	稲西	50	1	2
	八社	H18	1	2
中	栄	H21	1	2
	新栄	H25	1	4
	松原	H20	1	1

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
中	橘	31	1	2
	平和	H25	1	2
	老松	57	1	3
	正木	H17	1	3
昭和	鶴舞	H25	1	2
	吹上	39	1	3
	村雲	H20	1	3
	松栄	30	1	8
	広路	42	1	2
	川原	60	1	2
	八事	H21	1	4
	滝川	H20	1	4
瑞穂	弥富	58	1	1
	堀田	37	1	2
	汐路	59	1	4
	瑞穂	32	1	3
	穂波	H19	1	2
	陽明	H21	1	4
	中根	H18	1	2
熱田	高蔵	H15	1	3
	旗屋	H19	1	4
	千年	H21	1	4
	白鳥	31	1	5
	野立	38	1	3
	大宝	H24	1	2
中川	露橋	36	1	2
	愛知	H16	1	2
	八熊	H14	1	3
	常磐	30	1	7
	八幡	H20	1	2
	荒子	H21	1	3
	篠原	H17	1	2
	戸田	41	1	2
	豊治	H22	1	3
	千音寺	H19	1	4
	長須賀	H25	1	2
	万場	H7	1	7
	明正	61	1	4
	中島	H17	1	1
	赤星	H21	1	6
	西中島	H19	1	4
	春田	H20	1	2
	西前田	H20	1	6
港	東築地	H18	1	6
	大手	36	1	5
	小碓	59	1	4
	高木	57	1	4
	南陽	H16	1	4
	港楽	40	1	4
	明徳	51	1	2
	稲永	53	1	3
	東海	H15	1	2

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
港	野跡	H23	1	3
	当知	H20	1	4
	正保	H21	1	5
	神宮寺	H25	1	2
	福春	H22	1	2
南	豊田	H22	1	2
	明治	59	1	4
	伝馬	H18	1	4
	呼続	60	1	4
	白水	42	1	3
	柴田	H22	1	2
	桜	36	1	3
	菊住	H19	1	2
	道徳	49	1	1
	笠寺	58	1	4
	大生	39	1	1
	千鳥	32	1	2
	春日野	H11	1	2
	笠東	H23	1	4
	宝南	H18	1	4
守山	守山	36	1	7
	小幡	H16	1	3
	廿軒家	H22	2	10
	大森	50	1	5
	瀬古	H16	1	4
	鳥羽見	40	1	3
	志段味東	H13	2	12
	白沢	58	1	4
	苗代	60	2	9
	本地丘	H24	1	2
	森孝東	H17	1	2
	森孝西	H22	1	1
	小幡北	H18	2	9
	吉根	H19	1	3
	下志段味	H24	1	4
緑	鳴海	50	1	4
	鳴海東部	60	1	2
	東丘	H11	1	7
	平子	40	1	3
	鳴子	59	1	2
	大高	61	1	3
	有松	58	1	5
	緑	48	1	3
	片平	47	1	2

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
緑	戸笠	H20	1	2
	太子	H11	1	2
	浦里	H20	1	1
	旭出	H12	1	4
	黒石	55	1	3
	神の倉	H16	1	4
	長根台	H14	1	3
	桶狭間	H18	1	4
	相原	H16	1	2
	桃山	H19	1	4
	南陵	H13	1	5
	大高南	H21	1	2
	徳重	H13	1	2
	滝ノ水	H21	1	4
	大清水	H14	1	5
	常安	H21	1	3
	小坂	H17	1	1
	熊の前	H20	1	4
名東	香流	57	1	3
	高針	52	1	2
	藤が丘	H13	1	2
	名東	60	2	9
	本郷	58	1	2
	貴船	H12	1	2
	引山	H11	1	1
	平和が丘	H17	1	3
	前山	H18	1	2
	梅森坂	H23	1	3
	北一社	H18	1	4
	牧の原	H22	1	4
天白	天白	40	1	5
	八事東	H16	1	3
	平針	50	1	1
	植田	55	1	3
	野並	H21	1	4
	高坂	H19	1	2
	しまだ	60	1	4
	平針南	H17	1	3
	大坪	59	1	6
	山根	H18	1	3
	植田南	H23	1	3
	平針北	H11	1	6
	植田北	H18	1	5
	植田東	H21	1	3
計		(192校)	197	646

中学校				
区	校名	設置年度	学級数	生徒数
千種	今池	35	1	6
	城山	59	1	6
	千種台	H16	1	4
	振甫	41	1	5
	千種	60	1	5
東	あずま	40	1	6
	矢田	58	1	1
北	若葉	36	1	3
	志賀	H23	1	4
	大曽根	H13	1	5
	八王子	34	1	8
	楠	40	1	5
	北	H23	1	2
西	名塚	58	1	8
	天神山	38	1	6
	山田	56	1	7
	平田	60	1	1
中村	豊国	36	2	10
	笈瀬	37	1	7
	豊正	38	2	10
中	伊勢山	H23	1	5
昭和	北山	33	1	5
	円上	42	1	3
	駒方	58	2	10
瑞穂	田光	H15	1	4
	萩山	H25	1	4
	汐路	58	2	9
	津賀田	38	1	5
熱田	沢上	H23	1	5
	宮	59	1	5
	日比野	35	1	5
中川	一色	39	1	6
	長良	36	2	11
	山王	35	1	7
	一柳	H25	1	6
	昭和橋	H23	1	4
	富田	45	1	4
	はとり	60	1	6
	供米田	H24	1	4
	高杉	H22	2	12

中学校				
区	校名	設置年度	学級数	生徒数
港	港南	34	1	7
	東港	37	2	10
	南陽	62	1	5
	当知	58	2	12
南	本城	39	1	8
	新郊	H22	1	3
	桜田	36	1	4
	大江	59	1	2
	明豊	H22	1	3
	名南	H13	1	5
	南光	33	1	5
守山	守山東	38	2	9
	守山西	41	2	10
	志段味	H22	2	13
	大森	57	1	4
緑	鳴海	40	1	5
	大高	H10	1	3
	有松	H10	2	10
	鳴子台	58	1	5
	東陵	H16	1	3
	千鳥丘	H21	1	4
	神沢	H11	1	5
	扇台	H15	2	9
	滝ノ水	H14	1	3
	左京山	H16	1	3
	鎌倉台	H16	1	2
名東	猪高	H21	1	3
	神丘	H17	1	6
	高針台	H14	1	6
	猪子石	62	1	3
	藤森	59	1	3
天白	天白	52	1	4
	御幸山	H19	2	11
	平針	H4	1	6
	植田	59	2	13
計		(75校)	90	436

自閉症・情緒障害学級

（平成25年５月１日現在）

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
千種	内山	58	1	2
	田代	H22	1	5
	自由ヶ丘	H21	1	3
	上野	H11	1	5
	富士見台	H14	1	8
	東山	H15	1	2
	星ヶ丘	H25	1	2
	宮根	H18	1	4
	千代田橋	H24	1	2
東	旭丘	53	1	5
	矢田	H19	1	2
	砂田橋	H17	1	3
北	飯田	H16	1	1
	清水	H21	1	4
	名北	H14	1	4
	金城	H15	1	2
	楠	H4	1	7
	味鋺	H16	1	3
	楠西	H20	1	7
	宮前	H22	1	5
	川中	H18	1	3
	辻	H24	1	3
西	児玉	H23	1	4
	南押切	H24	1	5
	庄内	H24	1	3
	稲生	H18	1	2
	山田	H24	1	3
	平田	H22	1	4
	比良	H11	2	10
	比良西	H18	1	2
	中小田井	H22	1	2
中村	笹島	H22	1	2
	中村	59	1	2
	ほのか	H20	1	4
	牧野	H24	1	2
	日比津	H17	1	3
	諏訪	H23	1	2
	柳	H15	1	3
	稲葉地	H22	1	2
	岩塚	H20	1	3
	稲西	H16	1	2
	八社	H24	1	3
中	橘	59	1	1
	老松	H16	1	1
昭和	吹上	54	1	3
	松栄	59	1	3
	広路	H15	1	2
	川原	H14	1	4
	川原分校	H25	3	22
	八事	H22	1	5
	滝川	48	1	6
瑞穂	弥富	H20	1	4
	堀田	58	1	2
	高田	H24	1	1
	瑞穂	H15	1	2
	穂波	H22	1	3
	陽明	H19	1	5
	中根	H18	1	4
熱田	旗屋	H21	1	3
	白鳥	H21	1	3
	野立	57	1	4
	大宝	H25	1	2
中川	八熊	H18	1	3
	常磐	H7	1	5
	八幡	H21	1	3
	荒子	H22	1	5
	篠原	H21	1	5
	戸田	56	1	2
	豊治	H24	1	2
	千音寺	H20	1	2
	万場	H14	1	3
	明正	H22	1	5
	中島	H17	1	1
	玉川	H15	1	2
	赤星	H22	1	1
	春田	H22	1	1
港	東築地	H18	1	3
	大手	H17	1	5
	小碓	H11	1	3

小学校				
区	校名	設置年度	学級数	児童数
港	西築地	H21	1	2
	高木	H14	1	3
	南陽	H17	1	2
	港楽	H20	1	3
	明徳	H14	1	3
	稲永	58	1	6
	東海	H23	1	2
	神宮寺	H21	1	2
	福田	61	1	2
	福春	H25	1	3
南	豊田	H22	1	3
	明治	H15	1	3
	呼続	H15	1	3
	桜	57	1	1
	菊住	H22	1	1
	道徳	58	1	2
	笠寺	H15	1	5
	大生	H23	1	2
	大磯	H24	1	3
	千鳥	H18	1	1
	春日野	H12	1	2
守山	守山	H15	1	4
	廿軒家	H23	1	3
	大森	H17	1	4
	瀬古	H21	1	5
	鳥羽見	57	1	2
	志段味東	H21	1	6
	白沢	H13	1	5
	苗代	H19	1	5
	本地丘	H22	1	4
	天子田	H25	1	2
	森孝東	H21	1	3
	森孝西	H14	1	2
	小幡北	H25	1	2
	吉根	H21	1	4
	下志段味	H25	1	2
緑	鳴海	57	1	4
	鳴海東部	H24	1	4
	東丘	H23	1	1
	鳴子	H9	1	1
	大高	H10	1	5
	有松	H20	1	4
	緑	H12	1	1
	片平	H15	1	1
	浦里	H21	1	2
	神の倉	H18	1	5
	長根台	H18	1	3
	桶狭間	H22	1	4
	相原	H21	1	5
	南陵	H22	1	2
	大高南	H22	1	3
	徳重	H16	1	3
	滝ノ水	H13	1	4
	大清水	H25	1	2
	小坂	H22	1	3
	熊の前	H20	1	5
名東	猪高	H元	1	5
	香流	63	1	2
	高針	H13	1	3
	藤が丘	H15	1	2
	名東	H21	1	8
	本郷	H19	1	2
	貴船	H14	1	6
	引山	H15	1	2
	平和が丘	H25	1	2
	前山	H15	1	4
	北一社	H25	1	3
	牧の原	H22	1	3
天白	天白	59	1	4
	八事東	H18	1	4
	平針	H14	1	3
	植田	57	1	2
	高坂	H25	1	2
	しまだ	H24	1	2
	表山	H23	1	6
	大坪	H23	1	5
	山根	H22	1	4
	植田南	H13	1	6
	植田東	H21	1	5
計		（158校）	161	530

中学校			
校名	設置年度	学級数	生徒数
今池	59	1	3
城山	H24	1	7
千種台	H19	1	2
振甫	H21	1	2
あずま	59	1	4
矢田	H10	1	2
若葉	57	1	1
志賀	H24	1	4
大曽根	H17	1	3
八王子	H17	1	3
楠	H16	1	7
北	H25	1	3
名塚	H24	1	4
天神山	63	1	3
山田	62	1	8
笹島	H23	1	7
豊正	61	2	12
伊勢山	62	1	3
川名分校（くすのき学園）	H25	2	17
円上	59	1	3
駒方	H20	1	3
田光	H21	1	4
汐路	H元	1	6
津賀田	H24	1	3
沢上	H25	1	3
宮	H23	1	3
日比野	57	1	2
一色	H15	1	4
長良	60	2	10

中学校			
校名	設置年度	学級数	生徒数
山王	H22	1	1
昭和橋	H25	1	4
富田	58	1	8
はとり	H20	1	7
高杉	H22	1	4
南陽	H元	1	1
当知	H3	1	6
新郊	H22	1	3
桜田	59	1	3
大江	63	1	4
明豊	H23	1	4
名南	58	1	2
守山東	59	1	3
守山西	H2	1	8
大森	H19	1	4
鳴海	59	1	7
大高	H25	1	5
有松	H15	1	6
扇台	H21	1	4
滝ノ水	H25	1	3
鎌倉台	H18	1	3
神の倉	H18	1	7
猪高	H23	1	3
神丘	H25	1	3
高針台	60	2	10
猪子石	H24	1	2
藤森	H11	1	6
天白	57	1	6
御幸山	H25	1	4
平針	H23	1	2
計	(59校)	63	269

難聴学級

校名	設置年度	学級数	生徒数
菊井中	49	2	13
計	(1校)	2	13

言語障害学級

校名	設置年度	学級数	生徒数
菊井中	H24	1	1
計	(1校)	1	1

肢体不自由学級

校名	設置年度	学級数	児童生徒数
常磐小	H15	1	6
瀬古小	H16	1	5
小坂小	H18	1	1
当知小	H20	1	1
大野木小	H21	1	1
千代田橋小	H22	1	1
六郷北小	H22	1	3
村雲小	H23	1	2
瑞穂小	H22	1	1
菊住小	H23	1	2
植田東小	H24	1	1
長良中	H20	1	2
神の倉中	H22	1	1
守山西中	H23	1	2
八王子中	H25	1	1
計	(15校)	15	30

弱視学級

校名	設置年度	学級数	児童生徒数
笹島小	49	1	1
熊の前小	H20	1	1
笹島中	H25	1	1
計	(3校)	3	3

病院内学級

校名（病院名）	設置年度	学級数	児童数
中村小（第一日赤）	57	1	3
名城小（名古屋医療）	57	1	2
滝川小（第二日赤）	57	1	2
汐路小（市　大）	59	1	2
昭和橋小（掖済会）	60	1	1
港楽小（中部労災）	58	1	1
大高南小（南生協）	57	1	0
計	(7校)	7	11

イ　通級指導教室

・通級指導教室の種別と入室対象者

言語障害教室	言語障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
難　聴　教　室	聴覚障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
発達障害教室	発達障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者

・通級指導教室設置状況一覧表

（平成25年５月１日現在）

言語障害教室

校　名	設置年度	教室数	児童数
東桜小	H5（40）	1	9
牧野小	H5（49）	1	8
井戸田小	H5（60）	1	6
高蔵小	H5（44）	1	6
成章小	H9	1	10
小幡小	H7	1	5
鳴海小	H7	1	10
表山小	H6	1	13
計	（8校）	8	67

難　聴　教　室

校　名	設置年度	教室数	児童数
東桜小	H5（40）	1	8
牧野小	H5（49）	1	4
井戸田小	H5（60）	1	9
高蔵小	H5（44）	1	6
計	（4校）	4	27

※（　）内は学級としての設置年度

発達障害教室

校　名	設置年度	教室数	児童・生徒数
田代小	H18	1	18
星ヶ丘小	H22	1	8
矢田小	H24	1	10
矢田中	H21	1	14
東志賀小	H18	1	15
城北小	H25	1	11
楠小	H22	1	11
稲生小	H22	1	18
山田小	H24	1	9
中小田井小	H21	1	11
稲葉地小	H21	1	11
八社小	H24	1	10
正木小	H20	1	8
川原小	H25	1	9
桜山中	H19	1	8
弥富小	H22	1	10
豊岡小	H21	1	9
白鳥小	H22	1	10
大宝小	H22	1	10

校　名	設置年度	教室数	児童・生徒数
常磐小	H22	1	11
篠原小	H19	1	10
万場小	H24	1	10
高木小	H22	1	10
豊田小	H22	1	18
大磯小	H19	1	9
千鳥小	H25	1	9
廿軒家小	H21	1	11
有松小	H18	1	15
旭出小	H22	1	8
大高南小	H22	1	13
熊の前小	H22	1	15
猪子石小	H21	1	8
前山小	H22	1	9
植田小	H22	1	13
しまだ小	H20	1	11
計	（35校）	35	390

※県立聾学校による巡回指導

高見小・大和小・砂田橋小･辻小・五反田小・小碓小・稲永小・東海小・明治小・廿軒家小・本地丘小・二城小・鳴海小・緑小・猪子石小・平和が丘小・植田小・大坪小―18校21教室21名

御田中・黄金中・港北中・港明中・鳴海中・神沢中・香流中―　７校　７教室　７名

ウ　名古屋市立特別支援学校（知的障害）

特別支援学校設置状況一覧表　　（平成 25 年５月１日現在）

校　　名	開設年度	区　　分		小学部 １～６年	中学部 １～３年	高等部 １～３年	計
西養護学校	48	普通科	通　　常	44	46	153	243
			訪問教育	2	3	―	5
		計		46	49	153	248
南養護学校	51	普通科	通　　常	62	50	203	315
			訪問教育	1	2	―	3
		計		63	52	203	318
天白養護学校	55	普通科	通　　常	30	40	60	130
			施設内教育	0	0	―	0
		計		30	40	60	130
守山養護学校	60	普通科	通　　常	51	51	122	224
		産業科(H23～)		―	―	80	80
		計		51	51	202	304

（注）　施設内教育の施設とは、子ども青少年局所管のあけぼの学園。

（４）その他

ア　特別支援学級・特別支援学校連合運動会

期　日　　８月８日

場　所　　日本ガイシスポーツプラザ　ガイシホール

参加者　　市立小・中学校の特別支援学級・特別支援学校の児童・生徒

イ　特別支援教育展（きらめき展）

期　日　　２月18日～23日

場　所　　名古屋市博物館

出品者　　市立小・中学校の特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校の児童・生徒

ウ　「名古屋の特別支援教育」の刊行

目　的　　一般の学校職員・ＰＴＡ等に対して、本市の特別支援教育の概要についての理解を図ること。

内　容　　特別支援学校及び特別支援学級・通級指導教室の教育、障害の種類、教育措置、就学指導、その他本市の特別支援教育の現状等についての概要

19　幼　児　教　育

（１）幼稚園教育の概況

幼児期は、さまざまな体験を通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期であ

る。

幼稚園教育は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、一人一人の個性を大切にしながら､家庭と力を合わせ､幼児の健やかな成長や発達を促すことを目的としている。

そして、友達や先生と一緒に生活しながら、自分で行動する意欲や態度、友達を思いやる心などが育つような環境を整えて教育している。

（２）幼稚園心の教育推進プラン

ア　体験学習の充実

幼稚園において、幼児の心に響く豊かな体験を推進することで、幼児期の健やかな成長を促す。

・人形劇や音楽等の鑑賞事業
・自然体験、社会体験事業

イ　子育て支援事業

幼稚園は地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を担い、地域の親子に幼稚園の施設や機能を開放し、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど「親と子の育ちの場」として、子育てを支援する事業を実施している。

・園舎、園庭開放
・未就園児の親子登園日の設定
・子育て相談
・子育て井戸端会議
・預かり保育（平成25年度は17園で実施）など

（３）その他

「名古屋市立幼稚園の子どもたち」リーフレットの刊行

目的　市民に名古屋市立幼稚園の教育の概要について理解を図る。

内容　名古屋市立幼稚園の教育内容、幼稚園の一日の流れ、名古屋市立幼稚園配置図等についての概要

20　学 校 諸 行 事

（１）名古屋市教育祭

ア　主　催　団　体

名古屋市教育祭実施委員会（名古屋市教育委員会、名古屋市立高等学校長会、名古屋市立小中学校長会、名古屋市立幼稚園長会、名古屋市立高等学校教員組合、名古屋市教員組合、名古屋市立幼稚園教職員組合）

イ　協　賛　団　体

名古屋市教育会、名古屋市立高等学校ＰＴＡ協議会、名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会、名古屋市立幼稚園ＰＴＡ協議会

ウ 行 事 内 容

（ア） 展覧会　高等学校は名古屋市民ギャラリー栄において９月18日から６日間、幼稚園は名古屋市博物館において12月４日から６日間、作品を展示した。小・中学校は学校ごとに実施した。

（イ） 発表会　高等学校は11月３日に音楽会をアートピアホールにおいて実施した。小・中学校は11月７日に音楽会を中京大学文化市民会館プルニエホールにおいて、午前・午後に分かれそれぞれ実施した。

（２）修学旅行

ア 目 的 地

小学校（263校）

京都・奈良	259校	京都・奈良･大阪	1校	奈良	2校	金沢	1校

中学校（109校）

東京・千葉・山梨	45校	東京・千葉	15校	東京・千葉・静岡	17校	東京・静岡	2校
東京・山梨	8校	東京・千葉・長野	2校	神奈川・東京・千葉	7校	その他関東方面	4校
大阪・兵庫	6校	その他の方面	3校				

高等学校（14校：18行程）

長野（スキー）	3校	岡山・広島	1校	広島・兵庫	2校
広島・大阪・神戸	1校	東京・千葉	1校	長崎・福岡・京都	1校
浜松・山梨	1校	奈良・京都・滋賀・大阪	3校	沖縄	2校
広島・尾道	1校	広島・香川・岡山・兵庫	1校	韓国	1校

特別支援学校（４校）

小・中学部	静岡・浜名湖	4校
高　等　部	大阪	4校

イ 実施時期

小 学 校　５月16校、６月29校、９月60校、10月143校　11月15校
中 学 校　５月68校、６月40校、７月１校
高等学校　５月１校、９月１校、10月８校、11月２校、１月４校、２月２校
特別支援学校　小・中学部　10月３校、11月１校
高　等　部　５月１校、９月１校、11月１校、３月１校

21　開かれた学校づくり

（１）学校開放週間

１週間程度、保護者や地域の人々の参加・協力を得て学習や行事に取り組むことにより、年間を通じて開かれた学校づくりを進めている。

（２）学校評議員制

家庭や地域との連携を深め教育活動の充実を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進するために、学校運営のあり方について幅広く意見を聞いている。

平成24年度は、小学校263校、中学校109校、特別支援学校４校、高等学校14校、幼稚園23園の413校（園）で実施。

（３）ホームページの開設

学校から家庭・地域への情報発信のひとつとして学校ホームページの利用を行っている。

22　エコ・フレンドシップ事業

環境問題に対する児童生徒の一層の意識高揚を促し、環境首都なごやを担っていく人材の育成を進めるために、「環境未来探検隊（児童生徒の派遣と交流事業)」「なごや子ども環境会議（成果発表・普及事業)」の２つの事業を行っている。

環境未来探検隊は、名古屋市内の小中学校から公募をし、小学校５年生から中学校３年生120名が集まった。児童生徒は、エネルギーについて学ぶ現地学習会と５つのチームに分かれて森や海などの環境について学ぶ体験活動を行った。その結果をもとに「なごや子ども環境会議」で成果発表・意見交換を行うとともに、環境保全の大切さについて普及した。

23　海外演奏家等による音楽鑑賞の推進

世界のトップクラスの演奏会を学校で開催することにより、音楽を身近な芸術文化として実感させるために、ゲーデ弦楽四重奏団と名古屋フィルハーモニー交響楽団木管五重奏による演奏会を、中学校２校、小学校２校及び特別支援学校１校で開催した。

第２章　教科用図書採択

１　教科用図書の採択

教科用図書は、学習指導上重要なものであるから、その採択は慎重かつ公正に行わなければならない。教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、厳正かつ民主的に、本市児童生徒に最も適した教科用図書を採択する方針を定めた。小学校用教科用図書、中学校用教科用図書ともに、平成24年度と同一のものを採択する方針を決定し、平成25年度使用教科用図書を採択した。

２　教科用図書の展示会

教科書センターを、鶴舞中央図書館、西図書館及び教育センターに設置した。展示会は、６月11日から７月５日まで開催した。

３　平成25年度使用教科用図書

（１）小学校用（教科―出版社名）

国語―光村図書、書写・音楽―教育出版、社会・家庭・保健―東京書籍、地図―帝国書院、算数―啓林館、理科・生活―大日本図書、図画工作―日本文教出版

（２）中学校用（教科―出版社名）

国語・書写・社会（地理）・社会（歴史）―教育出版、社会（公民）・技術家庭・英語―東京書籍、地図―帝国書院、数学―啓林館、理科・保健体育―大日本図書、音楽（一般）・音楽（器楽合奏）―教育芸術社、美術―日本文教出版

第３章　高等学校入学者選抜

１　概　　要

平成25年度名古屋市立高等学校入学者選抜は、「平成25年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき実施した。

全日制課程の入学者選抜は、中学校長より提出される推薦書と調査書及び面接等による「推薦入学」と、調査書及び学力検査（国語、数学、社会、理科、英語）と面接等による「一般入学」により実施した。なお、名東高校国際英語科では「海外帰国生徒にかかる入学者選抜」を行った。

定時制課程においては、中学校長より提出される調査書及び基礎学力検査、作文、面接により実施した。

２　平成24年度募集人数と志願者数等

（１）全日制課程

日程　推薦入学　２月18日（面接）

海外帰国生徒にかかる入学者選抜　２月18日（学力検査及び面接）

一般入学　Ａグループ：３月11日（学力検査）、12日（面接）

Ｂグループ：３月14日（学力検査）、15日（面接）

学　　科	募集人数	推薦入学志願者数	推薦入学合格者数	一般入学募集人数	一般入学志願者数	倍　率	昨年度の倍率
	人	人	人	人	人		
普　通　科	2,600	524	356	2,244	4,938	2.20	2.40
音　楽　科	40	35	20	20	43	2.15	2.00
国際英語科	40	11（2）	11（2）	29	78	2.69	2.26
商　業　科	560	307	247	313	804	2.57	2.32
工　業　科	520	401	249	271	749	2.76	2.80
家　庭　科（ファッション文化）	40	35	20	20	51	2.55	2.85
総合学科	200	145	100	100	207	2.07	2.14
合　　計	4,000	1,458（2）	1,003（2）	2,997	6,870	2.29	2.42

（注）（　）内は、海外帰国生徒にかかる入学者選抜の再掲。

（２）定時制課程

日程　　前期選抜　３月８日　　後期選抜　３月27日

学　　科	総募集人員	志　願　者　数	
		前期選抜	後期選抜
	人	人	人
普　　通　　科（昼間）	160	205	44
普　　通　　科（夜間）	80	43	29
商　　業　　科（夜間）	40	18	10
工　　業　　科（夜間）	40	50	16
合　　計	320	316	99

（注）前期選抜の募集人員は、昼間定時制は総募集人員の８割程度、夜間定時制は総募集人員の７割程度。

第４章　教職員研修と教育研究

１　名古屋市教育センター

（１）教育センターの概要

教育センターは、研修・研究調査部門、障害児教育部門、講堂・展示ホールを包括する総合教育センターとして、昭和56年７月16日開所。平成16年４月１日、視聴覚教育センターと情報処理教育センターが統合され、情報教育部が設置された。

教育センターでは、名古屋市立学校教職員の資質向上を図るため、初任者研修など各種の研修を実施するほか、平成８年10月１日に開設した子ども教育相談「ハートフレンドなごや」（教育相談の総合窓口）を通して、幼児から高校生年齢までの子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる相談に応じるとともに、教職員相談を実施している。また、最も重要な教育課題に対する研究を行い、学校現場に還元している。さらに、教育資料の作成・収集及び頒布、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究も行っている。

	設立年月日	構　造	建物延面積	所　在　地
教育センター	昭和56年 ７月16日	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下１階　地上７階 塔屋２階	㎡ 10,870.04	熱田区神宮三丁目 ６番14号
分館 （教育館）	昭和37年 ９月１日	鉄筋コンクリート造 地下１階　地上６階 塔屋２階	4,965.61	中区錦三丁目16番６号

（２）平成24年度利用状況

区　分		延　件　数		延利用人数	
		件	件	人	人
教育センター	主催事業	2,363	3,394	32,068	120,131
	一般利用	1,031		88,063	
分館	主催事業	397	5,990	12,686	123,794
	一般利用	5,593		111,108	
合計	主催事業	2,760	9,384	44,754	243,925
	一般利用	6,624		199,171	

２　教職員研修の実施

（１）研　　修

（平成24年度）

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
基本研修	幼稚園新規採用教員研修会	教員としての心構えや基本的な知識・技能	幼新規採用教諭のうち対象者	1
	初任者研修会	教員としての使命感や基本的な知識・技能	小・中・特新規採用教諭のうち対象者	1
	高等学校初任者研修会	教員としての使命感や基本的な知識・技能	高新規採用教諭のうち対象者	1
	新規採用養護教員研修会	養護教諭としての心構えや基本的な知識・技能	小・中・特新規採用養護教諭のうち対象者	1
	高等学校新規採用養護教員研修会	養護教諭としての心構えや基本的な知識・技能	高新規採用養護教諭のうち対象者	1
	新規採用学校事務職員研修会	学校事務職員としての心構えや基本的な職務内容	小・中・特新規採用学校事務職員全員	1
	幼稚園教職経験者研修会（Ⅰ）	幼稚園教員としての専門的な知識・技能	幼経験５・６年目教諭全員	1
	教職経験者研修会（Ⅰ）	実践的指導力の養成	小・中・特経験５年目教諭全員	1
	高等学校教職経験者研修会（Ⅰ）	生徒指導・教科指導についての知識や考え方	高経験５年目教諭･養護教諭全員	1
	養護教員経験者研修会（Ⅰ）	学校保健に関する専門的な知識・技能	小・中・特経験５年目養護教諭全員	1
	学校事務職員経験者研修会（Ⅰ）	職務遂行に必要な実務能力の向上	小・中・特経験５年目学校事務職員全員	1
	学校栄養職員経験者研修会（Ⅰ）	職務遂行に必要な心構えや実務についての理解	小・中・特経験５・６年目学校栄養職員全員	1
	幼稚園教職経験者研修会（Ⅱ）	幼稚園教員としての幅広い見識・資質の向上	幼経験10年目教諭全員	1
	教職経験者研修会（Ⅱ）	教員としての幅広い見識・資質の向上	小・中・特経験10年目教諭全員	1
	高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	教員としての幅広い見識・資質の向上	高経験10年目教諭全員	1
	事務長研修会（新任事務長研修・事務長研修）	事務長の役割、学校運営への参画・遂行能力の養成	小・中・特の新任事務長全員と経験２年目以上の事務長の希望者	1

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
基本研修	学校間連携拠点校担当者研修会	拠点校担当者としての指導能力・調整能力の養成	小・中・特の学校間連携拠点校の事務長・主査	1
	学校運営研修会（Ⅰ）	教務主任の役割と学校運営	新任教務主任 経験２年目教務主任 教務主任全員	1 1 1
	学校運営研修会（Ⅱ）	校務主任の役割と学校運営	新任校務主任 校務主任全員	1 1
	生徒指導研修会	生徒指導に関する今日的な課題とその対応	小・中・特・高の生活指導主任、生徒指導主事及び生活指導関係教諭	1
	情報教育担当者研修会	これからの情報教育のあり方についての理解	幼・小・中・特・高の情報教育担当者等、情報教育を推進する者１人以上	1
	教育相談研修会	教育相談担当者の役割と子どもへの今日的かつ具体的な指導・支援	小・中・特・高の教育相談担当者等、教育相談を推進する教員各校１人以上	1
	新任特別支援学校・特別支援学級等教員研修会	特別支援学校、特別支援学級及び通級指導教室の担当教員としての実務	小・中・特の通常の学級から初めて特別支援学校並びに特別支援学級の担任となった教諭・常勤講師全員、又は新たに通級指導教室の担当となった教諭・常勤講師全員、及び、特別支援学級の担任のうち、本研修未受講の希望者、通級指導教室の担当教諭・常勤講師の希望者	1
	特別支援学校教員研修会	特別支援学校教員として必要とされる基礎的な知識	特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師全員	1
	特別支援学級・通級指導教室教員研修会	障害のある子どもの理解や指導に関する総合的な知識や今日的課題	特別支援学級の担任、通級指導教室担当の教諭・常勤講師全員	1
	幼稚園教育研修会	幼稚園教員としての実践力や見識	幼教諭全員	1
	学校事務職員研修会	学校事務職員にかかわる今日的課題	小・中・特の学校事務職員全員	1

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
基本研修	栄養教諭・学校栄養職員研修会	食に関する指導と学校給食管理の在り方	小・中・特の栄養教諭・学校栄養職員全員	1
	指導改善特別研修	学習指導、児童・生徒理解、意欲、使命感、今日的教育課題等	該当教員	1
	講師研修会	教員としての心構え、基本的な指導方法、児童生徒理解	任用１年目の常勤講師・非常勤講師全員	1
	幼稚園教育課程研修会	幼稚園教育課程の講習	幼稚園各園１人	1
	小学校教育課程研修会	小学校教育課程の講習	小学校各教科等教諭代表	1
	中学校教育課程研修会	中学校教育課程の講習	中学校各教科等教諭代表	1
	特別支援教育教育課程研修会	特別支援教育教育課程の講習	特別支援学級担任及び通級指導教室担当各区代表	1
	高等学校教育課程説明会	高等学校教育課程の講習	高等学校各校、各教科等教諭１人以上	1
	人権教育担当教員研修会	人権教育についての理解	人権教育担当教諭　各校（園）１人	1
経営研修	校（園）長研修会	学校経営と校長の職務	新任校（園）長 経験２年目校（園）長 校（園）長全員	1 1 1
	教頭研修会	学校経営と教頭の職務	新任教頭 経験２年目教頭 教頭全員	1 1 1
専門研修	アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座	各教科等の基礎的な指導法及び意欲を高める教材、学習方法	小・中・特の教員の希望者	24
	高等学校各科研修講座	教科等の専門的な知識・技能を高める	高各科担当教員	21
	16ミリ映写機等操作技術講座	16ミリ映写機操作技術の習得	幼・小・中・特・高の希望者	1
	コンピュータ講座	学校におけるコンピュータ活用	幼・小・中・特・高の希望者	23
	情報教育研修講座	高校普通教科「情報」等の指導者養成	高の普通教科「情報」等担当者の希望者	1

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
専門研修	学校運営推進講座	学校教育の推進を担う教員の資質向上及び意識改革	小・中・特の経験13年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	子ども理解を深めるための教育相談講座	子どもが抱えている課題を解決するため専門家を交えて指導・支援の在り方を検討	幼・小・中・特・高の経験20年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	教育相談基礎講座：教育臨床相談研修会	教育相談に関する基礎的な知識・技能の習得	幼・小・中・特・高の経験６年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1
	教育相談発展講座：教育相談実践研修会	教育相談を校内の中心となって推進するための専門的な知識・技能の習得	教育臨床相談研修会又は教育相談集中研修会を修了した教諭・養護教諭の希望者	1
	発達障害のある子どもの理解と支援講座	発達障害のある子どもの特性の理解とつまずきに応じた具体的な支援方法	幼・小・中・特・高の希望者	1
	特別支援学校・特別支援学級指導法講座	障害のある子どもの指導法についての実践的な研修	幼・小・中・特の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1
	障害理解と障害種に応じた支援講座	種々の障害に関する理解と障害のある子どもへの支援の実際	幼・小・中・特の経験３年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1
	発達障害支援専門講座	校（園）内の特別支援教育推進者としての専門的な知識・技能	幼・小・中・特・高の指定の研修講座を修了した教諭・養護教諭の希望者	1
	日本語指導を必要とする児童・生徒指導法講座	日本語指導を必要とする児童生徒教育に必要な知識・技能	「日本語教育適応学級担当教員」配置校の教諭・常勤講師１人及び希望者	1
	小学校外国語活動講座	小学校外国語活動に関する実践的な知識・技能	小・特の教諭・常勤講師の希望者	1
	幼年教育研修講座	幼年教育に関する具体的な問題の究明と教員としての資質の向上	幼経験３年目以上の教諭の希望者	1
	学校事務職員研修講座	職務遂行に必要な実務・法規・財務	小・中・特の経験３年目以上の学校事務職員の希望者	5

	研 修 会 名	内　　容	対　　象	講座数
専門研修	学校保健研修講座	児童生徒の心身の健康問題に対応していくために必要な知識・技能	小・中・特・高の養護教諭・保健主事・常勤講師の養護教諭の希望者	1
	管理監督者のためのメンタルヘルス研修	管理職としての職場のメンタルヘルス	校（園）長の希望者 教頭の希望者	1 1
	名古屋市美術館における鑑賞教育講座	美術作品の鑑賞のさせ方	小・中・高・特の教諭の希望者	1
長期研修	特別支援教育研修	特別支援教育に関する具体的な研修課題の追究と専門性の向上	小・中・特の経験４年目以上で45歳以下の教諭・養護教諭の希望者	1
	教育研究員	教育実践における具体的な問題の究明と教員の資質向上	幼・小・中・高・特の経験８年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	生涯学習研修	生涯学習についての研究	幼・小・中・高・特の経験11年目以上の教諭の希望者	1
	長期社会体験研修	教育に対する使命感や情熱の再認識と力量向上	幼・小・中・高・特の経験６年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	若手教員海外派遣研修	今日的かつ喫緊の教育課題の解決の参考となる海外先進事例の調査	経験年数３年目以上で35歳以下の教諭・養護教諭の希望者	1

（２）英語教員海外研修

本市教員の海外研修を通して、本市英語教育の充実と発展に努める。

３　教員免許状更新講習

本市教員が教員免許状更新講習を所定の期間内に受講する機会を確保するため、教育委員会が開設者となり、夏季休業中に名古屋市立大学で１コース、９月から10月の土、日曜日に教育センターで１コースの講習を実施した。

４　なごや教師養成塾

教員の大量退職に伴う新規採用教員の増加などに対応するため、実践的な指導力を備えた人材を育成することを目的として開講している。

本市小学校教員を目指す大学生等を対象に、講座と体験研修により、即戦力としての人材を育成することを指導方針としている。

５　研 究 調 査 等

（１）研　究　調　査

「センター研究」

今日的な教育課題について、実態を把握し、効果的な指導・対応の在り方などを追究し、名古屋市の学校（園）教育の発展に資する研究・調査を行う。

（２）主な刊行物

ア　「教育センターＮＡＧＯＹＡ」

「教育センターＮＡＧＯＹＡ」を、第60号から第62号まで編集、刊行した。

イ　「教師となって」

新任教師として必要な専門職としての教師の資質や実践的指導について編集し、初任者研修会資料として刊行した。

（３）名古屋教育史

名古屋教育史Ⅰを発刊した。また、名古屋教育史Ⅱの発刊に向けて資料調査及び編集作業を行った。

６　教育研究資料の利用

（１）教育センター図書室

昭和22年に「教育課程文庫」として開設されて以来、毎年内外の教育図書の収集整理を行い、その拡充を図っている。研究や研修のための貸出し、調査・相談サービスをする。

区　　分	図　　書	研究資料	教　科　書	計
	冊	冊	冊	冊
24年度増減数	100	121	0	221
25．３．31現在	27,851	25,590	13,406	66,847

上記の表の区分以外の資料

ア　雑　誌　　初等教育資料始め57種

イ　新　聞　　日本教育新聞始め６種

上記の表の資料の利用実績

ア　24年度貸出総数　　1,397冊

イ　24年度調査・相談サービス　250件

（２）教育研究資料の活用

図書資料を始め、各学校や教育研究所などで研究された教育資料を収集・整理している。教育情報検索システムや教育関係文献目録で、閲覧、貸出しの便宜を図っている。

調査普及教科書資料室には、小・中学校の教科書を整備して研究できるようにしている。

７　情報教育ネットワーク

（１）概　　要

平成16年４月、教育センター内に情報教育部ができたことを受け、名古屋市情報教育ネッ

トワークの運用・管理をしている。現在、このネットワークを通して名古屋市立の全幼稚園、小、中、特別支援、高等学校が一つに結ばれている。各学校が安心してインターネットを利用できるように、教育センターではウィルスチェックや有害情報除去のためのフィルタリングを行っている。さらに、外部からの不正侵入を防ぐためのファイヤーウォールも設置し、二重の防御態勢で安心して学習に取り組める環境を得ている。学校からの質問や相談、機器のトラブルに対しては、専用のヘルプデスクを設置し対応している。

（２）教育センター　学校・園向けホームページ「くすのきネットなごや」

児童生徒、教員が教育現場でインターネットをより便利に、かつ簡単に使えるように、学校・園向けホームページ「くすのきネットなごや」を提供している。

各教科や総合的な学習の時間での調べ学習をはじめ、教員の教材研究や授業支援等でも幅広く活用できる。

- 名古屋市の教育課程に合わせ、校種、学年、教科、単元別に沿った構成を整えるとともに、地域、学区の教材を充実し、名古屋市独自の情報教育支援サイトになっている。
- インターネット等を原因とするトラブルを防止するために、名古屋市独自の情報モラル学習用コンテンツを開発し、児童生徒・教職員だけでなく、保護者に対しても情報モラルコンテンツを配信している。
- 児童生徒、教員により作成された授業のアイディアや指導のコツ、すぐに活用できる教材や資料の登録が容易にでき、共有化を目指している。
- 授業や現職教育の資料を配信し、教員の研修を支援している。

（３）校内ＬＡＮ・電子黒板・学習用コンピュータ等の整備

普通教室でＩＣＴを活用して「分かる授業」をすることができるように、すべての小・中学校、特別支援学校、高等学校へ、校内ＬＡＮや移動させて使用できるノートパソコン・プロジェクタ・電子黒板の整備を進めた。

８　教　育　相　談

（１）教育相談　　子ども教育相談「ハートフレンドなごや」

幼児から高校生年齢までの子ども本人、その保護者、学校関係者等から、子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる内容について相談に応じている。

ア　電話相談・来所相談・メール相談

- いじめ、不登校などの学校生活に関わること
- 発達の様子に関わること
- 就学や進路について気掛かりなこと
- 帰国・出国に際しての学校教育のこと　等

イ　訪問相談

- 不登校の小中学生を対象に、家庭を訪問することを基本にして、相談に応じている。

（２）教職員相談

ア　一般相談

・　子どもの指導や保護者との関わり方、教職員間の悩み（指導主事・臨床心理士）

イ　専門相談

・　心の健康問題（精神科医）

・　法律問題（弁護士）

９　学力向上サポート事業

（１）概　　要

各小・中・高・特別支援学校の創意工夫を生かした積極的な教科指導の研究や教育活動の展開を支援し、知的好奇心を喚起する「分かる」授業、感動ある授業を実践することにより、「学力」の向上に資する。またその成果を普及し学校教育の一層の充実を図ることをねらいとする。

（２）対象事業（事業期間　２年）

区　　分	小　学　校	中　学　校	高等学校	特別支援学校	合計
1　課題提示型 教育委員会が提示する今日的な課題に基づく研究	正色、桜	桜田			３校
2　新規創出型 学校の実情から独自に設定した課題に基づく研究	東桜、栄	前津	桜台		４校
3　実績汎用型 これまでの各事業の研究成果を取り入れた研究	千種、東山、大野木、白鳥、愛知	菊井、鎌倉台	北		８校
合　　計	９校	４校	２校	０校	15校

10　指導体験記録の募集

幼稚園・小・中・高・特別支援学校教職員の日常指導の中で生じた問題点を、実践的に解明した記録を募集した。平成24年度（第60回）は、544編の応募があった。そのうち特選２編、入選39編、佳作143編を表彰した。

第５章　就　　学

１　就　学　援　助

（１）概　　要

就学援助は、経済的理由のため就学困難な児童・生徒の保護者に対して、市が学用品費、給食費等の援助をすることにより、児童・生徒が小・中学校における義務教育を円滑に受けられるようにする制度である。

就学援助の対象となる者は、次に掲げる児童・生徒の保護者である。

ア　要保護児童生徒

生活保護法（昭和25年法律第144号）第６条に規定する要保護者のうち、教育扶助を受けている家庭の児童・生徒

イ　準要保護児童生徒

教育委員会が、生活保護法第６条に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると認定した児童・生徒

ウ　特別支援教育就学奨励費受給児童生徒

特別支援学級等に就学している児童・生徒の保護者のうち、その世帯の収入額が需要額の2.5倍未満の者（一部の支給費目を除く）ただし、上記ア及びイを除く。

（２）平成24年度事業実績

費　　目	支給人数	支給単位	支給金額	
			小学校 中学校	計
入学準備金（準）	人 小　1,692 中　2,633	円 19,900 22,900	円 33,670,800 60,295,700	円 93,966,500
学用品費・通学用品費 校外活動費（準）	小１年　1,899 その他　12,062 中１年　2,781 その他　5,809	12,610 14,780 23,880 26,050	192,302,870 211,606,410	403,909,280
修学旅行費（要・準）	小　2,924 中　3,077	（平均）22,959 （平均）49,178	67,131,742 151,320,981	218,452,723
通学交通費（準）	小　3 中　3	（所要額全額）	57,820 91,880	149,700
学校給食費（準）	小（完全）13,961 中（完全）　64 中ｽｸｰﾙﾗﾝﾁ　8,526	41,800 47,300 1食280＋ﾐﾙｸ代	541,935,456 2,690,308 278,051,584	822,677,348
学校病医療費（要・準）	小　71 中　14	（平均）16,185 （平均）23,406	1,149,130 327,690	1,476,820

費　　目	支給人数	支給単位	支給金額	
			小学校	計
			中学校	
	人	円	円	円
野外活動費（準）	小　2,457	5,450	13,397,510	27,983,875
	中　2,717	5,460	14,586,365	
特別支援教育就学奨励費	小　613	┌通学交通費　全額┐	18,563,143	33,618,706
	中　316	└その他　限度額┘	15,055,563	
合　　計		小学校	868,208,471	1,602,234,952
		中学校	734,026,481	

２　就　学　奨　励

（１）高等学校（入学準備金）

ア　概　　要

勉学の意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な者に対し、名古屋市入学準備金条例（平成16年名古屋市条例第11号）に基づいて、高等学校等に入学するために必要な学資を貸与した。（平成16年度より実施。）

イ　平成24年度事業実績

区　　分	貸与額	貸与人員		貸与金額	
国　　公　　立	300,000円	294人	計	88,200,000円	計
私　　立	300,000円	3人	297人	900,000円	89,100,000円

（２）高等学校（市立高等学校入学料免除）

ア　概　　要

高等学校教育の振興に資するため、名古屋市立高等学校入学料免除規則（平成14年教育委員会規則第６号）に基づいて、入学料を免除した。

イ　平成24年度事業実績

区　　分	人　　員	金　　額
入　　学　　料	267人	1,373,650円

（３）幼稚園（市立幼稚園授業料及び入学料減免）

ア　概　　要

幼稚園教育の振興に資するため、市立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、名古屋市立幼稚園授業料等減免規則（昭和47年名古屋市教育委員会規則第22号）に基づいて、授業料等を減免した。

イ　平成24年度事業実績

減　免　区　分		減免額（年）	人　員	金　額
		円	人	円
市民税所得割額の納税義務を負う者がない世帯（生活保護世帯を含む）				
同一世帯に小学校１～３年生の兄・姉がいる場合				
兄・姉が１人	在園児１人目	58,000	14	783,000
	在園児２人目以降	102,000	3	302,400
兄・姉が２人以上	在園児１人目以降	102,000	0	0
同一世帯に小学校１～３年生の兄・姉がいない場合				
在園児１人目		43,000	46	1,868,800
在園児２人目		73,000	5	320,000
在園児３人目以降		102,000	0	0
市民税課税総所得金額等の合計額が829,000円以下の世帯		13,000	12	150,000
市民税課税総所得金額等の合計額が829,000円を超え996,000円以下の世帯		5,000	1	5,000
東日本大震災の被災者		105,400	1	105,400
			82	3,534,600

３　私　学　助　成

（１）概　　要

私立学校における保護者負担を軽減し、私立学校教育の振興に寄与するため、私立高等学校及び私立幼稚園に在籍している方を対象に、名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例（昭和48年名古屋市条例第27号）等に基づいて、授業料等の補助を行った。（平成12年４月に総務局から事務移管された。）

ア　私立高等学校授業料補助　平成24年度事業実績

補　助　区　分	補助額（年）	人　員	金　額
	円	人	円
愛知県の実施する授業料減免の対象とならない者で、市民税の所得割額が298,500円に①、②の合計を加えた額未満の世帯 ①16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ②16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円	26,000	1,000	26,000,000

補　助　区　分	補助額（年）	人　員	金　額
	円	人	円
同298,500円に①、②の合計を加えた額以上388,500円に①、②の合計を加えた額未満の世帯	15,000	1,049	15,735,000
合　　計		2,049	41,735,000

イ　私立幼稚園授業料補助　平成24年度事業実績

補　助　区　分		補助額(年)	人　員	金　額
		円	人	円
ア	生活保護世帯	226,200	13	2,638,500
		266,000	1	172,000
		305,000	0	0
		247,000	7	1,597,000
		305,000	3	572,000
イ	市民税非課税世帯・市民税所得割非課税世帯	196,200	1,116	209,306,000
		251,000	113	24,860,600
		305,000	3	607,500
		224,000	446	93,848,300
		305,000	77	17,600,460
ウ	市民税所得割額が、77,100円以下の世帯	112,200	1,818	199,361,100
		209,000	199	38,129,200
		305,000	1	208,000
		161,000	557	88,472,400
		305,000	47	11,206,180
エ	市民税所得割額が、211,200円以下の世帯	49,800	10,056	488,205,200
		178,000	1,208	201,551,750
		305,000	22	5,286,000
		114,000	4,511	507,269,200
		305,000	407	94,577,320
オ	市民税所得割額が、270,900円以下の世帯	43,600	2,292	95,980,700
		60,000	234	13,105,000
		70,000	4	233,300
		60,000	1,180	68,960,000
		70,000	96	6,282,600
カ	上記ア～オ以外の世帯	32,000	4,285	130,122,300
		37,000	429	14,033,900
		47,000	9	384,000
		37,000	2,138	76,039,000
		47,000	193	8,277,200
合　　計			31,465	2,398,886,710

（注）　補助区分における補助年額の内訳は、上段から１人目の方、同時在園２人目の方、同時在園３人目以降の方、小学校１～３年生に兄姉がいる場合の２人目の方、小学校１～３年生に兄姉がいる場合の３人目以降の方。

4 越境通学防止

（1）概　　要

市立小・中学校への通学は、特別な事情がある場合を除いて住所地の学区の学校へ通学するようになっている。越境通学とは、不正な住民登録を行うなど不当な手続きによって住所を偽り、通学区の学校に就学せず他学区の学校へ通学することをいう。

こうした越境通学は、行政的には違法な行為であり、人間尊重という教育本来の目的をゆがめ、教育の機会均等をそこなうものである。また、児童・生徒の人間形成を進めるうえからも大きなへい害となり、さらに、義務教育に関する施策に支障を及ぼすことになる。

このような越境通学の防止については、これまで関係者の協力を得て努力してきたが、依然として解消していない。

そのため、防止対策をさらに推進するために、教育委員会・校長会・区長代表・関係局長などで構成する「名古屋市学区外通学防止対策連絡会議」を設置し（昭和53年２月）、「越境入学防止対策基本方針」を決定して、種々対策を講じその解消に一層の努力をしてきた。

（2）越境入学防止対策基本方針

越境入学は、法令に反する行為であるばかりか、児童・生徒の人間形成を進めるうえで教育本来の目的をゆがめるものである。なかでも旧「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第２条第１項に規定する対象地域を学区域に有する学校（以下「関係校」という）から他校への越境入学は、教育の機会均等・人間尊重のうえから重大な問題を生ずるものである。そのため連絡会議は、越境入学防止について、次の基本方針を決定するものとする。

1　越境入学は、発生を防ぐことが重要であり、教育委員会及び各小学校は、小・中学校への入学予定者の保護者に対して適正学区の学校へ入学するよう指導する。また、一般市民に対しても理解を求める。

2　教育委員会及び各小・中学校は、実態調査に基づき、現に越境通学していると認められる児童・生徒の保護者に適正学区へ復帰するよう勧告するとともに、あわせて、今後の防止対策の参考資料とするため、各種調査を行う。

3　各小・中学校において、小・中学校１年生及び各学年転入学者のうち、入学後に越境通学者と認められたものについては､保護者に対して居住地の学校へ通学するよう説得に努める。

4　各区役所窓口においては、学齢児童・生徒を含む世帯分離について慎重に取り扱い、特に関係校を含む学区からの転出については、十分な確認を行うなど、適切な措置をとるものとする。

5　越境入学の多い小･中学校及び区は､緊密な連携をはかり､越境入学防止の徹底をはかる。

6　市外からの越境入学を防止するため、教育委員会は、近隣市町村及びその教育委員会と緊密な連絡をとり、協力を依頼する。

（３）平成24年度における主な対策

ア　越境通学者の保護者に対して、適正学区の学校に復帰するよう文書で勧告した。
（平成24年７月・12月、25年３月）

イ　区役所における指導

区役所の窓口において、越境通学のためと思われる住民登録の届出について、注意喚起文書を手渡すとともに誓約書や家主の証明書をとるなど指導を強めた。

越境通学者の保護者に対して、区役所から住所の確認の文書を出し、指導をした。

ウ　教職員への趣旨の徹底

小･中学校の職員室等に啓発ポスターを掲示するとともに､教職員全員にパンフレット(「越境入学を防止するために」）を配布して趣旨の徹底を図った。

全教頭を対象とする研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしていただくよう指導した。

エ　隣接市町村教育委員会との協議

名古屋市外からの越境入学を防止するため隣接市町村教育委員会と協議し、協力を要請した。

オ　各ＰＴＡへの協力依頼

名古屋市立小中学校の各ＰＴＡ会長あてに越境入学防止に関するチラシを配布し、協力を依頼した。

市ＰＴＡ会報紙上に、越境入学防止の啓発文を掲載し、協力を依頼した。

カ　市民・保護者へのＰＲ

市民・保護者へは、「広報なごや」等で啓発に努めた。

平成25年度小学校１年生と平成24年度小学校６年生の保護者全員に対し、越境入学防止に関するチラシを配布し、啓発に努めた。

各区役所・支所に越境入学防止についての立看板・ポスターを掲示し、リーフレットを配布するなどして来庁する市民の啓発に努めた。

キ　幼児教育機関への協力依頼

幼稚園・保育所で越境入学防止に関するポスターを掲示した。

ク　区役所職員への趣旨の徹底

職員研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしていただくよう指導した。

第５部　学校保健、給食、体育

第１章　学　校　保　健

１　児童・生徒・幼児の保健管理

定期健康診断、臨時健康診断及び健康相談を、学校医（眼科・耳鼻咽喉科を含む）・学校歯科医が中心となって実施した。

また、ぎょう虫卵の有無の検査を民間検査機関に委託して実施した。

定期健康診断実施結果は次表のとおりである。

平成24年度学校種別疾病異常の被患率　（%）

性別	疾病異常／校種別	低視力	結膜炎	中耳炎	慢性副鼻腔炎	へんとう肥大	伝染性皮ふ疾患	心臓疾患	ぜんそく	腎臓疾患	う歯		結核性疾患
											処置完了者	未処置歯のある者	
男子	幼稚園	…	—	—	—	3.27	0.48	0.48	0.58	0.10	11.91	18.44	…
	小学校	28.23	3.17	0.30	0.34	3.49	0.06	1.28	6.51	0.27	27.79	19.67	0.00
	中学校	45.09	2.10	0.30	0.52	0.86	0.04	1.52	5.41	0.32	19.89	12.59	—
	高等学校	45.13	0.42	0.18	0.16	1.11	—	2.09	4.49	0.23	33.17	14.97	—
女子	幼稚園	…	—	—	—	2.51	0.19	1.26	0.68	—	11.69	16.04	…
	小学校	34.06	2.47	0.22	0.22	3.18	0.04	1.13	4.22	0.26	25.83	17.39	—
	中学校	52.65	1.35	0.16	0.30	0.60	0.00	1.52	3.34	0.30	23.30	13.26	—
	高等学校	45.28	0.51	0.11	0.07	1.07	—	1.53	2.77	0.30	39.86	12.77	—

（注）　表中「…」は調査を実施していないことを、「—」は該当者のないことを表す。

（１）児童・生徒の疾患対策

ア　心臓検診

小・中・高・特別支援学校１年生の児童・生徒全員を対象に心電図検査を実施した。なお、昭和57年度から心電図判読の省力化、迅速化、診断の均一化を目的としてコンピューターによる自動解析を導入し、昭和60年度から市外から転入した児童・生徒も対象とした。精密検診は専門の医療機関に依頼し、心疾患者に対しては適切な事後指導を行うとともに、学校における指導管理のために個人ごとの管理指導表を作成し、学校医の指導のもとに活用した。昭和59年度から川崎病既往症の小学校１年生に対し運動負荷心電図・心エコー等精密検査を実施した。昭和61年度から必要と認められる者を対象に心エコー図及びホルター心電図を導入した。なお、検診データのコンピューター処理を昭和63年度から小学校１年生、平成元年度から中学校１年生に導入した。平成24年度の結果は次表のとおりである。

区　分	受診人員	要精検査		心疾患者	
	人	人	%	人	%
小学校	18,070	381	(2.11)	288	(1.59)
中学校	17,451	450	(2.58)	427	(2.45)
高等学校	4,282	154	(3.60)	100	(2.34)

イ　屈折検診

名古屋市学校医会に委託して、小学校１～６年生の全児童のうち、矯正視力で両眼とも（D）ランク（0.3未満）であった者を対象に特別精密検診を実施し、152人が受診した。

ウ　腎臓検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び第１次検査を実施し、異常の認められた者についてはさらに第２・３次検査を行った。平成24年度の結果は次表のとおりである。

このうち要再検者に対しては、医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。

区　分	受診人員	要観察		要再検	
	人	人	%	人	%
小学校	111,811	15	(0.01)	119	(0.11)
中学校	52,102	26	(0.05)	105	(0.20)
高等学校	12,674	13	(0.10)	20	(0.16)
特別支援学校	925	0	(0.00)	1	(0.11)
計	177,512	54	(0.03)	245	(0.14)

エ　糖尿病検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び尿糖検査を実施し、異常の認められた者については医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。平成24年度の結果は次表のとおりである。

区　分	受診人員	要観察		要治療	
	人	人	%	人	%
小学校	111,811	4	(0.004)	9	(0.008)
中学校	52,102	1	(0.002)	8	(0.015)
高等学校	12,674	0	(0.000)	2	(0.016)
特別支援学校	925	0	(0.000)	1	(0.108)
計	177,512	5	(0.003)	20	(0.011)

オ　ぎょう虫卵検査

小学校１～３年及び幼稚園児全員を対象にぎょう虫卵検査を行った。平成24年度の結果は次表のとおりである。

区　分	ぎょう虫卵		
	検査人員	保有者	
	人	人	%
幼稚園	2,153	2	(0.09)
小学校	54,894	54	(0.10)
計	57,047	56	(0.10)

カ　う歯予防対策

児童・生徒の歯と口の健康づくりのため、歯と口の健康週間に協賛し、市内小・中・特別支援学校で歯科保健活動の充実を期し、優れた実践活動を展開している学校を毎年数校表彰して歯科衛生思想の向上を図った。平成24年度の表彰校は、特別優良校が小学校２校、中学校０校、優良校が小学校19校、中学校８校、特別支援学校１校、歯科衛生活動奨励校が小学校４校、中学校２校であった。

また、歯みがきが歯の健康にとってどのような意味を持つのかを児童・生徒に認識させ、自分の歯ならびに合ったみがき方を習慣づけるため、小学校３年生全員を対象に染め出し錠による歯口清掃指導を行った。平成24年度の結果は次表のとおりである。

区　分	受診人員	り患者数	う歯総数	処置歯総数	１人平均う歯数
	人	人	本	本	本
小学校	113,057	12,411	23,145	15,452	0.22
中学校	52,030	17,792	45,937	31,746	0.88

キ　歯科疾患特別健診

歯周疾患対策として全市より抽出した小学校を対象に、歯科疾患特別健診を実施した。平成24年度の結果は次表のとおりである。

区　分		受診人員	歯周疾患要観察者	歯周疾患要治療勧告者
		人	人	人
春 期	小学校４年生	2,289	763	151
秋 期	小学校４年生	2,247	654	94

ク　アレルギー性疾患対策事業

アレルギー性疾患を早期に発見して、適切な健康管理を行うとともに、健康の保持増進を図ることを目的とし小学校１年生18,090人に対して、内科、眼科、耳鼻咽喉科の検診として行った。平成24年度の結果は次表のとおりである。

区　分	内　科		眼　科	耳鼻咽喉科
	アトピー	ぜん息	アレルギー性結膜炎	アレルギー性鼻炎
	人　%	人　%	人　%	人　%
要 観 察	1,632　(9.02)	369　(2.04)	525　(2.90)	336　(1.86)
要 医 療	341　(1.89)	35　(0.19)	286　(1.58)	413　(2.28)

（２）児童・生徒の体位

平成24年度の児童・生徒の主な体位は次表のとおりである。

性別	年齢 ＼ 項目 ＼ 年度	身長（cm） 昭和47年	身長（cm） 平成4年	身長（cm） 平成24年	身長（cm） 全国平均	体重（kg） 昭和47年	体重（kg） 平成4年	体重（kg） 平成24年	体重（kg） 全国平均
男子	6歳（小学１年生）	115.4	116.6	116.5	116.5	20.5	21.4	21.1	21.3
男子	12歳（中学１年生）	147.8	151.3	152.1	152.4	39.8	43.5	43.2	44.0
男子	15歳（高校１年生）	165.7	168.3	168.3	168.4	55.0	59.4	57.7	59.2
女子	6歳（小学１年生）	114.7	115.8	115.6	115.6	20.0	21.0	20.6	20.9
女子	12歳（中学１年生）	148.8	151.5	151.7	151.9	41.1	43.6	43.1	43.7
女子	15歳（高校１年生）	155.5	157.3	157.3	157.2	50.4	51.4	50.2	51.6

性別	年齢 ＼ 項目 ＼ 年度	座高（cm） 昭和47年	座高（cm） 平成4年	座高（cm） 平成24年	座高（cm） 全国平均
男子	6歳（小学１年生）	64.7	65.2	64.8	64.8
男子	12歳（中学１年生）	79.4	80.6	81.1	81.3
男子	15歳（高校１年生）	88.6	89.6	89.8	90.3
女子	6歳（小学１年生）	64.2	64.8	64.4	64.4
女子	12歳（中学１年生）	80.9	81.5	82.0	82.2
女子	15歳（高校１年生）	84.5	84.9	85.2	85.4

２　就学時健康診断

学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第11条の規定により、平成25年４月に小学校へ入学する者の心身の状況を把握して適切な就学を図るため、平成24年11月末までに各小学校において実施した。

この健康診断の結果、疾病のあるものについては入学時までに治療して入学するように指導した。また、心身に障害があり、普通学級で学習することが困難と認められる者には、その心身の状況に応じた適切な就学指導・相談を進めた。

３　教職員の保健管理

教職員の健康管理として、健康診断・健康相談・安全衛生教育等を行った。なかでも、メンタルヘルスの重要性に鑑み、総合的な対策として「名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画」を策定した。本計画は、教職員安全衛生委員会及び「元気な学校づくり」プロジェクト会議等での検討を経て、平成24年３月に完成し、平成24年度から平成28年度の５年間を実施期間の目途としている。

（１）健康診断

学校保健安全法第15条及び教職員安全衛生管理規則（昭和60年教育委員会規則第14号）第16条の規定に基づき、定期健康診断、個別健康診断及び特別健康診断を実施した。

平成24年度の実施結果は次表のとおりである。

①　定期健康診断・個別健康診断

健診区分	受診者数
	人
管　理	2,216
一般Ａ	6,094
一般Ｂ	1,570
計	9,880

項　　目	受診者数	所見なし		要観察及び要医療	
	人	人	%	人	%
胸　　部	9,787	9,753	(99.7)	34	(0.3)
高　血　圧	9,809	8,673	(88.4)	1,136	(11.6)
腎　臓　病	9,813	8,745	(89.1)	1,068	(10.9)
糖　尿　病	9,803	9,299	(94.9)	504	(5.1)
心　臓　病	8,234	7,368	(89.5)	866	(10.5)
貧　　血	8,244	6,769	(82.1)	1,475	(17.9)
肝　臓　病	8,245	6,309	(76.5)	1,936	(23.5)
脂質異常症	8,242	4,542	(55.1)	3,700	(44.9)
尿　　酸	8,229	7,264	(88.3)	965	(11.7)

②　特別健康診断

胃検診受診状況

受　診　者	要　精　検　者	出　現　率
人	人	%
2,025	63	3.1

大腸がん検診

受　診　者　数	要　精　検　者	出　現　率
人	人	%
3,388	178	5.3

風しん抗体検査　（抗体値８倍未満……風しんに対する免疫がない。）

受　診　者　数	８　倍　未　満	出　現　率
人	人	%
225	10	4.4

Ｂ型肝炎抗体検査

受　診　者　数	無　抗　体　者	ワクチン接種者
人	人	人
234	33	29

ＶＤＴ業務検診

一　次　検　診	要　二　次　検　診
人	人
1,435	132

要二次検診（77）の内訳

経　過　観　察　等	所　見　な　し
人	人
11	88

海外派遣後健康診断

対　象　者	受　診　者
人	人
4	4

（２）健康相談

教職員課分室にて、保健師等がからだや心の悩みなどについて常時相談に応じた。

	人
電話相談及び個別面接	1,425

（３）安全衛生教育

ア　産業医等が53校（園）へ出向き衛生講話を行った。

イ　教職員の健康を保持・増進するため、健康教室（12回）・予防教室（４回）・安全衛生セミナー（７回）を合計23回開催した。

４　学校環境衛生管理

（１）感染症予防及び環境衛生管理のために、学校便所の清掃消毒を実施した。

（２）学校プール衛生対策として、循環ろ過機の設置によるプール水の消毒、浄化、プール施設の清掃及び水質検査を実施した。

（３）し尿浄化槽の維持管理のため、501人以上のし尿浄化槽設置校には技術管理者を配置し、また、し尿浄化槽のある学校には消毒薬品の配布と清掃を実施した。

（４）飲料水の衛生維持のために、水質検査及び飲料用貯水槽の清掃・消毒を実施した。

５　学校における安全対策

（１）来訪者への声かけや校内巡視などの日常的な取り組みを始め、各職員の役割や対処方法などを明記した防犯対策・マニュアルを各学校の実情に応じて作成し、緊急時の対応を周知徹底している。また、全校に、防犯カメラやさすまたを整備するとともに、「なごやっ子あんしんメール」を運用し、児童・生徒の登下校時の安全確保を図るための不審者情報を、保護者の登録アドレスへ直接メール配信できるようにした。

（２）児童の登下校時等の安全確保を推進するために、小学校区毎に「子ども安全ボランティア」等が「通学路の見守り活動」等を実施した。また、警察官ＯＢをスクールガードリーダーとして委嘱し、登下校時の巡回や学校周辺の巡回を実施するとともに、学校、ＰＴＡ及び地域の方々に対し専門的立場から指導助言を行った。

（３）登下校時等の安全確保等のために、新入学児童を対象に防犯ブザーを配布した。

６　日本スポーツ振興センター

学校安全の普及・充実を図るとともに、小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の管理下において児童、生徒及び幼児に事故が起きた場合、その治療、見舞等に必要な給付等を行うため日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入した。

平成24年度　学校種別加入及び医療費給付状況　（H25．５．22現在）

種　別	加入校数	加入人員	給付件数	給付金額
	校（園）	人	件	円
小　学　校	263	111,969	14,820	24,833,186
中　学　校	110	53,265	9,771	21,683,877
高 等 学 校	16	12,798	3,852	30,088,174
特別支援学校	4	959	89	379,505
幼　稚　園	23	2,228	259	583,559
計	416	181,219	28,791	77,568,301

７　名古屋市学校保健会

学校保健の研究及び普及発達を図ることを目的として、学校医・学校歯科医・学校薬剤師・学校（園）長・保健主事・養護教諭・ＰＴＡ、その他学校保健関係者によって組織されている団体である。

平成24年度に実施した主な事業は、次のとおりである。

（１）第63回指定都市学校保健協議会への参加
（２）第62回全国学校保健研究大会への参加
（３）第55回名古屋市学校保健協議会の開催
（４）第45回名古屋市学校保健研究大会の開催
（５）平成24年度「名古屋市学校保健優良校」審査
（６）学校保健に関する研修会・講演会の開催
（７）会報「なごや学校保健」及び「教育医学」の発行
（８）各種疾患・歯科疾患・学校環境衛生に関する調査研究

第２章　学　校　給　食

１　学　校　給　食

学校給食は、健康教育の一環として、児童・生徒に、望ましい食事のあり方を理解させるとともに、食事を通して心のふれあいを深め、好ましい人間関係の育成と心身の健全な発達に資するものである。

（１）学校給食の実施状況　　（平成25年５月１日現在）

項目／校別	種　別	実施校数	実　施　人　員			備　　考
			児童生徒数	教職員数	計	
		校	人	人	人	
小　学　校	完全給食	263	111,106	7,865	118,971	
中　学　校	〃	1	475	36	511	
〃	〃 (スクールランチ)	109	52,370	3,546	55,916	
特別支援学校	完全給食	4	992	476	1,468	訪問教育を除く
高等学校（定時制）	〃	2	146	―	146	
計		379	165,089	11,923	177,012	

中学校スクールランチについては、ランチルームを整備するとともに、複数メニューからの選択・弁当の持参も認める方法で実施している。

（２）献立と栄養摂取状況

ア　給　食　内　容

学校給食のねらいは、児童・生徒の栄養改善・健康増進を図るとともに、食事の正しいあり方を体得させ、好ましい人間関係を育成することである。

子どもは大人とちがって、生活をするのに必要なエネルギーのほかに自分自身の体の成長、発育のための栄養素を必要とするので、この成長期にある児童・生徒の食事内容は、体の構成に必要な良質のたんぱく質（特に動物性たんぱく質）、骨の発育に必要なカルシウム、体の調子をよくし、抵抗力をつける各種のビタミンなどが豊富なものでなければならない。

このような点をふまえて栄養管理にあたっては、児童・生徒１人１回当たりの学校給食摂

取基準とその食品構成により、児童・生徒の必要とする栄養量を確保し、家庭において不足しがちな栄養素を補充するよう配意している。

従来の小学校における完全給食は、パン（めん）・牛乳・おかずであったが、昭和55年度からは、食事内容の多様化を目的として米飯を月１回採り入れた。その後も国の方針として米を主食とした日本型食生活の推進がいわれ、本市においても米飯給食を順次拡大し、平成23年度より週３回を週3.5回とし実施している。

また、昭和58年度からは、国際理解教育の一環として、児童が姉妹・友好都市提携している都市の特徴ある料理や食材を用いた食文化の一端に触れ、幅広くその国の国民性や文化などについて学ぶなど、国際的な広い視野に立った好ましい能力を身につけていくことの手がかりとなるよう、姉妹・友好都市給食を実施している。平成16年度からは、「みんなで食べる！なごや産」という地産地消の取り組みを展開しており、現在、港区産の米、中川区産のみつば、水耕ねぎ、天白区産のにんじん、キャベツ、かぼちゃ、緑区産のたまねぎ、はくさい、ブロッコリー等の市内産野菜を使用しているほか、平成23年度より、愛知県の特産物を取り入れた献立や身近な郷土料理などの特徴ある献立を新たに「ふるさと献立」として位置づけ、食文化に対する総合的な理解を深め、郷土を心の拠り所とする気持ちの醸成を図った。

さらに、平成19年度から食物アレルギーの対策として、一部献立の除去食対応を実施している。

中学校スクールランチの献立については、中学生の発達段階を考慮し、学校給食法に基づき学校給食摂取基準にあわせるとともに、生徒のし好や季節感にも留意し、「楽しく・おいしく・バランスよく」という内容で作成している。種類は、ランチルーム用として２種類（Ａ・Ｂランチ）と教室用として２種類（Ｃ・Ｄランチ）の複数メニューで実施している。

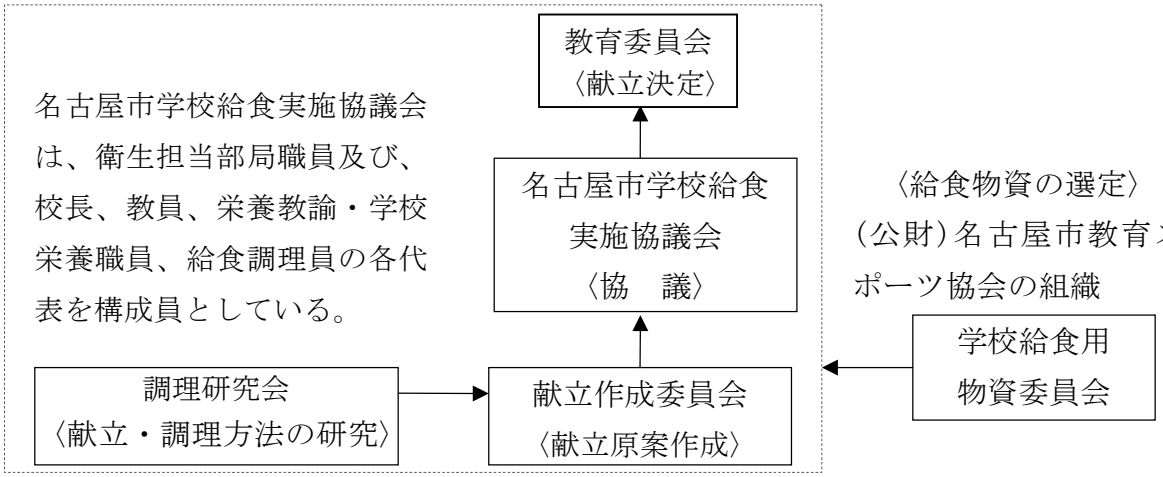
ランチルームメニューは、めん類・どんぶり物・シチューなど温かいメニューをメインとし、教室用のランチボックスでは、季節感・彩りにも配慮し、保温汁わんを使用して温かい汁物やカレー・どんぶりの具もつけている。

なお、東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の食品への影響に対する不安を解消するため、平成23年９月より小学校給食及び中学校スクールランチにおいて使用する主な食材の放射性物質の検査を開始し、主な食材の産地情報と併せて名古屋市公式ウェブサイトにおいて公表を行った。

イ　献立のできるまで

「おいしい、楽しい、魅力ある学校給食」を実現するため、給食の基盤となる献立の作成には十分配慮し食事内容の改善充実に努めている。

小学校給食の献立作成過程は、次のとおりである。



献立の作成にあたっては、栄養・衛生・し好に配慮し、学校給食摂取基準に基づく栄養素を児童・生徒が摂取できるように努めている。

調理研究会で検討された献立内容を献立作成委員会に提出し、慎重に審議され、さらに学校給食実施協議会において了承したものを教育委員会が決定し実施される。

中学校スクールランチは、毎月１回の献立会議（献立調理技術会議）を通して、献立の実際のメニューを作成して検討を行ったものを、教育委員会で決定し実施している。

ウ　栄養摂取状況

平成24年度の小学校栄養摂取状況と本市の児童・生徒１人１回当たりの学校給食摂取基準は、次のとおりである。

区　分	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂　質 g	食　塩相当量 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミン				食　物繊　維 g
							レチノール当量μg	B_1 mg	B_2 mg	C mg	
平成２４年度平均(小学校)	630	24.2	19.0	2.4	334	2.3	247	0.54	0.50	19	3.7
本市基準（小学校）	660	20.0	摂取エネルギーの25～30％	2.5未満	350	3.0	140	0.40	0.50	23	6.0
平成２４年度平均(中学校)	865	34.1	25.9	4.5	398	3.3	481	0.51	0.64	34	5.4
本市基準（中学校）	850	28.0	摂取エネルギーの25～30％	3以下	420	4.0	210	0.60	0.60	33	7.5

（３）学校給食関係職員の活動等

ア　学校給食研究会

教員が食に関する指導を通して、子どもたちの望ましい食事のあり方と人間関係の効果的な育成について研究を進めている。

イ　栄養教諭・学校栄養職員研究会

学校に勤務する栄養教諭・学校栄養職員で構成され、健康な体と豊かな心を育てる学校給食をめざして、栄養管理上の指導及び食に関する指導の資料作成・研究等を行っている。

ウ　調理員

本市小学校では、単独校調理場方式を採用しており、各学校における日々の調理の中でおいしい魅力ある給食づくりに努めている。

（４）食に関する指導の推進と充実

「なごやっ子　食に関する指導の手引」、「学校給食指導の手びき」を活用し、食に関する指導の充実を図っている。また、小学校を中心に栄養教諭・学校栄養職員による「食に関する指導」の巡回指導を実施した。

２　運　営　組　織

（１）名古屋市学校給食実施協議会

名古屋市学校給食実施協議会は、学校給食の円滑な運営を図るため、標準献立作成、連絡調整その他給食実施の総括をしている。

（２）中学校スクールランチ連絡協議会

中学校スクールランチ連絡協議会は、中学校校長・教員などで構成し、中学校スクールランチの円滑な運営について協議している。

（３）公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会（学校給食課）

名古屋市立小学校などにおける学校給食の円滑な運営、実施及びその発展に寄与することを目的として、次の事業を行っている。

ア　学校給食に用する物資の調達に関する事業

イ　学校給食の普及奨励に必要な事業

ウ　その他この法人の目的達成に必要な事業

具体的な業務内容は、下記のとおりである。

（ア）　給食費の一括精算事務

（イ）　献立作成及び各種協議会等への協力

３　普　及　活　動

（１）調理員の研修

平成24年度は、食品・調理及び衛生管理に関する知識の向上のため、講演会や調理技術実習を行った。また、新規採用者を対象に、学校給食に従事するための職員としての心構えと調理実習、調理員経験10年以上の職員を対象に職場内における後輩職員等への円滑な指導が行えるよう研修を実施し、調理員の資質及び士気向上を図った。

（２）学校巡回と夏季衛生講習会

中学校スクールランチ指導員・管理栄養士が巡回し、実施校での実施状況や衛生管理状況などを把握し、各学校の配膳室で調理業者への指導を行っている。また、夏季衛生講習会を開催し、調理業者の従事者に衛生管理指導を実施した。

（３）試食会

新入生の保護者などを対象として各小学校及び各特別支援学校が開催する試食会（延べ小学校187回、特別支援学校３回）を実施し、学校給食のＰＲに努めた。

中学校スクールランチでは、各中学校の保護者や次年度入学予定児童、地域の方などを対象に、学校主催の試食会（延べ304回）を実施し、スクールランチへの理解を深めた。

第３章　学　校　体　育

１　学校体育の概要

（１）基本方針

学校における体育・スポーツ活動は、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践するとともに、健康で安全な生活を営むための能力や態度の基礎を育てるため、その調和的な発達を促す価値ある教育活動として学校教育の一翼を担っている。

本市において、学習指導要領に基づく教科体育はもとより運動部活動の振興、学校体育施設の拡充等、児童・生徒が十分な活動ができるよう諸条件を整備し、学校体育の充実と発展を図っていく。

（２）学校体育の重点施策と事業の概要

ア　学校体育の研究推進

- 教科体育外部指導者派遣事業（中学校教科体育の柔道、剣道の指導者）

イ　学校体育指導者の資質の向上

- 体育実技講習会
- 水泳指導法講習会
- 中・高等学校柔道、剣道指導者講習会
- 野外活動指導者養成講習会（小・中学校）
- 新規採用教員水泳講習会
- スクールダンササイズ講習会（小・特別支援学校）

ウ　児童・生徒の体力運動能力の育成

- 「元気いっぱいなごやっ子の育成」事業
- 体力・運動能力調査の実施と集計

エ　部活動の振興

- 部活動顧問及び外部指導者の派遣
- 部活動指導者謝金の支給
- 部活動指導者の養成
- 生徒の全国大会等参加費に対する助成
- 各種体育大会の充実
- 名古屋市小中学校体育連盟への助成

オ　学校体育施設の充実

- 学校体育センターの運営

２　各 種 講 習 会

体育・スポーツの指導者の資質の向上を図るため各種の講習会を開催し、併せて学校体育の振興に努めた。

平成24年度に実施した主な講習会は、次のとおりである。

講　習　会　名	期　　日	参　加　者　数
水泳指導法講習会	５月９日・11日	各校１人351人
部活動外部指導者研修会	６月９日	部活動外部指導者59人
体育実技講習会	６月１・５・６日	小学校267人、中学校95人
新規採用教員水泳講習会	７月26・８月２・３日	小・中・特別支援学校320人
中・高等学校 柔・剣道指導者講習会	８月27・28日 ９月４日	柔道59人、剣道63人
野外活動指導者養成講習会 （小・中学校）	８月７・８・９日(中津川) ８月７・８・９日(稲武)	小学校55人（中津川） 中学校38人（稲武）
スクールダンササイズ講習会	７月27日	小・特別支援学校288人
部活動指導者養成講習会	５月～１月	小・中学校11種目532人 高校１種目73人
各種スポーツ講習会	５月～１月	15種目

３　元気いっぱいなごやっ子の育成

子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、望ましい食生活等の指導を行うことにより、元気いっぱいなごやっ子の育成を目指した。

（１）今の体力を知り、体力向上を目指そう

児童・生徒が自分自身の現在の体力・運動能力を知り、主体的に体力づくりに取り組んでいくことができる体力アップソフトの活用を行った。

（２）体力アップに挑戦しよう

特色ある体力づくりに取り組む学校を募集し、実践研究を委嘱した。平成24年度は新たに小学校７校、中学校２校を委嘱し、平成23年度までに小学校89校、中学校17校の106校となった。各校とも全校体制で楽しく体力づくりに取り組んだ。

（３）食を学んで健康アップしよう

「食生活学習教材」を活用して、望ましい食生活などを身につけさせる食に関する指導を実施した。

４　体力・運動能力調査

児童・生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、健やかな成長発達の指導に役立てることを目的に昭和41年度から継続して体力運動能力の調査を実施し、平成11年度からは、新種目で実施した。

（１）平成24年度本市児童・生徒の体力の状況

区分	年齢	握力（kg）		上体起こし（回）		長座体前屈（cm）		反復横とび（回）	
	性別	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10	16.1	15.7	18.2	16.8	31.3	35.7	40.0	37.8
	11	18.9	18.8	20.7	18.6	34.0	39.0	44.1	41.3
中学校	12	22.9	21.3	23.6	20.5	37.2	41.4	46.7	43.1
	13	28.6	23.5	27.7	23.3	42.1	44.5	50.8	45.2
	14	34.2	24.8	29.9	24.5	46.4	46.9	53.9	46.3

（２）平成24年度本市児童・生徒の運動能力の状況

ア　小学校児童の運動能力の状況

区分	年齢	20mシャトルラン（回）		50m走（秒）		立ち幅とび（cm）		ソフトボール投げ（m）	
	性別	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10	45.3	34.2	9.4	9.6	151.6	144.4	23.5	14.3
	11	56.7	42.7	9.0	9.3	162.3	153.3	27.8	16.5

イ　中学校生徒の運動能力の状況

区分	年齢	持久走 男・1500m　女1000m（分・秒）		20mシャトルラン（回）		50m走（秒）		立ち幅とび（cm）		ハンドボール投げ（m）	
	性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
中学校	12	7′ 18″	5′ 11″	69.8	50.8	8.8	9.3	172.0	157.4	18.2	11.9
	13	6′ 39″	4′ 59″	87.7	58.0	8.2	9.0	188.5	163.4	21.3	13.3
	14	6′ 23″	4′ 58″	92.7	58.7	7.8	9.0	204.0	166.3	23.9	14.2

５　各種体育大会

児童・生徒の体力を増進し、スポーツ精神の育成を目指して各種体育大会を開催している。平成24年度に実施した主な体育大会は、次のとおりである。

体育大会名	期　　日	会場・参加者等
名古屋市中学校総合体育大会 男子14種目・女子12種目 （陸上競技・体操・卓球・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・バドミントン・剣道・水泳・柔道・軟式野球・ソフトボール・ラグビー） （ただし、サッカー・軟式野球・ラグビーは男女混合チームを編成できる）	４月28日～７月27日	瑞穂公園陸上競技場、市内各体育館、市内中学校他 男子　8,743人 女子　6,187人
名古屋市立高等学校体育大会 18種目	７月26日～９月17日	瑞穂公園陸上競技場他 2,789人
名古屋市中学校駅伝競走	10月27日	庄内緑地公園陸上競技場・サイクリングコース 男子　414人（46校） 女子　336人（42校）

６　名古屋市小中学校体育連盟

昭和22年４月に、学校体育の振興を図ることを目的として発足した。現在18部の運動部（陸上競技・水泳・軟式野球・ソフトボール・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・ラグビー・ソフトテニス・卓球・体操・ダンス・すもう・柔道・剣道・登山ハイキング・バドミントン）を有し、主として、学校体育（特に教科外体育）の振興に寄与する行事を各部ごとに開催している。

平成24年度には主な事業として、小学校指導会（10種目）、各運動部講習会（15種目）を開催した。

7　名古屋市学校体育センター

（1）学校体育センターの概要

学校体育センターは、学校建設予定地の有効活用を図り、学校教育にかかる体育大会及び練習などに利用するための施設として、設置されている。

なお、学校教育の諸活動を妨げない限度において、市民のスポーツ及びレクリエーションその他社会教育活動のために利用することができる。

施　設　名	開所年月日	施　設　概　要	所　　在　　地
平田学校体育センター	平成５年 ４月10日	体育館・運動場・会議室 敷地面積　10,038.55㎡	西区山木二丁目167番地
天白学校体育センター	平成５年 ４月10日	体育館・運動場・会議室 敷地面積　13,601.49㎡	天白区菅田一丁目501番地
中川学校体育センター	平成７年 ４月26日	体育館・運動場・会議室 敷地面積　15,057.34㎡	中川区下之一色町字松蔭一丁目45番地の１

（2）利用状況

平成24年度における利用状況は、次のとおりである。

センター名	体　育　館		運　動　場		会　議　室	
	件	人	件	人	件	人
平田学校体育センター	1,106	48,637	247	25,242	410	7,492
天白学校体育センター	1,093	46,663	310	32,504	380	7,404
中川学校体育センター	1,317	56,423	256	32,455	434	9,552

第６部　生涯学習・社会教育

第１章　生涯学習の推進

１　生涯学習社会を目指して

平成18年12月に教育基本法が改正され、第３条に生涯学習の理念として、「その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」との条文が新設された。

変動する現代社会で生活する人々が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るために、生涯を通して自ら学ぶ活動として「生涯学習」がますます重要になってきている。

また、同法の社会教育に関する条文においても、「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。」とする改正が加えられた。生涯学習を推進する中核的な役割を担う社会教育行政においては、個人的な興味・関心はもとより、社会共通の課題を解決するための学習の機会及び情報の提供など適切な方法で社会教育の振興に努め、生涯学習社会の構築を目指すことが求められている。

２　生涯学習が必要とされる社会的背景

（１）社会の変化に対応するための学習の必要性

少子高齢化、科学技術の進展、情報化、国際化や環境問題などの社会の急激な変化によって生じたさまざまな課題に主体的に対応していくためには、学校教育で得た知識・技術だけにとどまらず、絶えず新しく生みだされる知識・教養・技術を生涯にわたって学習する必要が生じてきている。

（２）社会の成熟化に伴う学習ニーズの拡大

人々のライフスタイルが大きく変化し、余暇時間の増大、生活水準や教育水準の向上などを背景として、物の豊かさから心の豊かさが求められるようになってきている。そして、価値観が多様化し、生涯を通じての生きがいや自己実現などのために、学習活動への意欲や関心が高まっているとともに、その目的や内容も多様かつ高度なものとなってきている。

（３）生涯学習による市民の交流と地域活動の発展

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することは、多くの人との交流や協調を通して、学習を基盤とした多様な活動が展開され、主体的に社会参加しようとする意欲の醸成につながるものであり、地域社会の活性化やまちづくりを進める上で有意義である。

３　基　本　方　針

市民の学習は、学校や社会教育施設などの教育機関だけでなく、地域や社会の生活において、多様な学習機会を選択することにより、あるいは市民生活のなかで様々な形で行われている。こうした学習をきめ細かく支援していくためには、生涯学習に関連する諸機関の連携を図り、市民の学習環境を総合的に整備していくことが必要である。

本市では、こうした認識にたって、市民一人一人の高度化・多様化する学習意欲に対応するため、次の基本方針のもとに、各種の取り組みを進めていく。

（1）いつでも自由に学ぶことができ、その成果を生かして活躍できるような社会の構築をめざして、高等教育機関、民間教育事業者などとの役割分担と連携のもと、市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供や活躍の場の充実につとめる。

（2）誰もが本に親しみ、必要な資料を入手できる環境づくりをすすめるとともに、情報化に対応した図書館サービスの提供につとめる。

（3）子どもから高齢者まで、各年代層において、気軽にスポーツに親しむことができるよう、多彩な事業の発展をはかるとともに、身近な活動の場の確保や地域に根ざしたさまざまな活動の支援をすすめる。

４　平成24年度重点事業

トワイライトスクールの実施
「親学」の展開
あい・あい・あいさつ活動の推進
ファミリーデーなごや
子どもの読書活動の推進
女性の学習活動の支援
生涯学習推進センター・生涯学習センター等の事業の充実
なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業の実施
「家庭の日」の普及促進
プラザ事業への参加・参画事業の実施
青少年の自主活動推進事業の実施
青少年による支援者（サポーター）養成事業の実施
文化財保護事業補助の実施
歴史的町並み保存事業の推進
遺跡発掘調査の実施
文化財保護・啓発事業の実施
「歴史の里」の整備
市民スポーツ祭の開催
マラソンフェスティバル　ナゴヤ・愛知の開催
なごやかウォークの開催
なごやマイ・スポーツフェスティバルの開催
子どもスポーツフェスタの開催
国際スポーツ交流の推進
部活動の振興
地域ジュニアスポーツクラブの育成支援
スポーツ教室の充実
博物館・美術館・科学館の特別展、企画展等の開催

第２章　成　人　教　育

１　成人教育の概況

本市の成人教育は、生涯学習の観点から、市民一般を対象とした学習機会提供、親を対象とした家庭教育の振興、ＰＴＡを対象とした組織的活動の助成の３つを主な柱として推進している。なお、市民一般を対象とした学習機会提供としては、市民の多様化する学習要求にこたえるため、生涯学習推進センター、生涯学習センターなど社会教育施設を中心に、現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座を地域の実情に合わせて開設した。

（１）家庭教育事業

ア　家庭教育セミナー

本市社会教育の重点施策のひとつとして、昭和55年度から全市立小・中学校ＰＴＡに、それに加え平成６年度からは全市立幼稚園ＰＴＡ及び特別支援学校父母の会にも委託し、家庭教育セミナーを開設してきた。

	趣　　旨	運　営　形　態	参加者
家庭教育セミナー	子どもの健全な成長を図るため、家庭教育に関する諸問題や親のあり方などについて学習を深めることにより、家庭や親のあるべき姿・親の役割やしつけのあり方（親学）などについて認識を深め、よりよい家庭を築こうとする意欲を高める。	・市立幼稚園・小・中学校ＰＴＡ、特別支援学校父母の会の計398団体に開設委託、年１回以上実施 ・「親学」を参考資料に、全体会で基調提案、分散会で討議	延べ　20,273人

イ　パンフレット「親学」の発行

子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぶ「親学」の普及・推進のため、パンフレット「親学」を発行し、幼稚園･保育園・小・中・特別支援学校の保護者を対象として配布した。

ウ　幼児期家庭教育支援事業

（ア）「幼稚園の子どもたち」の発行

乳幼児期の教育がその人の生涯にわたっての人間形成に資する面がきわめて大きいにもかかわらず、これらの養育者に対する家庭教育についての学習機会は必ずしも十分とはいえない。そこで、昭和46年度から家庭教育資料を発行し、その役割の一端を果してきた。

「親学」を柱に親としてのあり方を考える素材を提供することを編集方針とし、幼稚園の保護者を対象として年間３回配布した。

（イ）家庭教育相談事業

全市立幼稚園で、専門家による子育て相談を実施した。

エ　地域ふれあい実践講座

家庭の教育機能を充実させるため、系統的に学習する場として昭和39年度から、家庭教育学級を開設してきたが、平成16年度より、事業名を「地域ふれあい実践講座」に改称し、親や地域の大人が子どもとの関わりをもつための実践的な活動手法について学習する機会を提供している。

平成24年度地域ふれあい実践講座一覧

区　　分	実　　施　　機　　関	受講者（人）
地域ふれあい実践講座	星ヶ丘小、山吹小、西味鋺小、榎小、日吉小、名城小、松栄小、汐路中、野立小、広見小、野跡小、桜田中、志段味東小、有松小、北一社小、高坂小	493

オ　「家庭の日」普及促進

昭和41年以来、親子のふれあいのある、明るい家庭づくりを促進するため、毎月第３日曜日を「家庭の日」と定めており、各種啓発資料や広報誌等により関係機関や団体、市民への普及啓発に努めた。また、「家庭の日」のポスター・作文の募集を行った。

カ　ファミリーデーなごや

家庭の大切さや家庭の素晴らしさについて改めて考えるイベント「ファミリーデーなごや」を、市立幼稚園・小中学校ＰＴＡ協議会などの協力により１月 12 日に日本ガイシホールで開催した。参加者は約２万４千人。

キ　ｅ - ねっと＊なごや

いつでも、どこでも学習できるように、平成16年度からインターネットを活用した講座を開設し、「現代的課題」「なごや学」「親学」に関する内容のコンテンツを動画とテキストで配信している。（平成25年３月末現在50講座）

ク　「おやじの会」の促進

父親や地域の男性に親学の普及・啓発をめざすとともに、家庭教育や地域活動への参加を促すため、「おやじの会」「おやじクラブ」の結成や活動の促進を図っている。

ケ　親学推進協力企業制度

企業(団体)に親学推進協力企業(団体)として登録してもらい、登録企業(団体)に、保護者である従業員が「親学」にふれる機会を提供してもらうことで「親学」の推進を図った。平成 19 年度から登録を開始し、平成 25 年３月末現在で 165 の企業(団体)が登録している。

コ　あいさつ活動の推進

あいさつの大切さを再確認するとともに、ＰＴＡ、学校、地域と連携し、朝のあいさつ活動をきっかけとして、地域の大人と子どものつながりを深めるため、「あい・あい・あいさつ活動」を推進した。

（２）ＰＴＡ活動

父母と教師の協力によって、子どもの健全な成長を図り、また、自らも学習する団体であるＰＴＡを対象に指導者研修事業を始め、成人教育活動、非行防止活動等の諸活動への助成を行った。

ア　ＰＴＡの団体数・会員数

（平成24年５月１日現在）

団体・会員数 / 種別	団体数（団体）	ＰＴＡ会員数			
		保護者（人）	教師（人）	その他（人）	計（人）
小学校	263	87,233	6,063	905	94,201
中学校	108	49,211	3,219	90	52,520
高等学校	15	12,638	878	20	13,536
幼稚園	23	2,015	167	6	2,188
計	409	151,097	10,327	1,021	162,445

イ　ＰＴＡ指導者研修

（ア）　幼稚園ＰＴＡ指導者研究集会

a　全体会

日　　程　10月30日

会　　場　女性会館

講演テーマ　「子どもに語りたい『いのち』の話」

講　　師　岐阜大学教授　近藤真庸氏

b　分科会

日　　程　11月13日

会　　場　女性会館

研究テーマ　第１分科会「つながりやふれあいを広げるＰＴＡ活動はどうあればよいか」

第２分科会「幼児が心身ともに豊かに育つためのＰＴＡ活動はどうあればよいか」

（イ）　小中学校ＰＴＡ指導者研究集会

a　市集会

日　　程　６月６日

会　　場　市公会堂

講演テーマ　「子ども・学校・地域をつなぐコミュニケーション」

講　　師　元アナウンサー・大同大学非常勤講師　千田伸子氏

b　区　集　会

区	会　　場	月日	区	会　　場	月日
千種	ルブラ王山	6.27	熱田	熱田区役所等複合施設	7．4
東	ウィルあいち	7．3	中川	富田北地域センター	6.12
北	北生涯学習センター	6.28	港	港区役所他	6.29
西	西区役所	7．4	南	南生涯学習センター他	7．3
中村	中村生涯学習センター	6.29	守山	守山生涯学習センター	7．3
中	青少年文化センター	7．6	緑	緑信用農業組合	7．4
昭和	昭和生涯学習センター	7.10	名東	名東文化小劇場	7．4
瑞穂	瑞穂陸上競技場	7．4	天白	天白生涯学習センター	6.29

(ウ)　高等学校ＰＴＡ指導者研究集会

a　全　体　会

日　　程　10月30日

会　　場　女性会館

講演テーマ　「オリンピックへの道」

講　　師　中京大学陸上競技部短距離コーチ　青戸慎司氏

b　分　科　会

日　　程　11月20日

会　　場　女性会館

研究テーマ　第１分科会　「ざっくばらんに楽しく　みんなでつくる　ＰＴＡ活動を目指して」

第２分科会　「ＰＴＡ活動の実際と可能性」

(エ)　幼・小・中・高ＰＴＡ指導者研究大会（ＰＴＡ活動研究大会）

日　　程　２月５日

会　　場　市公会堂

講演テーマ　「デジタル社会を生きる子たちのネット・ケータイ・スマートフォン
～安全の鍵は「フィルタリング」と「ウィルス対策」と「人と意識」～」

講　　師　ネット教育アナリスト　尾花紀子氏

ウ　ＰＴＡパトロール活動

心身ともにたくましい青少年の育成を願って、市立小中学校ＰＴＡ協議会との共催により、ＰＴＡ全市一斉パトロールを実施し、児童生徒にとって有害な環境をなくすように努めるとともに、非行防止活動を積極的に展開した。

実施期間・参加人員　夏　７月12日～31日　11,679人
冬　12月３日～17日　10,549人
春　３月１日～15日　10,174人

２　女　性　教　育

（１）女性教育の概況

社会変化により、女性のライフスタイルや家庭生活も大きく変わってきている。また、男女共同参画社会の実現をめざし、家庭・地域・職場などで女性が男性とパートナーシップを図り、個性と能力を発揮し活躍することが今後ますます期待されている。

こうした中で女性の能力の向上を図るとともに、男女平等意識のかん養や女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）をめざすことが大切になってくる。

本市の女性教育は、こうした状況を踏まえて、学習活動を側面から支援し、学習機会や内容の充実を図るとともに、団体・グループの育成、指導者の養成・資質を高めることを主眼として、すすめている。

（２）主な事業

ア　学習活動の推進と支援

名　称	目　的　等	開設数	参加者（延べ）
女性セミナー	女性がもつ身近な生活課題、地域課題をテーマに自主的、継続的に学習することを目的に開設。セミナー終了後も引き続き学習する例が多く、女性の身近な学習機会の場として定着している。	16	人 3,598
女性学習活動研究委託	女性団体や学習グループの自発的な学習を促すとともに、学習の定着化を図る。研究結果を女性教育推進の参考にするため、公募による委託を実施している。	委託団体・グループ数 30	4,797

イ　指導者研修

名　称	対　象	回　数	参加者（延べ）
女性学習団体リーダー研修	学習活動研究委託団体、グループのリーダー他	回 2	人 396
女性団体指導者研修	女性団体・グループのリーダー	4	136
女性国内研修	女性団体・グループのリーダー	6	24

ウ　女性団体等への支援

市内の女性団体には、地域を基盤として結成されたものと、学習内容別に結成されたものがある。そのうち、全市的規模をもち、協議会組織で活発に学習活動を展開している団体の活動に対し、事業補助、事業共催、求めに応じた指導・助言を行っている。

一方、その他の女性団体が行う学習活動に対しても、後援や助言などを行い、団体の育成に努めている。

３　視 聴 覚 教 育

本市では、生涯学習の一環として市民文化の向上や個性に応じた学習を支援するため視聴覚機器・教材の整備・充実に努めている。また、16ミリ映画教材等の視聴覚教材の収集・提供、視聴覚教育研修等の事業を積極的に行うことにより、視聴覚教育の普及・啓発を図るとともに、指導者の育成を計画的に実施している。

＜視聴覚ライブラリー＞

（１）概　　要

視聴覚ライブラリーは、昭和56年７月、それまで別個に管理されていた社会教育・学校教育の16ミリ映画教材の収集・提供、視聴覚教育研修などの事業を統合し、それらを総合的に行う施設として視聴覚教育センターを開所した。その後、社会教育・学校教育の両面を対象に、視聴覚教材の収集・提供を始め視聴覚教育に関する各種の研修、教材の作成等に取り組んできたが、平成16年４月、教育センターに統合、教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーとなる。

（２）16ミリ映画教材・ビデオ教材・ＤＶＤ教材の整備状況（平成25年３月31日現在）

【16ミリ映画教材保有本数（タイトル数）】

4,330本　内訳：社会教育用1,591本　学校教育用2,739本　（3,537タイトル）

【ビデオ教材保有本数（タイトル数）】

2,441本（1,815タイトル）

【ＤＶＤ教材保有本数（タイトル数）】

395本（355タイトル）　平成15年より利用開始

（３）16ミリ映画教材・ビデオ教材・ＤＶＤ教材の利用状況（平成24年度）

【16ミリ映画教材利用本数】	86本	内訳：	社会教育での利用	86本
			学校教育での利用	0本
【ビデオ教材利用本数】	290本	内訳：	社会教育での利用	53本
			学校教育での利用	237本
【ＤＶＤ教材利用本数】	221本	内訳：	社会教育での利用	158本
			学校教育での利用	63本

〈利用の多い作品〉

16ミリ映画教材		ビデオ教材		ＤＶＤ教材	
分野	作品名	分野	作品名	分野	作品名
物語児童文学	アラジンと 不思議なランプ	人　権	生きている	交通安全	孫悟空の交通ルール
物語児童文学	七匹の子やぎ	防　災	あっ地震だ! おちついて、あわてない	物語児童文学	楽しいムーミン一家 おばけ島へようこそ
物語児童文学	ヘンゼルとグレーテル	交通安全	ズッコケ三人組 自転車の安全教室	物語児童文学	おおきなかぶ
昔話童話	ネズミのすもう	交通安全	とまるクンとわたる クンの交通安全	交通安全	角田信朗の 自転車虎の巻
物語児童文学	花いっぱいになあれ	防　災	大地震が 学校をおそった	防　犯	はっきりことわろう 誘惑されないぞ

（４）研修会等（平成24年度）

16ミリ映写機等操作技術講座を開催し、34人が受講した。

研修会名	実施回数	受講者数	
		社会教育（人）	学校教育（人）
16ミリ映写機等操作技術講座	延べ２回	29	5

第３章　青少年教育

１　青少年教育の概況

激しく変化する現代社会において、今日の青少年の状況を見ると、情報化社会がより高度に発達していく中、携帯電話やインターネットの普及により、様々な情報ツールを活用する力を身につけている一方、人間関係の希薄化による社会性・主体性の欠如、直接体験の不足など、様々な課題も指摘されている。

こうした現状の認識の上に、青少年が直面する課題の克服をめざすとともに、青少年がもつ明るい可能性を伸長していくことが大切である。

生きる活力にあふれ、たくましく、心豊かな青少年を育成するため、青少年がボランティアや自然体験などの様々な体験活動や自主的な成果発表、交流活動等に取り組むことを通して、自らの成長や自己啓発に努め、地域や社会に貢献できるよう条件整備をし、青少年の活動を支援することに努めている。

２　青少年の教育

（１）青少年の社会参加活動支援

青少年の社会参加活動の促進や青少年を指導者として養成することを目標に、次の事業を実施した。

ア　社会参加活動

事　業　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
プラザ事業への参加・参画事業	24年４月～25年３月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	地域と連携したプラザ事業の企画・運営を通して、青少年が主体的に地域やまちの活動に参加・参画することができるように促す。
地域活動への参加・参画事業	24年４月～25年３月 児童館、商店街、生涯学習センター等	15～34歳の青少年	地域や他団体からの要請により、青少年が地域へ出かけ、成果発表や子どもの体験活動、世代間交流活動について、主体的に活動することを通して、社会参加・参画を促す。

イ　青少年ボランティアの養成

事　業　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
青少年による支援者（サポーター）養成	24年４月～25年３月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	子どもの体験活動支援、まちづくりにかかわる活動支援などのボランティアを養成する。

（２）青少年の主体的な成果発表・交流活動支援

青少年がこれまでの活動の成果発表や子どもの体験活動等、地域において主体的に活動することを通して幅広い世代間交流を促進するため、次の事業を実施した。

事　業　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
青少年の自主活動推進事業	24年４月～25年３月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	青少年による体験、交流、成果発表の場を提供し、主体的な活動を促す。これらの企画、準備、広報、参加者募集、振り返りなどを自らの手で行い、その過程を通して青少年自身の成長を図る。

（３）青少年の体験活動支援

自然体験活動や創作体験活動など青少年の体験活動を促進するため、次の事業を実施した。

＜青少年宿泊センター等を活用した自然・宿泊等の体験事業＞

事　業　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
「青少年の自主活動推進事業」の一部において実施（再掲）	24年４月～25年３月 青少年宿泊センター等	６～34歳の青少年	自然、宿泊、ボランティア、創作等の体験活動の場の提供により、主体性や豊かな心を育む。

＜なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業＞

子どもたちの学校外でのさまざまな体験活動に関するイベントや施設等の情報提供をするホームページを開設し、情報誌を発行した。

事　業　名	内　　容
ホームページ運用 （パソコン版）	子どもの体験活動に関するイベントや施設の検索機能を備えた「イベント・施設情報」や市民の感想などを掲載する「行ってみました」等のコーナーから構成。
情報誌発行（７月）	学校の長期休業前に体験活動のイベント情報を情報誌にて提供。市内の小中学生のいる各世帯に配布。

（４）障害者青年学級

青少年の自主的な学習・活動と交流を支援し、健全な青少年を育成することを目的とし、障害者青年学級に対する支援を行った。

事　項　名	期日・会場	対　　象	事　業　内　容
障害者 青年学級	24年６月～25年３月 生涯学習センター他	15～34歳の障害者青年・ボランティア25人以上の団体	障害者青年の生きがいづくりや生きる力の育成等を目指した学級活動を支援する。

第４章　文化財の保護

１　概　　要

われわれの歴史、文化、生活の変遷を知るうえで文化財は、市民全体にとって公共的な意義を持つかけがえのない財産であり、将来に向かって保存し、活用し、伝承していく必要がある。

しかし、文化財の中には、開発事業や生活様式の変化等による地域社会の変ぼうや後継者難などから失われ、忘れ去られていくものもある。

そのため、本市では名古屋市文化財保護条例（昭和47年名古屋市条例第４号）を制定し、市指定文化財として指定し、指定文化財に対する保存事業への助成をするなど文化財の保護と活用を図っている。

また、新たに文化財を発掘したり、記録するための調査を行っている。その他、市内遺跡の発掘調査、文化財保護意識の高揚、史跡の整備管理等の事業を実施している。

市内所在指定等文化財数　（平成25年３月31日現在）

種別／区分	有形文化財							無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	計
	絵画	彫刻	工芸	書跡	建造物	考古資料	歴史資料							
国指定	16	5	41	53	9	1	—	—	—	—	6	1	1	133
県指定	17	9	40	17	12	6	4	—	—	2	—	—	—	107
市指定	11	5	9	—	27	3	4	2	38	10	6	1	4	120
国登録	—	—	—	—	73	—	—	—	—	—	—	1	—	74

２　文化財の保護

（１）文化財保護事業補助

指定文化財等の保存を図るため、鹿子神車山車（東区出来町）の修理や、高針棒の手（名東区高針）の後継者育成等39件の事業に対して補助金を交付した。

（２）文化財保護事業等

文化財に関する出版物を刊行するとともに、文化財保護意識の高揚や史跡の整備等を図った。その主なものは、次のとおりである。

ア　出版物の刊行

名古屋市文化財調査報告85「埋蔵文化財調査報告書68　伊勢山中学校遺跡（第6・7次）」
名古屋市文化財調査報告86「埋蔵文化財調査報告書69　高蔵遺跡（第58次）
桜田貝塚・貝塚町遺跡　仁所遺跡」

イ　保護意識の高揚

（ア）わくわく文化財普及事業の実施

図書館と協働し、土器の展示や古代の歴史に関する講演を行い、地域の古墳や史跡に関する図書の紹介を行うイベントを実施した。

（イ）史跡名勝標札の管理

史跡名勝等の所在地295ヶ所に設置してある標札の一部塗り替えを行った。

（ウ）文化財の管理

教育委員会所管の史跡の除草、清掃を行った。また、文化財パトロール員（16名）による市内の文化財の監視等を行った。

（３）市内遺跡の発掘調査

周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為などに先立って、埋蔵文化財の記録保存をするために、桜田貝塚・貝塚町遺跡始め4遺跡で延べ307㎡、４件の発掘調査を行った。また、埋蔵文化財包蔵地での開発計画等に対して、埋蔵文化財の保護を検討するための試掘調査を味鋺Ｃ遺跡（北区）始め36件実施した。

（４）史跡散策路の活用

地域における文化財の活用と保護意識の普及を図り、あわせてゆとりとうるおいのあるまちづくりに資するため設定された散策路（市内16区80コース）の利用者に便宜を図るため、説明板等の設置修繕を行った。

（５）「歴史の里」の整備

守山区上志段味地区に残る古墳群や自然資源を生かし、歴史を学ぶ施設「歴史の里」整備のため、「歴史の里」計画地内の埋蔵文化財の基礎データを得る確認調査（中社古墳　74㎡）を行った。

第５章　市民スポーツ

１　市民スポーツの概況

スポーツ及びレクリエーション事業を通じて、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の実現を図るために、各区まちづくり推進室、財団法人名古屋市教育スポーツ協会、名古屋市レクリエーション協会と連携して、各種スポーツ・レクリエーション大会、講習会、研修会等を開催し、その普及奨励に努めている。なお、平成６年11月から電話やインターネットで施設の空き情報や、予約の抽選申込みができる「スポーツ・レクリエーション情報システム」を運用し、市民サービスの向上と生涯スポーツ活動の推進を図っている。

（１）スポーツ功労者表彰

昭和56年度より本市のスポーツ振興を図ることを目的に、特にスポーツ振興に功績のあった者に対しスポーツ功労賞を、また、スポーツ競技大会において優秀な成績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される者に対してスポーツ奨励賞を、それぞれ市長が授与し表彰している。

平成24年度は、スポーツ功労賞として鈴木明子（フィギュアスケート）、堀畑裕也、伊藤健太（水泳）、永井謙佑（サッカー）、寺本明日香（体操）、スポーツ奨励賞として個人32名、団体14チームを表彰した。

（２）市民スポーツ祭

スポーツの日常化を図るため、毎年８月を中心に実施しており、平成24年度は６部門（区対抗、一般、高校、中学生、小学生、マスターズ）38種目にわたり開催した。３万人以上の市民が、スポーツを通じて交歓しており、スポーツの普及・振興に大きな役割を果たしている。

（３）市民体力づくり推進事業

ア　スポーツ普及事業

本市制定の女性レクリエーションバレーボール大会・レクリエーションインディアカ大会を開催し、普及に努めた。

イ　「なごやマイ・スポーツフェスティバル」の開催

「体育の日」を中心に、親子ラジオ体操in鶴舞など多彩なスポーツ・レクリエーション事業を実施し、市民へのスポーツ普及に努めた。

ウ　「マラソンフェスティバル　ナゴヤ・愛知」の開催

名古屋シティマラソンと名古屋ウィメンズマラソンを同時開催し、３万人規模の大会とした。開催種目として、女子フルマラソンと男女ハーフマラソン、男女10ｋｍ、ファミリージョギングを行った。

エ　「なごやかウォーク」

健康づくりや家庭・地域での交流を深めるため、市内16区でウォーキングイベントを開催し、ウォーキングの推奨に努めた。

オ　「子どもスポーツフェスタ」の開催

子どもが誰でも気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、子どもへのスポーツ普及に努めた。

（４）部活動の振興

ア　部活動外部指導者派遣事業

民間指導者の活用により部活動の充実を図るため、小・中・高等学校へ専門的な技術指導を補助する部活動外部指導者を派遣した。さらに、部活動外部指導者の資質向上のための研修会を開催した。

イ　部活動顧問派遣事業

部活動顧問がいないため、部活動を継続できなかったり創部できない中学校へ学校の指導方針、指導計画のもとに部活動全般を担う民間指導者を顧問として派遣した。さらに、部活動顧問の資質向上のための研修会を開催した。

ウ　指導者養成講習会

部活動指導者層の拡大と資質向上のため、小・中・高等学校教員を対象に部活動指導者養成講習会を開催した。

エ　補助金

東海大会・全国大会等に出場する中・高等学校生徒の参加費の補助を行った。

オ　各種大会の開催

小学校ブロック指導会、中学校総合体育大会、高等学校体育大会等を開催した。

カ　わいわいスポーツアカデミー・ワクワクアカデミー

トップアスリート・プロの演奏家・指導者による専門的技術指導教室を開催したり、トップレベルのスポーツ観戦招待を行ったりした。

キ　学校体育センター

小・中学校における各種体育大会、交流試合練習などに活用できる施設として、３施設を設置しており、管理運営を「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」へ委託した。

（５）地域ジュニアスポーツクラブ育成事業

地域における子どもたちのスポーツ活動の充実を図るため、地域ジュニアスポーツクラブの設立・育成を支援した。

（６）競技力向上事業

市内の優秀な選手や素質のある選手を早期発掘するとともに、年齢・競技種目に応じて計画的、継続的に適切な指導を行い、国際的選手の育成を図り、さらに、審判員資格取得又は上級審判員資格取得のための研修会を実施し、審判員等の育成を図った。

ア　ジュニア競技力向上事業　　33競技　　3,270人参加

イ　審判員・指導者養成事業　　16競技　　526人参加

（７）スポーツ推進委員

昭和36年に制定されたスポーツ振興法（平成23年８月24日にスポーツ基本法に改正）に基づき、スポーツ活動を奨励するため、本市においてもスポーツ推進委員を配置（定数１学区３人、全市で798人）し、各区まちづくり推進室と協力して、市民生活に直結したスポーツ・レクリエーション活動を展開するとともに、全市的なスポーツイベントに参画した。

（８）公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会

昭和 58 年 10 月、財団法人名古屋市スポーツ振興事業団として発足し、アマチュアスポーツ及びスポーツ・レクリエーションの普及促進並びに教育の振興に資する事業を行うことを目的として、①体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業②学校施設及び野外教育施設を活用して、児童生徒等に学習の機会を提供する事業③児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業―などを行っている。

事 務 局　名古屋市南区東又兵ヱ町５－１－16（スポーツ振興会館内）
理 事 長　柴　田　達　男
副理事長　下　田　一　幸、加　藤　常　文、山　内　健　一

（平成25年７月１日現在）

（９）名古屋市レクリエーション協会

健全で明るい市民生活を営むため、レクリエーション活動の普及推進のために、教育委員会と連携して各種レクリエーション行事を開催し、市民の健康増進に努めた。

事 務 局　名古屋市中区三の丸三丁目１－１（市教委スポーツ振興課内）
会　　長　小　林　義　雄
副 会 長　寺　田　邦　昭
理 事 長　岩　間　千　晃

（平成25年７月１日現在）

２　活動状況（平成24年度主要事業実績）

月	日	事　業　名	会　場
4	15・22・29 4月～3月	第81回レクリエーションインディアカ大会 競技力向上事業	稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 各　会　場
5	9～6/5 16 20	第47回春の女性レクリエーション バレーボール大会 第27回名古屋市ゲートボール大会 2012ふるさとふれあいウォーキング歩かまい稲武	日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 庄内緑地ゲートボール場 豊田市稲武地区
7	8	第19回グラウンド・ゴルフ大会	瑞穂公園北陸上競技場、瑞穂公園レクリエーション広場
8	18～26	第54回市民スポーツ祭	各競技場
9	4 12～10/9 8 28～30 17～10/31	スポーツ推進審議会 第47回秋の女性レクリエーション バレーボール大会 子どもスポーツフェスタ・夏 レインボーカップマスターズスイミングin NAGOYA 2012 なごやマイ・スポーツフェスティバル2012	正庁 日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 東スポーツセンター 日本ガイシアリーナ 日本ガイシアリーナ オアシス21他
10	8 21・28 11/4	親子ラジオ体操in鶴舞 東山一万歩ウォーキング 第82回レクリエーションインディアカ大会	鶴舞公園 東山一万歩コース 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター
11	6	スポーツ推進審議会	正庁
1	19	子どもスポーツフェスタ・冬	日本ガイシスポーツプラザ 東スポーツセンター 天白スポーツセンター 中スポーツセンター
2	20 17	スポーツ推進審議会 第54回市民スポーツ祭スキー競技大会	正庁 ほおのき平スキー場
3	8～10 22	マラソンフェスティバル　ナゴヤ・愛知2013 スポーツ功労者表彰	ナゴヤドーム他 名古屋市公館

第６章　社会教育施設

１　社会教育施設の概況

本市の社会教育施設は、学習、集会等の多目的施設として、生涯学習推進センター、生涯学習センター、女性会館がある。専門施設としては、図書館、博物館、スポーツ施設等がある。

図書館は、中区を除く各区と全支所管内に設置されている。

博物館施設としては、博物館、見晴台考古資料館、美術館及び科学館がある。

スポーツ施設としては、総合施設としての瑞穂運動場、平成19年度からネーミングライツ（命名権）を導入した日本ガイシスポーツプラザを始めスポーツセンター、プール、庭球場、スポーツトレーニングセンター、野外スポーツ・レクリエーションセンターがあり、合理的な管理運営と利用の促進を図るため、指定管理者制度を導入している。

このほか、学校施設を、学校教育に支障のない範囲で市民の学習、スポーツ、レクリエーションの場として開放する学校施設開放を行っている。

なお、楠学習センターについては平成24年３月31日をもって閉館した。

２　図　　書　　館

（１）平成24年度活動のあらまし

平成24年度名古屋市図書館全体で貸出した資料は、個人が3,369,995人の12,130,212点、団体が9,511団体の70,379点で合計12,200,591点となる。これは、名古屋市民が１人5.40点ずつ借りたことになる。この貸出登録者数は、平成24年度末現在、495,890人である。蔵書数は、平成24年度全館で186,429冊受入れ、3,195,949冊となった。図書以外では、新聞、雑誌、ＣＤ、カセットテープ、ビデオテープ、紙芝居等を所蔵している。

「名古屋市子ども読書活動推進計画」における、保健所の乳幼児健診時に絵本の紹介や読み聞かせを行う「はじめての本との出会い事業」の全館実施を進めた。小学生を対象として図書館の業務や行事を体験し、学校でその体験を通じて考えたことを伝える子ども図書館大使事業を全区の図書館で実施した。

「その道の達人派遣事業」として司書が小･中学校等に出向く「ブックトーク＆読み聞かせ」は104校1,067クラスに対して延べ679回実施した。図書館見学や調べ学習の援助をする図書館訪問は85校、中学生の職場体験学習は59校（延べ74回）212人が体験した。

11月４日より、名古屋に関するあらゆる疑問や質問に対応し、名古屋の歴史・情報・魅力を発信する「名古屋なんでも調査団」事業を開始した。

11月４日よりレファレンスの申込み手段として、口頭・電話・文書に加えて図書館ホームページを追加し、メールによる回答を開始した。

平成20年４月にリニューアルした図書館ホームページ及び同じく平成20年４月に新規開設した携帯電話サイトにおいて、平成21年６月よりインターネットによる図書の貸出し予約受付サービス

を実施している。平成24年度のアクセス件数（トップページ）は、図書館ホームページが6,299,205件、携帯電話サイトが341,347件となっており、予約申込みについても、図書館ホームページからが1,249,106件、携帯電話サイトからが59,221件と、合計で予約申込み総数（1,980,968件）の約66％を占めている。

また、ホームページからのメールによるレファレンス受付機能の追加、「名古屋なんでも調査団」や、名古屋市子ども読書活動推進計画マスコットキャラクターである「ヨンデルーのへや」のページを開設した。

前年10月に中央館で開始した開館時間の午前10時から９時30分への繰り上げを、４月には全館へ拡大するとともに、土曜日（祝日を除く）の閉館時間を全館午後５時から午後７時に繰り下げ、さらに市立小中学校の夏休み期間中（７月21日から８月31日まで）、中央館の全日開館を実施した。

また、平成25年度から守山区志段味支所管内の志段味図書館に指定管理者制度を試行導入するにあたり、指定管理者の選定を行った。

（２）図書館一覧

館　名	鶴　舞　中　央	千　　種	東
開館年月日	大正12年10月１日	昭和43年10月８日	昭和40年７月１日
沿　　革	大正12年10月１日市立名古屋図書館として開館。 昭和20年戦災にて焼失。昭和27年名古屋市鶴舞図書館として旧地に再建。 昭和39年４月市の中央図書館となる。 昭和59年４月新装開館。	第９番目の市立図書館として開館。	第５番目の市立図書館として開館。 平成13年10月に東スポーツセンター、東文化小劇場、市民ギャラリー矢田の入った複合施設「カルポート東」に移転、新装開館。
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下１階地上３階	鉄筋コンクリート造２階	鉄骨鉄筋コンクリート造 ５階
敷地面積 延床面積	8,800.0㎡ 11,285.9㎡	1,691.2㎡ 1,106.5㎡	10,639.5㎡ 1,759.1㎡
所　在　地	昭和区鶴舞一丁目１番155号	千種区田代町字瓶杁 １番地の137	東区大幸南一丁目１番10号
開館時間	火～金　９時30分～20時 土　　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時	火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時	
休　館　日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～１／４）等		
施設内容	主題別参考閲覧室、読み物実用書コーナー、児童室、児童図書研究室等	一般･児童コーナー、集会室、学習コーナー、展示コーナー、閉架書庫等	一般コーナー、スポーツ資料コーナー、参考コーナー、児童コーナー、集会室、学習室等
行事及び読書会	おはなし会 名古屋郷土文化会 読書会（つるの会、ぼちぼちいこう会） 展示会 てづくりあそび ちくちく手づくりの会 イブニングシアター ほか	おはなし会、展示会 伊吹俳句会 ちくさ文学研究会 千種英語クラブ こぐまちゃんの会 ナルニアの会、ババールの会 ちくちく手づくりの会 東山読書会、きららの会	おはなし会、人形劇 わらべうた 対面読書 ふきのとうの会 葵の会（東区婦人読書会） 対面読書ボランティアグループ
特　　色	市の中央館として資料を保存、提供している。 各種和漢書・絵草紙・遺墨・風俗史料・市史資料を所蔵する。 点字文庫を併設する。	南側は東山公園の緑に囲まれ新緑の頃が美しい。 玄関を入るとすぐ、展示コーナーがあり、市民の作品展示などに利用されている。	特色コーナーとして「スポーツ資料」と、東区関係の郷土資料と古地図を中心とした「わが街の伝統と新しい息吹」がある。

北	楠	西	山　　田
昭和42年６月15日	平成９年７月10日	昭和40年11月１日	平成17年５月６日
第８番目の市立図書館として開館。 平成12年６月に文化小劇場と複合施設の１階に移転開館。	第17番目の市立図書館、北区楠支所管内図書館として開館。 北区役所楠支所、北消防署楠出張所、北保健所楠分室に隣接。	大正14年矢田績氏により東区武平町に設立された後本市に寄付され、その後、栄図書館となる。 昭和40年11月西区花の木二丁目に移転し西図書館と称する。 平成６年６月に文化小劇場との複合施設の1・2階に開館。	第20番目の市立図書館、西区山田支所管内図書館として開館。山田支所との合築施設の３階にある
鉄骨鉄筋コンクリート造３階	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄筋コンクリート造 地上２階地下３階	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨５階 （３階部分）
3,776.8㎡ 1,525.3㎡	1,163.2㎡ 799.9㎡	1,983.1㎡ 2,364.4㎡	3,576.0㎡ 818.9㎡
北区志賀町 ４丁目60番地の31	北区楠二丁目974番地	西区花の木二丁目 18番23号	西区八筋町358番２号
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時			
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～１／４）等			
一般コーナー、街道と旅のコーナー、医療情報コーナー、児童コーナー、集会室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞･雑誌コーナー等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、児童コーナー、集会室、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会など おはなしの会ボランティア（プー、どんどこ、千成どうわの会、いろり、まほうのおなべ）、対面読書ボランティア（桜）、保健所よみきかせボランティア(おはなしポケット)、読書会（近代文学読書会）	おはなし会 子ども映画会 工作教室 テーマ展示 対面読書 おはなし会ボランティア（くすのき） 対面読書ボランティア	おはなし会 子ども映画会など としょかんくらぶ 対面読書ボランティア（プリムラ） 万年青読書会・ひよこの会 おはなし会ボランティア（グループぽんぽん、ぐるーぷころころ）	おはなし会 子ども映画会 対面読書ボランティア(オリーブ) おはなし会ボランティア（なずなの会､いちにのさん、おはなしピッカ） 保健所よみきかせボランティア（ころころたまご）
稲置街道にちなみ「街道と旅のコーナー」を設置し、街道や、そこを旅した人々に関する図書を集め、閲覧に供している。また、「医療情報コーナー」を設け、より詳しい医療関連の図書資料を提供している。	日常生活に実際に役立つ図書・雑誌の収集に力を入れ、調べものや読書相談にも積極的に応えるサービスを行っている。地域団体・住民と連携した活動を行っている。	郷土のシンボルである名古屋城に関する資料を豊富に集めた名古屋城コーナーや対面読書室などを備えている。配本所（西文文庫）を運営している。	図書展示コーナーを設け、月１回程度、テーマに沿った図書の紹介を実施している。 「地域・郷土資料コーナー」をはじめ、小説・暮らし・娯楽に関する本を中心に、地域に密着したサービスを行っている。

中　　村	瑞　　穂	熱　　田	中　　川
昭和40年７月15日	昭和44年８月１日	昭和35年９月１日	昭和45年６月20日
昭和40年旧配水塔を大改修して、第６番目の市立図書館として開館。 平成３年５月中村公園の中村公園文化プラザ内１・２階に移転開館。	第10番目の市立図書館として開館。	昭和35年東邦瓦斯より寄付を受け、次いで昭和42年井上ゴム工業より冷房設備の寄付をうける。 平成13年10月、JR熱田駅前に移転開館。	第11番目の市立図書館として開館。 平成14年11月、中川文化小劇場との合築施設の１・２階に移転開館。
鉄骨鉄筋コンクリート造３階（一部４階）	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下２階・地上７階 （北館１階部分）	鉄骨鉄筋コンクリート造 ４階
5,772.0㎡ 1,324.0㎡	2,021.7㎡ 1,142.4㎡	8,500.0㎡ 1,790.8㎡	3,596.1㎡ 1,529.2㎡
中村区中村町 字茶ノ木25番地	瑞穂区東栄町２丁目 １番地	熱田区神宮三丁目 １番15号	中川区吉良町 178番地の３
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時			
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～１／４）等			
一般閲覧室、秀吉清正コーナー、児童閲覧室、閉架書庫等	一般･児童閲覧室、集会室、学習室、新聞コーナー、閉架書庫等	一般室、児童室、熱田資料コーナー、学習室、集会室、閉架書庫	一般コーナー、川と花と緑のコーナー、児童コーナー、学習室等
おはなし会 読書会（ぼんの会） 工作教室つくってあそぼう 科学講座 プラザ親子映画会 クイズラリー こどもおみくじ	おはなし会 やかまし村くらぶ ちくちく手づくりの会 ほか 読書会 （葦の会、葦の会万葉、年輪読書会、よんでる会、まいまい）	おはなし会、子ども映画会 おはなし会ボランティアグループ（ピッピの会、つくしの会、ピースの会、まほうのおなべ） 対面読書ボランティアグループ 保健所よみきかせボランティアグループ（ぴょんぴょんうさぎ）	おはなし会、乳幼児向けおはなし会、夏のこわ～いおはなし会 わらべうたの会、子どもと本の入門講座、手づくり布おもちゃ講座、工作教室、冬のおたのしみ会、カルタ大会 絵本の読み聞かせボランティア（こぶしの会）、対面読書ボランティア（葉ぼたん）、保健所読み聞かせボランティア
緑豊かな中村公園の一角にあり、文化小劇場・秀吉清正記念館を併設した複合施設。 秀吉･清正コーナーを備えている。	市内有数の文教地域の中にある。 ボランティアルームが設けられているなど市民活動も活発で、児童関係行事などが盛んに行なわれている。	区役所、保健所、文化小劇場、在宅サービスセンターとの複合施設の北館１階にある。誰もが気軽に立ち寄れるバリアフリーの図書館となっている。	地域の特色を生かした川と花と緑のコーナー、また前田利家の本コーナーも設置している。吹き抜けの明るい閲覧室はバリアフリーにも配慮されている。

富　　田	港	南　　陽	南
平成９年７月８日	昭和42年４月27日	平成14年７月12日	昭和39年５月１日
第16番目の市立図書館、中川区富田支所管内図書館として開館。	第７番目の市立図書館として開館。 平成11年９月改築開館。	第18番目の市立図書館、港区南陽支所管内図書館として開館。	南部工業地帯の生涯学習振興のために田中均一郎氏の寄付により建設される。 平成４年３月に文化小劇場との複合施設の１・２階に移転開館。
鉄筋コンクリート造 ２階	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄骨造 ２階	鉄骨鉄筋コンクリート造３階（一部４階）
1,599.9㎡ 800.0㎡	1,779.1㎡ 1,571.0㎡	1,597.4㎡ 800.0㎡	3,069.2㎡ 1,750.4㎡
中川区服部三丁目 601番地	港区港楽一丁目 14番16号	港区秋葉一丁目 130番地の79	南区千竈通 ２丁目10番地の２
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時			
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～１／４）等			
一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞･雑誌コーナー等	一般閲覧室、児童室、学習室、集会室、海と港の資料室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、閉架書庫等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、伊勢湾台風資料室等
おはなし会 工作教室 対面読書ボランティアグループ（すぎな） おはなし会ボランティア（おはなしえほんばこ･ノンタンくらぶ・ＳＴロバの耳） 保健所よみきかせボランティア（ＢＢクラブ）	おはなし会 読書会 （もくよう会、まつぼっくり） 対面読書ボランティアグループ （しおかぜの会）	おはなし会 （ぴこの会） 工作教室 子ども映画会	おはなし会 南図書館まつり 子ども映画会 読書会（二水会、しろうさぎの会） 対面読書ボランティアグループ（虹の会） おはなし会ボランティア（Zoo（ズー）の会）
対面読書室等機能的な設備を備えている。また、千音寺地域には古くからキツネにまつわる民話が多いことから、キツネをイメージシンボルとしてパンフレットなどに載せている。	港北公園の一角に位置し、読書環境を整え、地下鉄の便も良い。 １階には対面読書室、２階には「海と港の資料室」を備えている。	支所管内３番目の図書館として開館。 「本」「人」「地域」との出会いのお手伝いの場としての図書館サービスを展開している。特色あるコーナーとして「郷土･南陽コーナー」を設置。	南部工業地帯にあり文化小劇場を併設したモダンな建物。 伊勢湾台風資料室を備えている。

守　　山	志　段　味	緑	徳　　重
昭和47年８月10日	平成16年７月15日	昭和47年８月12日	平成22年５月６日
第12番目の市立図書館として開館。	第19番目の市立図書館。守山区志段味支所管内図書館として開館。	第13番目の市立図書館として開館。	第21番目の市立図書館。緑区徳重支所管内図書館として開館。
鉄筋コンクリート造２階、一部３階	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄筋コンクリート造 ２階	鉄骨造４階建（３階西側部分）
2,103.5㎡ 1,125.3㎡	2,100.0㎡ 800.0㎡	1,600.0㎡ 1,171.8㎡	1,758.5㎡ 1,039.1㎡
守山区守山一丁目 6番1号	守山区深沢一丁目 101番地	緑区旭出一丁目 1104番地	緑区鳴海町字徳重 18番地の41
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時			月・水～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、年末年始（12／29～１／４）等			火曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、年末年始（12／29～１／４）等
一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会 工作教室 人形劇 読書会 （わかば会、かつらの会、熟年読書会、絵本を楽しむ会）	おはなし会 工作教室 おりがみ教室 おはなし会ボランティア（ほんわかい） 対面読書ボランティア（しだみライブ） 保健所読み聞かせボランティア（よちよち）	おはなし会 読書会（あゆち会、モモの会） 工作教室 おはなしの会（きらら会、３つのりんご、おはなし会コスモス、ルるる、もうやっこ、にこにこ） 人形劇	おはなし会 工作教室 ユメリアブッククラブ カルタ大会 講演会 おはなし会ボランティア（ぐるんぱ、にこにこ、波の会、がらがらどん） 対面読書ボランティア（あいあい）
旧守山市役所跡に建設された図書館。 ２階には郷土資料や辞典類を備えた参考室があり、落ちついた読書環境を提供している。	支所管内４番目の図書館として開館。 子どもや高齢者、障害者にも配慮した、人にやさしい施設となっている。 また、２階のテラスは樹木を植え庭園となっている。	市立緑高等学校の南隣に設置され、高台にあるため南部を遠くまで見わたすことができ、その眺望が素晴らしい。	区役所支所、保健所分室、地区会館との複合施設。月曜日を開館、休館日を火曜日とし、新たに時間外貸出しロッカーを整備した。

名　　東	天　　白
昭和51年６月15日	昭和52年11月18日
第14番目の市立図書館として開館。	第15番目の市立図書館として開館。
鉄筋コンクリート造２階	鉄筋コンクリート造４階（１階部分）
2,464.7㎡ 1,250.7㎡	2,081.6㎡ 1,102.7㎡
名東区文教台二丁目 205番地	天白区横町 701 番地
火～土　９時30分～19時 日・祝　９時30分～17時	
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第３金曜日（祝日を除く）、年末年始(12/29～１/４）等	
一般コーナー､児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー､児童コーナー、学習室、集会室等
おはなし会・読書会（ともしび読書会）・子どもと本の講座・名東手づくり絵本の会 子ども人形劇、名東の日おたのしみ会、小さい子向けおはなし会（乳幼児と保護者）、耳でたのしむおはなし会、英語でおはなし会図書館まつり・講演会、工作教室・科学実験講座、ちくちく手づくりの会	おはなし会、あかちゃんからのおはなし会、おはなしとてづくりあそび、昔話の会・人形劇、子どもと本の入門講座、おとなのためのおはなし会、おはなし会ボランティアグループ（ひばりの会・おはなしピピンの会・波の会）、保健所読み聞かせボランティア（絵本で子育てよちよち）、講座、ティーンズ交流会
レンガ風タイル貼りの外壁を持つシックな建物で、身体障害者向け施策による施設整備を初めてとりいれた。	大きな窓より陽射しが入り明るい図書館。一般コーナー南側には庭があり、雰囲気を和らげている。市民の作品を飾る展示コーナー、小グループで使える和室を設置している。

（３）蔵　書　数（平成25年３月31日現在）

分類／館名	総　数	一般							
		郷土資料	総　記	哲学宗教	歴史地理	社会科学	自然科学	工業工学	産　業
総　数	**3,195,949**	**139,446**	**84,950**	**98,121**	**208,123**	**351,584**	**156,561**	**241,595**	**93,050**
鶴　舞	**1,265,210**	48,940	47,416	57,884	100,387	217,636	79,493	108,275	51,963
千　種	**95,865**	4,258	2,096	2,358	5,479	7,824	4,502	5,742	1,967
東	**106,611**	5,490	2,319	2,258	6,092	7,108	4,539	6,761	1,801
北	**115,749**	5,462	2,655	2,322	7,349	8,556	5,268	7,557	2,789
楠	**72,896**	3,183	1,223	1,384	3,824	4,351	2,718	5,371	1,513
西	**106,460**	8,556	2,039	1,976	5,801	6,598	3,862	6,918	2,021
山　田	**69,845**	2,260	1,006	1,255	3,060	4,517	2,571	5,308	1,332
中　村	**96,707**	5,396	2,356	2,126	6,438	7,149	3,625	5,868	1,840
瑞　穂	**103,685**	5,004	2,251	2,453	6,372	8,347	4,251	6,956	2,252
熱　田	**128,268**	7,539	3,762	3,592	10,420	10,880	5,112	7,128	2,781
中　川	**105,312**	4,298	1,836	2,249	5,836	7,017	4,323	7,568	2,991
富　田	**65,474**	2,115	1,088	1,282	3,414	4,765	2,685	5,056	1,531
港	**100,017**	6,092	2,007	1,905	5,944	6,832	4,389	6,241	2,332
南　陽	**64,422**	2,326	953	950	3,341	4,387	2,555	5,434	1,677
南	**107,917**	6,314	2,198	1,928	5,656	6,689	4,094	7,115	2,047
守　山	**107,039**	4,442	1,924	2,360	5,734	7,162	4,097	7,881	2,186
志段味	**69,471**	2,346	1,010	1,418	3,426	4,633	2,935	6,098	1,695
緑	**99,596**	5,326	2,083	2,437	5,956	8,130	4,151	6,568	2,183
徳　重	**70,380**	1,582	798	1,170	2,776	3,738	2,898	5,568	1,639
名　東	**99,613**	4,000	1,793	2,075	5,202	6,977	3,359	6,968	2,101
天　白	**93,722**	4,347	2,014	1,892	4,641	6,837	3,842	5,807	1,692
建物館計	**3,144,259**	139,276	84,827	97,274	207,148	350,133	155,269	236,188	92,333
自動車館	**51,690**	170	123	847	975	1,451	1,292	5,407	717

（単位　冊）

和書						一般洋書	児童書	点字
芸　術	語　学	文　学	漫　画	その他	小　計			
203,883	**43,651**	**804,394**	**22,991**	**26,694**	**2,475,043**	**13,443**	**675,402**	**32,061**
94,629	21,518	252,802	4,591	26,694	1,112,228	11,627	109,294	32,061
4,799	1,313	25,153	1,985	0	67,476	498	27,891	0
7,607	1,350	31,874	469	0	77,668	191	28,752	0
6,271	1,308	36,049	376	0	85,962	30	29,757	0
4,408	706	20,667	1,347	0	50,695	1	22,200	0
6,685	1,326	27,738	2,842	0	76,362	41	30,057	0
3,904	849	18,193	716	0	44,971	1	24,873	0
5,429	1,093	28,046	430	0	69,796	179	26,732	0
6,345	1,155	31,634	914	0	77,934	77	25,674	0
8,528	1,552	34,594	1,130	0	97,018	214	31,036	0
6,104	1,252	32,701	846	0	77,021	59	28,232	0
3,795	668	19,214	718	0	46,331	3	19,140	0
5,603	1,456	30,153	470	0	73,424	44	26,549	0
3,718	638	18,272	426	0	44,677	0	19,745	0
6,328	1,198	34,423	394	0	78,384	197	29,336	0
5,801	1,223	34,813	562	0	78,185	35	28,819	0
3,859	788	17,169	1,038	0	46,415	4	23,052	0
6,403	1,121	27,540	747	0	72,645	36	26,915	0
2,967	695	18,470	19	0	42,320	0	28,060	0
4,915	1,302	24,692	763	0	64,147	172	35,294	0
4,726	963	23,810	1,742	0	62,313	34	31,375	0
202,824	43,474	788,007	22,525	26,694	2,445,972	13,443	652,783	32,061
1,059	177	16,387	466	0	29,071	0	22,619	0

（４）平成24年度館外貸出登録者数

（単位　人）

分類／館名	個人						団体	
	一　般	児　童	小　計	郵送貸出	点字文庫	合　計	団体数	構成員数
総　数	**386,083**	**108,498**	**494,581**	**281**	**1,028**	**495,890**	**900**	**152,056**
鶴　舞	66,656	6,987	73,643	102	1,028	74,773	101	10,062
千　種	16,854	4,609	21,463	12	－	21,475	48	11,476
東	22,611	5,875	28,486	1	－	28,487	36	4,251
北	16,817	4,360	21,177	13	－	21,190	43	5,424
楠	9,543	3,417	12,960	3	－	12,963	23	3,687
西	15,084	3,382	18,466	10	－	18,476	33	4,886
山　田	11,276	4,643	15,919	8	－	15,927	23	5,352
中　村	18,926	4,465	23,391	11	－	23,402	37	5,739
瑞　穂	14,739	3,904	18,643	8	－	18,651	50	8,015
熱　田	19,278	5,435	24,713	9	－	24,722	35	5,536
中　川	21,189	6,368	27,557	17	－	27,574	38	8,414
富　田	10,366	4,243	14,609	6	－	14,615	36	7,453
港	14,699	3,771	18,470	13	－	18,483	49	8,090
南　陽	5,199	2,012	7,211	2	－	7,213	19	3,516
南	17,122	4,892	22,014	8	－	22,022	40	7,166
守　山	12,558	3,996	16,554	12	－	16,566	49	7,464
志段味	10,398	5,138	15,536	7	－	15,543	18	3,573
緑	20,760	7,034	27,794	11	－	27,805	73	15,661
徳重	14,132	6,272	20,404	5	－	20,409	18	2,249
名　東	21,823	7,974	29,797	12	－	29,809	59	9,429
天　白	19,681	7,100	26,781	11	－	26,792	53	13,804
建物館計	379,711	105,877	485,588	281	1,028	486,897	881	151,247
自動車館	6,291	2,564	8,855	－	－	8,855	19	809
配本所（西文化センター）	81	57	138	－	－	138	0	0

（５）平成24年度館外利用者数

（単位　人）

分類／館名	個人						団体
	一　般	児　童	小　計	郵送貸出	点字文庫	合　計	
総　数	**2,599,659**	**753,047**	**3,352,706**	**1,916**	**15,373**	**3,369,995**	**9,511**
鶴　舞	261,355	35,275	296,630	716	15,373	312,719	820
千　種	112,692	32,479	145,171	115	－	145,286	517
東	162,326	43,059	205,385	1	－	205,386	419
北	120,145	31,442	151,587	60	－	151,647	614
楠	67,095	20,705	87,800	46	－	87,846	333
西	110,019	23,749	133,768	50	－	133,818	315
山　田	85,078	36,523	121,601	65	－	121,666	437
中　村	120,170	29,527	149,697	64	－	149,761	356
瑞　穂	129,772	36,418	166,190	62	－	166,252	569
熱　田	141,818	36,075	177,893	48	－	177,941	242
中　川	141,577	39,449	181,026	119	－	181,145	282
富　田	77,168	27,789	104,957	36	－	104,993	436
港	95,272	21,763	117,035	108	－	117,143	541
南　陽	40,956	13,880	54,836	2	－	54,838	230
南	117,469	31,643	149,112	20	－	149,132	382
守　山	100,925	31,200	132,125	87	－	132,212	485
志段味	76,259	35,894	112,153	15	－	112,168	308
緑	130,305	44,475	174,780	84	－	174,864	568
徳重	169,432	63,297	232,729	59	－	232,788	359
名　東	166,384	59,829	226,213	76	－	226,289	599
天　白	146,291	49,574	195,865	83	－	195,948	567
建物館計	2,572,508	744,045	3,316,553	1,916	15,373	3,333,842	9,379
自動車館	26,249	8,480	34,729	－	－	34,729	132
配本所（西文化センター）	902	522	1,424	－	－	1,424	0

（６）平成24年度館外貸出冊数

分類／館名	個人						団体	合計 A
	一　般	児　童	小　計	郵送貸出	点字文庫	計		
総　数	**7,027,157**	**4,086,012**	**11,113,169**	**6,235**	**24,287**	**11,143,691**	**70,379**	**11,214,070**
鶴　舞	620,656	186,467	807,123	2,106	24,287	833,516	5,779	839,295
千　種	289,458	163,566	453,024	383	－	453,407	3,011	456,418
東	412,405	236,659	649,064	0	－	649,064	2,583	651,647
北	323,118	177,062	500,180	238	－	500,418	3,786	504,204
楠	189,271	109,745	299,016	99	－	299,115	1,841	300,956
西	312,008	122,320	434,328	152	－	434,480	2,337	436,817
山　田	232,590	184,765	417,355	193	－	417,548	2,203	419,751
中　村	324,606	173,797	498,403	159	－	498,562	2,505	501,067
瑞　穂	347,149	182,203	529,352	209	－	529,561	2,955	532,516
熱　田	372,240	207,193	579,433	256	－	579,689	1,623	581,312
中　川	393,258	228,953	622,211	396	－	622,607	2,993	625,600
富　田	226,991	141,502	368,493	84	－	368,577	3,072	371,649
港	256,808	124,724	381,532	370	－	381,902	2,950	384,852
南　陽	119,014	73,121	192,135	5	－	192,140	3,399	195,539
南	329,231	181,013	510,244	49	－	510,293	2,332	512,625
守　山	304,392	169,070	473,462	422	－	473,884	4,090	477,974
志段味	216,534	199,366	415,900	34	－	415,934	2,225	418,159
緑	373,358	237,345	610,703	296	－	610,999	3,592	614,591
徳　重	418,675	355,483	774,158	133	－	774,291	3,343	777,634
名　東	435,559	311,531	747,090	283	－	747,373	3,323	750,696
天　白	398,068	238,476	636,544	368	－	636,912	4,276	641,188
建物館計	6,895,389	4,004,361	10,899,750	6,235	24,287	10,930,272	64,218	10,994,490
自動車館	128,854	77,722	206,576	－	－	206,576	6,161	212,737
配本所（西文化ｾﾝﾀｰ）	2,914	3,929	6,843	－	－	6,843	0	6,843
OPAC等	－	－	－	－	－	－	－	－

（単位　冊・点）

視聴覚資料館外利用点数（点）				総貸出数 A ＋ B	貸出延長冊（点）数　C	総貸出数 A+B+C
個　人	郵送貸出	点字文庫	合計 B			
316,506	**678**	**0**	**317,184**	**11,531,254**	**669,337**	**12,200,591**
49,387	513	0	49,900	889,195	25,128	914,323
11,328	8	－	11,336	467,754	11,112	478,866
18,987	0	－	18,987	670,634	16,167	686,801
11,773	8	－	11,781	515,985	12,278	528,263
10,589	0	－	10,589	311,545	7,319	318,864
14,457	2	－	14,459	451,276	10,758	462,034
7,233	0	－	7,233	426,984	8,857	435,841
11,361	0	－	11,361	512,428	11,701	524,129
11,650	2	－	11,652	544,168	12,091	556,259
17,267	0	－	17,267	598,579	14,048	612,627
17,610	0	－	17,610	643,210	17,059	660,269
8,167	40	－	8,207	379,856	8,879	388,735
10,225	39	－	10,264	395,116	9,223	404,339
6,982	0	－	6,982	202,521	3,919	206,440
14,796	0	－	14,796	527,421	13,268	540,689
11,013	38	－	11,051	489,025	12,728	501,753
11,223	13	－	11,236	429,395	10,163	439,558
15,105	0	－	15,105	629,696	14,962	644,658
22,296	15	－	22,311	799,945	22,549	822,494
16,330	0	－	16,330	767,026	20,073	787,099
14,532	0	－	14,532	655,720	17,639	673,359
312,311	678	0	312,989	11,307,479	279,921	11,587,400
4,043	－	－	4,043	216,780	570	217,350
152	－	－	152	6,995	0	6,995
－	－	－	－	－	388,846	388,846

（注）OPAC等には、館内蔵書検索機・インターネット用（パソコン・携帯電話）・情報ダイヤルサービスを含む。

（７）自動車図書館

自動車図書館は、南図書館に基地があり、運営は、平成24年４月から中央館に移管されている。

現在、自動車図書館は２台で、中央館、各区の分館とともに図書館システムの一環を担い、建物館から離れた地域への個人貸出サービスと、図書館へ来館できない社会福祉施設や病院などへの団体貸出サービスを行っている。原則として各区の図書館から1.5㎞以遠を対象に１学区１ヵ所の駐車場を設置し、巡回周期は年８回を目標としている。個人貸出は１人８冊以内で、市立図書館共通の個人貸出券で利用できる。

３　名古屋市博物館

（１）名古屋市博物館

ア　概　　要

沿　　革			昭和52年４月　本館工事完成 10月　開館 53年10月　常設展開設 〃　蓬左文庫・豊清二公顕彰館が分館となる 11月　博物館法に基づく登録博物館となる 61年４月　国宝・重要文化財の公開指定館となる 平成元年７月　常設展を全面改装
構　　造			鉄骨鉄筋コンクリート造、地上４階・地下２階建
敷地面積 延床面積			15,100.39㎡ 18,821.59㎡
所　在　地			名古屋市瑞穂区瑞穂通１丁目27番地の１
休　館　日			月曜日（祝日の場合は直後の平日）・第４火曜日（祝日を除く） 年末年始（12／29～１／３）
開館時間			午前９時30分～午後５時（入場は午後４時30分まで）
施設内容	部屋名	面積	内　　容
	常設展示室	1,867.9㎡	尾張地方の原始から現代までの歴史を時代順に16テーマに区分し、わかりやすく展示するとともに、フリールームでは随時、展示替も行う。
	特別展示室	498.0㎡	内外のすぐれた文化財を紹介する展覧会を催すとともに、常設展示を補う意味で、随時、時代別・分野別の展示を行う。
	部門展示室	465.0㎡	
	展示説明室	264.5㎡	博物館についての基礎知識や、展示資料に関する解説を行う。
	ふれてみるコーナー	11.4㎡	常設展のエントランスに、直接手に触れて学ぶ資料を展示する。

	部屋名		面積	内容
施設内容	ギャラリー	第１室	204.0㎡	美術家、美術団体を始め一般市民が行う展覧会の開催に施設を供用し、また、時には国際的な展覧会も催す。
		第２室	123.0	
		第３室	171.0	
		第４室	171.0	
		第５室	156.0	
		第６室	89.0	
		第７室	389.0	
		第８室	115.0	
		屋外展示場	500.0㎡	
	講堂		378.0㎡	舞台、映写室を備え、客席238を有する。講演会、映画会、芸能鑑賞などを催すとともに、一般の利用にも供する。
事業概要				１　歴史、考古、民俗及び美術工芸に関する資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管、展示及び供用 ２　博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究、博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究 ３　博物館資料に関する講演会、研究会等の開催、解説書、目録、年報、報告書等の作成及び頒布、その他博物館資料の利用者に対するサービスの提供 ４　ギャラリー、講堂等の博物館施設の供用 ５　常設展「尾張の歴史」の運営 ボランティアと音声解説機による展示ガイド ６　出前ミュージアム、歴史体験セミナー等の教育・普及活動の実施 ＜平成25年度開催(予定)の特別展・特別コレクション展＞ ○特別展「中国　王朝の至宝」　４／24～６／23 ○特別展「マジックの時間」　７／20～９／１ ○特別コレクション展「尾張のやきもの」　９／14～10／14 ○特別展「奥三河のくらしと花祭・田楽」　11／２～12／15 ○特別展「文字のチカラ」　１／４～２／16 ○特別展「大浮世絵展」　３／11～５／６
所蔵資料 (平成25年3月31日現在)				総集　316点　民俗　43,424点 考古　114,799点　自然　128点 美術工芸　14,787点 文献　65,542点　合計　238,996点

イ　平成24年度博物館資料利用状況

	資料特別利用		資料貸出		図書閲覧	
件数及び点数	711件	991点	177件	376点	―	―

ウ　平成24年度施設利用状況

	特別展示室	部門展示室	ギャラリー									講堂
			第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室	第7室	第8室	屋外	
利用日数	193	119	245	156	173	233	231	183	189	210	0	97
利用率（％）	65	40	82	53	58	78	78	62	64	71	0	33

(注)利用率＝利用日数÷開館日数297日×100

エ　平成24年度入場者数

区分	日数	入場者数	1日平均	備考
	日	人	人	
常設展	297	63,990	216	
ビデオコーナー	297	6,358	22	
ふれてみるコーナー	297	7,099	24	
展覧会	延 281	297,771	1,060	
くらし体験学習室	46	21,536	469	※展覧会開催状況は別掲
ギャラリー	278	167,310	602	
講堂	71	11,222	159	
展示説明室	26	2,384	92	
ナイトミュージアム	2	1,786	893	
むかしのおもちゃで遊ぼう	52	9,558	184	
合計	―	589,014	―	

※　展覧会開催状況

会期	展覧会名	日数	入場者数	1日平均	備考
		日	人	人	
4／28～6／10	尾張氏☆志段味古墳群をときあかす	37	9,640	261	
7／7～9／2	マリー・アントワネット物語展	48	64,903	1,352	
9／29～11／11	芭蕉	37	13,986	378	
12／1～1／14	大須観音展	34	17,376	511	
2／2～3／17	驚きの博物館コレクション	37	13,570	367	
合計	5展覧会	193	119,475	619	

※ メキシコにおける展覧会開催状況

会期	展覧会名	日数	入場者数	1日平均	備考
		日	人	人	
7／26～10／21	侍－日本の至宝	88	178,296	2,026	

（２）名古屋市蓬左文庫

ア　概　　要

沿　　革	尾張藩初代藩主徳川義直が父家康の旧蔵書を中心に、名古屋城内に創設した尾張藩御文庫を起源とする。 明治以降、尾張徳川家の私有、昭和７年、財団法人徳川黎明会に寄付されて、東京へ移転 昭和25年４月　名古屋市が購入、社会教育課に所属 26年11月　徳川園において公開 36年６月　鶴舞図書館の分館 41年４月　蓬左文庫として、社会教育部に所属 53年10月　博物館の分館 平成10年　「徳川園整備基本構想」策定 16年11月　新蓬左文庫開館。蔵書数約110,000点（内重要文化財154点）
構　　造	鉄筋コンクリート造２階建　　木造瓦葺２階建（旧書庫）
延床面積	3,002.67㎡　うち旧書庫406.36㎡
所 在 地	名古屋市東区徳川町1001番地（徳川園内）
休 館 日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）・12月中旬～１月３日
開館時間	閲覧室　午前９時30分～午後５時・展示室　午前10時～午後５時

	部屋名	面積	内　　容
施設内容	ガイダンスホール	147.39 ㎡	蓬左文庫展示室入り口のホールで、デジタル御文庫（デジタル映像視聴）、陶板地図を設置して、展示室への導入とする。
	展示室１	280.10 ㎡	徳川美術館と提携し、蓬左文庫の蔵書と徳川美術館の調度をあわせて展示し、近世武家文化等をわかりやすく表現する。
	展示室２	103.38 ㎡	
	映像ルーム（32 席）	58.67 ㎡	「源氏物語」をテーマとしたハイビジョン映像「千年の時を越えて」（朗読竹下景子）を上映する。
	閲覧室（26 席）	296.82 ㎡	蓬左文庫所蔵の資料の閲覧、研究・調査のために一般利用に供する。
	エントランスホール	120.62 ㎡	旧書庫を正面玄関ホールに再利用。１階に蔵書の複製等を展示し、２階に旧書庫の姿を一部再現している。

事業概要	1　文庫資料の収集、保管、展示及び供用 2　文庫資料の利用者に対する説明、助言及び指導 3　文庫資料に関する専門的、技術的な調査・研究 4　文庫資料の保管、展示等に関する技術的研究 5　文庫資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布 6　文庫資料に関する講演会等の開催

事　業　概　要	〈平成 25 年開催（予定）の特別展・企画展〉 夏・秋２回の特別展と５回の企画展を開催する。 ○企画展「名古屋城・下御深井御庭ー殿さまの秘園ー」 ○企画展「尾張名古屋の絵師たちー高雅・清を中心にー」「尾張のまつり」 ○特別展「徳川慶勝ー知られざる写真家大名の生涯ー」 ○特別展「歌仙ー王朝歌人への憧れー」 ○企画展「源氏物語の世界」 ○企画展「旅をつづる」 「名所図会の世界」 ○企画展「ひなの世界」 「大名家の礼法ー小笠原家伝書ー」	 ４／13～５／26 ６／１～７／21 ７／27～９／23 ９／28～11／４ 11／９～12／13 １／４～２／11 ２／14～４／６

イ　平成24年度利用状況

閲　覧　者	2,119人	資料特別利用	160件
観　覧　者	187,254人	資　料　貸　出	9件
資　料　複　写	581件	写真掲載許可	99件

(注)開館日数 299日。入館者数 209,304人。（無料開放施設利用者19,931人を含む）。

※　展覧会開催状況

会　期	展　覧　会　名	日　数	入場者数	１日平均
		日	人	人
４／１～４／８	企画展「琉球漆器の美」 「アジアの風」	7	6,041	863
４／14～５／27	特別展「江戸の粋ー尾崎久弥コレクションー」	38	28,254	744
６／２～７／22	企画展「尾張徳川家大曽根邸と徳川園」	44	22,486	511
７／25～９／30	企画展「戦国の合戦」	60	30,528	509
10／６～11／11	特別展「徳川将軍の御成」	32	25,308	791
11／17～12／13	企画展「尾張藩の学問と教育」 「源氏物語の世界」	23	18,270	794
１／４～２／11	企画展「大名と鷹狩ー一富士・二鷹・三茄子ー」 「名古屋城下図」	34	18,107	533
２／14～３／31	企画展「ひなの世界・源氏物語の世界」 「国絵図」	40	38,260	957
合　計	**12展覧会**	278	187,254	674

ウ　地域別閲覧人員　　（単位　人）

市内	県内	県外	計	1日平均
1,025	433	661	2,119	7.1

エ　参考事務取扱数　　（単位　件）

窓口	電話	文書	画像	計
163	59	15	305	542

オ　分類別閲覧冊数　　（単位　冊）

国書	郷土資料	絵図	漢籍	一般図書	計
1,549	610	129	595	7,190	10,073

（3）名古屋市秀吉清正記念館

ア　概　　要

沿革	昭和42年５月　豊臣秀吉と加藤清正の業績を顕彰する目的で中村公園内に豊清二公顕彰館として開館 53年10月　博物館の分館となる 平成元年４月　改築のため休館 ３年５月　秀吉清正記念館と名称を改め、中村公園文化プラザ２階に再オープン
構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造３階
延床面積	721.21㎡
所在地	名古屋市中村区中村町字茶ノ木25番地
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）・第３金曜日（祝日を除く） 年末年始（12／29～１／３）
開館時間	午前10時～午後５時
施設内容	１　常設展示室　205㎡ ２　特別陳列室　88㎡ ３　収蔵庫　81㎡
事業概要	秀吉・清正に関する資料や尾張の戦国武将に関する資料のほか、戦国～安土桃山時代の生活や文化に関連する資料の収集・保管・展示。
所蔵資料 (平成25年3月31日現在)	絵画160点、工芸52点、文書584点、その他30点 合計826点

イ　平成24年度利用状況

	資料特別利用		資料貸出	
件数及び点数	49件	60点	14件	16点

ウ　展覧会開催状況

会期	展示会名	日数	入場者数	1日平均
		日	人	人
4／1～3／31	常設展示	296	47,061	159
4／1～5／13	名古屋市文化財指定記念 特集展示「近江木下家資料展」	41	(4,848)	118
5／15～7／16	パネル展「尾張東部・知多の城」	53	(8,219)	155
7／18～9／2	夏休み特集展示「豊臣秀吉の合戦」	39	(9,095)	233
9／4～9／30	パネル展「戦国武将と名古屋の寺社」	23	(3,843)	167
10／6～11／11	開館45周年記念特別陳列「小牧・長久手の戦い」	31	6,895	222
11／27～1／20	特集展示「真説・秀吉と清正の絵物語 前編」	41	(4,862)	119
1／22～3／10	特集展示「真説・秀吉と清正の絵物語 中編」	41	(5,156)	126
3／12～3／31	特集展示「真説・秀吉と清正の絵物語 後編」	17	(2,213)	130
合計	8展覧会		53,956	

(　)は再掲

4　名古屋市見晴台考古資料館

ア　概　要

沿革	見晴台遺跡は、南区の笠寺公園一帯に広がる弥生時代後期から古墳時代はじめにかけての環濠集落跡を主とした遺跡である。資料館は、この見晴台遺跡に関する資料の収集、保管及び調査研究並びに展示を中心とした教育普及活動を目的として設置された。開館以来、市内各所の遺跡を記録保存のための発掘調査を実施してきた。昭和54年10月11日に開館し、昭和55年１月25日博物館法に基づく登録博物館となる。
構造	本館　鉄筋コンクリート造、地上１階、地下１階、一部中２階 西館　軽量鉄骨造平屋建

敷地面積	1,902.33㎡
延床面積	1,529.41㎡
所在地	名古屋市南区見晴町47番地（笠寺公園内）
休館日	毎週月曜日（休日に当たるときはその翌平日）、毎月第４火曜日（休日を除く）、年末年始（12／29～１／３）
開館時間	午前９時15分～午後５時
施設内容	展示室　142.58㎡・映像展示室　136.17㎡
事業概要	見晴台遺跡を学習する場として、遺跡から出土した遺物・模型・パネル・写真等を展示している。また講演会・展示説明会・映画会の開催、教育普及のため、考古学関係の印刷物を刊行している。発掘調査を通して歴史と文化財に対する関心を高めるための、市民参加による遺跡の発掘調査を行っている。

イ　展示活動

展示室では、見晴台遺跡から出土した遺物を中心に、年約５回テーマを設定して展示会を開催し、市民の利用に供している。

＜平成24年度開館日数・入館者数＞

（ア）　展示会別

会期	展示会名	日数	入場者数	１日平均
		日	人	人
４／１～６／24	常設展「見晴台遺跡と市内の遺跡展」	74	12,808	173
６／27～９／30	企画展「見晴台遺跡発掘展」	80	13,211	165
11／７～１／20	特別展「名古屋ものづくりの考古学」	63	5,134	81
１／23～３／24	企画展「新出土品情報展」	52	6,556	126
３／27～３／31	企画展「大昔のなごや-見晴台遺跡と市内の遺跡展-」	5	786	157
合計		274	38,495	141

（イ）　月別

月別	開館日数	入館者数			１日平均	団体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人員
年　月	日	人	人	人	人		人
24　4	27	1,123	3,096	4,219	157	18	1,326
5	26	2,974	2,964	5,938	229	18	4,078
6	25	1,427	1,600	3,027	122	21	877
7	25	1,945	1,051	2,996	120	6	620

月　別	開館日数	入　館　者　数			1日平均	団　　体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人　員
年　月	日	人	人	人	人		人
8	26	3,070	1,866	4,936	190	0	0
9	25	3,515	1,388	4,903	197	1	6
10	—	—	—	—	—	—	—
11	24	1,752	549	2,301	96	1	26
12	24	1,521	74	1,595	67	1	7
25　1	23	1,662	160	1,822	80	9	50
2	23	2,093	427	2,520	110	2	54
3	26	3,010	1,228	4,238	163	2	111
合　計	274	24,092	14,403	38,495	141	79	7,155

10月は空調機器更新工事のため臨時休館

ウ　教育普及活動

（ア）見晴台遺跡第52次発掘調査（市民参加発掘調査）

期　　間　7月18日～8月19日（市民参加の期間）

参加者数　203人（延べ483人）

（イ）映像展示室などでは映画の上映・講演会・展示説明会などを開催した。

行　事　名	回　　数	参　加　者　数
	回	人
講　演　会　等	9	342
展　示　説　明　会	6	51
映　　画　　会	9	186
「みはらしの日」	8	79

（ウ）見晴台遺跡を理解するための広報、出版活動を行っている。

館報6回、見晴台教室’12、年報29

（エ）市内遺跡の発掘調査の成果を現地で公開している。

現地説明会　2遺跡　2回　参加者数415人

（オ）地域連携事業

「南区区民まつり」「桜田中学校美術展」など、地域連携の取り組みをおこなった。

エ　市内遺跡の発掘調査活動

遺跡名	所在地	調査期間	面積（㎡）	主な調査成果
桜田貝塚・貝塚町遺跡	南区貝塚町	７月	62	溝状遺構、柱穴、山茶碗・銭貨
仁所遺跡	瑞穂区丸根町	９月～10月	125	土坑、中世常滑産甕
天白元屋敷遺跡（第６次）	守山区大字中志段味字天白ほか	１月～３月	20	中近世陶器・かわらけ
千音寺遺跡（第６次）	中川区富田町	１月～３月	100	古代・中世遺物包含層
瑞穂遺跡	瑞穂区牧町	３月～	－	25年度へ継続

オ　「歴史の里」関係遺跡の発掘調査活動

遺跡名	所在地	調査期間	面積（㎡）	主な調査成果
中社古墳	守山区大字上志段味字東谷	８月～11月	74	後円部東側・くびれ部西側・前方部西側、前方部東側で確認調査、円筒埴輪・形象埴輪
史跡　白鳥塚古墳	守山区大字上志段味字東谷	７月～４月	－	〔立会調査〕 道路整備工事に伴う立会調査

カ　見晴台遺跡の市民参加発掘調査活動

遺跡名	所在地	調査期間	面積（㎡）	主な調査成果
見晴台遺跡（第52次）	南区見晴町	７月～８月	200	弥生時代の環濠、笠寺高射砲陣地関連遺構、弥生土器・土師器・灰釉陶器

キ　発掘調査監督業務

遺跡名	所在地	調査期間	面積（㎡）	主な調査成果
富士見町遺跡	中区大井町	10月～11月	215	中世土坑
竪三蔵通遺跡	中区栄一丁目	１月～２月	205	近世～近代溝状遺構、土師器・須恵器・陶磁器
城遺跡	緑区鳴海町字城	１月～２月	145	中世の堀の一部、弥生土器・須恵器・中世陶器・古代瓦
瑞穂遺跡	瑞穂区豊岡通	４月～５月	110	弥生時代後期の環濠の溝、中世から近世の溝

５　名古屋市美術館

ア　概　　要

沿　　革		昭和58年１月　美術館調査委員会より「名古屋市美術館（仮称）の基本構想について」答申 ７月　美術館建設委員会を設置 63年４月　開館 平成元年９月　博物館法に基づく登録博物館となる	
構　　造		鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地下１階・地上２階建	
敷地面積		10,509.125㎡（白川公園内の美術館管理区域）	
延床面積		7,232.41㎡	
所在地		名古屋市中区栄二丁目17番25号	
休館日		月曜日（祝日の場合はその直後の平日） 年末年始（12／29～１／３）	
開館時間		午前９時30分～午後５時（入場は４時30分まで）、金曜日（祝日の場合は除く。）は午後８時（入場は７時30分）まで	
施設内容	部屋名	面積	内容
	常設展示室１ ２ ３	768 ㎡ 102 175	エコール・ド・パリ、メキシコ・ルネサンス、現代の美術、郷土の美術という４つの柱からなる収蔵作品を、年３回程度展示替えをしながら、系統だててわかりやすく展示する。
	企画展示室１ ２	688 ㎡ 571	時代的に、また地域的に変化と多様性に富む美術の世界を、テーマを定めて幅広く紹介する企画展を開催する。
	図書室	95 ㎡	美術関係の専門書（洋書も含む。）や各種展覧会の図録などの文献があり、自由に閲覧できる。
	講堂	239 ㎡	180人収容可能で、ビデオを始めとする映像機器を備え、美術講演会、美術講座、映画会等を開催する。
事業内容		１　美術品及び美術に関する図書、文献、写真等の資料の収集、保管、展示及び供用 ２　美術に関する専門的な調査研究 ３　美術に関する案内書、解説書、目録、年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布 ４　美術に関する講演会、ミュージアム・コンサート、ビデオ上映会等の開催 ５　常設展示室でボランティアによる所蔵作品のガイド ＜25年度開催(予定)の特別展＞ ○名古屋市美術館開館25周年記念　上村松園展　４/20～６/２ ○はじめての美術　絵本原画の世界2013　６/15～７/21 ○あいちトリエンナーレ2013　８/10～10/27 ○ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展　11/９～12/23 ○親子で楽しむアートの世界展　２/15～３/30	

所　蔵　作　品 (平成25年３月31日現在)	エコール・ド・パリ関係 メキシコ・ルネサンス関係 現代の美術 郷土の美術	513点 501点 577点 4,024点	計 5,608 点

イ　特別展示

会　　期	展　覧　会　名	日　数	入場者数	１日平均	備　　考
		日	人	人	
４／７～５／20	いのちの煌めき　田渕俊夫展	38	21,801	574	中日新聞社、東海テレビ放送と共催
６／２～７／16	ポジション2012　名古屋発現代美術	39	6,362	163	日本経済新聞社、テレビ愛知と共催
７／28～９／30	大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の400年	58	154,131	2,657	中京テレビ放送、読売新聞社、エルミタージュ美術館と共催
10／20～12／16	青木野枝｜ふりそそぐものたち	50	8,268	165	豊田市美術館、中日新聞社と共催
合　　計	４展覧会	185	190,562	1,030	

ウ　常設展示

会　　期	展　覧　会　名	日　数	入場者数	備　　考
		日	人	
	常設展	223	69,656	特別展入場券による入場者数を含む。
４／１～５／20	特集　荒川修作の“MISTAKE”	(43)	(5,708)	〃

（注）　常設展日数・入場者数は、（　）内を含む。

エ　平成24年度美術品等利用状況

資　料　貸　出	図　書　閲　覧
11件、91点	16,594人

オ　教育普及事業

内　　容	回　　数	参　加　者　数
	回	人
美術講演会、作品解説会など	32	3,710
コ　ン　サ　ー　ト	3	616
夏休みこどもの美術館（ワークショップ含む）	70	24,885
子どものためのワークシート キッズ・アートウォッチングなど	124	1,633
合　　計	229	30,844

6　名古屋市科学館

ア　概　　要

沿　　革	昭和37年11月　天文館開館 39年11月　理工館開館 平成元年４月　生命館開館 市立名古屋科学館から名古屋市科学館へ名称変更 ２年１月　博物館法に基づく登録博物館となる 23年３月　理工館・天文館改築		
構　　造	理工館・天文館　鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上７階・地下２階建 生命館　鉄骨鉄筋コンクリート造 地上６階・地下２階建		
敷　地　面　積	13,661.95㎡		
延　床　面　積	22,551.32㎡		
所　　在　　地	名古屋市中区栄二丁目17番１号		
休　　館　　日	月曜日（祝日の場合はその直後の平日）第３金曜日（祝日の場合は第４金曜日）・年末年始（12／29～１／３）		
開　館　時　間	午前９時30分～午後５時（入場は４時30分まで）		
施設内容	部　屋　名	面　積	内　　容
	展　　示　　室 天文館　　５階 理工館 ２階～６階 生命館 ２階～５階	計6,515㎡ 702 3,636 2,177	天文・理工・生命などの分野を、各階の展示室ごとにテーマを定め、観覧者が実物・模型・映像などを通して、楽しみながら科学を容易に理解できるよう展示する。
	第１実験室	115㎡	科学に関する実験や工作などの各種講座を開催する。
	第２実験室	120㎡	
	学　　習　　室	102㎡	

情報資料室	97 ㎡	科学系分野の図書と映像（ビデオ、ＤＶＤ）の閲覧、インターネット検索のサービスを提供する。 開架用図書　約7,000冊　ビデオ等　約1,000本
プラネタリウム （Brother Earth） 内径 35m 定員350人	830 ㎡	投影する話題を月ごとに定め、学芸員の生解説により１日６回投影している。また、幼児向け、小学生向け、夜間投影など特別投影も行う。投影時間は約50分。
イベントホール	778 ㎡	特別展、企画展、各種展覧会や事業を開催する。
サイエンスホール （定員320席）	440 ㎡	各種講演会等を開催する。
サイエンスステージ	173 ㎡	空気、運動、電気、化学反応などの実験をショー形式で開催する。
天文台	87 ㎡	口径80㎝の反射望遠鏡を設置し、昼間の星をみる会、市民観望会などを開催する。
星の広場（屋上）	598 ㎡	小型望遠鏡を並べて市民観望会を開催する。

事業概要

１　天文、理工、生命に関する資料及び装置の展示
２　プラネタリウムによる天体運行等の投影及び天体観測等の指導
３　天文、理工、生命に関する知識の普及及び指導
４　科学技術に関する情報の収集及び提供並びに出版
５　科学技術及び運営企画に関する調査研究
６　その他、教育委員会が必要と認める事業

＜理工館・天文館の改築＞
世界一のプラネタリウムと大型展示により、学習施設であるとともにエンターテイメント性豊かな観光拠点ともなる世界レベルの科学館を整備。

＜25年度開催(予定)の特別展＞
○「深海たんけん！」　７／20～９／1
○「チョコレート展」　12／21～２／23
○「発掘！モンゴル大恐竜展」　平成26年３／19～６月

展示資料（平成25年３月31日現在）

宇宙天文　44点	交通機械　22点	その他総合　38点
物質　27	生命　30	
数学情報　10	生活　11	
ｴﾈﾙｷﾞｰ物理　30	環境　26	計　238点

ネーミングライツの導入（Brother Earth）

対象施設：プラネタリウムドーム
権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等
ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社
契約期間：平成23年３月19日から平成28年３月31日

イ　平成24年度月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10
入館者数	115,731	134,413	106,068	109,506	190,245	91,707	91,039
開館日数	25	25	25	25	28	23	25

月	11	12	1	2	3	計
入館者数	87,293	69,617	76,838	80,448	150,467	1,303,372人
開館日数	25	23	23	23	26	296日

ウ　平成24年度各種行事実施状況

行　　事　　名	期　　間	日数	参加者数
		日	人
特別展「OCEAN!海はモンスターでいっぱい」	３/17～６/10	73	75,571 (4月1日以降)
特別展「空飛ぶのりもの～大空から宇宙まで～」	７/21～９/２	39	58,323
特別展「ドラえもんの科学みらい展」	３/16～５/６	44	46,165 (3月31日時点)
企画展「見つめてふしぎ！人間の眼」	11/17～12/２	14	6,266
楽しい鉄道模型	６月・９～３月	7	入館者対象
鉄道模型スペシャル	２/10・11	2	入館者対象
科学技術週間行事			
①記念講演会	４/21	1	①②共通
②学術映像祭入選作品発表	４/21	1	236
第33回古川為三郎サイエンス講演会	11/３	1	146
プラネタリウム特別投影			
①ファミリーアワー （土・日・祝・夏・春休み）	年間	127 (回)	43,815
②字幕付きで見るプラネタリウム	９/22、３/23	2	634
③夜間特別投影	毎月１回	12	3,568
④幼児向け学習投影	５/８～７/19、２/26～３/13	50	24,986
⑤小学校４年生向け学習投影	11/20～２/19	35	18,990
⑥小学校６年生向け学習投影	９/25～11/15	29	16,866
昼間の星をみる会（日）	４/15～３/31	24	12,345

行　　事　　名	期　　間	日数	参加者数
		日	人
市民観望会(土または日)	４/28～３/23	11	2,395
電子工作教室	７/27～７/29	3	81
かがくの実験室	12/22・23、3/27・3/28	4	132
かがくゼミナール	８/９、11/18、12/２、２/３、３/23	5	153
第15回リフレッシュ理科教室	８/３・８/４	2	173
レッツ・サイエンス	８/９、８/23、12/24	3	117
地球教室	５/12・13、８/25・26、10/27・28、2/23・2/24	8	120
科学的な考え方を学び楽しむ化学（科学）実験室	６/23、７/７	2	43
放射線ウォッチング	７/26・27、８/１・２	4	49
名古屋でんちフェスタ2012	７/31	1	900
夏休み親子写真教室	８/25・26	2	127
夏休み親子プラモデル教室	８/25	1	75
その道の達人派遣事業			
①出前ものづくり工房	６月初旬～	26	2,945
②出前サイエンスゼミナール	４月～	13	908
③トワイライト事業	５月～２月	6	299
名古屋少年少女発明クラブ			
①ものづくりコース			
⑷ものづくり工房	毎週土曜日（4～3月）	69	10,800
⑹ものづくり教室	第３土曜日（７・８月を除く）	12	261
②ロボットコース			
⑷ロボット工房（会場：科学館及び吹上ホール）	週日曜日（８月を除く）	21	2,767
⑹ロボット教室	第３日曜日(10月、12月除く)	9	77
⑹夏休みロボット教室	８/18・19	2	20
⑹発展型キロボ教室	２/10、３/17	2	27
ロボカップジュニア大会			
◎ロボカップジュニアなごやオープン	10/20	1	29

行　　事　　名	期　　間	日数	参加者数
		日	人
◎ロボカップジュニアなごや大会	10/21	1	36
◎ロボカップジュニア東海ブロック大会 （会場：愛知工業大学付属中学校）	12/15	1	60
③地球コース			
地球工房	毎週土･日曜日･祝日 （４～３月）	100	5,913
第39回「化石を語る」文化講演会	４/29	1	130
第11回ヒメボタルサミット in 愛知	８/19	1	30
第19回生きている地球の記録	７/28・29	2	339
走る昆虫教室「ファーブル号」がやってくる！	８/１	1	1,760
科学創作コンクール	10/８～10/13	5	入館者対象
第55回日本学生科学賞愛知県展	10/16～10/19	4	入館者対象
青少年のための科学の祭典2012名古屋大会	10/６・７	2	2,478 (5,200) () 内はでんさの科学館含む
高校生による科学の祭典2012	10/28	1	550
スペシャル実演	４～３月	222	6694
地球ライブ	３/24	1	515
SLの魅力を語る会	10/27	1	149
芸術と科学の杜連携			
コンサート	11/６、11/24、11/25、12/22	4	―
杜の駅@科学館			
芸術と科学のまちでアサラをさがせ！	11/３・４ 11/３・４	2 2	720
環境学習センター・科学館コラボ企画「エコパル名古屋出張ワークショップin　創造のひろば」	１/27、２/24、３/24	3	634
プラネタリウムBroter Earth 2周年記念イベント	３/20	1	320
名古屋市科学館5開館50周年記念事業			
名古屋音楽大学学生による記念コンサート	11/18	1	201
50周年記念　日本農芸化学サイエンスカフェ in 名古屋市科学館	11/24	1	40
地球環境プロジェクト～宇宙からのメッセージ～	11/24	1	156
喜多郎 in Brother Earth	11/17・18	2	690

７　生涯学習センター、生涯学習推進センター、女性会館

（１）生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の誰もが気軽に利用できる学習、集会、軽スポーツのための総合社会教育施設である。その性格として現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座や市民が企画・運営する「なごやか市民教室」、講演会などの実施により市民の広範な学習要求に応えるとともに、市民が自主的に行う各種グループ活動に対してその求めに応じて、適切な指導、助言を与えるものである。また、市民の各種活動の場として施設の貸与も行っている。事業は以下の７つの柱のもとに行われている。

ａ　幅広い層の市民のための講座の開設
ｂ　講演会等の開催
ｃ　市民の学習活動等の支援
ｄ　図書・記録・資料等の保管及び展示・活用
ｅ　生涯学習に関する情報の提供
ｆ　生涯学習のための相談
ｇ　各種社会教育活動に対する場の提供

また、平成12年４月には、区におけるまちづくり推進事業との連携を図りながら、より地域に密着した柔軟で幅広い事業を展開することを目指して、地域の総合行政機関である区役所に各区の生涯学習センターを編入した。

ア　生涯学習センター一覧

			千種生涯学習センター	東生涯学習センター	北生涯学習センター	西生涯学習センター
開館年月日			昭和50年４月	昭和56年６月	昭和59年６月	昭和60年７月
沿革			平成９年４月　「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年４月　各区生涯学習センターを各区役所に編入			
構造			鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート４階地下１階建	鉄筋コンクリート３階建
敷地面積			3,766.00㎡	1,932.81㎡	1,960.98㎡	874.48㎡
延床面積			2,905.55㎡	2,399.47㎡	3,958.63㎡	2,391.38㎡
所在地			千種区振甫町３丁目34番地	東区葵一丁目３番21号	北区黒川本通２丁目16番地の３	西区浄心一丁目１番45号
休館日			第２水曜日、第４月曜日、年末年始等		第２火曜日、第４月曜日、年末年始等	第２水曜日、第４月曜日、年末年始等
開館時間			午前９時～午後９時（日曜日、祝日は午前９時～午後５時）			
施設内容			集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等			
23年度の主な事業	定期講座数（延回数）	前期	11（ 59）	10（ 53）	9（ 48）	10（ 58）
		後期	10（ 49）	9（ 43）	9（ 47）	9（ 46）
		合計	21（108）	19（ 96）	18（ 95）	19（104）
	定期講座受講者数	前期	253	255	249	266
		後期	277	178	264	244
		合計	530	433	513	510
	特色ある事業		・〈なごや学マイスター講座〉めざせ！あじさいマイスター！ ・〈なごや学〉ちくさ偉人伝 ・〈なごや学〉なごや・ちくさご当地グルメを作ろう！ ・〈なごや学〉織田信秀の時代を探る ・史跡散策事業 ・大学共催講座	・ときめきの風は東から　生涯学習まつり2012 ・＜なごや学＞なごや東区ご当地グルメを作ってみよう～味噌料理の可能性を探る～ ・＜なごや学マイスター講座＞矢田川の自然のおもしろさ～散策・イベントで楽しめる素材いろいろ～	・ジュニア手話クラブ「ゆびきり」 ・手作り絵本教室 ・きたきた福祉の日 ・パソコン広場 ・北区のご当地グルメを作ってみませんか？ ・〈なごや学マイスター講座〉魅力の黒川、ロマンの流れ ・北区の魅力を知的に再発見	・西ふれあいまつり ・＜なごや学マイスター講座＞屋根神さまを訪ねて～西区の伝統文化を伝えよう～ ・浄心寄席 ・〈なごや学〉地図で知る名古屋のまち ・親子で楽しむお菓子づくり ・シリーズ歴史講演会

中村 生涯学習センター	中 生涯学習センター	昭和 生涯学習センター	瑞穂 生涯学習センター	熱田 生涯学習センター
昭和60年６月	昭和57年６月	昭和55年６月	昭和57年６月	昭和59年６月
平成９年４月　「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年４月　各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート ３階建	鉄筋コンクリート ３階建	鉄筋コンクリート ３階建	鉄筋コンクリート ３階建	鉄筋コンクリート ２階建
2,683.46㎡	2,061.62㎡	2,548.76㎡	2,942.57㎡	3,793.73㎡
2,560.49㎡	2,372.27㎡	2,311.46㎡	2,397.47㎡	2,394.63㎡
中村区鳥居通３丁目１番地の３	中区橘一丁目７番11号	昭和区石仏町１丁目48番地	瑞穂区惣作町２丁目27番地の３	熱田区熱田西町２番13号
第２水曜日、 第４月曜日、 年末年始等	第２火曜日、 第４月曜日、 年末年始等	第２水曜日、 第４月曜日、 年末年始等	第２火曜日、 第４月曜日、 年末年始等	第２水曜日、 第４月曜日、 年末年始等
午前９時～午後９時（日曜日、祝日は午前９時～午後５時）				
集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等				
10（ 53） 9（ 46）	10（ 50） 8（ 43）	9（ 49） 9（ 44）	11（ 56） 10（ 62）	9（ 45） 9（ 49）
19（ 99）	18（ 93）	18（ 93）	21（118）	18（94）
213 267	252 190	173 194	309 405	204 232
480	442	367	714	436
・シニアのためのシリーズ講演会 ・なかむら歴史講演会 ・キッズわくわくスクール ・おもちゃ図書館 ・子育てほっとひろば ・地域生涯学習まつり ・自主グループ春の発表会 ・初心者・初級者のためのパソコン相談会	・碁盤割地区の魅力再発見 ・中区ご当地グルメをつくろう「おからにちなんだ健康レシピづくり」 ・どまんNakaの伝統を探る」 ・みんなで堀川調べ隊 ・Naka町並み歴史・文化再発見 ・多文化共生ワークショップ ・なか・ぶんかまつり	・昭和生涯学習センターまつり ・里山ふれあい体験会 ・親子パンづくり教室 ・親子そば打ち道場 ・発見！川名公園 ・親子ふれあいコンサート ・新春コンサート ・親子ふれあい劇場 ・子育てわいわいサロン ・自遊らんど ・スポーツ交歓会	・みずほ生涯学習センターまつり ・春のこどもまつり ・おばけやしきをつくろう ・瑞穂のものづくり文化を学ぶ ・【名古屋女子大学・瑞穂区社会福祉協議会との共催】長寿社会のライフスタイルを考える ・親子でさくらスイーツを作ろう	・熱田生涯学習まつり ・家庭の日事業 ・中部森林管理局共催事業 ・熱田史跡ガイドの会共催事業 ・あつた産業再発見イベント ・〈なごや学マイスター講座〉熱田ご当地グルメを考えよう

中川 生涯学習センター	港 生涯学習センター	南 生涯学習センター	守山 生涯学習センター	緑 生涯学習センター
昭和53年６月	昭和54年６月	昭和58年６月	昭和51年５月	昭和52年５月
平成９年４月　「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年４月　各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート２階建	鉄筋コンクリート３階建	鉄筋コンクリート３階建
2,057.92㎡	2,223.41㎡	3,573.74㎡	3,856.88㎡	2,330.11㎡
2,074.24㎡	2,299.90㎡	2,386.26㎡	2,993.29㎡	2,094.71㎡
中川区富川町１丁目２番地の12	港区港陽一丁目10番18号	南区東又兵ヱ町5丁目1番地の10	守山区守山三丁目２番６号	緑区鳴海町字本町54番地
第２水曜日、第４月曜日、年末年始等	第２火曜日、第４月曜日、年末年始等	第２水曜日、第４月曜日、年末年始等	第２火曜日、第４月曜日、年末年始等	
午前９時～午後９時（日曜日、祝日は午前９時～午後５時）				
集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、和洋裁室（守山生涯学習センターのみ）、体育室等				
10（ 56） 9（ 47）	11（ 64） 11（ 58）	9（ 46） 8（ 41）	10（ 50） 9（ 52）	9（ 50） 11（ 52）
19（103）	22（122）	17（ 87）	19（102）	20（102）
245 157	230 242	221 178	230 265	164 195
402	472	399	495	359
・＜なごや学マイスター講座＞ あおなみ線マイスター入門講座 ・＜なごや学＞中川区の魅力ある名所をのんびり巡る ・初心者のための確定申告・電子申請 ・新春コンサート未就学児の親子のためのお話と音楽の世界 ・無料パソコン相談	・みなとふれあいウォーク ・〈なごや学マイスター講座〉ものづくりを支える名古屋港 ・自主グループによる家庭の日事業・あそびの広場 ・みんなで楽しく国際交流～ブラジルのお菓子を作って、遊ぼう～ ・パソコン相談室	・大同大学大同高等学校共催パソコン講座 ・中国帰国者日本語教室「みなみ文化日本語教室」 ・おもちゃの無料修理 ・〈なごや学マイスター講座〉歩く！学ぶ！南区の歴史 ・〈なごや学〉南区ご当地グルメを考え広めよう！ ・「みなびィ」ふれあいまつり	・＜なごや学マイスター講座＞守山区ご当地グルメをプロデュース！～「守山うまいもん」づくりでまちおこし!! ・＜なごや学＞なごや“珍百景”～珍妙・奇妙な「おもしろスポット」めぐり～ ・わがまち守山の魅力探訪～すばらしき歴史と自然にふれる～	・なごや学「悠久の歴史、氷上姉子神社を学ぶ」 ・食事・運動を見直して、元気で長生き！～60歳からの健康を考える～ ・東海道を行く～人・もの・文化が交わる道～ ・ﾘﾆｭｰｱﾙｵｰﾌﾟﾝｲﾍﾞﾝﾄ ・戦争体験を語り継ぐ集い ・ﾊﾟｿｺﾝ体験教室＆ﾜﾝﾎﾟｲﾝﾄ相談

緑生涯学習センター 上汐田教育集会所	名東 生涯学習センター	天白 生涯学習センター
昭和60年５月	昭和55年６月	昭和56年６月
平成12年４月　緑生涯学習センターの分館となり区役所に編入	平成９年 生涯学習センターに名称変更 平成12年 各区役所に編入	
鉄骨造 ２階建	鉄筋コンクリート ２階建	鉄筋コンクリート ２階建
187.00㎡	3,691.52㎡	7,393.70㎡
155.14㎡	2,213.61㎡	2,349.93㎡
緑区鳴海町字上汐田 447番地	名東区社が丘三丁目 802番地	天白区天白町島田 黒石4050番地
月曜日、祝日、 年末年始等	第２火曜日、第４月曜日、 年末年始等	
午前９時 ～午後９時	午前９時～午後９時 （日曜日、祝日は午前９時～午後５時）	
集会室、和室、 談話室	集会室、和室、視聴覚室、美術室、 料理室、体育室等	
5（ 33） 5（ 31）	10（ 56） 8（ 43）	10（ 50） 10（ 56）
10（ 64）	18（ 99）	20（106）
63 50	183 140	239 171
113	323	410
・人権週間記念行事 ・社会見学 ・子ども卓球教室 ・健康相談 ・自動車図書館	・ふれあい生涯学習まつり ・名東サロンコンサート ・名東っ子遊びの広場 ・名東っ子スポーツ広場 ・「家庭の日」親子スポーツ教室 ・一緒につくりませんか！なごや名東区ご当地グルメ ・子どもとともに成長する楽しい子育て ・猪高の森で竹刈り物語 ・いっしょに歩もう！猪子石へのみち ・名東わくわく子育て講座	・子どもまつり ・スポーツ交流会 ・大学との共催事業 ・おやじのちょっといいとこ見せてみよう～天白公園をフィールドにして～ ・テンパク・テニュア ・天白お楽しみサロン

イ　利用状況（平24年度）

	利用件数				利用者数				左のうち主催事業の参加者数
	集会室等	体育室	館外等	計	集会室等	体育室	館外等	計	
千種生涯学習センター	3,895	1,785	26	5,706	52,266	36,122	3,457	91,845	10,685
東生涯学習センター	5,707	897	18	6,622	69,298	24,342	3,027	96,667	8,205
北生涯学習センター	6,234	906	5	7,145	86,728	28,720	984	116,432	10,353
西生涯学習センター	4,362	905	274	5,541	58,296	28,414	4,584	91,294	10,431
中村生涯学習センター	4,281	923	198	5,402	54,991	29,600	3,160	87,751	10,510
中生涯学習センター	4,879	897	16	5,792	60,617	22,901	2,133	85,651	8,998
昭和生涯学習センター	4,054	912	18	4,984	51,458	27,397	3,110	81,965	9,839
瑞穂生涯学習センター	4,461	922	30	5,413	60,123	26,576	5,007	91,706	17,420
熱田生涯学習センター	2,694	922	19	3,635	30,428	27,156	3,215	60,799	7,225
中川生涯学習センター	2,780	852	12	3,644	33,368	13,830	1,648	48,846	5,857
港生涯学習センター	2,488	884	46	3,418	32,107	24,053	4,336	60,496	7,756
南生涯学習センター	3,486	938	17	4,441	50,671	27,686	5,155	83,512	15,761
守山生涯学習センター	5,362	871	29	6,262	70,400	20,845	612	91,857	9,028
緑生涯学習センター	3,073	716	284	4,073	51,472	18,559	5,129	75,160	9,304
名東生涯学習センター	3,351	882	69	4,302	54,003	28,754	7,425	90,182	11,120
天白生涯学習センター	3,786	919	376	5,081	61,221	28,160	8,809	98,190	18,689
上汐田教育集会所	458	-	52	510	2,736	-	437	3,173	994
計	65,351	15,131	1,489	81,971	880,183	413,115	62,228	1,355,526	172,175

（２）生涯学習推進センター

ア　概　　要

沿　　革	社会教育法に基づく公民館として生涯教育センターの名称で昭和63年８月31日開館。生涯学習に関する調査研究を行い学習情報の蓄積ネットワーク化の中心としての機能を強めるため、平成９年４月１日から生涯学習推進センターと名称を改める。平成12年４月１日からはさらに弾力的な事業展開を図り、生涯学習の推進に努めるため、公民館から、社会教育施設に変更した。 平成16年４月１日　現在地に移転。
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造　地下１階・地上４階建のうち１階部分の一部
延床面積	96.17㎡
所在地	名古屋市中区大井町７番25号
休館日	毎月第１日曜日・第３木曜日、国民の祝日に関する法律による休日 年末年始（12月29日～１月３日）
開館時間	午前９時～午後９時（日曜日は午後５時まで）

イ　平成24年度事業内容

事業名	内　　容
企画開発・調査研究事業	(1) 生涯学習センターが行う新たな事業展開について－市民協働による「なごやか市民教室」の実施－ 平成23年度の調査研究における「市民が学びの成果を生かす学習成果還元事業」を市民協働で行う「なごやか市民教室」の試行実施の結果を基に、開催館を拡大し本格実施を行った。その結果、市民が学びの成果を生かし、市民ニーズに応える事業を展開し、さらに学習を継続する市民の増加につなげた。また、さらなる認知度の向上、自主グループ化の促進、市民協働の促進、それぞれにおいて次年度以降の課題として検討する必要性が明らかとなった。 (2) 超高齢社会における学習機会提供のあり方 平成24年３月文部科学省より公表された「長寿社会における生涯学習の在り方について～人生100年いくつになっても学ぶ幸せ「幸齢社会」～」を受け、社会環境の変化に対応した生涯学習の役割をふまえ、大学と企画開発を行った。今後、講座運営を通して、講座内容、講座後の支援のあり方などについて課題を明らかにしていく。
情報提供・学習相談事業	学習成果を生かしたい市民の情報を、教育や生涯学習に関する指導・支援を必要とする地域や学校などからの求めに応じて提供する教育サポーターネットワークを運用するとともに、学習グループ情報の提供、情報誌「生涯学習なごや」の発行、生涯学習情報総合サイト「生涯学習Webナビなごや」による学習情報提供を行った。 また、市民ボランティア（生涯学習アドバイザー）による学習相談を実施した。 さらに、生涯学習資料を収集し、閲覧、貸し出しに供した。

事　業　名	内　　容
学習機会提供事業	市民の多様化・高度化する学習要求に応えることができる広域的・専門的な学習機会として「名古屋市民大学」や「市民大学公開講演会」を開設した。また、大学等高等教育機関との連携による「大学連携講座」を開設した。 ・名古屋市民大学　通年　1講座　受講者数　860人 後期　1講座　受講者数　36人 ・大学連携講座　前期　12講座　受講者数　589人 後期　15講座　受講者数　949人 ・市民大学公開講演会　６回　入場者数　2,001人
その他事業	連絡・連携のための事業 ・大学連携協議会　21大学　25人参加

（３）女性会館

ア　概　　要

沿　　革	女性教育の振興を図ることを目的に、女性教育の専門施設として設置された社会教育施設である。その性格は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として位置づけられ、女性教育のセンター的役割を果たすものとして、大井プール跡地に、昭和53年７月19日婦人会館として開館した。 平成３年５月女性情報センターの開設に伴い、女性会館と改称した。
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造　地下１階・地上４階建
敷地面積	3,380.34㎡
延床面積	5,730.50㎡　┌女性学習センター　3,434.18㎡┐ 　　└女性情報センター　2,296.32㎡┘
所　在　地	名古屋市中区大井町７番25号
休　館　日	第１日曜日、第３木曜日、国民の祝日に関する法律による休日、 年末年始（12月29日～１月３日）
開館時間	午前９時～午後９時（日曜日は午後５時まで） ただし、図書資料室は午前９時30分～午後８時30分（日曜日は午後４時30分まで）

	部屋名	面積（㎡）	定員（人）	部屋名	面積（㎡）	定員（人）
施設内容	大会議室	97.40	42	小会議室	26.70	12
	中会議室	49.80	24	文化活動室	108.00	50
	大研修室	141.60	150	託児室	87.00	—
	第４集会室	94.40	63	印刷室	32.00	—
	視聴覚室	144.60	126	ボランティアルーム	26.70	—
	視聴覚準備室	23.60	—	談話室	60.10	—
	第１研修室	70.80	54	ホール	350.00	350
	第２研修室	70.80	54	図書資料室	322.52	—
	第３研修室	70.80	54	第３集会室	37.78	18
	第４研修室	49.80	30	録音室	10.52	—
	生活科学研修室	81.00	54	学習相談室	11.74	—
	第１和室	97.00	18	グループ相談室	18.29	—
	第２和室		15	第１集会室	55.11	36
				第２集会室	36.77	22

イ　平成24年度事業内容

事業名		内容
学習機会提供事業	講座・講演会等	女性の主体的な学習を支援するため、女性の課題に対応した学習の機会を提供した。「女性の生き方・エンパワーメント」「現代的課題」「社会参画」「子育て」を４本柱として講座を開設したほか、講演会などを実施。 16講座　学習者数490人　14講演会・公開講座等2,979人
	なごや女性カレッジ	大学等の高等教育機関と連携して、女性の学習機会を提供することにより、女性の生涯学習及びリーダーとしての資質の向上を図るため実施。平成24年度は南山大学大学院教育ファシリテーション専攻と共催し、女性会館で託児付で実施。 学習者数36人
	託児	女性の学習、交流を支援するため、主催講座を中心に託児事業を実施。 講座託児・講演会託児・学習支援託児　102回　学習者数1,158人 託児室交流会　４回　学習者数119人 託児ボランティア研修会　６回　学習者数129人
グループ活動支援事業		自主的な学習活動・文化活動・ボランティア活動をしているグループを支援するため、研修会、交流会等を開催。日常活動の発表と市民の交流の場として、イーブネット・フェスティバル2012を開催。
学習相談事業		女性の学習課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら学び、情報収集できるよう学習相談を行った。相談件数　137件
情報収集提供事業		女性の学習に必要な図書・資料の収集・提供のほか、ホームページによる情報提供を行った。 図書資料室の運営　利用者数　延べ13,562人 ホームページ　アクセス件数　104,293件

ウ　平成24年度利用状況

区　分	大会議室	中会議室	小会議室	大研修室	第１研修室	第２研修室	第３研修室	第４研修室	第１和室	第２和室
利用件数	719	774	828	783	706	664	687	780	690	587
利用者数	14,627	7,817	5,478	19,936	13,442	11,834	12,384	7,740	3,903	3,124

区　分	生活科学研修室	視聴覚室	文化活動室	第１集会室	第２集会室	第３集会室	第４集会室	ホール	合　計
利用件数	637	601	833	763	796	812	753	420	12,833
利用者数	7,185	25,613	11,905	9,304	6,801	7,031	13,441	54,336	235,901

８　スポーツ施設

平成17年４月１日から冷水プールに指定管理者制度を導入。その他のスポーツ施設においては、平成18年４月１日から導入。

（１）名古屋市総合体育館（日本ガイシ スポーツプラザ）

沿　革	昭和60年４月に着工し、昭和62年３月竣工。開館昭和62年７月19日 平成４年４月、レインボープール（日本ガイシアリーナ）等を増築、開館 平成19年４月にネーミングライツを導入。
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構　造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造　地下１階・地上３階建
敷地面積	116,708.01㎡
延床面積	48,902.38㎡ 日本ガイシホール 13,399.70㎡　第２競技場 5,816.49㎡ 第３競技場 1,552.86㎡　日本ガイシアリーナ 14,547.11㎡ 50m温水プール 3,560.22㎡　弓道場 1,466.13㎡ 共用棟 3,051.45㎡　宿泊研修棟 1,505.11㎡ ｶﾞｲｼﾌｫｰﾗﾑ棟 4,003.31㎡
所在地	名古屋市南区東又兵ヱ町５丁目１番地の16
開館時間	午前９時から午後９時（ただし、選手控室兼軽運動室及び飛込練習室の日曜日及び祝日は午後６時、日本ガイシアリーナ、50m温水プール及び25m温水プールの専用使用時の日曜日及び祝日は午後５時、弓道場の日曜日及び祝日は午後４時30分）また、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プールの個人使用及びトレーニング室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）、宿泊研修室は午前０時（１月４日は午前９時）から午後12時（12月28日は午前９時）、駐車場は午前８時45分から午後９時30分
休館日	毎月第３月曜日（祝日の場合第４月曜日。ただし、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プール、弓道場及びトレーニング室は、祝日を除く毎週月曜日）、また、競泳プール・飛込プールは10月１日から翌年４月30日、日本ガイシアリーナアイスリンクは４月１日から10月31日、年末年始（12月29日～１月３日）

施設内容	日本ガイシホール　3,646㎡（49.4×84.4m）　観覧席　10,000席 第２競技場　1,638㎡（36×45.5m）　観覧席　480席 第３競技場（格技場－柔道、剣道各4面）826.5㎡　観覧席　200席 日本ガイシアリーナ（温度調節付） ┌競泳プール（夏季）50m　10コース　観覧席　3,500席 │飛込プール　25×25m └日本ガイシアリーナアイスリンク（冬季）60×30m 50m温水プール　50m　８コース　観覧席　244席 25m温水プール　25m　６コース（他に幼児用１コース） アーチェリー場　長さ90m×幅30m 弓道場　近的　12人立　遠的　８人立 トレーニング室　468㎡ その他 会議室・飛込練習室・幼児室・スポーツ健康相談室・宿泊研修室・選手控室兼軽運動室・レセプションホール・研修室・和室

〈平成24年度利用状況〉

区別／施設名	専用利用		個人利用
	件数	人数	人数
日本ガイシホール	135 （内、貴賓室30）	1,117,640 （内、貴賓室600）	―
第２競技場	1,016	193,720	―
第３競技場	1,046	54,736	688
アーチェリー場	86	2,725	5,875
会議室（Ⅰ）	189	3,751	―
競泳プール	236	57,992	3,175
飛込プール	83	21,130	1,914
日本ガイシアリーナアイスリンク	238	31,019	8,879
50m温水プール	828	30,579	47,828
25m温水プール	68	2,980	38,883
弓道場	257	49,857	9,005
会議室（Ⅱ）	329	9,252	―
飛込練習室	80	526	―
選手控室兼軽運動室	1,029	22,808	―
宿泊研修室	137	3,071	―
スポーツ情報センター	―	―	19,434
スポーツ資料展示室	―	―	1,054
レセプションホール	188	60,401	―
研修室	1,174	38,183	―
和室	301	7,915	―
トレーニング室	―	―	86,571
計	7,420	1,708,285	223,306

（２）名古屋市体育館

沿　　革	昭和25年開館の金山体育館が前身(昭和39年４月１日に総務局から教育委員会に移管）。市民会館建設のため取りこわし、昭和44年８月１日開館。
指定管理者	シンコースポーツ株式会社
構　　造	鉄筋コンクリート造２階建
敷地面積	5,386.6㎡
延床面積	4,330㎡
所　在　地	名古屋市熱田区六野二丁目５番３号
開館時間	午前９時から午後９時（第２及び第４日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後６時）
休　館　日	毎週月曜日（祝休日は開館）、年末年始（12月29日～１月３日）
施設内容	競技場　1,620㎡（36×45m）　　観覧席　908席
平成24年度利用状況	競技場　専用　　953件　　62,946人 会議室　専用　　204件　　2,566人

（３）名古屋市港サッカー場

沿　　革	平成５年３月竣工、平成５年９月開館		
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会		
構　　造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造		
敷地面積	36,722㎡	所　在　地	港区野跡四丁目11番12号
開場時間	４月から10月は午前９時から午後８時30分、11月から３月は午前９時から午後４時30分		
休　場　日	毎週月曜日（祝休日は開場）、年末年始（12月29日～１月３日）		
施設内容	サッカー場（20,000人収容）、会　議　室		
平成24年度利用状況	競技場　専用　　146件　　32,684人 会議室　専用　　39件　　1,460人		

（４）瑞穂運動場

瑞穂運動場は、本市の中心部からおよそ7.5㎞離れた東南部に位置し、都市公園として緑豊かな自然に恵まれた総面積24.348haの総合運動公園（瑞穂公園）の中にあり、'94「わかしゃち国体」のメイン会場にもなった陸上競技場を始め、ラグビー場、野球場、テニスコート、相撲場、弓道場、アーチェリー場、屋内・屋外プール、トレーニング室、宿泊研修室などの各種スポーツ施設が設置されている。これらの施設は身近な生活圏におけるスポーツ施設として利用される一方、全国的・国際的競技大会の開催が可能な拠点施設としても重要な役割を担っている。

＜瑞穂運動場の施設内容＞

施設名	所在地	敷　地	竣工年月	施　設　内　容
陸上競技場（第一種公認）	瑞穂区山下通５－１	33,386.88㎡	昭和16年２月 平成６年５月（改修）	○トラック １周400ｍ８コース　全天候舗装 3000ｍ障害物競走用トラック ○フィールド 走幅跳、三段跳施設６面 棒高跳施設６カ所 走高跳施設６カ所 槍投施設２面 砲丸投施設３カ所 円盤投、ハンマー投施設２面 ○芝生フィールド 天然芝（ティフトン芝・冬芝（ライグラス類）オーバーシーディング）106ｍ×71ｍ
北陸上競技場（第三種公認）	瑞穂区萩山町３－68－１	19,820.82㎡	昭和25年10月 平成５年５月（改築）	○トラック１周400ｍ８コース全天候舗装 ○フィールド（走高跳、走幅跳、棒高跳、槍投、砲丸投、円盤投、三段跳、ハンマー投） ○芝生フィールド 天然芝（高麗芝）102ｍ×69ｍ
田辺陸上競技場	瑞穂区田辺通３－２	7,541.31㎡	昭和54年３月 平成６年６月（改修）	○ソフトボール等多目的運動広場
レクリエーション広場	瑞穂区萩山町４－１	11,326.71㎡	平成６年５月	○トラック１周300ｍ （６コース可能）
ラグビー場	瑞穂区山下通５－４	26,000㎡	昭和25年10月 平成２年３月（改築）	○フィールド 天然芝（ティフトン芝・冬芝（ライグラス類）オーバーシーディング） 135ｍ×80ｍ
ラグビー練習場	〃	2,400㎡	平成６年５月	砂入人工芝（60ｍ×40ｍ）

収 容 人 員	附　　属　　設　　備　　等	平成24年度利用状況
メインスタンド 9,000人 身　障　者　席 50人 バックスタンド 18,000人	◦大型映像装置 ◦照明塔６基 夜間照明設備　1,500LX （１階）本部室、記録室、放送室、審判員室、役員室、報道関係者室、医務室、更衣室、シャワー室など （２階）会議室、観覧席、身障者用観覧席、練習走路など （３階）貴賓席、売店、観覧席など（スタンド階） 写真判定室、放送室、指令室など	専用　192件 469,878人 会議室　64件 2,720人
メインスタンド 1,500人 身障者席　10人 芝生スタンド 1,500人	観覧席（コンクリート造、一部芝生） ◦電光掲示板（磁気反転式） ◦本部室、役員室、更衣室など	専用　116件 155,350人 個人　15,597人
		専用　288件 16,630人
芝生スタンド 600人		専用　108件 106,340人
メインスタンド 6,500人 バックスタンド 5,400人 サイドスタンド 3,100人 身障者席　18人	観覧席（コンクリート造、一部芝生） ◦更衣室、シャワー室、会議室など ◦電光掲示板（磁気反転式） サッカー・アメリカンフットボール競技併用 夜間照明設備　500LX	専用　142件 104,860人 会議室　164件 3,390人
		専用　215件 15,550人

施設名	所在地	敷　地	竣工年月	施　設　内　容
野　球　場	瑞穂区豊岡通３－28	26,079.41㎡	昭和32年６月 平成３年３月 （改築）	両翼99.1m中堅122m 舗装材　内外野ロングパイル人工芝
相　撲　場	瑞穂区萩山町３－68－１	延床面積 170.82㎡	昭和49年３月 平成５年５月 （改築）	屋形付土俵　１面
弓　道　場	〃	※	昭和37年３月 平成５年５月 （改築）	近的　10人立　28m
アーチェリー場	〃	※	昭和43年10月 平成５年５月 （改築）	30m　50m　10人立
テニスコート	瑞穂区田辺通４－５	9,035.82㎡	昭和45年１月 (3面増設:54年3月) 平成７年６月 （改築）	硬式・軟式両用コート９面 （砂入人工芝コート）
プール	瑞穂区萩山町３－68－１	※	練　習 昭和40年７月 平成５年５月 （改築） 屋　内 昭和42年６月 平成５年５月 （改築）	○練習プール（冷水）25m×７コース 学童用、幼児用 ○屋内プール（温水） 25m×５コース 25m×１コース（学童用） 10m×５m（幼児用）
トレーニング室	〃	※	昭和42年６月 平成５年５月 （改築）	器具52　種類128点
宿泊研修室	〃	※	平成５年５月	和室10畳×10室　20畳×２室　計定員70人

注　※の合計は、23,003.36㎡

収 容 人 員	附　　属　　設　　備　　等	平成24年度利用状況
内野スタンド 6,000人 外野芝生スタンド 12,600人	観覧席（内野鉄筋コンクリート造２階建外野芝生） 会議室、本部席、記者席、放送室、審判控室、スコアボード、ダッグアウトなど 夜間照明設備　内野1,000LX　外野500LX バッテリー間　1,500LX	専用　461件 206,360人 会議室　28件 1,080人
スタンド　255人	練習場、更衣室	専用　13件 1,553人
	更衣室、師範席 夜間照明設備	専用　75件 2,867人 個人　7,160人
	更衣室 夜間照明設備	専用　71件 3,225人 個人　5,580人
スタンド 1,000人	更衣室 夜間照明設備 300LX	専用　8,900件 76,134人 会議室　73件 883人
		屋外練習プール 専用　0件 0人 個人　25,376人 屋内プール 専用　142件 10,467人 個人　53,783人
		78,802人
	ミーティングルーム 浴室、洗濯室	宿泊研修室　127件 2,937人

（５）スポーツセンター

施設名 / 区分	露橋 スポーツセンター	枇杷島 スポーツセンター	稲永 スポーツセンター	天白 スポーツセンター
開館年月日	昭和57年６月11日	昭和62年４月24日	平成元年７月11日	平成２年７月17日
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	日本空調サービス共同事業体
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造　地上３階地下１階建	鉄骨鉄筋コンクリート造、公営住宅棟の1・２階部分体育館棟３階建	鉄骨鉄筋コンクリート造２階建	鉄骨鉄筋コンクリート造４階建
敷地面積	5,170.53㎡	14,213.43㎡	26,000㎡	8,145.37㎡
延床面積	9,672.30㎡	9,783.13㎡	9,792.91㎡	9,793.91㎡
所在地	中川区露橋二丁目14-１	西区枇杷島一丁目１－２	港区野跡五丁目１-10	天白区植田三丁目1502
開館時間	午前９時から午後９時（第２及び第４日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後６時）また、プール・トレーニング室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）			
休館日	金曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始
施設内容	競技場　45×36m 観覧席　1,326席 柔道場497㎡（２面） 観覧席　105席 剣道場　497㎡（２面） 観覧席　105席 トレーニング室 249㎡ 屋内プール温水 25m　４コース （他に幼児用１コース）	第１競技場 45×36m 観覧席　1,750席 第２競技場 （格技場）525㎡ 観覧席　104席 トレーニング室 348㎡ 屋内プール温水25m ６コース（他に幼児用１コース） 軽運動室　305㎡ 弓道練習場（近的）６人立	第１競技場 46.5×35.5m 観覧席　3,441席 第２競技場 33.5×23m 観覧席　144席 トレーニング室 427㎡ 軽運動室　353㎡ 弓道練習場（近的）６人立	第１競技場　36×45m 観覧席　1,252席 第２競技場 33×15.5m 観覧席　104席 トレーニング室　384㎡ 屋内プール温水 25m　５コース （他に学童用1コース・幼児用 50㎡） 軽運動室　252㎡ 弓道練習場（近的）６人立
平成24年度利用状況	競技場 専用1,229件 73,855人 柔道場 専用 273件 21,494人 個人　13,766人 剣道場 専用 612件 26,837人 個人　1,947人 トレーニング室 個人　59,088人 屋内プール 専用　69件 1,316人 個人　29,034人 会議室 専用　343件 8,581人	第１競技場 専用1,077件 94,431人 第２競技場 専用648件 32,383人 個人　3,606人 トレーニング室 個人　62,999人 屋内プール 専用 67件　3,093人 個人　46,368人 軽運動室 専用 2,084件 17,564人 弓道練習場 専用 15件　277人 個人　3,186人 会議室 専用 482件 11,006人	第１競技場 専用792件 86,351人 第２競技場 専用885件 28,967人 トレーニング室 個人　58,045人 軽運動室 専用1,465件25,921人 弓道練習場 専用　31件　405人 個人　3,779人 会議室 専用 442件 7,721人	第１競技場 専用 1,340件 70,809人 第２競技場 専用1,169件 34,293人 トレーニング室 個人　81,944人 屋内プール 専用 133件　3,612人 個人　77,884人 軽運動室 専用1,730件 27,074人 弓道練習場 専用　25件　427人 個人　3,956人 会議室 専用1,233件 17,202人

緑 スポーツセンター	北 スポーツセンター	中 村 スポーツセンター	名 東 スポーツセンター
平成４年７月17日	平成４年７月23日	平成６年７月20日	平成９年10月７日
株式会社ＪＰＮ	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
鉄骨鉄筋コンクリート造 地上２階・地下１階	鉄骨鉄筋コンクリート造３階建	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上３階・地下１階	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) ３階建
13,011.75㎡	12,591.93㎡	10,365.44㎡	12,408.06㎡
9,799.44㎡	9,714.79㎡	9,796.58㎡	14,312.88㎡
緑区相原郷一丁目2901	北区成願寺一丁目6-12	中村区中村町字待屋43-1	名東区猪高町大字高針字勢子坊307番地の12
午前９時から午後９時（第２及び第４日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後６時）また、プール・トレーニング室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）			
月曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始
第１競技場　36×45m 観覧席　1,123席 第２競技場　35×15m 観覧席　177席 トレーニング室　402㎡ 屋内プール温水 25m　６コース （他に学童用1コース・幼児用 50㎡） 軽運動室　265㎡ 弓道練習場(近的)　６人立	第１競技場　36×45m 観覧席　1,118席 第２競技場　35×15m 観覧席　100席 トレーニング室　395㎡ 屋内プール温水 25m　６コース （他に学童用1コース・幼児用 50㎡） 軽運動室　228㎡ 弓道練習場(近的)　６人立	第１競技場　36×45m 観覧席　1,268席 第２競技場　33×15m 観覧席　100席 トレーニング室　400㎡ 屋内プール温水 25m　６コース （他に学童用 60㎡・幼児用 45㎡） 軽運動室　240㎡ 弓道練習場(近的)　６人立	第１競技場　36×45m 観覧席　1,196席 第２競技場　34×17.2m 観覧席　102席 トレーニング室　326㎡ 屋内プール温水 25m ６コース (他に学童用1コース・幼児用 50㎡) 軽運動室　264㎡
第１競技場 専用 1,548件　55,342人 第２競技場 専用　831件 31,780人 個人　1,779人 トレーニング室 個人　78,319人 屋内プール 専用　88件　3,702人 個人　74,934人 軽運動室 専用 1,867件 22,414人 弓道練習場 専用　20件　395人 個人　4,260人 会議室 専用 280件　3,931人	第１競技場 専用 1,319件　51,426人 第２競技場 専用　758件　24,404人 個人　1,051人 トレーニング室 個人　63,930人 屋内プール 専用　113件　4,238人 個人　69,662人 軽運動室 専用 1,800件　11,965人 弓道練習場 専用　33件　730人 個人　2,403人 会議室 専用 317件　5,080人	第１競技場 専用 1,228件　95,856人 第２競技場 専用　679件　29,151人 個人　1,774人 トレーニング室 個人　78,348人 屋内プール 専用　112件　3,463人 個人　81,041人 軽運動室 専用 1,796件　25,930人 弓道練習場 専用　11件　293人 個人　4,398人 会議室 専用　679件　12,323人	第１競技場 専用　1,400件 93,130人 第２競技場 専用　1,321件 35,057人 トレーニング室 個人　61,459人 屋内プール 専用　58件 1,164人 個人　67,399人 軽運動室 専用　1,750件 21,509人 会議室 専用　446件 5,955人

千　種 スポーツセンター	中 スポーツセンター	東 スポーツセンター	昭　和 スポーツセンター	守　山 スポーツセンター
平成10年７月15日	平成13年７月11日	平成14年11月１日	平成14年２月18日	平成22年12月１日
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	ＭＴ共同事業体	株式会社愛知スイミング	守山エス・アンド・エス株式会社
鉄骨鉄筋コンクリート造４階建	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上４階地下１階建	鉄骨鉄筋コンクリート、鉄骨造 地上５階地下１階建	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上３階建	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上３階建
7,646.47㎡	3,221.72㎡	10,639.47㎡	8,290.69㎡	11,660.81㎡
9,799.13㎡	8,335㎡	10,196.70㎡	8,733.44㎡	10,386.13㎡
千種区星が丘山手121	中区栄一丁目30-10	東区大幸南一丁目 1-10	昭和区吹上二丁目 6-15	守山区竜泉寺二丁目112
午前９時から午後９時（第２及び第４日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後６時）また、プール・トレーニング室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）				
金曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始	月曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始	金曜日（祝日を除く）、年末年始
第１競技場 36×45m 観覧席　1,136席 第２競技場 32×15.5m 観覧席　104席 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　349㎡ 屋内プール温水 25m ６コース （他に学童用1コース・幼児用 35㎡） 軽運動室　246㎡ アーチェリー練習場 （30m）　６人立	第１競技場 31.5×36.5m 観覧席　498席 第２競技場 15×28m 観覧席　72席 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　440㎡ 屋内プール温水 25m ４コース （他に学童用１コース・幼児用・ジャグジー） 軽運動室　270㎡	第１競技場 36×45m 観覧席　981席 第２競技場31×15.4m 観覧席94席 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　380㎡ 屋内プール温水25m ５ｺｰｽ（他に学童用1ｺｰｽ・歩行用1ｺｰｽ・幼児用50㎡） 軽運動室　215㎡ 弓道練習場(近的) ６人立 スポーツ広場 3×3ﾊﾞｽｹｺｰﾄ1面	第１競技場 36×34m 観覧席　512席 第２競技場 31.8×14.9m 観覧席　103席 ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　347㎡ 屋内プール温水 25m ５コース （他に学童用１コース・歩行用1コース・幼児用） 軽運動室　229㎡	第１競技場 44.8×34.5m 観覧席　1259席 （内車椅子4席） 第２競技場 30×17m 観覧席　106席 （内車椅子2席） ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室　343㎡ 屋内プール温水 25m ５コース （他に学童用１コース・幼児用） 軽運動室　282㎡ 屋外ﾌｯﾄｻﾙｺｰﾄ（民間設置施設）　25×15m
第１競技場 専用1,177件85,131人 第２競技場 専用 777件 51,973人 個人　3,634人 トレーニング室 個人　76,708人 屋内プール 専用 183件 8,383人 個人　80,836人 軽運動室 専用　1,943件 21,649人 アーチェリー練習場 専用　46件 1,100人 個人　3,853人 会議室 専用　745件 9,429人	第１競技場 専用　1,379件 43,494人 第２競技場 専用　1,119件 26,923人 トレーニング室 個人　85,164人 屋内プール 専用 60件 1,259人 個人　53,925人 軽運動室 専用　1,707件 17,445人 軽運動室兼会議室 専用　2,814件 12,214人 会議室 専用　830件 9,023人	第１競技場 専用　1,182件 87,917人 第２競技場 専用　794件 31,185人 個人　1,782人 トレーニング室 個人　92,611人 屋内プール 専用 246件8,507人 個人　86,060人 軽運動室 専用1,989件18,248人 会議室 専用　720件 10,807人 弓道練習場 専用 81件 1,551人 個人　7,231人 スポーツ広場 1,071件　4,428人	第１競技場 専用　1,148件 45,216人 第２競技場 専用　1,028件 39,839人 トレーニング室 個人　74,983人 屋内プール 専用　146件 6,525人 個人　79,119人 軽運動室 専用　2,212件 18,579人 会議室 専用　993件 12,687人	第１競技場 専用1,411件55,274人 第２競技場 専用　1,193件 30,388人 トレーニング室 個人　71,192人 屋内プール 専用 209件4,722人 個人　61,172人 軽運動室 専用　2,673件 20,157人 会議室 専用　439件 6,456人 屋外ﾌｯﾄｻﾙｺｰﾄ（民間設置施設） 615件 5,411人

（６）名古屋市名城庭球場

開設年月日	昭和41年４月１日	所　在　地	北区名城一丁目３－３
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	敷地面積	17,662㎡
構　　造	アンツーカ		
開場時間	４月から９月は午前６時から午前８時及び午前９時から午後９時、 10月は午前９時から午後９時、 11月から１月は午前９時から午後４時、 ２月及び３月は午前９時から午後５時	休場日	毎月第２月曜日（祝・休日の場合は第３月曜日）及び年末年始（12月29日から１月３日）。 ただし、４月から９月の午前６時から午前８時については毎週月曜日
施設内容	観覧席付コート１面、その他のコート14面（全面夜間照明設備）		
平成24年度 利用状況	専用　14,029件　　71,529人		

（７）名古屋市黒川スポーツトレーニングセンター

開設年月日	平成９年９月11日	所　在　地	北区清水四丁目17－17
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	敷地面積	5,411.85㎡の一部
構　　造	鉄筋コンクリート造地上６階地下２階建ての一部		
開場時間	午前９時から午後９時（日曜日及び祝日は午後６時）また、トレーニング室及び浴室サウナ室は午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）	休場日	毎週月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	トレーニング室、浴室サウナ室、軽運動室		
平成24年度 利用状況	トレーニング室　個人　　75,001人 軽運動室　　専用　1,532件　24,492人		

（８）名古屋市上社レクリエーションルーム

開設年月日	平成10年６月16日	所　在　地	名東区上社一丁目802番地 上社ターミナルビル３階
指定管理者	公益財団法人 名古屋市文化振興事業団	敷地面積	948.63 ㎡
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下２階地上８階建（内３階）		
開場時間	午前９時から午後９時（日曜日及び祝日は午後６時）	休場日	毎週月曜日（祝休日の場合は開館）及び年末年始
施設内容	軽運動室（１）、軽運動室（２）、軽運動室兼会議室		
平成24年度 利用状況	軽運動室（１）専用　1,488件　15,253人 軽運動室（２）専用　1,098件　21,754人		軽運動室兼会議室 専用　1,311件　10,456人

（９）名古屋市志段味スポーツランド、名古屋市武豊野外活動センター

施設名／区分	志段味スポーツランド	武豊野外活動センター
沿革	昭和60年７月20日開所（体育館昭和62年４月18日開館、流水プール等平成２年７月１日増設、平成22年４月１日屋外プール廃止）	昭和63年４月30日開所
指定管理者	株式会社ＪＰＮ	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
敷地面積	約　98,000㎡	約　208,000㎡
所在地	名古屋市守山区大字下志段味字生下り2287番地の１	愛知県知多郡武豊町字下山ノ田64番地の46
休場日	毎週月曜日（祝日を除く。）、年末年始（12月29日～１月３日）	毎週月曜日（祝日を除く。）、年末年始（12月29日～１月３日）
施設内容	《体育館》 競技場　1,092㎡（約34×32m） 観覧席　350席 トレーニング室　200㎡ 会議室（兼軽運動室）　80㎡ 《庭球場》 テニス・ソフトテニス両用コート14面（全天候型砂入人工芝） 《少年野球場》8,900㎡	《庭球場》 テニス・ソフトテニス両用コート４面（全天候型） 《野球場》 １面（軟式野球、ソフトボール、その他） 《キャンプ場》 25テント（最大収容人員200名） 《その他の施設》 フィールドアスレチック10ポイント、芝生広場（約4,500㎡）、サークル広場（約700㎡）、散策路（約１km）
平成24年度利用状況	庭球場 専用　7,382件　87,932人 少年野球場 専用　333件　26,708人 競技場 専用　1,443件　44,267人 トレーニング室 個人　45,355人 会議室（兼軽運動室） 専用　778件　11,671人	庭球場 専用　558件　2,688人 野球場 専用　92件　6,957人 キャンプ場 専用　327件　7,474人 フィールドアスレチック等の無料施設利用者 団体利用　4,054人 個人利用　63,362人

(10) 名古屋市プール（冷水）

名　称	所在地	開設	指定管理者	施設内容	平成24年度利用状況
港プール	港区当知一丁目1401番地	昭和34年７月 平成３年改築	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m ７コース 学童、幼児プール	19,315
名城プール	北区名城一丁目２番13号	昭和39年７月 平成７年改築	株式会社ＪＰＮ	練習プール25m ５コース 学童、幼児プール	17,666
中川プール	中川区北江町３丁目１番地	昭和40年７月 平成10年改修	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m ７コース 幼児プール	7,019
守山プール	守山区村合町197番地	昭和44年７月	株式会社ＪＰＮ	練習プール25m ７コース 幼児プール	13,480
熱田プール	熱田区六野二丁目５番２号	昭和45年７月	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m ７コース 幼児プール	12,849
楠プール	北区若鶴町126番地	昭和57年７月	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	練習プール25m ７コース 学童、幼児プール	5,292
山田プール	西区五才美町236番地の１	昭和59年７月	株式会社ＪＰＮ	練習プール25m ７コース 学童、幼児プール	10,844
富田プール	中川区東かの里町809番地	昭和63年７月	株式会社ＪＰＮ	練習プール25m ７コース 学童、幼児プール	7,971

（11）名古屋市プール（温水）

名　称	鳴海プール	香流橋プール	山田西プール
沿　革	昭和47年６月１日開場	昭和54年８月７日開場 （平成10年12月５日改築移転）	昭和61年11月11日開場
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	株式会社ＪＰＮ	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構　造	鉄筋コンクリート造平家建	鉄筋コンクリート造３階建 （プール部分は２階）	鉄筋コンクリート造２階建 一部平家建
敷地面積	2,037.76㎡	4,125㎡（地域センターとの共用部分含む）	5,197.91㎡
延床面積	1,419.38㎡	3,813.40㎡（地域センターとの共用部分含む）	1,887.50㎡
所在地	緑区浦里一丁目66番地	千種区香流橋一丁目２番35号	西区長先町173番地
開場時間	午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）	午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）	午前10時から午後８時30分（日曜日及び祝日は午後６時）
休場日	祝日を除く金曜日、 年末年始（12/29～１/３）	祝日を除く月曜日、 年末年始（12/29～１/３）	
施設内容	屋内温水プール ・練習用25m　６コース ・幼児用25m　１コース	屋内温水プール ・練習用25m　５コース ・歩行用25m　１コース ・学童用、幼児用 ・ジャグジー	屋内温水プール ・練習用25m　５コース （入水用スロープ有） ・学童用、幼児用
平成24年度利用状況	個人利用　42,757人 専用利用　359件 9,493人	個人利用　90,110人 専用利用　231件 10,464人	個人利用　41,258人 専用利用　130件 2,539人

名　　称	南　　陽　　プ　　ー　　ル	富　　田　　北　　プ　　ー　　ル
沿　　革	昭和60年６月８日開場	平成元年11月18日開場
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構　　造	鉄筋コンクリート造平屋建	鉄筋コンクリート造２階建 一部平家建
敷地面積	7,008㎡	6,772.42㎡
延床面積	2,762㎡	2,990.58㎡(地域センターとの共用部分を含む)
所　在　地	港区藤前四丁目701番地	中川区吉津四丁目3201番地
開場時間	午前９時から午後９時(日曜日及び祝日は午後６時) また、プール・トレーニング室は午前10時から午後８時30分(日曜日及び祝日は午後６時)	午前９時から午後９時(日曜日及び祝日は午後６時) また、プールは午前10時から午後８時30分(日曜日及び祝日は午後６時)
休　場　日	祝日を除く金曜日 年末年始（12/29～１/３）	祝日を除く月曜日 年末年始（12/29～１/３）
施設内容	屋内温水プール ・50m　６コース （練習用、学童用、幼児用） トレーニング室　200㎡ 軽運動室　146㎡ 会議室　97㎡	屋内温水プール ・練習用25m　６コース ・学童用、幼児用 体育室　608㎡
平成24年度利用状況	屋内プール 個人利用　43,305人 専用利用　53件 1,566人 トレーニング室 個人利用　32,670人 軽運動室 専用利用　1,619件 8,924人 会議室 専用利用　62件 928人	屋内プール 個人利用　72,084人 専用利用　56件 2,463人 体育室 専用利用　1,381件 19,705人

第７章　学　校　開　放

１　学校開放の概況

教育委員会では、市立の小・中・高等学校の施設を、市民のスポーツや学習、レクリエーションの場、若しくは団体活動の場として開放することにより、市民の健康増進、体力向上、情操のかん養、教養の向上等に寄与することを目的として、次の学校開放事業を行っている。

２　学　校　開　放

（１）トワイライトスクール

放課後などに子どもたちが学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の大人と交流することなどを通して、子どもたちの自主性、社会性、創造性などを育むトワイライトスクールを小学校251校（平成25年３月31日現在）において実施した。

（対　　象）参加を希望する児童
（活動場所）放課後学級プレイルーム、体育館及び運動場等
（活 動 日）月曜日～土曜日（祝日、年末年始は休み）
（活動日時）授業のある日……授業終了後～午後６時
　　授業のない日……午前９時～午後６時

※トワイライトスクールと留守家庭児童健全育成事業の良い面を取り入れながら、すべての子どもたちが豊かで健やかに放課後を過ごすことができることを目指す名古屋市放課後子どもプラン（仮称）の創設へ向けて、モデル事業を10校にて実施した。（平成21年４月に８校、平成22年１月に２校、トワイライトスクールからモデル事業へ移行。）

平成24年度 トワイライトスクール参加状況

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
内山	286	3,438	平成18年5月19日
春岡	289	8,023	平成10年9月4日
千種	288	8,134	平成15年5月19日
高見	289	7,388	平成12年6月12日
大和	289	3,346	平成19年5月24日
田代	288	10,865	平成14年6月5日
上野	288	7,959	平成11年7月16日
東山	289	13,670	平成12年5月19日
自由ケ丘	289	7,875	平成20年6月27日
千石	292	3,587	平成21年3月9日
富士見台	292	17,170	平成14年5月29日
星ヶ丘	289	5,236	平成18年5月11日
宮根	287	5,777	平成16年5月31日
千代田橋	287	7,324	平成17年6月13日
見付	289	9,618	平成13年5月31日
旭丘	286	8,950	平成14年10月17日
筒井	286	5,404	平成12年5月8日
東桜	285	5,336	平成19年6月4日
矢田	289	10,910	平成11年11月1日
山吹	286	9,978	平成14年6月3日
東白壁	287	5,055	平成16年5月27日
葵	286	5,134	平成18年5月25日
明倫	288	3,756	平成17年6月30日
飯田	289	7,846	平成16年5月11日
大杉	288	3,478	平成20年5月27日
清水	287	10,050	平成12年6月1日
杉村	289	4,008	平成19年5月31日
名北	287	8,861	平成14年6月3日
城北	284	6,580	平成13年6月18日
六郷	287	4,859	平成19年5月28日
楠	289	9,734	平成19年6月21日
光城	292	7,214	平成14年5月13日
東志賀	285	3,359	平成19年6月21日
味鋺	284	5,496	平成18年6月1日
西味鋺	292	8,159	平成17年6月9日
楠西	289	6,505	平成15年6月19日
如意	288	8,009	平成10年9月3日
宮前	292	8,387	平成12年4月22日
川中	287	4,513	平成18年6月1日
六郷北	290	6,182	平成18年5月11日
辻	284	10,202	平成13年5月19日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
榎	287	5,034	平成15年6月5日
幅下	292	4,518	平成14年5月20日
栄生	289	6,774	平成19年5月31日
上名古屋	288	6,021	平成17年6月16日
城西	284	5,717	平成13年6月1日
児玉	289	9,995	平成9年10月9日
枇杷島	286	5,921	平成18年5月29日
南押切	289	3,615	平成19年6月7日
江西	287	4,296	平成19年5月31日
那古野	288	6,953	平成20年6月4日
庄内	287	10,757	平成12年5月13日
稲生	288	11,001	平成13年6月16日
山田	292	11,495	平成18年6月1日
平田	287	10,243	平成11年9月20日
比良	292	6,341	平成17年2月3日
大野木	286	11,635	平成19年5月24日
浮野	287	7,331	平成14年6月3日
比良西	292	8,543	平成12年5月29日
中小田井	289	11,503	平成20年6月10日
中村	288	3,303	平成18年5月25日
米野	282	5,868	平成19年5月17日
日比津	291	6,164	平成19年4月23日
柳	286	7,147	平成12年5月29日
稲葉地	287	11,274	平成11年7月14日
日吉	288	6,664	平成16年5月20日
岩塚	287	8,843	平成12年5月11日
豊臣	288	5,293	平成14年5月16日
千成	287	6,892	平成15年5月19日
諏訪	288	9,114	平成10年9月3日
稲西	288	4,701	平成18年5月22日
八社	287	9,792	平成13年5月28日
ほのか	288	9,940	平成17年6月21日
笹島	288	4,828	平成22年4月12日
名城	286	7,416	平成20年11月28日
栄	287	4,802	平成11年7月2日
新栄	285	2,208	平成20年10月7日
松原	289	5,653	平成12年5月25日
橘	286	5,067	平成18年5月25日
平和	287	5,610	平成14年6月6日
老松	289	4,701	平成17年5月26日
正木	289	5,637	平成19年6月18日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
千早	289	3,160	平成15年5月29日
御園	286	2,219	平成20年6月20日
鶴舞	288	4,035	平成10年7月13日
吹上	287	4,928	平成17年6月6日
村雲	287	5,869	平成18年6月8日
松栄	292	13,869	平成16年5月18日
御器所	285	7,230	平成11年10月7日
八事	285	3,896	平成20年6月13日
白金	287	3,240	平成13年5月14日
川原	289	4,894	平成18年6月5日
滝川	288	8,592	平成19年5月31日
伊勝	284	4,936	平成14年5月27日
御劔	288	5,544	平成16年5月13日
堀田	289	7,736	平成13年6月21日
汐路	290	7,896	平成12年5月13日
高田	289	7,976	平成14年5月30日
瑞穂	288	6,668	平成18年5月22日
井戸田	288	7,345	平成15年5月26日
穂波	287	7,806	平成10年9月3日
豊岡	286	5,951	平成18年6月12日
陽明	289	6,987	平成13年5月24日
中根	287	9,352	平成18年5月18日
旗屋	287	9,488	平成11年7月13日
千年	287	8,346	平成17年5月30日
船方	292	15,253	平成12年6月15日
白鳥	286	7,434	平成15年6月16日
野立	288	5,781	平成20年6月17日
大宝	288	7,416	平成18年6月1日
広見	287	4,534	平成19年9月20日
露橋	289	10,457	平成16年6月10日
愛知	292	4,470	平成13年5月28日
八熊	289	5,422	平成15年6月9日
昭和橋	287	11,091	平成11年7月15日
常磐	289	12,124	平成18年5月29日
八幡	287	12,824	平成15年6月19日
荒子	287	11,388	平成14年6月6日
正色	286	5,916	平成19年5月21日
篠原	285	11,826	平成18年6月19日
戸田	290	12,444	平成14年5月23日
豊治	285	9,124	平成19年5月17日
千音寺	292	12,312	平成18年6月12日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
長須賀	287	8,008	平成20年5月30日
万場	289	9,987	平成16年5月24日
野田	285	9,593	平成15年6月2日
明正	286	8,552	平成19年5月17日
中島	287	7,899	平成12年5月22日
玉川	286	7,794	平成19年5月21日
西中島	279	8,545	平成19年5月21日
五反田	283	15,747	平成13年5月17日
春田	289	10,954	平成12年6月26日
赤星	287	10,131	平成20年5月23日
西前田	285	7,799	平成17年6月24日
東築地	289	12,814	平成15年6月13日
中川	286	4,874	平成19年5月10日
大手	292	9,893	平成17年4月21日
港西	288	12,395	平成13年5月31日
小碓	287	9,373	平成15年5月26日
西築地	286	6,386	平成19年6月21日
高木	285	8,733	平成19年6月18日
南陽	286	9,050	平成12年5月29日
港楽	288	9,308	平成18年5月29日
成章	292	6,481	平成18年5月25日
明徳	289	10,043	平成9年10月28日
稲永	289	13,698	平成13年6月21日
東海	285	6,397	平成16年5月24日
野跡	286	9,099	平成17年5月19日
当知	289	9,043	平成19年6月14日
正保	287	8,276	平成12年5月8日
神宮寺	286	4,665	平成11年9月3日
西福田	286	7,358	平成14年5月15日
福田	286	10,890	平成16年6月17日
福春	286	8,028	平成18年4月1日
豊田	287	14,036	平成13年6月7日
明治	286	7,823	平成15年5月26日
呼続	288	5,730	平成16年6月3日
白水	288	4,529	平成12年5月30日
桜	288	4,153	平成17年5月23日
道徳	288	7,308	平成13年6月9日
大生	287	3,110	平成15年5月19日
大磯	288	6,019	平成14年6月3日
千鳥	292	3,440	平成18年5月18日
菊住	284	6,940	平成11年7月14日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
宝	289	6,723	平成21年1月20日
柴田	287	5,506	平成19年6月14日
伝馬	284	8,662	平成14年5月16日
星崎	287	7,644	平成19年7月2日
春日野	287	6,715	平成18年6月8日
笠東	286	6,861	平成18年6月8日
宝南	287	7,605	平成21年1月16日
大森	289	6,634	平成16年5月10日
小幡	289	12,262	平成12年6月26日
守山	287	9,527	平成12年6月15日
廿軒家	289	16,279	平成15年5月22日
鳥羽見	289	7,196	平成20年6月27日
瀬古	289	14,148	平成18年6月29日
志段味東	289	11,000	平成14年10月7日
志段味西	290	12,096	平成20年6月6日
白沢	287	10,710	平成14年6月20日
本地丘	288	7,058	平成17年5月19日
二城	289	7,481	平成20年6月3日
森孝東	291	3,052	平成21年1月30日
森孝西	288	5,154	平成11年9月2日
西城	289	6,287	平成19年6月1日
大森北	288	7,129	平成13年5月21日
小幡北	287	8,238	平成10年7月15日
吉根	287	20,438	平成19年6月21日
下志段味	281	11,486	平成24年4月9日
鳴海	287	12,883	平成12年5月15日
平子	287	10,617	平成15年5月22日
鳴海東部	288	12,740	平成18年5月31日
東丘	286	10,424	平成19年6月21日
鳴子	284	6,266	平成19年5月28日
有松	287	13,129	平成20年7月11日
大高	287	11,601	平成14年5月20日
緑	284	5,817	平成19年6月18日
片平	287	8,586	平成15年5月29日
戸笠	288	6,392	平成13年5月31日
太子	284	5,821	平成18年5月11日
旭出	288	8,663	平成14年5月27日
浦里	289	7,111	平成11年7月15日
黒石	287	6,348	平成19年5月24日
神の倉	285	8,921	平成24年3月12日
長根台	287	5,157	平成16年6月10日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
桶狭間	289	11,640	平成18年6月8日
相原	288	10,423	平成13年5月14日
桃山	288	10,264	平成17年5月26日
大高北	292	11,600	平成20年5月30日
大高南	217	5,596	平成24年6月28日
徳重	289	12,664	平成20年10月31日
滝ノ水	288	11,803	平成17年6月9日
大清水	288	12,975	平成20年6月27日
常安	287	8,915	平成10年7月13日
小坂	289	10,565	平成15年6月30日
熊の前	287	12,712	平成20年6月20日
猪高	289	8,331	平成14年6月17日
藤が丘	286	8,735	平成16年5月28日
香流	288	11,673	平成20年5月16日
猪子石	287	6,754	平成18年5月25日
高針	288	9,289	平成15年5月19日
西山	286	11,960	平成11年10月1日
名東	288	5,856	平成20年6月3日
梅森坂	288	7,860	平成17年5月23日
蓬莱	289	8,997	平成19年5月28日
本郷	288	7,632	平成12年4月10日
貴船	287	9,921	平成20年7月4日
上社	289	8,965	平成14年5月20日
豊が丘	286	7,885	平成19年6月4日
引山	289	7,976	平成12年6月15日
極楽	287	9,711	平成10年9月2日
平和が丘	288	5,133	平成13年5月24日
前山	292	10,226	平成13年5月17日
北一社	291	4,696	平成19年6月4日
牧の原	285	8,136	平成18年5月15日
天白	290	14,196	平成11年7月15日
野並	287	9,893	平成12年4月27日
八事東	285	9,742	平成16年4月26日
表山	287	12,915	平成18年5月25日
平針	287	8,518	平成15年5月15日
平針南	227	5,295	平成24年6月18日
植田	288	10,932	平成21年11月2日
しまだ	228	4,191	平成24年6月21日
山根	288	10,401	平成17年6月9日
相生	286	3,890	平成14年6月3日
大坪	287	11,565	平成15年6月5日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
原	287	11,493	平成19年6月12日
植田南	289	8,938	平成21年11月26日
平針北	289	4,886	平成13年6月18日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	事業開始日
植田北	288	9,546	平成18年5月29日
植田東	288	10,747	平成21年6月24日

平成24年度 放課後子どもプランモデル事業参加状況

区分／学校名	活動日数	参加児童数	モデル事業開始日
砂田橋	292	7,842	H21年4月1日
金城	292	12,093	H22年1月4日
牧野	292	3,986	H21年4月1日
大須	292	4,610	H21年4月1日
広路	292	6,909	H22年1月4日

区分／学校名	活動日数	参加児童数	モデル事業開始日
弥富	292	13,471	H21年4月1日
高蔵	292	9,038	H21年4月1日
笠寺	292	10,936	H21年4月1日
天子田	292	8,543	H21年4月1日
南陵	292	9,216	H21年4月1日

ア　生涯学習開放

地域の身近な施設である学校を、生涯学習や生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として有効に活用するため、施設の開放を小学校27校において実施した。

（開放施設等）

開放施設	開　放　日	開　放　時　間
体育館 特別活動室 視聴覚室 多目的室 音楽室 研修会議室	平　日（月曜日を除く。）	午後６時から午後９時まで
	土曜日、日曜日、休日 （月曜日を除く。）	午前９時から午後５時まで
運動場	土曜日、日曜日、休日 （月曜日を除く。）	午前９時から午後５時まで
図書室	週３日の範囲内で学校の実情により適宜定める日	午前９時から午後９時までの間で概ね３時間
プール	夏季休業期間中の概ね20日間	午前９時から午後５時までの間で概ね３時間

（注）　開放施設は学校ごとに異なる

（休　館　日）月曜日、12月23日から１月６日まで

（平成 24 年度利用者数）

区分 学校名	体育館	特別活動室等	運動場	図書室	音楽室	研修会議室	プール	合　計
	人	人	人	人	人	人	人	人
高　見	－	－	－	－	－	－	1,772	1,772
見　付	9,446	1,508	－	276	－	－	－	11,230
旭　丘	4,466	－	7,906	3,696	－	－	1,440	17,508
矢　田	6,243	－	－	－	－	466	－	6,709
山　吹	5,320	1,167	6,611	727	1,006	－	－	14,831
比良西	1,769	－	2,790	－	－	－	－	4,559
諏　訪	4,906	309	5,626	480	7	－	－	11,328
松　原	4,483	－	5,795	441	247	1,909	－	12,875
吹　上	－	－	－	－	－	－	399	399
滝　川	4,527	1,986	6,806	－	－	－	－	13,319
穂　波	1,009	463	1,131	1,089	520	－	－	4,212
八　熊	6,532	1,134	3,040	674	654	－	782	12,816
春　田	2,009	－	3,592	－	－	400	－	6,001
明　徳	2,851	－	2,576	609	－	－	－	6,036
東　海	2,100	－	2,582	－	－	261	－	4,943
神宮寺	2,264	771	1,650	441	－	－	－	5,126
明　治	5,167	454	9,873	1,693	－	－	961	18,148
道　徳	6,362	2,383	2,645	602	－	－	1,286	13,278
伝　馬	7,520	663	3,240	521	251	－	－	12,195
守　山	4,137	－	3,756	－	－	140	－	8,033
森孝西	1,857	64	1,555	233	364	－	－	4,073
相　原	5,626	－	2,827	－	－	322	－	8,775
常　安	7,016	4,784	2,949	662	1,949	－	1,709	19,069
本　郷	6,994	900	3,949	－	－	1,307	－	13,150
極　楽	5,893	959	6,478	1,040	－	－	－	14,370
表　山	4,970	1,793	2,965	349	17	－	－	10,094
相　生	4,210	－	2,245	－	－	222	－	6,677

（注）特別活動室等は、特別活動室、視聴覚室及び多目的室

（２）小学校施設の一般開放

小学校の特別教室（会議用）、体育館及び運動場を午後６時から午後９時まで（ただし、休業日は午前９時から午後９時まで）、その小学校の通学区域内の住民をもって組織する各種団体の連合組織で教育委員会が適当と認めるものが使用する場合に、一年を単位として目的外使用の許可をしている。

＜小学校施設一般開放実施校＞　（平成25年５月１日現在）

区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂
一般開放実施校	内山 千種 千石 高見 上野根 宮代 田山 東	東桜	清水 金城 東志賀 光城 如意 楠西 飯田 杉村 大杉 名北 城北 六郷 宮前 川中 辻北 郷銃 六味 西	栄生 城西 城西 江西 南押切	豊臣 日吉 ほのか	橘	御器所 川原 白金 伊勝	高田 井戸田 陽明 瑞穂 中根
計	8	1	17	4	3	1	4	5

区	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
一般開放実施校	野立 大宝 千年	橋 昭和 川 玉	大手 稲永 南陽 西福田 福田楽 港雌 小章 成春 福	豊田 菊住 笠東 星崎 春日野 大生 宝磯 大南 宝	丘 地東 孝城 二見 鳥羽 瀬古 小幡 苗代 白沢 小北 幡北 大森 天田 本 森 子	鳴海 神の倉 東丘 戸笠 熊の前	平和が丘 引山 牧の原	山根 八事東 大坪	合計
計	3	2	9	9	11	5	3	3	88

（３）学習開放

市立名東高等学校の図書室及び集会室を、学校教育に支障のない範囲で、市民の学習その他公共活動の場として開放している。（昭和59年８月11日開設）

ア　開放時間及び休室日

区　分	開放時間	休室日
平　日	午後５時30分～午後８時30分	月曜日、祝日（月曜日が祝日の場合は翌日も休室）、12月24日～１月６日 図書室については、上記に加え図書の整理のため金曜日
土曜日	午後２時00分～午後８時30分	
日曜日	午前９時30分～午後５時00分	

平成24年度利用状況等

開放室	利用者数	貸出冊数等
図書室 （利用定員：90人、蔵書数：約45,000冊）	2,874人	362冊 （学校教育に支障のない範囲で県内に在住、在勤、在学する者に対し３冊/２週間以内で室外へ貸出す）
集会室 （収容人員：60人）	1,772人	

（４）スポーツ開放

＜地域スポーツセンター＞

スポーツやレクリエーション活動の場を提供するため、市内の中学校の体育館・運動場・格技場を学校教育に支障のない範囲で開放し、「地域スポーツの拠点」として親しまれている。

各センターには、専任の管理員を配置し、管理や利用者の調整にあたっている。

（昭和50年３月15日大曽根中、御田中、高針中、名南中で開放開始）

（開放時間）平　日――午後６時～午後９時

日曜日――午前９時～午前11時、午前11時～午後１時

又は午後１時～午後３時、午後３時～午後５時

（利用種目）バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、レクリエーションインディアカ、軟式野球、ソフトボール、テニス、サッカーなど

〈平成24年度　地域スポーツセンター利用状況〉

施設名称＼区分		登録件数		開放日数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニスコート
		団体	人	日	日	日	日
千種区	振甫	12	66	218		200	0
	千種	6	33	77		13	0
	千種台	11	87	205		77	0
	今池	13	156	195		7	0
	若水	6	61	225		0	0
	城山	19	171	232		0	36
	東星	9	26	146		0	0
	区計	76	600	1,298	0	297	36
東区	矢田	9	41	101		93	0
	桜丘	21	63	278		138	0
	あずま	15	118	264		18	0
	富士	11	42	220		0	0
	区計	56	264	863	0	249	0
北区	大曽根	30	61	243		151	136
	北	17	108	162		123	0
	志賀	12	65	242	285	10	0
	北陵	12	116	233	284	3	0
	若葉	8	42	219	238	12	0
	八王子	7	91	229		3	0
	楠	5	108	225		3	0
	区計	91	591	1,553	807	305	136
西区	名塚	8	84	175		144	0
	平田	5	55	108		15	0
	山田	6	48	174		111	0
	山田東	3	75	229		0	0
	浄心	6	20	185		0	0
	天神山	3	69	227	56	0	0
	菊井	4	38	186		0	0
	区計	35	389	1,284	56	270	0
中村区	御田	20	28	225		123	0
	笈瀬	11	77	261	284	39	0
	豊国	2	62	207		0	0
	豊正	28	73	257		167	0
	日比津	10	45	233		35	0
	黄金	14	74	280		47	0
	笹島	30	53	251		0	28
	区計	115	412	1,714	284	411	28
中区	伊勢山	27	30	212		207	39
	白山	41	112	278		156	0
	丸の内	13	70	230		0	0
	前津	15	47	270		0	0
	区計	96	259	990	0	363	39

利用者数							
体育館			格技場	運動場			
団体利用	個人利用	小計	団体利用	運動場	テニス	小計	合計
人	人	人	人	人	人	人	人
1,177	1,484	2,661		3,098	0	3,098	5,759
375	576	951		146	0	146	1,097
895	3,144	4,039		873	0	873	4,912
1,717	1,960	3,677		96	0	96	3,773
1,109	1,465	2,574		0	0	0	2,574
1,513	3,930	5,443		0	357	357	5,800
2,401	858	3,259		0	0	0	3,259
9,187	13,417	22,604	0	4,213	357	4,570	27,174
444	246	690		434	0	434	1,124
1,367	1,553	2,920		1,206	0	1,206	4,126
1,839	2,475	4,314		238	0	238	4,552
1,063	1,296	2,359		0	0	0	2,359
4,713	5,570	10,283	0	1,878	0	1,878	12,161
1,211	1,462	2,673		1,499	412	1,911	4,584
614	1,091	1,705		2,162	0	2,162	3,867
2,385	2,010	4,395	1,271	40	0	40	5,706
1,137	2,337	3,474	2,991	80	0	80	6,545
1,108	1,764	2,872	1,015	139	0	139	4,026
923	2,278	3,201		0	0	0	3,201
842	2,619	3,461		0	0	0	3,461
8,220	13,561	21,781	5,277	3,920	412	4,332	31,390
510	3,099	3,609		2,461	0	2,461	6,070
359	909	1,268		171	0	171	1,439
976	2,464	3,440		0	0	0	3,440
1,184	1,559	2,743		0	0	0	2,743
768	1,614	2,382		0	0	0	2,382
1,213	2,106	3,319	28	0	0	0	3,347
1,103	745	1,848		0	0	0	1,848
6,113	12,496	18,609	28	2,632	0	2,632	21,269
1,969	1,069	3,038		2,493	0	2,493	5,531
1,847	1,877	3,724	4,027	740	0	740	8,491
1,088	1,659	2,747		0	0	0	2,747
1,804	1,788	3,592		896	0	896	4,488
917	1,362	2,279		458	0	458	2,737
2,440	2,628	5,068		749	0	749	5,817
1,740	578	2,318		0	2	2	2,320
11,805	10,961	22,766	4,027	5,336	2	5,338	32,131
1,580	920	2,500		3,316	202	3,518	6,018
3,316	4,404	7,720		2,301	0	2,301	10,021
1,091	1,268	2,359		0	0	0	2,359
1,316	901	2,217		0	0	0	2,217
7,303	7,493	14,796	0	5,617	202	5,819	20,615

施設名称＼区分		登録件数		開放日数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニスコート
		団体	人	日	日	日	日
昭和区	北山	32	27	269		232	0
	駒方	14	90	215		173	0
	川名	13	77	200		9	0
	円上	11	43	232		27	0
	桜山	11	32	230		0	0
	区計	81	269	1,146	0	441	0
瑞穂区	萩山	22	59	246		236	0
	瑞穂ケ丘	31	71	250		127	0
	津賀田	6	64	263		0	0
	田光	8	56	272		38	0
	汐路	12	70	249	288	41	0
	区計	79	320	1,280	288	442	0
熱田区	宮	20	37	212		38	0
	日比野分	14	66	228		139	0
	日比野	4	87	229		5	0
	沢上	14	85	268		183	0
	区計	52	275	937	0	365	0
中川区	長良	27	96	215		203	0
	助光	3	117	120		2	0
	昭和橋	7	43	218		0	0
	富田	2	340	225		126	0
	供米田	7	137	227		19	0
	山王	3	50	196		0	0
	一色	6	87	233		2	0
	高杉	8	60	188	212	0	0
	一柳	5	85	228		9	0
	八幡	4	70	265		0	0
	はとり	6	172	216		0	0
	区計	78	1,257	2,331	212	361	0
港区	宝神	5	105	215		1	0
	南陽	8	35	230		135	0
	当知	17	75	272		198	0
	東港	9	32	210	210	0	0
	港明	6	63	229		0	0
	港南	3	83	215		0	0
	港北	6	122	238		4	0
	南陽東	2	97	228		6	0
	区計	56	612	1,837	210	344	0
南区	名南	21	21	221	284	175	0
	明豊	4	73	228		0	0
	桜田	12	57	229		134	0
	大江	6	44	263		0	0
	南光	8	80	274		0	0
	本城	7	51	235		17	0
	新郊	2	73	130		0	0
	区計	60	399	1,580	284	326	0

利用者数							
体育館			格技場	運動場			
団体利用	個人利用	小計	団体利用	運動場	テニス	小計	合計
人	人	人	人	人	人	人	人
2,371	1,248	3,619		3,575	0	3,575	7,194
2,499	1,802	4,301		1,415	0	1,415	5,716
1,973	1,190	3,163		181	0	181	3,344
1,612	744	2,356		578	0	578	2,934
1,643	1,775	3,418		0	0	0	3,418
10,098	6,759	16,857	0	5,749	0	5,749	22,606
1,649	1,214	2,863		6,897	0	6,897	9,760
2,210	1,539	3,749		2,380	0	2,380	6,129
1,636	2,570	4,206		0	0	0	4,206
2,950	2,675	5,625		1,243	0	1,243	6,868
2,795	1,953	4,748	2,696	1,015	0	1,015	8,459
11,240	9,951	21,191	2,696	11,535	0	11,535	35,422
1,415	884	2,299		717	0	717	3,016
719	1,417	2,136		110	0	110	2,246
427	2,125	2,552		0	0	0	2,552
1,982	1,679	3,661		329	0	329	3,990
4,543	6,105	10,648	0	1,156	0	1,156	11,804
1,316	2,524	3,840		4,249	0	4,249	8,089
1,097	1,033	2,130		0	0	0	2,130
1,545	1,733	3,278		0	0	0	3,278
1,898	2,130	4,028		913	0	913	4,941
1,075	1,775	2,850		620	0	620	3,470
1,255	1,139	2,394		0	0	0	2,394
1,642	2,751	4,393		36	0	36	4,429
1,189	567	1,756	2,896	0	0	0	4,652
1,345	1,492	2,837		0	0	0	2,837
928	3,099	4,027		0	0	0	4,027
1,208	1,727	2,935		0	0	0	2,935
14,498	19,970	34,468	2,896	5,818	0	5,818	43,182
1,166	1,169	2,335		0	0	0	2,335
2,608	1,729	4,337		1,193	0	1,193	5,530
2,588	1,389	3,977		3,482	0	3,482	7,459
1,613	746	2,359	809	0	0	0	3,168
929	2,396	3,325		0	0	0	3,325
1,741	1,985	3,726		0	0	0	3,726
2,623	2,983	5,606		0	0	0	5,606
777	1,719	2,496		0	0	0	2,496
14,045	14,116	28,161	809	4,675	0	4,675	33,645
3,133	359	3,492	1,383	1,895	0	1,895	6,770
978	1,254	2,232		0	0	0	2,232
911	1,857	2,768		3,899	0	3,899	6,667
1,282	2,326	3,608		0	0	0	3,608
2,414	2,625	5,039		0	0	0	5,039
676	2,792	3,468		277	0	277	3,745
371	1,211	1,582		0	0	0	1,582
9,765	12,424	22,189	1,383	6,071	0	6,071	29,643

区分 / 施設名称		登録件数		開放日数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニスコート
		団体	人	日	日	日	日
守山区	守山北	8	20	117		22	0
	守山西	12	49	222		203	0
	森孝	2	28	228		0	0
	大森	6	43	240	283	2	0
	守山	15	318	219	184	0	0
	志段味	6	26	200		133	0
	守山東	10	78	217	232	0	0
	区計	59	562	1,443	699	360	0
緑区	扇台	6	92	233		5	0
	大高	20	48	185		209	0
	鳴子台	5	46	227	279	1	5
	有松	7	110	225		202	0
	東陵	2	41	229		0	0
	千鳥丘	10	64	252		44	50
	滝ノ水	10	83	203		209	0
	神沢	5	91	228		0	0
	鳴海	6	60	230		0	0
	左京山	5	102	209		0	0
	鎌倉台	16	103	261		45	0
	神の倉	11	231	231	251	4	6
	区計	103	1,071	2,713	530	719	61
名東区	高針台	4	73	179		97	0
	猪子石	9	47	117		181	0
	藤森	25	145	216		1	0
	猪高	4	65	222		0	16
	牧の池	10	74	249	275	44	0
	上社	5	205	220		0	0
	香流	5	170	211		0	0
	神丘	7	103	227		0	0
	区計	69	882	1,641	275	323	16
天白区	天白	14	78	214		177	0
	南天白	11	40	243		45	0
	植田	6	137	211	220	0	0
	平針	4	95	249		0	0
	久方	6	73	213	282	0	0
	御幸山	8	43	185		0	0
	原	11	45	205		126	0
	区計	60	511	1,520	502	348	0
合計		1,166	8,673	24,130	4,147	5,924	316

利用者数							
体育館			格技場	運動場			
団体利用	個人利用	小計	団体利用	運動場	テニス	小計	合計
人	人	人	人	人	人	人	人
738	117	855		510	0	510	1,365
959	843	1,802		5,218	0	5,218	7,020
2,430	973	3,403		0	0	0	3,403
515	1,495	2,010	628	27	0	27	2,665
1,538	2,652	4,190	271	0	0	0	4,461
644	506	1,150		402	0	402	1,552
914	2,159	3,073	4,791	0	0	0	7,864
7,738	8,745	16,483	5,690	6,157	0	6,157	28,330
815	1,518	2,333		16	0	16	2,349
944	774	1,718		3,728	0	3,728	5,446
679	1,933	2,612	6,895	0	0	0	9,507
1,137	1,697	2,834		7,248	0	7,248	10,082
739	1,917	2,656		0	0	0	2,656
1,511	1,921	3,432		320	11	331	3,763
1,463	2,488	3,951		10,788	0	10,788	14,739
814	2,952	3,766		0	0	0	3,766
1,030	1,385	2,415		0	0	0	2,415
1,248	2,294	3,542		0	0	0	3,542
994	2,722	3,716		783	0	783	4,499
3,932	3,627	7,559	5,430	0	0	0	12,989
15,306	25,228	40,534	12,325	22,883	11	22,894	75,753
1,187	1,509	2,696		2,140	0	2,140	4,836
486	442	928		5,501	0	5,501	6,429
1,216	1,562	2,778		0	0	0	2,778
948	1,400	2,348		0	0	0	2,348
2,316	2,263	4,579	3,030	170	0	170	7,779
572	3,301	3,873		0	0	0	3,873
1,843	3,072	4,915		0	0	0	4,915
1,953	2,179	4,132		0	0	0	4,132
10,521	15,728	26,249	3,030	7,811	0	7,811	37,090
520	1,865	2,385		4,921	0	4,921	7,306
1,723	1,227	2,950		154	0	154	3,104
625	2,052	2,677	3,198	0	0	0	5,875
1,663	2,198	3,861		0	0	0	3,861
1,011	835	1,846	3,474	0	0	0	5,320
2,063	1,153	3,216		0	0	0	3,216
1,029	1,831	2,860		1,147	0	1,147	4,007
8,634	11,161	19,795	6,672	6,222	0	6,222	32,689
153,729	193,685	347,414	44,833	101,673	984	102,657	494,904

第７部　人　権　教　育

第１章　人権教育の推進体制

１　基本的な考え方

人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・名古屋」を実現するためには、市民一人ひとりが人権に関心を持ち、自らの課題として主体的に考えて行動することが重要である。また一人ひとりが、人権の意義やその尊重と共存の重要性について、理性と感性の両面から理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、互いの人権を尊重することが求められる。このような基本的認識のもと、これまでの同和教育事業の成果をふまえ「新なごや人権施策推進プラン」に基づいて、学校教育や社会教育の場において、以下のように、人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の充実を図っていくこととする。

（１）人権教育事業は、「名古屋市教育委員会人権教育推進会議」において必要な事項を審議し、教育委員会関係各課（室）及び公所をあげて推進する。

具体的な事業の推進については、施策や事業を所管する課（室）及び公所による対応を基本とする。

（２）学校教育においては、あらゆる差別や偏見をなくし、お互いの人権を認め合う人間性豊かな幼児、児童、生徒を育成する人権教育を推進する。

発達段階に応じながら、学校教育活動全体を通じて、幼児、児童、生徒の人間尊重の意識を高める教育を推進するため、教育研究などに取り組むとともに、初任者から校（園）長まで職務や経験年数に応じた教職員の人権教育研修を計画的に実施する。

（３）社会教育においては、差別意識の解消と人権意識の高揚を図る人権教育を推進する。

市民が生涯の各時期に応じて、人権に関する学習ができるよう、生涯学習センター等の社会教育施設における講座・講演会の開催、家庭教育への支援、市民の自主的な学習を支援する場と機会の提供などに取り組む。また、人権教育を推進するための学習教材・情報の収集・提供、指導者の育成、職員研修の充実などに取り組む。

第２章　学　校　教　育

１　人権教育の研究推進

（１）小中学校人権教育研究協議会

人権教育に関する研究をすすめ、教職員の人権教育への理解と認識を深めることを目的とする名古屋市小中学校人権教育研究協議会を助成し、学校での人権教育の推進に努めた。

（２）人権教育の推進

人権教育研究実践校・推進校を設定し、研究・実践をすすめ、その成果を本市の人権教育の推進に資するよう努めた。

平成24年度主な研究テーマ

○　自他を尊重し合い、共に伸びる児童の育成
○　互いの人権を大切にする心と態度の育成
○　自尊感情をはぐくむ人権総合学習カリキュラムの創造
○　一人一人が活躍する場を取り入れた人権教育
○　他者への気付きを深め、共に生きようとする児童の育成
○　互いを尊重し合い、豊かな心を育てる人権教育
○　「自立」と「自律」を重視し、「共生」を目指して
○　自他の存在を認め合い、共に生きる態度を育てる人権教育
○　認め合う心を持ち、共に生きる態度をはぐくむ教育活動
○　思いやりの心と自尊心を育てる児童の育成
○　みんなで考え、認め合う児童の育成

２　人権教育研修会

教職員の人権教育についての認識を深めるため、各種の研修会を開催した。

平成24年度事業実績

月　日	研　修　会　名	対　　象
4.27	校（園）長研修会（新任）	新任校（園）長
	校（園）長研修会（２年目）	経験年数２年目の校（園）長
5.25	教頭研修会（新任）	新任教頭
	教頭研修会（２年目）	経験年数２年目の教頭
8. 2	学校運営研修会（Ⅰ）	経験年数２年目の教務主任
	学校運営研修会（Ⅱ）	新任校務主任
	学校運営推進講座	経験年数13年目以上の教諭
7.26	教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の教諭
7.25	養護教員経験者研修会（Ⅰ） 幼稚園教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の養護教諭 経験年数５・６年目の幼稚園教諭
5.22	高等学校教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数５年目の教諭・養護教諭
8.24	教職経験者研修会（Ⅱ） 高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の教諭
7.30	初任者研修会 幼稚園新規採用教員研修会 新規採用養護教員研修会 高等学校初任者研修会 高等学校新規採用養護教員研修会	新規採用教諭、養護教諭
6.26	新規採用学校事務職員研修会	新規採用学校事務職員
4.20	教育研究員	教育研究員
4.11	人権教育研修会	研究実践校の新任・転任教諭
11.20	人権教育担当教員研修会	人権教育担当教諭

３　資 料 の 整 備

教職員の人権問題に対する認識を深め、同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的な意欲をもった人間を育てる教育の充実を図るため、人権教育を推進するための指導者用参考資料として「人権教育の手引き」を始めとして各種指導資料を充実した。

第３章　社　会　教　育

１　文化センター等における教育委員会主催事業

地域住民の生活の充実･教養の向上･相互交流の促進を図るための各種の事業を実施した。

区　　分	開　設　回　数	延　参　加　者　数
	回	人
教　養　講　座	183	1,974
子ども向け事業（親子対象事業を含む）	38	814
家庭教育講座	21	342

２　市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育

市民の一人ひとりが同和問題をはじめとする人権問題の解決を自らの課題であると認識するための啓発活動を実施した。

（１）名古屋市民大学の開設

ア　テ ー マ　　人権ファシリテーター　養成講座
　　～「まなぶ」「つながる」「いかす」という観点から「まちづくり」へ～
イ　期　　間　　１月12日、１月26日、２月９日、２月16日、２月23日　　10回
ウ　受講者数　　延べ107人
エ　会　　場　　生涯学習推進センター

（２）市民大学公開講演会の開催

ア　テ ー マ　　Ａｇａｉｎ　～であい　ふたたび～
イ　期　　日　　12月６日
ウ　参加者数　　317人
エ　会　　場　　生涯学習推進センター

（３）社会教育施設等における人権問題学習

学級講座等の受講者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題学習や冊子「みんなのねがい」、「人間らしいってなに」等による啓発を行った。

事　　業　　名	実　施　回　数	延　参　加　者　数
	回	人
同和問題等講座	105	1,678
同和問題等特別講演会	4	59

※生涯学習センター、女性会館、青少年交流プラザ

（４）グループリーダー人権問題研修会

社会教育関係団体や地域社会の指導者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題についての理解と認識を深めるため実施した。

ア　期　　日　　９月７・10日
イ　会　　場　　女性会館
ウ　内　　容　　講演、ビデオ鑑賞、グループ討議
エ　研 修 生　社会教育関係団体指導者、地域団体指導者等延べ101人

（５）市民啓発のための資料の作成・整備

市民の同和問題をはじめとする人権問題についての認識を深めるために、視聴覚教材等を整備し、学習活動の充実を図った。

付　　録

1　事務参考資料

出版物等一覧（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

名　　称	担当課等	時期（月）	部数	形式	ページ	主な配布対象
教育要覧	企画経理課	9	110	Ａ４	253	事務局各課室、公所、関係機関
人権教育の手引き(実践編)	人権教育室	3	12,000	Ａ４	124	市立小・中・特別支援学校の全教員、市立幼稚園・高等学校、関係各課室、生涯学習センター等
名古屋の特別支援教育	指導室	6	6,400	Ａ５	8	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
特別支援教育資料	指導室	7	1,000	Ａ４	28	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
なごやの学校	指導室	3	900	Ａ４	86	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
定時制の生徒調査と研究紀要	指導室	12	300	Ａ４	50	高等学校
まもろうたいせつないのち	指導室	3	47,000	Ａ４	4	学校（園）
子どもCOP10あいち･なごや開催の記録	指導室	3	2,400	Ａ４	28	市内小・中・特別支援学校、事務局各課室、公所、関係機関
なごやっ子防災ノート　小学1～3年生用	指導室	8	60,400	Ａ５	22	学校
なごやっ子防災ノート　小学4～6年生用	指導室	8	62,400	Ａ５	22	学校
なごやっ子防災ノート　中学生用	指導室	8	57,200	Ａ５	22	学校
防災教育の手引き	指導室	10	4,000	Ａ４	76	学校
名古屋市立幼稚園の子どもたち	教職員課	9	15,000	Ａ４	4	幼稚園、各区役所、その他の施設
親子で歩いてつくる安全マップ	学校保健課	7	40,500	Ａ４	12	小学校１・４年生の児童・保護者
中学校スクールランチ	学校保健課	9	21,900	Ａ４	2	中学校

名　　称	担当課等	時期（月）	部数	形式	ページ	主な配布対象
中学校スクールランチ ―楽しくおいしくバランスよく―	学校保健課	9	24,400	Ａ４	4	小学校
パンフレット「親学」	生涯学習課	6	292,000	Ａ４	8	市内全市立・国立・私立幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の保護者
幼児期家庭教育支援事業「幼稚園の子どもたち」	生涯学習課	7・12・2	各37,000	Ａ４	4	市内全市立・国立・私立幼稚園の保護者
生涯学習なごや	生涯学習推進センター	毎月	各5,000	Ａ４	16	市民
生涯学習センターが行う新たな事業展開について－市民協働による「なごやか市民教室」の実施－	生涯学習推進センター	3	100	Ａ４	26	関係機関
第２次名古屋市子ども読書活動推進計画	生涯学習課	2	3,000	Ａ４	38	事務局各課室、公所、学校（園）、関係機関
第２次名古屋市子ども読書活動推進計画リーフレット	生涯学習課	3	175,000	Ａ４	4	事務局各課室、公所、学校（園）、小・中・特支の保護者、関係機関
楽しく充実した運動部活動リーフレット	スポーツ振興課	3	8,000	Ａ４	2	学校
地域ジュニアスポーツクラブリーフレット	スポーツ振興課	3	2,500	Ａ４	2	学校、関係機関、市民
文化財叢書　第96号 名古屋の歴史的風致	文化財保護室	3	1,200	Ａ５	138	関係機関
埋蔵文化財調査報告書68 伊勢山中学校遺跡（第6・7次）	文化財保護室	3	450	Ａ４	166	関係機関
埋蔵文化財調査報告書69 高蔵遺跡（第58次）　桜田貝塚・貝塚町遺跡　仁所遺跡	文化財保護室	3	450	Ａ４	40	関係機関
館報みはらし №278～283	見晴台考古資料館	隔月	各1,200	Ａ４	4	関係機関、市民
見晴台考古資料館年報29	見晴台考古資料館	6	650	Ａ４	12	関係機関
名古屋市見晴台考古資料館研究紀要　第15号	見晴台考古資料館	3	600	Ａ４	32	関係機関、市民

名　　称	担当課等	時期（月）	部数	形式	ページ	主な配布対象
見晴台考古資料館来館者用パンフレット	見晴台考古資料館	3	30,000	Ａ４	３つ折	市民
見晴台教室'12	見晴台考古資料館	3	100	Ａ４	66	関係機関、発掘調査参加者
名古屋市立図書館年報 平成24年版	鶴舞中央図書館	7	99	Ａ４	57	関係図書館
こんなほん　あんなほん 2012＜小学生向き＞	鶴舞中央図書館	7	6,800	Ｂ６	32	市民
こんなほん　あんなほん 2012＜ティーンズ（中高生）向き＞	鶴舞中央図書館	7	4,200	Ｂ６	16	市民
絵本で子育て　あぶあぶ編（3か月児健診用）	鶴舞中央図書館	5	22,250	Ａ５	16	市民
絵本で子育て　よちよち編（1歳6か月児検診用）	鶴舞中央図書館	5	21,750	Ａ５	16	市民
絵本で子育て　すくすく編（3歳児健診用）	鶴舞中央図書館	5	21,650	Ａ５	16	市民
選定児童図書目録 平成23年版	鶴舞中央図書館	5	1,100	Ａ４	22	学校、関係機関
なごやっ子読書ノート（１・２年生向き）	鶴舞中央図書館	6	43,500	Ｂ５	16	学校
なごやっ子読書ノート（３・４年生向き）	鶴舞中央図書館	6	43,500	Ｂ５	16	学校
なごやっ子読書ノート（５・６年生向き）	鶴舞中央図書館	6	43,500	Ｂ５	16	学校
なごやっ子読書カード（中学生向き）	鶴舞中央図書館	6	12,000	Ａ３	1	学校
あかちゃんのほん	鶴舞中央図書館	3	10,000	Ｂ６	16	市民
おはなしかいのための かみしばいりすと	鶴舞中央図書館	3	10,000	Ａ５	24	市民
ごちゃっと特別版	鶴舞中央図書館	11	10,000	Ａ５	8	学校、市民
名古屋市博物館だより №202～№205	博物館	7・10・1・3	各3,800	Ａ４	8	関係機関、関係博物館、市民
名古屋市博物館年報 No.35	博物館	6	800	Ａ４	36	関係機関、関係博物館
名古屋市博物館研究紀要 第36巻	博物館	3	900	Ａ４	84	関係機関、関係博物館、市民
名古屋城下お調べ帳	博物館	3	2,500	ＤＶＤ	―	関係機関、関係博物館、市民

名　　称	担当課等	時期（月）	部数	形式	ページ	主な配布対象
平成25年度企画展のご案内	蓬左文庫	3	20,000	Ａ３ 2つ折り	4	市民
蓬左　№85～№86	蓬左文庫	10・3	4,000	Ａ４	12・8	関係機関、学校、市民
特別展「江戸の粋」図録	蓬左文庫	4	1,500	Ａ４	32	関係機関、関係博物館、市民
名古屋市美術館ニュースアートペーパー №90～№92	美術館	8・ 11・4	各5,000	Ａ２ 2つ折り	4	市民
「キッズの日」案内スケジュール	美術館	3	38,000	Ａ４	2	市民
名古屋市美術館年間案内	美術館	3	20,000	Ａ４ 4つ折り	8	市民
アサラスコープ No. 400～No. 401	科学館	6 3	30,000 25,000	Ａ４	6 8	学校、公所、同種施設、市民
名古屋市科学館要覧 （平成24年度）	科学館	8	600	Ａ４	74	同種施設、関係機関
科学館紀要　№39	科学館	3	350	Ａ４	76	同種施設、関係機関
事業案内	教育センター	3	800	Ａ４	47	学校(園)、公所
教育センターNAGOYA №60～№62	教育センター	4 10 2	12,000 各 11,500	Ａ４	16 8 8	学校(園)、公所
教育研究員研究要録	教育センター	2	500	ＣＤ	540	学校(園)、教育研究所
「ハートフレンドなごや」 リーフレット	教育センター	3	10,000	Ａ４ 3つ折り		学校(園)、公所
名古屋教育史Ⅰ	教育センター	3	3,800	Ａ５	586	事務局各課室、公所、関係機関、学校（園）
なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ2012」	子ども青少年局 青少年家庭課	7	165,000	Ａ４	24	学校、関係機関
ユースクエアNEWS	青少年交流プラザ	5・7・12	各2,000	Ａ４	2	市民

２　教　育　年　表

（平成24年4月～平成25年3月）

▲印は、名古屋市の教育に関係のあるものを示す。

月日	事　　項
4. 1	▲　守山区下志段味小学校開校
4	日本青少年研究所、国際比較調査の結果を発表。海外留学に関心を持つ日本の高校生は46%で日米中韓４カ国中最低に
17	文部科学省、2012年度の「全国学力・学習状況調査」を全国一斉に実施。国語、算数・数学に初めて理科を追加。国公私立小・中学校のうち81.2%が参加
24	ＮＰＯ法人日本スペースガード協会、３年前に日本の小・中学生２人が発見した小惑星が国際天文学連合に正式に登録されたことを発表。小・中学生による登録は世界初
27	政府、「学校安全推進計画」を閣議決定。全ての学校で安全教育の時間を設けることなどを求める
5. 4	総務省統計局、15歳未満の子どもの数は1665万人で31年連続して減少
7	東京大学など12大学、秋入学の導入に向けて「教育改革推進懇話会」発足
11	文部科学省、公立小・中学校の通常学級に在籍しながら障害に応じた教育を受ける「通級指導」の対象者は６万5360人で過去最高との調査結果を発表
21	全国各地で日食が観測される。日本での金環日食は25年ぶり。観測のため登校時間を遅らす学校も多数に上る
30	文部科学省、通学路の安全点検を実施するよう都道府県教委などに通知
6. 4	平野文部科学大臣、教育改革方針を政府の国家戦略会議に報告。優秀な生徒への高校の「早期卒業制度」創設、小中一貫教育の推進など「六三三制」の柔軟化を盛り込む
5	文部科学省、「大学改革実行プラン」を発表。大学教育の質の保証、大学入試の改善、国立大学再編などが柱
7.24	平野文部科学大臣、いじめの緊急調査の実施を表明。全国の全ての小中高校が対象
8. 2	文部科学省、学校耐震改修状況調査の結果を公表。公立小・中学校の耐震化率は84.8%だが、自治体間の格差は残る
8	文部科学省、2012年度の「全国学力・学習状況調査」の結果を公表。初実施の理科において、観察・実験の結果を整理分析・説明する力が弱いことが判明
29	中央防災会議、東海から九州を震源とする「南海トラフ巨大地震」の被害想定を公表。死者は、最悪の場合で32万人以上に
9.11	文部科学省、2011年度の小中高校生の自殺が、前年度比44人増の 200人と過去25年間で最悪との調査結果を発表

月日	事　　項
10. 1	野田第３次改造内閣が発足し、文部科学大臣に田中真紀子氏が就任
8	ノーベル医学・生理学賞の受賞者に、「人工多能性幹細胞（ｉＰＳ細胞)」を開発した京都大学の山中伸弥教授が決定
	文部科学省、2011 年度「体力・運動能力調査」の結果を発表。子どもの体力が５年連続向上傾向に
11. 2	文部科学省、都道府県教委などに通知。傷害など犯罪行為に該当するいじめの警察への早期通報の徹底を図る
22	文部科学省、大津市いじめ自殺事件を受けた緊急調査の結果を公表。全国の公立学校のいじめは、４月から９月までで 14 万 4054 件に上り、うち生命に関わる深刻ないじめは 278 件。都道府県間の把握件数の格差が課題
12. 11	文部科学省、2011 年度ＩＥＡ国際数学・理科教育動向調査の結果を公表。「勉強が楽しい」と回答した小・中学生の割合は、小学生の理科は前回に続き国際平均を上回る一方、中学生は数学、理科ともに前回に続き、国際平均を下回る
26	第２次安倍内閣が発足し、文部科学大臣に下村博文氏が就任
1. 11	下村文部科学大臣、大阪市立桜宮高校の体罰自殺事件を受け、全都道府県教委に体罰の実態調査を要請する方針を表明
24	警察庁、学校でのいじめ被害者及び保護者の被害届を即時に受理するよう各都道府県警察本部に通達
2. 5	文部科学省、学校図書館調査の結果を公表。公立学校の図書室にある百科事典などの半数以上が刊行後 10 年以上で調べ学習などに不適切な状態であることが判明
3. 4	文部科学省、2013 年度の「全国学力・学習状況調査」の参加率は公立 100%、私立 47.6%と発表
8～10	▲「名古屋シティマラソン」と「名古屋ウィメンズマラソン」を併催する「マラソンフェスティバル　ナゴヤ・愛知」の第２回を開催
13	文部科学省、大阪市立桜宮高校の体罰自殺事件を受け、体罰禁止の徹底を通知。体罰と懲戒の違いの具体例などを例示
26	文部科学省、2014 年度から使用する高校２・３年生用教科書の検定結果を公表。学力向上に向けて教科書の平均頁数が 14.9%増。領土問題をめぐり竹島・尖閣諸島などの記述も増える
29	▲名古屋市スポーツ推進計画を策定・公表

３　中学校区一覧

（平成25年４月１日現在）

区名	中学校名	学区関係小学校名
千種	今池	内山、千種、千石
	城山	田代、見付
	東星	東山、星ケ丘
	千種台	自由ケ丘、富士見台
	千種	宮根、千代田橋
	振甫	大和、上野
	若水	春岡、高見
東	あずま	筒井、葵
	冨士	東桜、山吹、東白壁
	桜丘	旭丘、明倫
	矢田	矢田、砂田橋
北	若葉	杉村、名北
	志賀	金城、光城、川中
	北陵	辻、東志賀、城北
	大曽根	飯田、宮前
	八王子	大杉、清水
	楠	楠、如意、楠西
	北	味鋺、西味鋺
西	浄心	上名古屋、城西、児玉
	菊井	幅下、江西、那古野
	名塚	庄内、稲生
	天神山	榎、栄生
		枇杷島、南押切
	山田	山田、中小田井
	平田	平田、浮野
	山田東	大野木、比良、比良西
中村	豊国	日吉、千成
	笹島	笹島、ほのか
	笈瀬	柳、岩塚、八社
	御田	中村、稲葉地、稲西
	豊正	牧野、米野
	黄金	豊臣、日比津、諏訪
	日比津	
中	前津	栄、大須
	丸の内	名城、御園

区名	中学校名	学区関係小学校名
中	伊勢山	松原　橘
		平和　正木
	白山	新栄　老松
		千早
昭和	桜山	松栄　御器所
	北山	鶴舞　吹上
	川名	川原　伊勝
		滝川
	駒方	広路　八事
	円上	村雲　白金
瑞穂	田光	堀田　穂波
	瑞穂ケ丘	御劔　高田
	萩山	弥富　中根
		豊岡
	汐路	汐路　陽明
	津賀田	瑞穂　井戸田
熱田	沢上	高蔵　旗屋
	宮	千年　白鳥
	日比野	船方　野立
		大宝
中川	一色	正色　五反田
	長良	愛知　常磐
		篠原
	山王	広見　露橋
		八熊
	一柳	荒子　野田

区名	中学校名	学区関係小学校名
中川	高杉	中島　西中島
	八幡	八幡
	昭和橋	昭和橋　玉川
	富田	春田　明正
	供米田	戸田　豊治
	助光	長須賀　西前田
	はとり	千音寺　赤星
		万場
港	港南	大手　稲永
		野跡
	港北	小碓　正保
	当知	明徳　当知
	宝神	港西　高木
		神宮寺
	東港	東築地　西築地
		港楽
	港明	中川　東海
		成章
	南陽	西福田　福田
		福春
	南陽東	南陽
南	本城	笠寺　笠東
		星崎
	新郊	呼続　大磯
	桜田	桜　春日野
		菊住
	大江	豊田　道徳
	明豊	明治　伝馬

区名	中学校名	学区関係小学校名
南	名南	白水 柴田
		千鳥
	南光	大生 宝
		宝南
守山	守山	守山 西城
		廿軒家
	守山北	小幡北 白沢
	守山東	小幡 苗代
	大森	大森 大森北
		天子田
	森孝	森孝西 本地丘
		森孝東
	守山西	二城 鳥羽見
		瀬古
	志段味	志段味東 志段味西
		吉根 下志段味
緑	鳴海	鳴海 相原
	左京山	緑 平子
	滝ノ水	旭出 滝ノ水
		小坂
	扇台	鳴海東部 徳重
		常安
	鎌倉台	大清水
	千鳥丘	片平 浦里
	東陵	東丘 太子
	鳴子台	鳴子 長根台
	神沢	戸笠 黒石
		桃山

区名	中学校名	学区関係小学校名
緑	有松	有松 桶狭間
		南陵
	大高	大高 大高南
		大高北
	神の倉	神の倉 熊の前
名東	猪高	猪高 猪子石
		北一社
	上社	上社
	藤森	本郷 藤が丘
		豊が丘
	猪子石	蓬来 平和が丘
	香流	香流 引山
	神丘	西山 名東
	高針台	高針 極楽
		貴船
	牧の池	前山 梅森坂
		牧の原
天白	天白	天白 山根
	植田	植田 植田北
		植田南 植田東
	南天白	野並
	平針	平針 平針南
	原	原 平針北
	久方	高坂 相生
		しまだ
	御幸山	八事東 表山
		大坪

教　育　要　覧

平　成　25　年　版

発　　行　　名古屋市教育委員会

編　　集　　名古屋市教育委員会事務局
総務部企画経理課

発行年月　　平　成　２　５　年　９　月

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。